

令和7年度第4回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑豊	筑後
		人数(人)	構成比				
総数	人数	361		95	187	28	51
	構成比		100.0%	26.3%	51.8%	7.8%	14.1%
性別	女性	186	51.5%	49	100	13	24
	男性	172	47.6%	44	87	15	26
	その他	3	0.8%	2	0	0	1
年代別	20代以下	51	14.1%	13	27	4	7
	30代	59	16.3%	17	30	5	7
	40代	76	21.1%	19	40	6	11
	50代	62	17.2%	17	32	4	9
	60代	76	21.1%	21	34	8	13
	70代以上	37	10.2%	8	24	1	4

モニター数 398人

回答数 361人

回収率 90.70%

実施期間 R7.10.10～R7.11.3

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

令和7年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：こどもの体験活動について

福岡県人づくり・県民生活部 青少年育成課

1 調査の目的

福岡県では、「次代を担う『人財』の育成」を県政推進の柱に掲げ、子どもたちが社会性や豊かな心をはぐくむために、多様な体験活動を通して自らの可能性に気づき、自らの内にある無限の力を信じて、それぞれの夢に向かってチャレンジすることができるよう、体験活動の推進に取り組んでいます。一方で、少子化や核家族化、地域の間関係の希薄化等により、地域での体験活動の機会の減少や地域格差が指摘されています。

こうしたことから、今回こどもの体験活動に関する認識、要望等について多角的な意見を収集し、今後のこどもの体験活動推進に資する基礎情報とさせていただきます。

なお、本調査における「こども」とは、中学3年生までを指します。

2 調査時期

令和7年10月10日～令和7年11月3日（第4回）

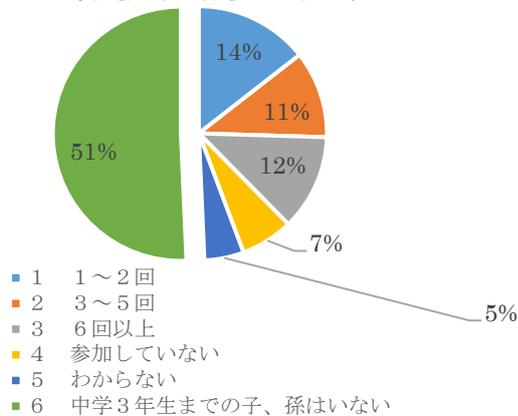
3 回答者の構成

		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数	構成比				
総数	人数	361		95人	187人	51人	28人
	構成比		100%	26.3%	51.8%	14.1%	7.8%
性別	男性	172	47.6%	44人	87人	26人	15人
	女性	186	51.5%	49人	100人	24人	13人
	その他	3	0.8%	2人	0人	1人	0人
年代別	20代以下	51	14.1%	13人	27人	7人	4人
	30代	59	16.3%	17人	30人	7人	5人
	40代	76	21.1%	19人	40人	11人	6人
	50代	62	17.2%	17人	32人	9人	4人
	60代	76	21.1%	21人	34人	13人	8人
	70代以上	37	10.2%	8人	24人	4人	1人

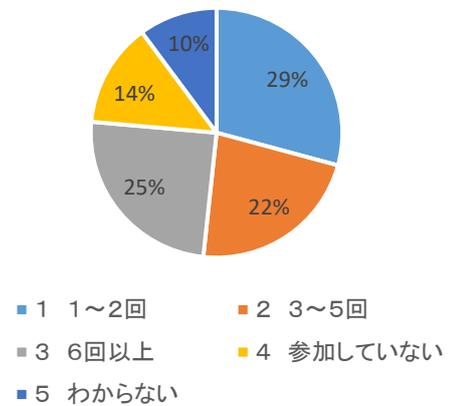
4 回答結果

問1 お子様又はお孫様等は、過去1年間（昨年10月から今年の9月まで）に、上記のような体験活動にどのくらい参加しましたか。次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

体験活動参加回数



体験活動参加回数(対象者のみ抜粋)



回答者数：361人

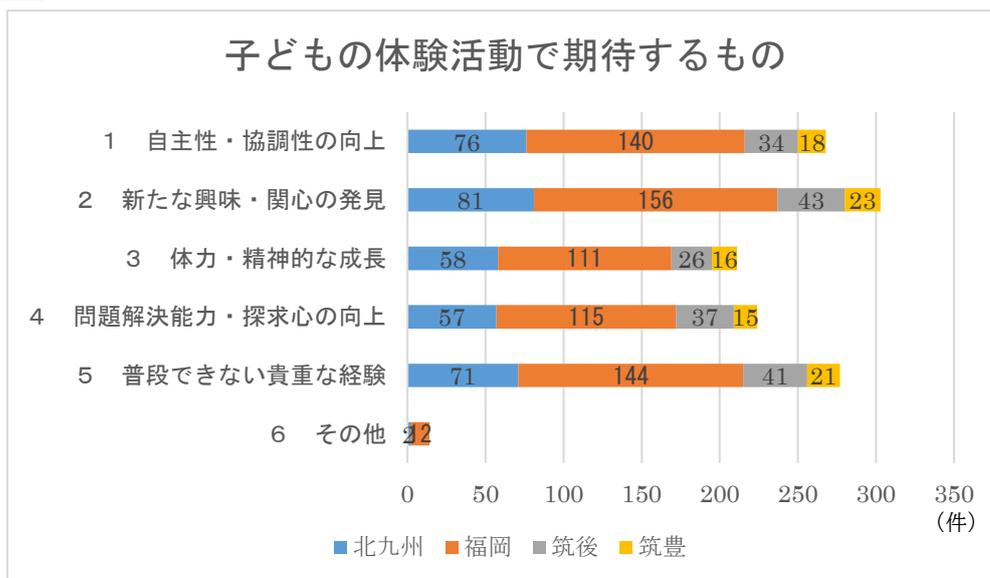
	人数	割合
1 1～2回	52	14.4%
2 3～5回	40	11.1%
3 6回以上	43	11.9%
4 参加していない	24	6.6%
5 わからない	18	5.0%
6 中学3年生までの子、孫はいない	184	51.0%

(参考：地区別内訳)

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総計
1 1～2回	11	24	11	6	52
2 3～5回	12	15	8	5	40
3 6回以上	15	21	5	2	43
4 参加していない	6	12	4	2	24
5 わからない	5	11	1	1	18
6 中学3年生までの子、孫はいない	46	104	22	12	184
総計	95	187	51	28	361

- ・約半数が「中学3年生までの子、孫はいない」と回答している。
- ・参加回数では1～2回の割合が一番多い。

問2 こどもの体験活動にどのような効果を期待しますか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



(回答者数 361 人 回答件数 1,297 件 複数回答可)

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総計
1 自主性・協調性の向上(自分で考え行動する力や友達と協力する力をつけてほしい)	76	140	34	18	268
2 新たな興味・関心の発見(多様な経験を通じて、自分の得意なことや好きなことを見つけてほしい)	81	156	43	23	303
3 体力・精神的な成長(体を動かす楽しさを知り、心身ともにたくましく育ててほしい)	58	111	26	16	211
4 問題解決能力・探求心の向上(困難な状況で工夫する力や自然・社会への関心を深めてほしい)	57	115	37	15	224
5 普段できない貴重な経験(学校では得られない非日常的な体験や思い出を作ってほしい)	71	144	41	21	277
6 その他	2	12			14

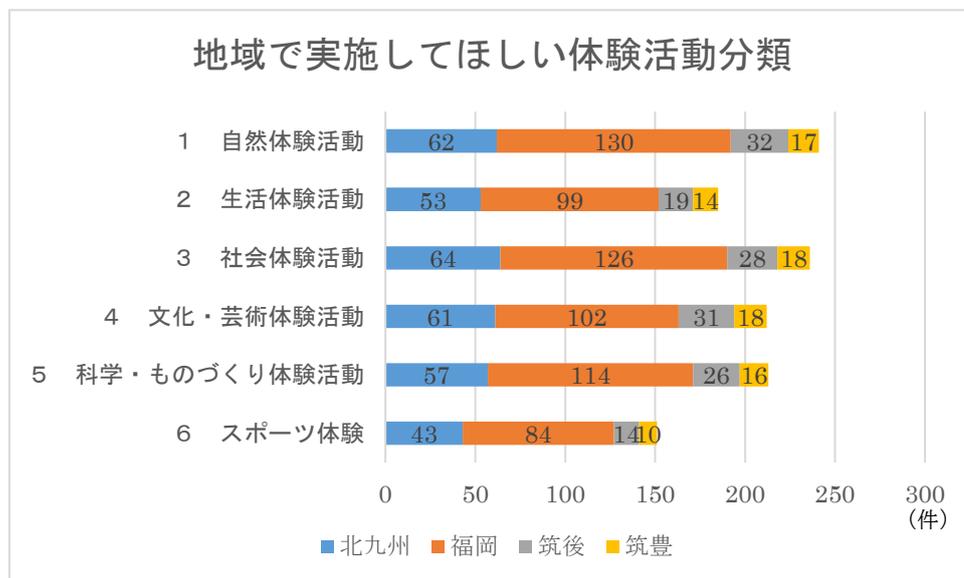
2-6 その他の意見

40代	北九州	将来生き生き活躍し収入を得られる仕事の選択、見学。
60代	北九州	任されたこと、依頼されたことに対する責任感を育てる。
30代	福岡	色々な体験をさせて色々なことを教えたい(好きなことを見つけて欲しい)
30代	福岡	物事の上辺だけでなく、中身まできちんと理解するためのきっかけになって欲しい。
30代	福岡	地域の様々な年代の方々と関わり、後々自身が体験活動を提供する側の立場になった時に、繰り返し次世代へ与える喜びを得てほしい
30代	福岡	幼少期の思い出として沢山楽しんで笑って、沢山友達をつくってほしい。
40代	福岡	こどもの体験活動は、知識よりも「心の動き」や「親子のつながり」を育ててくれる大切な機会だと感じます。5歳・2歳の息子と過ごす中で、小さな「できた」が自信につながる瞬間を何度も見てきました。親子で一緒に参加できる自然体験や地域の行事をもっと増やし、家庭と地域と一緒にこどもを育てる場が広がると嬉しいです。
40代	福岡	こういった地域の体験活動を通じて地元の事を知るきっかけにもなっています。

40代	福岡	地域の人たちとの関わり、繋がりを作る
50代	福岡	自分の周りだけの世界と違う世界を見たり体験したりすることで、視野が広がることを期待する。
50代	福岡	福岡の歴史などを知って、食べ物だけじゃない、愛着を感じ、将来遠くに住んでも福岡を好きでいてほしい。
60代	福岡	コミュニケーション力の向上、現実世界とゲームやSNSなど仮想世界との違いの認識、正義やモラルの重要性の認識
60代	福岡	美術館、博物館等で、本物の持つ力を感じて欲しい。
60代	福岡	誰もが自分と同じ人間ではないと言う事を早い時期からも考えて欲しいと思います。その為に引率される方を増やしたりして、子供達をよく見てほしいと思います。大学生等の若い人材にも体験して欲しいと思います。

- ・選択肢では、体験を通じて自分の好きなことや興味のあることを見つけるきっかけを望んでいる声が多い。
- ・その他の回答では、自分の周り以外の多様な価値観と触れることや地域との関わりを望む声があった。

問3 上記のこどもの体験活動の中から、お住まいの地域で実施してほしいと思うものはありますか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

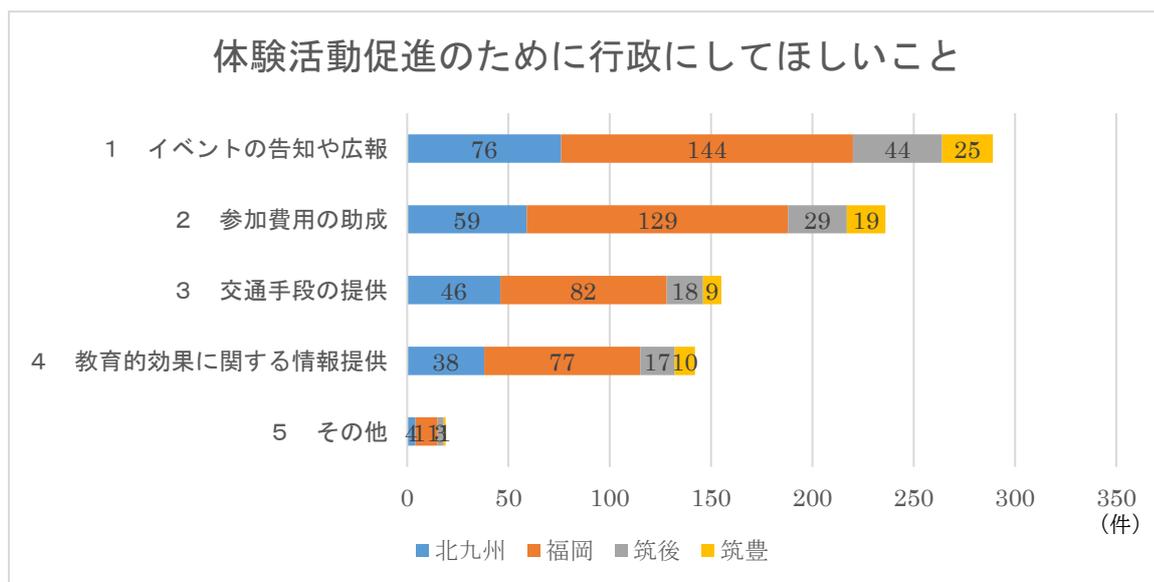


(回答者数 361 人 回答件数 1,238 件 複数回答可)

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総計
1 自然体験活動	62	130	32	17	241
2 生活体験活動(地域・生活関連)	53	99	19	14	185
3 社会体験活動(キャリア・職業関連)	64	126	28	18	236
4 文化・芸術体験活動	61	102	31	18	212
5 科学・ものづくり体験活動	57	114	26	16	213
6 スポーツ体験	43	84	14	10	151

- ・自然体験活動・社会体験活動の2つの実施希望が高い。
- ・スポーツ体験は比較的低い結果となった。

問4 こどもの体験活動の参加を促進するために、県や市町村はどのような取組を行うとよいと思いますか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



(回答者数 361 人 回答件数 841 件 複数回答可)

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総数
1 イベントの告知や広報	76	144	44	25	289
2 参加費用の助成	59	129	29	19	236
3 交通手段の提供	46	82	18	9	155
4 教育的効果に関する情報提供	38	77	17	10	142
5 その他	4	11	3	1	19

その他の意見

20代	北九州	親にも体験活動を推進するように薦める。さまざまな事業者に対して、子供割引を推進するように取り組む。
40代	北九州	出来る物は出前教室で、公共施設を回ると利用しやすいと思います。その場の会場に行くのも感動的ですが、親が来るので親とよく行き方を協議した方が親も納得しやすいと思います。
50代	北九州	親や保護者に対してではなく、学校などで子供たち自身に対しての告知や広報
50代	北九州	福祉体験、福祉ラボみたいな福岡県社会福祉協議会と共同で福祉に興味を持たせ、ユマニチュードなど小学生に行なっていますが、積極的に年2回くらいは、博多で小中学生対象にして欲しい
60代	北九州	担当者(企画、運営、支援)の派遣、または養成。
30代	福岡	イベントのイメージができる動画の提供、昨年度の同一のイベントの様子などの動画
30代	福岡	SNSをつかったの広告やSNSでの呼びかけ(協力してくれる方の)
30代	福岡	兵庫県知事のように、県民のための政策を進め県民から支持されるトップであれば「県知事が推進しているイベント」や「県知事に会いたいから」という県知事が広報的存在になれば参加させたいと思う親や祖父母は増えると思います。
40代	福岡	開催回数が多めにあると助かります。

40代	福岡	体験活動の情報を親が探さなくても届く仕組みがあると助かります。保育園や小学校、LINEなどで地域のイベント情報をまとめて配信してもらえると参加しやすいです。仕事や育児の合間でも参加できる、短時間・少人数の親子向け体験を増やしてほしいです。
40代	福岡	科学館がある地域に限られているので、ない地域では定期的に出張イベントを開催してほしい。
40代	福岡	地域で体験活動を行っている(主催者など)方々への、企画や講師の紹介などをしてほしい
50代	福岡	直接学校に赴いて活動を行う。例えば、学校の体育館で演劇を上演するなど。
50代	福岡	公民館の活用
60代	福岡	講師や指導者となってくれる人材の呼び込み、育成
40代	筑後	学校への出張、出前講座など
40代	筑後	地域にいる人や福祉施設、企業とコラボすること、将来の職業や人手不足、後継者不足にもつなげることができるのではないかと思う
50代	筑後	親としては参加して多くの経験をして欲しいと思っているが、当の本人が関心を示してくれない。学校でチラシをもらっても、積極的なお子さんだけが参加しているのではないか。学校でもそういう子にこそ声をかけて欲しい
40代	筑豊	格差是正・公平を図るためには、ある程度の強制力がないと参加できないと思う。なぜならば、こどもは親の意思や同意がないと参加できないから。参加したくてもできない家庭がどうすれば参加できるのかを支援することが必要だと思う。

- ・選択肢では、イベントの告知や広告を求める声が多かった。
- ・その他の回答では、学校や地域等に対して広報し、保護者に届くことを望む声や、地域格差を是正するための取組についての意見があった。

問5 こどもの体験活動について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に

20代	北九州	直接体験の大切さは自身でも感じています。(百聞は一見にしかず) 子に経験させたいと思った時、やはり情報を取り切れず見つけれないものもあつたり(そもそも探すリソースがわからないものもあつたり)費用が想像以上で断念、ということもあつたりで、情報を発信しているサイトがわかりやすくまとめられていたり、助成があると助かるなど感じています。
20代	北九州	私は現在20歳で、2011年-2017年に小学生、2017年-2020年まで中学生でした。当時から、愛情や安心感が不足しているこどもや、将来働くことに対して不安を抱くこどもが多く見られました。インターネットの影響や家庭環境の変化が背景にあると感じます。 こうしたこどもたちに向けて、体験活動を通じて「働くことの楽しさ」や「自分は地域や社会に支えられている存在であること」を実感できる機会を増やすことが大切だと思います。特に、地元企業や地域の大人との協働を通じて、現実の温かさに触れられるような取り組みが望ましいと考えます。
30代	北九州	SNSや主要な駅や繁華街など人が集まる場所、学校などを通じて積極的に宣伝・発信して欲しい。
30代	北九州	乳児から楽しめるものが少ない

30代	北九州	どうしても体験活動が土日に行われることが多く、土曜日にも仕事があるため気になる活動があっても保護者同伴の活動に参加できない。 低学年でもその子より上のきょうだいに参加する場合は保護者同伴なしでも参加できるようになれば嬉しい。
30代	北九州	SNS、県・市政だより、保育園・幼稚園・学校などを介したチラシなど、いろんな方法で告知があれば、どれかひとつは目に留まる機会が増えるのではないかと思います。楽しそうなイベントでも、知った頃には終わっていた…日程が近く予約ができなかった…他の予定を入れてしまった…ということがよくあります。
30代	北九州	体験活動を通じて、将来どういったことに繋がるかという具体的な「目標」を提示してあげるのがいいと思います。 なぜなら、子供の体験活動の参加可否を担っているのは保護者だからです。保護者はどういったことが将来に影響するかを知らないと、子供の体験活動を参加させないと思うからです。 ですので、保護者向けに体験活動の目標を提示することが大切だと思います。
30代	北九州	自分自身が親にしてもらったように、子供には学校ではできない経験もさせてあげたいという気持ちが強く、現在加入している町内会で様々なイベント企画・開催をしています。 例えば、お祭りやマルシェで商品の売買で社会経験をさせたり、年始は餅つきで日本の歴史的な行事を学んでもらったりなど、これから検討していく企画もありますがそのような経験は今どき貴重なものだと考えています。 他の地域でも全てを行政に任せっきりにするのではなく地域住民単位でも活動してくことも大事なことだと思っているので、そこに助成金を出すなど検討していただきたいです。 特に、長寿支援課からは敬老会などに助成金が出ているのであれば、こどもの体験活動に対する助成金も検討されるべきなのではないかと思います。 考えが偏っているかもしれませんが、子供は国の宝だと思っているので幼少期にたくさん体験をさせてあげるのも大人の役割だと思います。
30代	北九州	駄文ながらご回答致します。 こどもの体験活動についてですが今のこども達が置かれている立場を鑑みますと色々なルールに縛られこども本来のあるがままの自分を肯定することなく大人になってしまった場合周りのきちんとこども時代を経験してきた大人との関係性で戸惑ったり混乱したりすることがあると自身の経験からですが感じております。ルールを守ることの本当の意味を大人も再考し今この子達に必要な体験を周りの様々なコミュニティに所属している者同士が対話を通じて試行錯誤していくこれに尽きるのではないのでしょうか？
40代	北九州	親や先祖の仕事も向いているでしょうが、可能性を広げるために色々と求職体験をさせてあげたいです。
40代	北九州	1人親で子供だけ参加したい場合に交通手段の確保等が問題になりがちです。子供が1人でも参加しやすい様な交通の便が良い場所で行っていただきたいです。
40代	北九州	大人が行かせたくても子供が行きたがらないことが多く困っている。
40代	北九州	工場見学以外にも大企業のオフィス見学や議会見学・伝統技能見学などが増えるとありがたいです。
40代	北九州	保護者の多忙化により親と子の時間が縮小する中、親子のコミュニケーションが希薄になり、また親から子へ伝えられるもの、その過程で学び取れるものがかなり少なくなっていると思います。社会として子供達に何を教えるかも工夫が必要ですが、どうやったら親子の時間や各家族の伝統・細かく言えばその家庭の味まで伝え取り戻せるか。そこを考えていく必要があるところまでできていると思っています。

40代	北九州	子育て世代向けに広報してほしい。 テレビは見ないのでネットや SNS をもっと活用して
40代	北九州	子供の将来の目標になるものや、夢を見つけてもらえる体験をしてほしい。
40代	北九州	進路選択になるような、職業体験があれば嬉しいです。警察や消防士などではなくて、あまり知られていない想像できない職業が良いです。
40代	北九州	インターネットを使用しない、利用できない環境を最低でも1週間は体験させるべき (毎年) そこから見える景色を再発見させることが重要
40代	北九州	子供には手厚い支援が必要
50代	北九州	こどもの頃に色々な体験をさせたら、将来の人間性に関わってくると思うので必要、
50代	北九州	いろいろな体験ができるというのは、こどもにとって、とても有意義なものだと考えられる。一方で、たくさんの体験活動に参加しづらい児童・生徒たちがいるのも見逃すことができない。多くの体験が県・市など中心地に多いようで、遠方の場合、あきらめざるを得ない場合もあるように思う。そのようなことを考えると、学校教育の中で、体験ができればと思うことがあります。ただし、教員の働き方改革が先行していて、企画等が縮小していることもあるのではと考えると、軽々に組み込んでくださーいと言えない。 同行できる家族がいなくても体験に参加できやすいようになるといいのにと思うことがあります。
50代	北九州	現在、こどもたちに対してどのような体験活動が提供されどれ位のこどもが参加しているかわかりませんが、ぜひ子供たちが自身の将来を考えるプログラムを考えていただき、参加を促すようにして欲しい。出来ればプログラム参加中はスマホ、ゲームなど禁止にしてプログラムを真剣に体験してもらおうとともに参加者どうしのコミュニケーションを深めてもらうなどして貰うとより良いと思います。
50代	北九州	AI等がもてはやされている中で、中にはおかしな論理や間違った結果などが混在していて、便利な反面、何が正しいのか判断する能力のレベルが一段高いものをも取られるようになった用に感じる。 色々な人と知り合うことや体験を通じて、AI云々とは別の自分自身が知り得る世の中の空気感というか、そういう形になっていないふんわりしたものを学べたら良いと思う。
50代	北九州	当日は給食がなくて、弁当を作る手間はありますが、それもひとつの楽しみかと思っ て作っています。 教室では学べないことを学ぶのは、とてもいいことだと思います
50代	北九州	参加前から(申し込みの時点から)子供たち自身に行動させるようなものが好ましい と思います。 全てを大人が準備した上での参加(嫌な言い方になりますが、全てをお膳立てした 上での参加)は、深い意味での「体験」といえるのかと疑問です。
60代	北九州	学校で行う遠足や社会科見学を、もっと充実してほしい。理由は、子供の体験活動 を親や家庭に任せてしまうと、活動の機会が得られない子供も出てくるから。
60代	北九州	地域での体験活動では場合によって町内会に加入していない世帯は参加できない ことがある。 同じ学校に通う仲間でありながら体験格差が生まれていることの是非を検討してもら いたい。
60代	北九州	とっても良い施策だと思います。 余り理解していませんでした。猛省します。

60代	北九州	子どもには体験が大切である。場所、設備、人材、資金を国家が潤沢に準備すべきである。日本を支える次世代を大事に育てることは急務である。
60代	北九州	何をいつどこで開催されているのかを知る機会がほとんどない。イベントの開催に関してもっとアピールしてほしい。
60代	北九州	イベントの告知や広報をしても、親に関心がないと、無意味。また、応募方法が煩雑だと、なかなか応募までには至らないと思う。 学校からイベントに参加するなどしてくれたら、公平感を持って体験できると思う。
60代	北九州	どの時間帯でやるのかがよく分からないが、土日、長期休暇中などであれば、行政が主となって取り組むので学校は関わらなくても良いと思うが、学校と連携してやるのであれば教員に新たな負担がかからないようにしてほしい。活動の趣旨は賛同できるが、どこが主体として実施するのかをはっきりさせて欲しい。
60代	北九州	子どもの体験活動に熱心な親御さんとそうでない(経済的にも時間的にも余裕のない)親御さんの格差が大きいと思うので、そういう子ども達にも参加する機会を増やすため、地域の子ども会や学校単位で引率するなど、たくさんの子どもに体験のチャンスを増やす工夫をしてほしい。
60代	北九州	高齢者も多く認知症の方もふえてくるので、認知症の方への接し方や声のかけ方等子供の時から学んでおくことも必要では無いか?と思います。
60代	北九州	市政便りなどに枠を作って、申し込みしやすいようにお願いしたいです。
60代	北九州	行政主体でやるにせよ、民間ボランティア主体でやるにせよ、やる気と熱量を持った人が、引っ張っていかないと、掛け声だけで、尻すぼみになってしまう危惧があります。
60代	北九州	子どもの体験活動の参加を促進するためには、もっとSNSに告知や広報をしてほしい。
70代以上	北九州	県市町村からの取り組みにとどまらず、企業からの仕事体験等受け入れをもっと積極的にやらしてもらえればいかがなものかと考えます。県市町村は地元企業に対し、こうした取り組みの申し出を積極的にやってみてはどうでしょうか。
70代以上	北九州	以前は各町内会に子供会があり地域の祭りやスポーツなどの行事があったが現在でもそういった活動をしているところはどれくらいあるのだろうか
70代以上	北九州	子どもや孫は遠方に住んでいるため詳細を把握していません。近所の総合グラウンドに散歩で良く出かけるのですが、土曜日などに子供の姿を見かけることが少なく、どこにいるのか気になります。 農家で稲刈り体験や、近所の工場見学など子供達には贅沢な学習の場が提供されています。体験談などをもう少し公表すれば他の子供達にも刺激になります。学校では体験発表会など企画されているのでしょうか。
20代以下	福岡	海外での文化交流や体験活動等も取り入れたら良いのではないのでしょうか。
20代	福岡	どんな家庭のお子さんでも、平等にいろいろな活動に参加できる機会を増やしてほしいと思います。
20代	福岡	今までの体験活動により、どのような効果があったのか、情報分析や改善等はされているのでしょうか。体験して終わりになっているのではないかと、やや疑問です。子どもに体験活動のまとめを行わせる、とかではなくて、市区町村のレベルでの調査はされているのでしょうか。
20代	福岡	特に文化体験は家庭の経済により格差が生まれやすいので、なるべく多くの子供が小さいうちにいろいろな文化に触れる機会を作ってもらいたいです

20代	福岡	告知や広告を大々的にすると良い。 子供の体験学習ができるイベントをまとめた広報誌又はアプリで地域ごとにその月の体験学習ができるものをまとめていて、予約できるシステムがあるとわかりやすく意欲が湧く。 Instagramなどの告知でも情報収集がしやすい
30代	福岡	幼稚園や小中学校への助成を拡充することで、これらの活動をより効率的かつ公平に実施できるのではないのでしょうか。たとえば、学校の休校日などに地域の老人会の方々に昔の遊びを教えてもらったり、大学生や学芸員を招いたりしての体験教室を実施することも可能です。 こうした活動を外部事業者に直接委託すると、児童の参加人数に制限が出る上、運営経費がかさみ、持続性にも課題が生じます。学校現場を通じた実施であれば、既存の環境や人材を活かし、より多くの子どもたちに機会を提供できます。 また、たとえば「走り方教室」「警察を招いた交通安全教室」「消防を招いた応急救護教室」のような、楽しみながら身体づくりができる活動も非常に有益です。こうした取り組みを、学校支援という形で普及・充実させていくことが、コスト効率と公平性の両立に繋がると考えます。
30代	福岡	こどもの体験活動は基本的には各家庭が自分たちで地域のお祭りに参加したり、ボランティア活動をしたり、料理やお菓子作り、昔ながらのこま回しや竹馬、けん玉などの遊びをしたり、美術館や博物館巡りする。企業の工場見学イベントのようなものに参加する。科学館の科学に関するイベントに参加する。ということだと考え、行政が参加を促すことではないと思います。するもしないもあくまで各家庭、各こどもの判断だと思います。 行政がこどもの体験活動に関わる必要があるとするならば養護施設に在籍するなど特定の状況下にある子どもたちだと考えます。そういった子どもたちに対してはどんどん積極的に体験活動に行政が参加を支援すべきことだと思います。
30代	福岡	広報誌などをみていると小学3、4年生以上が対象のものが多く、それ以下の年齢が参加できないものが多いです。また、自然体験のようなものだと現地集合は参加に対してのハードルが高いため交通手段を確保してもらえると参加しやすいかと思います。
30代	福岡	イベントの配信サービスがあると良い
30代	福岡	色々な体験させてきて思うことは子供も喜ぶし、いい経験だと思います。 費用の面ではないのが理想ですが、格安もしくは、高額でなければ参加させてあげたいと思います。高校生や大学生(若い世代の方)の方々ともっと触れ合えると子供達も嬉しいです。
30代	福岡	日本人限定にしてほしい。 外国人が増え、そういうイベントに行くにも安全面はどうなんだと危惧して怖くて行かせたくない考える。
30代	福岡	経済格差が機会格差につながらないよう、特に生活困窮世帯への機会提供を充実させてほしい
30代	福岡	体験活動は学校での経験を基に余暇で家族との体験や経験を行うし、逆もありうる。 授業で現地研修やモノづくりの時間の際は、多くの時間を割くなどじっくり体験に向き合う時間を作るべきである。体験に基づいた疑問が学習や学ぶ目的の期待に繋がると思う。
30代	福岡	日本、または福岡に生まれたことを誇りに思ってもらえるような体験に期待します。最先端の科学を使ったものや、AIなど将来に期待をもてる活動がいいと思います。また、スタッフは子どもにも親しみやすい若い方だとなじみやすいと思います。

30代	福岡	不登校の生徒や、障害を持つ生徒に配慮した体験活動を提供してほしい。
30代	福岡	市や県の広報誌に情報があっても、見ない世帯が多いと思う。学校を通じた、先生から児童、生徒へ口頭での呼びかけが大切だと思う。 また、それぞれ得意、興味があるそうだと思う生徒、児童に教員から直接後押しがあるときかけになると思う。
30代	福岡	うちの家庭のこどもの体験活動参加のほとんどが、偶然アクティビティの存在をSNSで知り申し込んだというケースが多かった。県が積極的に力を入れるなら、SNSマーケティングなどに力を入れる必要があると思う
30代	福岡	本人の得意不得意など向いていることを小さいうちからデータとして導きだしてあげるシステムやもっと語学や異文化の知識をつける勉強や学校外でのワークを増やしてほしい。
30代	福岡	体験活動に参加するにあたり、保護者が仕事で付き添いや送迎が難しいことがある家庭に対して、自身が通学する場所や最寄り駅までのサポートはあると保護者の仕事状況に関係なく参加のハードルが下がる場合があるのではないかと思います。 また、体験活動の内容で(すでに自治体単位では催されている場所もあるかと思いますが)、生活力を身に付ける以下のような体験があるとよいのではと思います。 小学～中学生までに、一般的な金銭感覚や自身の状況に応じて国・県・市から行われている助成やサポート等受けているサービス(保育料～高校授業料の無償化、こども医療証、教科書無償化等々)、将来自分が生きていくにあたり、必要な知識を知る機会を設ける。 それにより、大人だけでなく子供も社会の一員であり、社会人になった時に社会人としての自覚や自分の給料から引かれている税金が社会の中で必要とされていることなどを自覚もしくは知って考える機会になるのではないかと思います。
40代	福岡	自然に触れたくても公共交通機関がなく、自家用車がないと行けないことも多いので、その点で自治体にサポートしてもらえると助かります。
40代	福岡	自宅では難しい経験がいろいろとできるので子供が希望した際は積極的に体験活動に参加するようにしています。学校を通じて様々な案内を知ることも多いので、行政機関が考えてくださっていることを大変ありがたいと思います。
40代	福岡	物価高で経済苦なのでどこかへ出かけるにしてもお金がかかってしんどいです。ぜひ税金で親子で参加できる体験イベントを多く開催してください。企業が協賛すればそこには経済も生まれるはずです。
40代	福岡	参加者が有料でもよいので、幅広い体験活動を実施して頂きたいと考えます。
40代	福岡	親として子供に体験させたいことはいろいろあるが、子供自身が興味を持たないことには無理に参加させることになり、親子の温度差が難しいと感じる。子供自身がやってみたいと感じるような、日頃から興味を引き出す日常的な会話や、学校での教育も大切だと思う。
40代	福岡	このような体験の場がほしいと常々思っておりました。情報検索も頻繁にしていますがなかなか見つけられないので、このようなイベントなどが増えること、また、情報をスムーズに得られることを期待します。

40代	福岡	<p>こどもの体験活動は、「学び」や「発達」のためだけでなく、親子や地域がつながる貴重な時間でもあると感じます。5歳と2歳の息子を育てる中で、自然や人とのふれあいを通じて子どもたちが心を動かし、「できた！」という瞬間に立ち会えることが、親として何よりの喜びです。そうした体験が、子どもにとっては自己肯定感や挑戦する力の芽生えにつながり、親にとっても「見守る力」を育ててくれるように思います。</p> <p>一方で、体験活動の情報が見つげづらい、申し込みが難しい、日程が限られているなど、参加までのハードルが高いと感じることもあります。特に共働き家庭や小さなきょうだいがいる家庭では、「行きたいけど行けない」ことが多いのが現状です。ですので、もっと身近で、気軽に、親子で参加できる小さな体験を増やしていただけると嬉しいです。たとえば、地域の公園や公民館で行う30分程度の自然観察や工作教室、地域の方が先生になる昔遊び体験など、短時間でも子どもが夢中になれるような取組です。</p> <p>また、体験活動の情報発信についても工夫が必要だと思います。保育園や学校からのお便りだけでなく、LINEやSNSなど、親が普段から使っているツールを通じて地域ごとのイベントが届く仕組みがあると助かります。特に、保育園に置いてある幼児向けイベントのチラシはいつもチェックしており、我が家ではほぼ100%参加しています。親が信頼している保育園からの情報は安心感があり、「これは行ってみよう」と思えるきっかけになります。行政と保育園が連携して情報を届けることで、参加率は大きく高まると思います。</p> <p>さらに、こどもの体験を「やって終わり」にせず、家庭で振り返れるような共有ツールや記録の仕組みがあると良いと思います。写真や感想を残して、次の活動につなげるサイクルができれば、子どもも「またやりたい！」と意欲を持てるでしょう。</p> <p>体験活動は、子どもが成長するだけでなく、家庭・地域・大人までも育ててくれる大切な機会です。県や市町村には、子どもを“預ける”形ではなく、“一緒に育てる”形での体験活動づくりを、これからも進めていただきたいです。</p>
40代	福岡	福岡は他県と比べて、活動に参加しやすいと思う(転勤族のため)
40代	福岡	小学校中学生のカリキュラムのなかに、体験活動を多く含めてほしい。
40代	福岡	もし、いまやっているとしても、情報発信が弱い。インスタなど、公式サイトを使って若い世代も積極的に情報をとりにいけるようにするべきだと思う
40代	福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットで色々済む事が多くなった分、リアルでやりとりする人とのコミュニケーションが減ったので、様々な世代と触れ合う機会を設けたらいいのかなと思う。 ・以前のように夏の気候が特に変わって屋外での機会が減った分屋内向けの学びの場がこの先必要なのかなと感じます
40代	福岡	異文化交流など海外の文化にも小さい頃から触れる機会があれば、さらに価値観が広がるのではないかなと思いました。
40代	福岡	どの項目も大事だと思いますが、自然体験活動や生活体験活動は、地域のお年寄りとかどもたちの関係構築や人材活用をより積極的に行うと地域が活性化し、地域ごとで知り合いができ、防犯や孤独死、助け合いの精神ができるのではと思います。・公民館や団地の集会所などを開放し、DIY 工具無料貸し出しを行い、技術のあるお年寄りが教育者として使い方などを教える。また、空き地や団地の空き地などでも、野菜や果物を育てるなどいろんな活用ができるのではと思う。
40代	福岡	地域で子どもたちの体験活動を実施している方々(子ども会役員なども含む)に向けて、気軽に参加できる研修や催事を開催してもらえたら嬉しいです
40代	福岡	親の意識の高さ、経済力によって差がつきやすい教育の一つだと考える。格差なく活動に参加できるよう工夫が必要。
40代	福岡	コロナ禍以後祭も減ったが子供のふれあいや心の豊かさには必要だと思います。

50代	福岡	キッズニアの福祉、医療版を開催して欲しい。核家族になった今、より、介護や医療を身近に感じられ、人の痛みがわかる人材育成に力をいれて欲しい
50代	福岡	自然活動体験によりケガ等痛い目にあうことが伴うことまたそれは自分の責任であり体験であることを理解させる
50代	福岡	都会の子どもたちは自然の中で過ごす時間が減ってきていると思うので、可能な限り森や海や川で過ごす時間が作れると良いと思う。
50代	福岡	体験格差という言葉が昨今頻繁に聞く。これを解消するためには、「体験」のチャンスを得難い家庭の子どもたちへの「体験」の場の積極的提供が有効だと思う。
50代	福岡	私の子どもは現在大学生ですが、小学生の頃地域の様々な体験イベントに参加しました。その時の体験はとても楽しく充実したものであったようです。ネット社会に生きる今の子どもにこそこのような体験をしてほしいと感じます。
50代	福岡	告知を目にする機会を増やすと良い
50代	福岡	気になっていたんですけど、8月の原爆投下の日、昔は登校日で戦争の授業がありました。最近は無いときいたのですが、言い伝えしていかなくていいのでしょうか？ 話は変わりますが、私の親は施設に入っており、近隣の保育園の子と定期的に交流があり、お互い良い刺激になっているようです。子どもにとっては、老人について学ぶいい機会になると思います。
50代	福岡	福岡市立の小学校中学校に通っている児童生徒と比べると、国立や私立の小学校中学校への情報提供が少し手薄であると感じることがあります。市立学校以外の学校の関係者にも情報提供を進めてほしいです。
50代	福岡	PC やスマートフォンの普及により、インドアで過ごす傾向が強まっていますので、本件の実施によって活動の機会が増えることを願っております。
50代	福岡	子供が小さいころに、なんにでも興味関心を持ち順応性がある時期に、さまざまなジャンルの講座を受講させたかったです。1回きりの活動だとイベント選択の段階で親の興味関心にどうしても引っ張られてしまうので、多テーマで数回シリーズのオムニバス講座があったらなあと思います。
50代	福岡	その子の適性とかを教えてほしい
50代	福岡	野外活動が大切
50代	福岡	子ども食堂をやっていますが、学校と家庭以外の場所を子ども達が知らない！ もっと第3の場所や家庭や学校での悩みを聞いてもらえたり相談したりする場所が必要です。不登校などがあると、学校側は、家庭に踏み込めず、病院を紹介され、酷い対応と思う。 子ども達に色んな選択肢を与えてあげる場所が必要です。
50代	福岡	あまり目的にこだわらず、「学校ではない場所で友達と一緒に、元気に楽しく過ごす」ことに重点を置いてほしいです。ケガや事故などなくて元気ならそれで満点です。
50代	福岡	単発型ではなく、継続的な活動が求められていると思います。 単発型は実施件数が多いのですが、子どもたちの感想は、「よかった。」、「面白かった。」などの段階にとどまり、次の段階に発展していくことは多くないように思われます。 1回あたり3～5時間、これを5回程度実施し、合計20時間程度の体験とすることで、会得したり考えたりすることが大きく変わり、感想文の内容なども変化がみられるようですので、継続的な体験活動の推進を希望します。
50代	福岡	子どもによって、その両親の考え方や経済的な理由により、経験格差が生じていると思う。すべての子どもに完全に平等にすることは難しいが、親や経済力に拠らない参加の仕方があれば良いのではと思う。

50代	福岡	今年、森の中で子どもたちと防災キャンプをして、火おこしやテント張りを体験しました。最初はうまく火がつかず大変でしたが、みんなで協力してできたときはとても嬉しかったです。自然の中で生活する大変さと楽しさを知ることができました。これからも自然を大切にしたいと思いました。
50代	福岡	どういう活動があるか等、学校を通じて知らせる、とか保護者の目に触れやすくして頂けると有り難い。
60代	福岡	子供達に体験の場を作ることは非常に良いことだと思います。
60代	福岡	治安が悪くなっている地域もあるせいか、悲惨な事件がおこるせいか、個人情報の問題もあって挨拶すらしない子供も多く見受けられます。地域のイベント等でもっとコミュニケーションがとれる社会になって行けば将来が明るいかなと思います。
60代	福岡	自治体からの活動費用に対する助成(予算)や支援活動(クラウドファンディング等の取り組みなど)についても公表して欲しい。
60代	福岡	今の子ども達は綺麗好きでアミューズメントパークなど大人がお金をとって体験させていることが多い。 自然の中での体験や子ども同士のキャンプなど大人の手伝いの手がかかることを行政がやるといいと思う。 かつては校庭で高学年は子どもだけでキャンプで一夜を過ごすなどあった。明け方は寒くてあまり知らない子と背中をくっつけあって暖かかった経験などは人として大切な経験だったと思う。
60代	福岡	大人が望ましいと思うことが固定観念ではないか、いちいち考えたほうがよいと思います
60代	福岡	教育の一環としてボランティア活動や職業体験を組み入れた方がよいと考えます
60代	福岡	体験活動はその後の人生においても、貴重な忘れられない経験となるものも多く、是非多くの子どもに有意義な体験学習をつめるように取り組んでほしい。
60代	福岡	自分が子供だった頃や我が子が子供だった頃に比べて今の子どもたちはこのようなイベントがたくさん用意されていてうらやましく思います。 親子で参加するものが多いので親が参加できなくても参加できるようなイベントもあると良いなと思います。
60代	福岡	今の子ども達は、低学年からスマホを持っている子どもが多いように思いますし、塾や習い事の時間も結構な時間を費やしている気がしています。 どこかの県がスマホ2時間と条例出してありましたが、ほんとにそうだと感じました。 体験活動がより良く楽しい事だと感じてほしいので、時には、突拍子もないような体験もいいのでは。 同年代の方の参加も有りだと思えます。
60代	福岡	私自身の子供たちはすでに成人し独立しており、孫たちも遠方に住んでいるため、彼らの実情については詳しく把握していません。しかし、地域社会の現状に目を向けると、子供を持つ親世代が地域社会との関わりを可能な限り避ける傾向が顕著だと感じています。具体的には、地域の自治会から脱退したり、当初から加入しなかったりといったケースが見られます。このような状況を鑑みるに、子供たちの体験活動を充実させることと並行して、その活動が持つ意義について、親世代への理解促進を図ることも重要であると考えます。

60代	福岡	地域の活動のひとつ、廃品回収について。 以前は、子どもたちが中心で、親が車を出してサポートしていたが、最近は親も子供も作業に協力せず、回収業者がパッカーで回収していく現状のようだ。 時間的負担や、安全面とか考慮の上ではないかと思われるが、これは違うと思う。 連帯感もなければ、何も生まれぬ。 さみしい世の中になったものだと思う。
60代	福岡	お年寄りと触れ合うことで、人格の形成や、スマホ以外の楽しみ方を学んで欲しい
60代	福岡	食糧の大切さを感じて欲しいので、農業体験を積極的に実施してもらいたい。
60代	福岡	趣旨を伝え、子どもが自ら考え、参加するような活動。
60代	福岡	どの活動も子供時代にはとても大切な経験・体験になると思います。さらにこれからのグローバル人材育成を目指すために、海外との交流体験になるような活動を自治体が企画してくれると、さらに嬉しいと思います。 例えば、海外へのホームステイや短期留学等の相互交流を体験できれば視野が広がるのではないかと思います。
60代	福岡	アウトドアで楽しみながら炊事、掃除、ものづくり、色んなものに挑戦して刃物や火、危ないことも教えて体験して危険なこともあることを学ぶ事が大切だと思います
60代	福岡	地元企業や教育に関心のある学生、元教師などと連携してダイナミックな活動ができると思う。その時は施設の子供達を優先的に参加させてほしい。
70代以上	福岡	先日近くのスーパーに買い物に行きました。小学生のお子さんが30人ほど、店のキャラクターぬいぐるみを着た人と、店の店員さんに案内されて食料品売り場を歩いていました。時々止まって商品説明などが行われていました。みんな興味深そうにノートをとって質問をしていました。いい教育だなと思いました。
70代以上	福岡	子どもは体験の中から実に多くのことを学びます。それぞれの家庭で、子どもの興味・関心に合った体験を、家族みんなでしていくのが理想ですが、精神的・経済的に余裕のない家庭もあるので、行政の方で多くの機会を設定してもらえればと思っています。 ただ、いくら機会を設定しても、子ども達(特に恵まれない家庭の子ども達)が参加しやすいようにしなければ意味がないのでその点も考えていただければと思います。
70代以上	福岡	孫が小学校卒業まで、福岡市の科学文化会館、マリーナワールド(当時色々な体験ができました)、アクロスの子供用コンサートなど、情報を集めては参加させました。県としてもっともっと施設への支援をしていただければ、県民として嬉しいです。
70代以上	福岡	居住地域の中学校では積極的に地域のボランティア活動などに参加を促しています。 これに応える子供も多いことはいいことです。
70代以上	福岡	町内にある子供会活動に金銭的援助をします。
70代以上	福岡	地域に根差した指導者の育成に向けた取り組みの必要性
70代以上	福岡	子どもを守るため、子ども自身が自分を大切にするための身近な取り組み。
70代以上	福岡	地元の自然環境に触れることで、環境保全に対して自分に何が出来るかを家族で話し合う機会にしてほしい。
70代以上	福岡	家庭によって参加し難い子供への提案
20代	筑後	地域での子供の体験活動は親の人間関係が特に影響されやすいと思っています。私が子供の頃も親が来られないから行けないや地域全員が対象と言っても子ども会などに属していないと参加を拒まれたりするなどの理由で孤独感を感じたのを覚えています。やはりどのような家庭な子であっても参加させられるようなルールが必要だと思います。

30代	筑後	私が住む地域では、文化体験ができる機会がかなり少ないです。小さい子どもを連れて都市部で開催されるコンサートや美術館に行くのはハードルが高く感じます。特にコンサートは、決まった時間に合わせてはるばる都市部まで行き、駐車場を探し…と考えるだけで心が折れることもあります。コンサートホールの規模にもよりますが、県内各地で小さい頃から本物の音楽や芸術に触れる機会が平等にあるといいなと思います。
30代	筑後	特に地方は子供の数が減り子供同士が遊ぶ場がどんどん減っており、そこから若い人は地方から出ていくという悪循環が起こっている。 市町村は子供の体験活動などにも取り組みをしっかりとすることで対策になると思う。
30代	筑後	最近の子供はラジオ体操すらすることができないほど体力・筋力の低下が著しい。身体を鍛えることはもちろん、インターネットも普及し、マナーなどの教育、お金についての教育も海外より遅れており、小さなころから大切さを教える必要があると考える。 学校教育も先生によって差がでてしまうし、教材の準備も大変になるため、教材は政府で準備し、学校でも色々な学習ができるように課題を取り入れる必要があると考える。
30代	筑後	記載がありますが、私は工場見学が趣味です。 ただ見ているだけでは、得るものは少ないです。 しかし、目的意識、興味を持って見学に行くと効果は大きいです。 たとえば、自分の仕事に応用できないか(安全、衛生管理など) 事前学習をしっかりと見学に行くことで得られる効果は高いと思います。歴史的建造物などの見学も同じです。事前に学習して理解してから本物を見ると感動を覚えると思います。
40代	筑後	福岡市内とそれ以外の田舎部分ではだいぶ実施の機会に差があったりすると思っています。そういったものを訂正してもらえると参加しやすいなと思いました。
40代	筑後	参加費が無料や安価なものをご提供いただいている、ありがたく思っています。 異文化交流体験も取り入れていただけるとさらに子ども達の視野が広がります。
40代	筑後	職場体験等。行っているところが多いが、自分のなりたい職業等に行けるといいと思う。
50代	筑後	僕らが子供の時と事情がかなり変わってきているので何とも言えないが、昔は子供同士の公園や川や池などで遊びの中で自然と覚えていくものがたくさんあったと思う。 今は、危険だ煩いなど声が上がるのでそういう遊びが出来ないのでしょうか
50代	筑後	子どもが中学生の時に社会体験の一環として、レストランの厨房を体験しました。 30歳を過ぎた今でも、このキャベツはお客様が食べやすいようにこーやってもりつけた、とか、従業員さんが空いたお皿下げやすいように配慮して母としてもよい体験だったなと感謝しております。 小学生には小学生の感性、中学生には中学生の感性があると思うので、数回は経験してほしいです。
60代	筑後	子どもは好奇心の塊なので、体験活動の機会が多くある方が好ましいと思いますが、子どもの時間が他の活動にとられていることが多く機会を逃す傾向が高いです。学校などの行事活動との整合性が各地域でとられたら良いなと思います。
60代	筑後	学校の修学旅行を単なる観光旅行では無く、もっと有意義な体験活動や科学的なイベント等に変更してみても如何でしょうか？

60代	筑後	以前は、地域で海水浴行ったり、映画鑑賞したり実施していたが、地域との関わりが薄い家庭、また家庭によっては余裕が無かったり、経験出来る体験に格差があるのではと推測する。 その為、学校での体験活動を増やせないかと思う。
60代	筑後	もっと学校で体験活動の紹介をし、参加を促すようにした方が良いと思います。また、子ども達の自主性や主体性を育むために、活動の内容の一部を子ども達自身にも考えさせたり、話し合わせたりしてはどうでしょうか。
60代	筑後	安全面の問題があると思いますが、固定的なプログラムではなく柔軟な内容で子どもたちが主体的に活動できる内容であることが望ましいと考えます。指導者は、学校関係者ではなく、その機関のプロの方であったほうが、子ども達をこどもとして接するのではなくて良いかと思う。
70代以上	筑後	誰もが気軽に参加できて、ちゃんと成果のある取り組みを広めてほしいです。
20代	筑豊	県の財源にも限りあるものであるから難しいとは思いますが、県が公開講座の実施団体を公募してみてもどうか。実施団体を募集し、交付金を出す。選定にあたっては、実施内容の一通りがわかるよう提示してもらい、その審査には大学教員なども招致する。県内一円に募集をかけることで様々な地区での成立をねらい、参加者も「今週は〇〇町の講座があるから行ってみよう」などと都市間の往来を加速させることができるのではないかと。 若者の行っている古民家改装や地域おこし事例をツーリズムで学ぶ、〇〇町〇〇地区の山笠を見学しよう、福岡湯水の歴史と治水事業見学、既に様々な団体が実施しているようにも思うが、県内全域での統一した取り組みに組み込むことで、市井の学びなおしや魅力の再発見につながるかと思う。
30代	筑豊	我が子にも様々な体験をさせています。自分で考え、行動する力や友達と協力する力などをつけてほしいと思います。
30代	筑豊	親と一緒に参加しなくても良いようなものの方が、最近の多忙な保護者には人気だと思う。
30代	筑豊	福岡はせっかくワンヘルスを掲げているのだから動物愛護ボランティアなどを通して、人間に捨てられて行き場のない動物たちがいることを子供達にも知って欲しいと思う。 家族で考えるきっかけにもなると思います。
40代	筑豊	体験がその時だけで終わらないように、子どもが自分で選択できるように、危ないことを出来る経験
40代	筑豊	SNSを使った告知や、参加費負担の少ない(可能なら無料)活動を積極的に行なってほしい。
40代	筑豊	事業の評価は必要だと思う。子どもたちにどのように役立ったのか。何か習得できたのか。それを学校の授業(成果を発表し合う)や成績に組み込むとかも良いかもしれない。
40代	筑豊	私の住む市では自然を生かした体験などは行われているが、職業体験など子どもが将来就きたい職業などの知見を広げるようなイベントがないので、キッズニアのような体験イベントが県内の市町村で広く行われると良いと思います。
50代	筑豊	田舎で子どもを育てる良さはあるが、体験活動の種類から言えば、やはり都心部の方が充実している。子どもが何に関心を持つのか、どんな才能を持っているかを知るためにも様々な体験をさせてやりたいと思えば、親は都心部での生活を選択すると思う。金銭的余裕も必要になるが。田舎の少子化は進むけれど、仕方がないのかも。

60代	筑豊	体験活動等取り入れる地区に格差がある。 飯塚市に住んでいるが、中心市街地は予算をかけて様々な取組があるが、旧潁田町(合併して飯塚市)はなにも取り組み方されていない。差を感じる。
60代	筑豊	体験活動の選択肢は多いほど良いと思う。
60代	筑豊	NPOをはじめ、非営利で様々な活動をされている団体への優遇措置。
70代以上	筑豊	今の若い親はこどもの貴重な体験や経験を好まない人がいる。積極的に参加させない傾向があると感じます。

《在宅医療の推進について》

【調査の目的】

昨今、医療へのニーズが多様化する中で、療養場所についても、従来の「病院」だけでなく、様々な希望を持たれる方が増えてきています。

県では、末期がんの患者さんなど医療の必要性が高い方でも、自宅や施設などの望んだ場所で安心して療養できるように、生活に密着した医療を提供できる体制づくりを行っているところです。

そこで、皆様のご意見をお聴かせいただき、今後の施策の参考にさせていただきます。

(保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課)

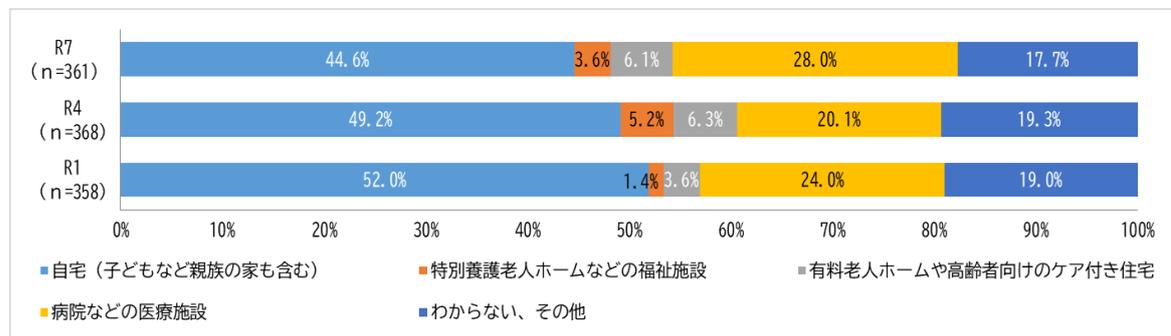
【問1】 治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいですか。

(n=361 選択は1つのみ)

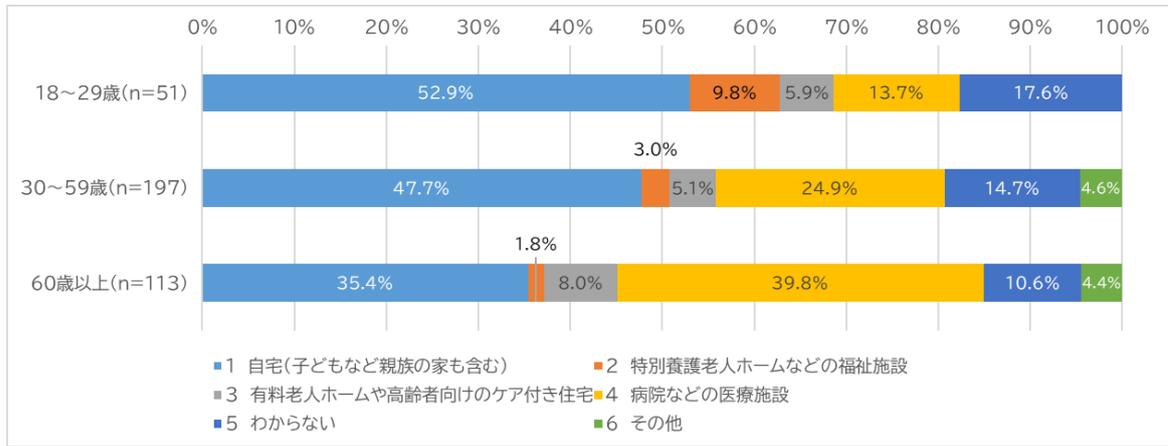
1 自宅（子どもなど親族の家も含む）	44.6%	161人
2 特別養護老人ホームなどの福祉施設	3.6%	13人
3 有料老人ホームや高齢者向けのケア付き住宅	6.1%	22人
4 病院などの医療施設	28.0%	101人
5 わからない	13.9%	50人
6 その他	3.9%	14人

※6 その他（抜粋）

- ・ 親族が近くにいるならどこでも良い
- ・ ホスピス等終末ケアや緩和ケアをしてもらえる施設
- ・ その時の自分なしい周りの状況を考えて適切な場所で過ごしたい
- ・ 自宅が一番だが、家族に費用や労力等の負担がかかるなら病院で構わない
- ・ 出来れば必要な臓器含めて取って貰ってくれるような施設があるならそういう所で死ねたら良い



- 全体では、「自宅」で最期を迎えたいと回答した方が最も多く、約45%を占めている。在宅（自宅、特別養護老人ホームなどの福祉施設、有料老人ホームや高齢者向けのケア付き住宅）で最期を迎えたいと回答した方は、約55%を占めている。
- 令和元、4年度と比べると、「自宅」で最期を迎えたいと回答した方が若干減少し、「病院などの医療施設」での最後を希望されている方が増えている。

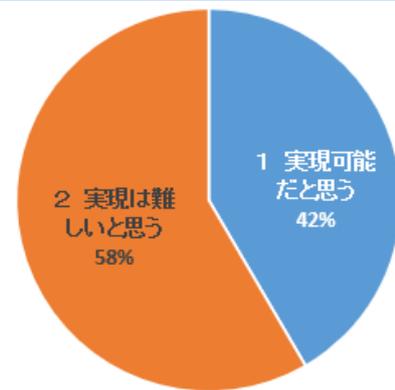


- 年代別にみると、18～29歳(n=51)は、「自宅」で最期を迎えたいと希望される方が約53%と最も多い。その一方で、60歳以上(n=113)は、「病院などの医療施設」で最期を迎えたいと希望される方が約40%と最も多く、年代が上がるにつれて「自宅」を希望される方が減り、「病院などの医療施設」を希望される方増える傾向にある。

【問2】(※ 問1で「1 (自宅)」と回答された方のみ) 最期まで自宅で過ごすことは、実現可能だと思いますか。

(n=160 選択は1つのみ、未回答1を除く)

1 実現可能だと思う	42%	67人
2 実現は難しいと思う	58%	93人



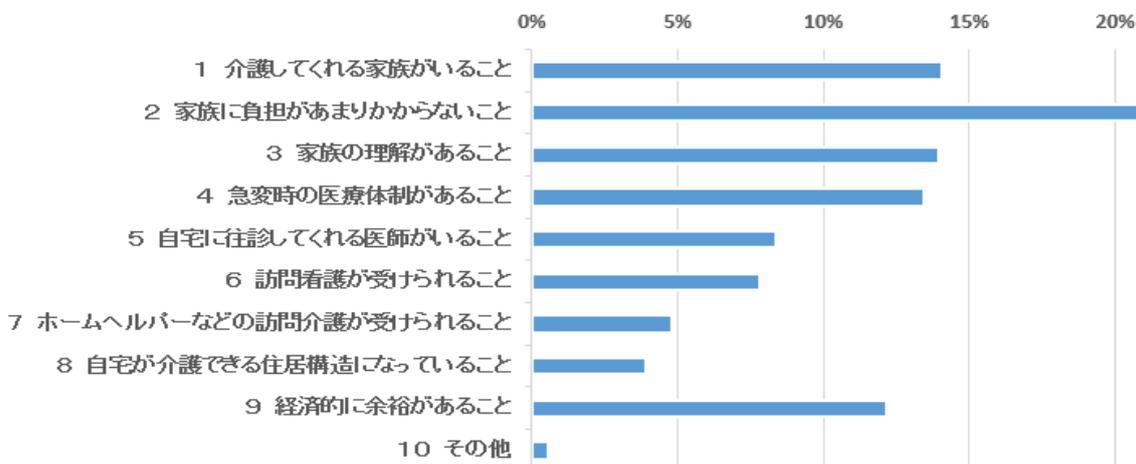
【問3】『治る見込みがない病気で余命が限られているのなら、住み慣れた自宅で最期を過ごしたい』という意見がありますが、そのためにはどのような条件が必要だと思いますか。

(n=361 3つまで選択可 回答件数1,023)

1 介護してくれる家族がいること	14%	144人
2 家族に負担があまりかからないこと	21%	214人
3 家族の理解があること	14%	143人
4 急変時の医療体制があること	13%	137人
5 自宅に往診してくれる医師がいること	8%	86人
6 訪問看護が受けられること	8%	79人
7 ホームヘルパーなどの訪問介護が受けられること	5%	49人
8 自宅が介護できる住居構造になっていること	4%	40人
9 経済的に余裕があること	12%	125人
10 その他	1%	6人

※10 その他（抜粋）

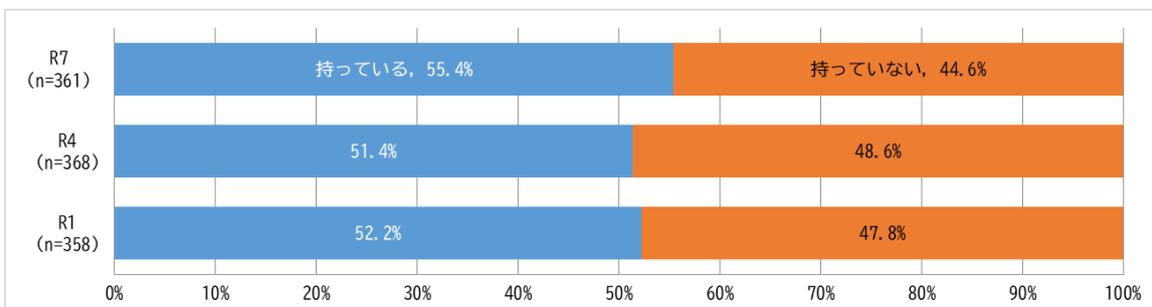
- ・ エンディングノートの作成
- ・ 介護する人の職場の理解・サポート
- ・ 心身ともに痛みや苦しみが無い、若しくはコントロールしてもらえる事
- ・ 小さな子どもがいる家庭でも受け入れられるように、子ども向けに病気や看取りをやさしく伝える支援や、家族全体をサポートしてくれる相談員の存在が必要。また、親が安心して「家にいたい」と言えるように、在宅医療と子育て支援が連携する仕組みも整ってほしい。



【問4】「かかりつけ医」をお持ちですか。

(n=361 選択は1つのみ)

持っている	55.4%	200人
持っていない	44.6%	161人

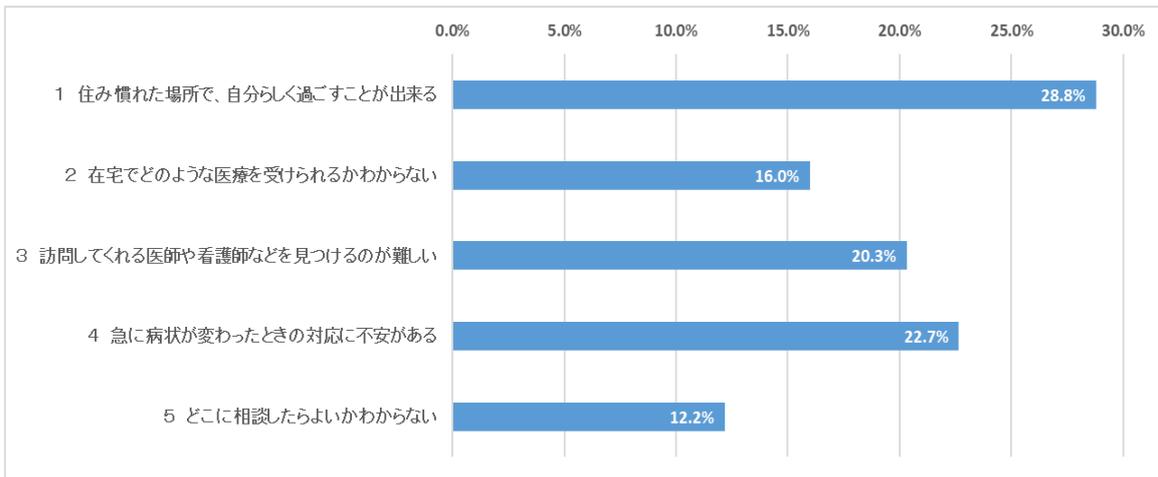


【問5】「在宅医療 ※」に対して、どんなイメージを持っていますか。

※「在宅医療」とは、病院への通院が困難で自宅や施設での療養を希望する方のために、医師による訪問診療の他、医師の指示のもと、看護師・理学療法士・管理栄養士・歯科医師・薬剤師などの専門職種が連携し自宅等を訪問して専門的サービスを行うもの。

(n=361 複数回答可 回答件数812)

1 住み慣れた場所で、自分らしく過ごすことが出来る	28.8%	234人
2 在宅でどのような医療を受けられるかわからない	16.0%	130人
3 訪問してくれる医師や看護師などを見つけるのが難しい	20.3%	165人
4 急に病状が変わったときの対応に不安がある	22.7%	184人
5 どこに相談したらよいかわからない	12.2%	99人

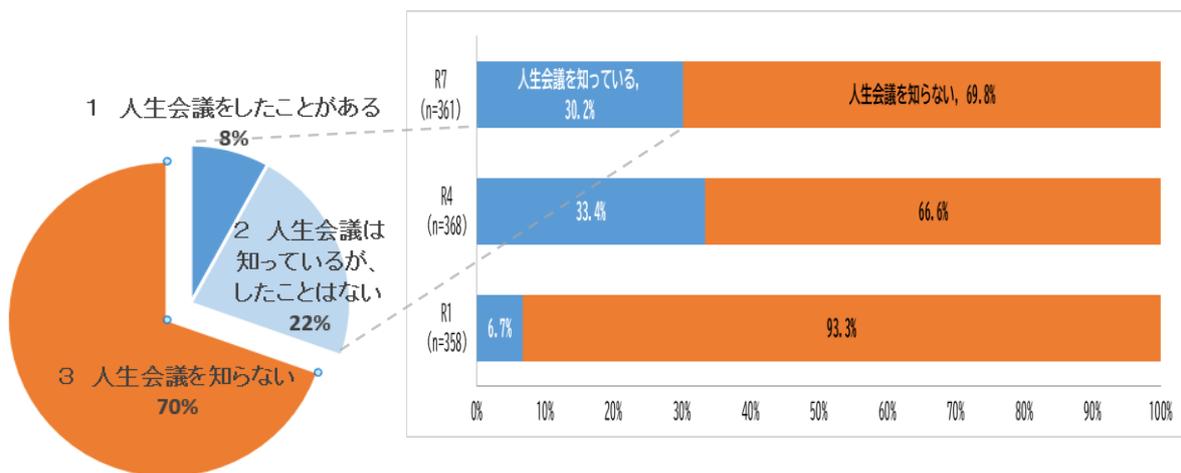


【問6】「人生会議 ※」を知っていますか。また、したことはありますか。

※「人生会議」とは、もしものときのために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、家族や親しい人、医療やケアチームの人たちと話し合い、共有する取組のこと。「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」ともいう。

(n=361 選択は1つのみ)

1 人生会議をしたことがある	7.8%	28人
2 人生会議は知っているが、したことはない	22.4%	81人
3 人生会議を知らない	69.8%	252人



- 「人生会議をしたことがある」または「人生会議は知っているが、したことはない」と回答した方が約3割となっており、「人生会議を知らない」と回答した方が、約7割を占めている。
- 令和4年度と比べると、「人生会議を知っている（人生会議をしたことがある、人生会議は知っているがしたことはない）」と回答した方が微減しており、依然として、その普及が課題である。

【問7】在宅医療の推進について、これまでの設問以外に意見はありますか。

主な意見（集約）

（制度・仕組み）

- ・ 在宅医療の推進には賛成だが、現状は多くの課題があり、単独世帯や重症者への対応が難しい。
- ・ 低い診療報酬や人手不足、利用者からのハラスメント等により、医療・介護の提供体制が崩壊しつつあり、早急な対策が必要。
- ・ 在宅医療は個人の希望だけでなく社会的なメリットもあるが、制度が複雑で理解しづらく、行政が部署を横断した一体的な取り組みで環境を整備すべき。

（情報提供・相談）

- ・ 在宅医療に関する具体的な情報（費用、対応機関、サービス内容等）が不足しており、利用者にとって分かりやすい情報提供が必要。
- ・ 「人生会議」の認知度が低く、具体的な進め方や相談先が不明なため、広報活動の強化と相談体制の整備が求められる。
- ・ 在宅医療の質を担保しつつ、多様なニーズに応えられる体制を地域全体で構築していく必要がある。

（個人の意思決定と家族の役割）

- ・ 在宅医療は家族への負担が大きく、本人の希望と家族の負担軽減を両立させるための公的サポートが不可欠。
- ・ 本人の意思を尊重しつつ、家族とのコミュニケーションを深める機会や、意思決定をサポートする仕組みが必要。
- ・ 家族構成の変化に対応し、単身者や家族が遠方にいる場合でも安心して在宅医療を受けられるような制度設計が求められる。

（医療・介護従事者）

- ・ 医療従事者の人手不足が深刻であり、在宅医療を推進するには現状の体制では困難である。
- ・ 医療・介護従事者の過重労働や経済的な報われなさがあり、待遇改善と精神的なケアが急務。
- ・ 在宅医療の質を担保しつつ、多様なニーズに応えられる体制を地域全体で構築していく必要がある。

<セルフメディケーションについて>

【調査の目的】

令和7年1月1日現在の住民基本台帳等に基づく本県の65歳以上の高齢者は、1,430,970人に達し、総人口の28.1%を占めています。第二次ベビーブームに生まれた団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢化社会が進むことによって、医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

急速な高齢化や社会構造の多様化・複雑化が進む中で、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする「セルフメディケーション」(※)を通じた疾病の予防、早期発見、治療が重要となってきます。

セルフメディケーションを推進するため、皆様のご意見をお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

このたびは、貴重な御意見ありがとうございます。

セルフメディケーション推進の具体的事業等を総合的に検討するための基礎資料とさせていただきます。

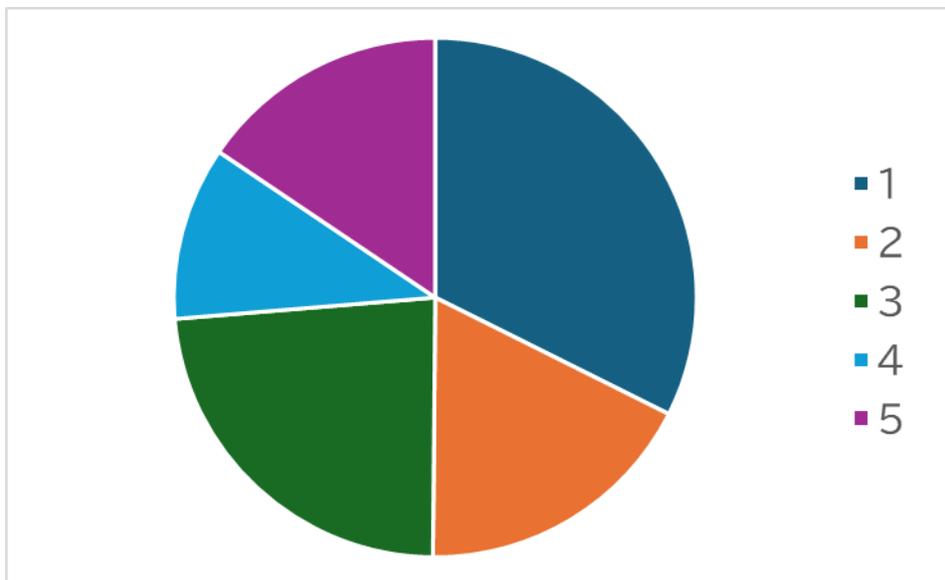
(保健医療介護部薬務課)

※ セルフメディケーションとは

世界保健機関(WHO)は「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と定義しています。

日頃から健康を意識し、軽度な身体の不調には市販薬を使用して健康の維持や疾病の予防・改善を心懸け、セルフメディケーションを実践することで、健康寿命の延伸につながります。

< 1 > あなたは、「セルフメディケーション」について知っていますか。また、「セルフメディケーション」を実践していますか。

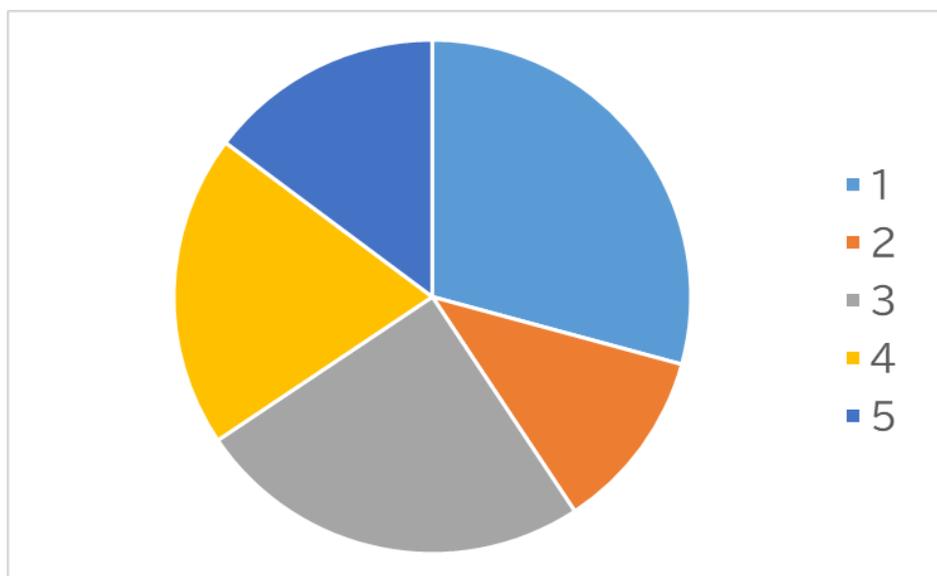


(n=361 選択肢は1つのみ)

1	知っており、実践している	32.4%	(117名)
2	知っているが、実践はしていない	17.7%	(64名)
3	言葉は知っているが、内容などはよく知らない	23.5%	(85名)
4	言葉は知らなかったが、内容は実践している	10.8%	(39名)
5	知らない	15.5%	(56名)

無回答 0.0% (0名)

<1：参考>令和3年度 県政モニターアンケート調査結果 あなたは、「セルフメディケーション」について知っていますか。また、「セルフメディケーション」を実践していますか。



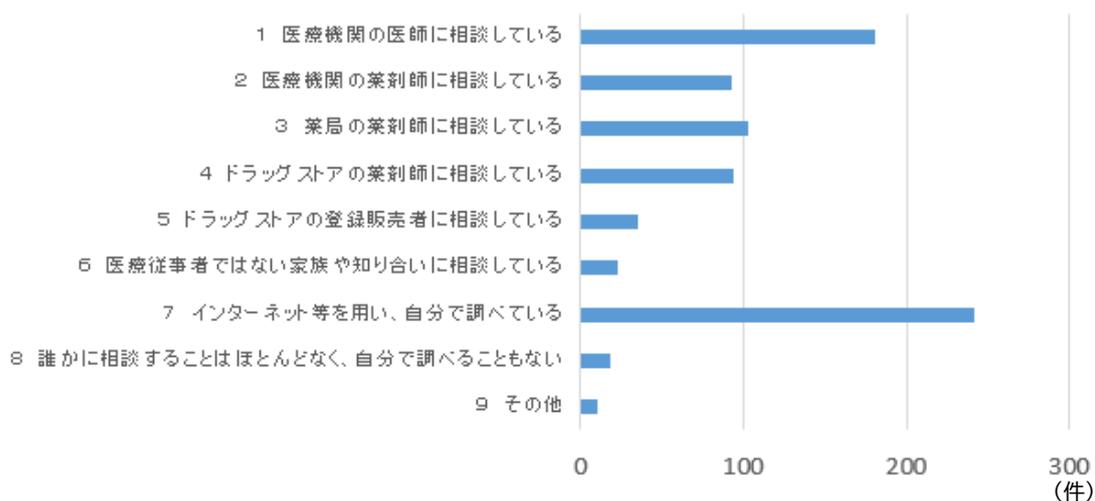
(n=366 選択肢は1つのみ)

1	知っており、実践している	29.2%	(107名)
2	知っているが、実践はしていない	11.5%	(42名)
3	言葉は知っているが、内容はよく知らない	24.9%	(91名)
4	言葉は知らなかったが、内容は実践している	19.7%	(72名)
5	知らない	14.8%	(54名)

無回答 0.0% (0名)

< 2 > 医薬品についてよくわからない時には、自分だけで判断せず、薬の専門家に相談することが大切です。

あなたは、医薬品についてわからないことは誰に相談していますか。



(n=361 複数選択可)

1 医療機関の医師に相談している	(181名)
2 医療機関の薬剤師に相談している	(93名)
3 薬局の薬剤師に相談している	(103名)
4 ドラッグストアの薬剤師に相談している	(94名)
5 ドラッグストアの登録販売者に相談している	(35名)
6 医療従事者ではない家族や知り合いに相談している	(23名)
7 インターネット等を用い、自分で調べている	(242名)
8 誰かに相談することはほとんどなく、自分で調べることもない	(18名)
9 その他 (次の設問で具体的に入力してください)	(10名)

無回答 0.0% (0名)

[その他 (抜粋)]

- ・看護師である私の親
- ・自身が医療従事者のため、自己判断もしくはインターネットの医療従事者向けページを読んでいる
- ・薬についてくる説明書を読む
- ・友達薬剤師に相談している。
- ・医療職者なので自分で調べることができる。

<2：参考>令和5年度 県政モニターアンケート調査結果 医薬品についてよくわからない時には、自分だけで判断せず、薬の専門家に相談することが大切です。

あなたは、医薬品についてわからないことは誰に相談していますか。

(n=366 複数選択可)

1 医療機関の医師に相談している	(176名)
2 医療機関の薬剤師に相談している	(102名)
3 薬局の薬剤師に相談している	(139名)
4 ドラッグストアの薬剤師に相談している	(137名)
5 ドラッグストアの登録販売者に相談している	(55名)
6 医療従事者ではない家族や知り合いに相談している	(45名)
7 インターネット等を用い、自分で調べている	(270名)
8 誰かに相談することはほとんどなく、自分で調べることもない	(11名)
9 その他（次の設問で具体的に入力してください）	(11名)

無回答 0.0% (0名)

[その他（抜粋）]

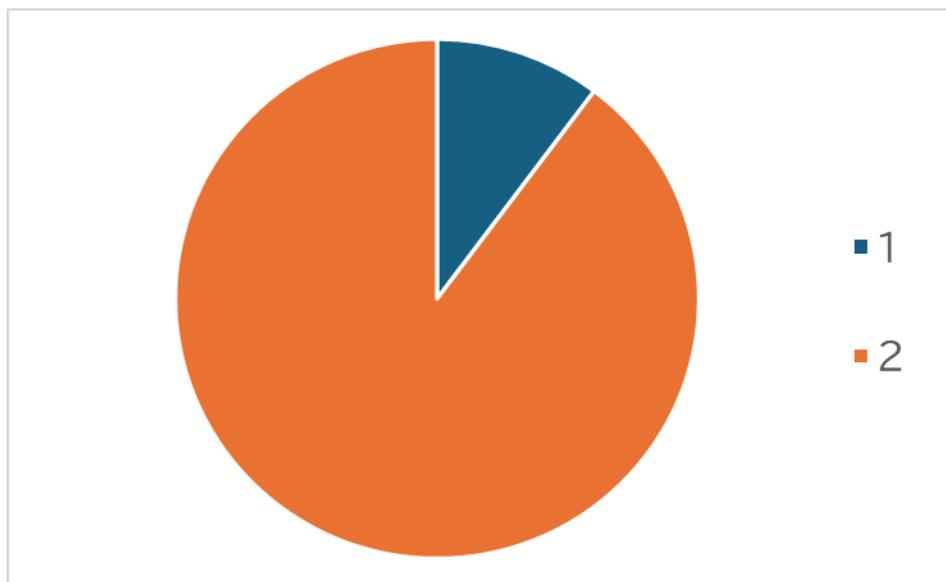
- ・医療従事者の身内に相談している。
- ・自身が登録販売者と准看護師の資格を持っているので、自身で調べる
- ・健康保健の教職員などの専門家に尋ねています
- ・薬の辞典が家にあるのでそれを利用することもある。
- ・医療業界で働いているため、その会社の人に聞く
- ・医療従事者である家族や知り合いに相談している

< 3 > あなたは、「健康サポート薬局」という言葉を知っていますか。

※ 健康サポート薬局とは

厚生労働大臣が定める一定の基準を満たしている薬局として、かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や食事・栄養摂取に関することまで、気軽に相談できる薬局のこと。

令和7年3月末時点で、福岡県内に133の健康サポート薬局がある。

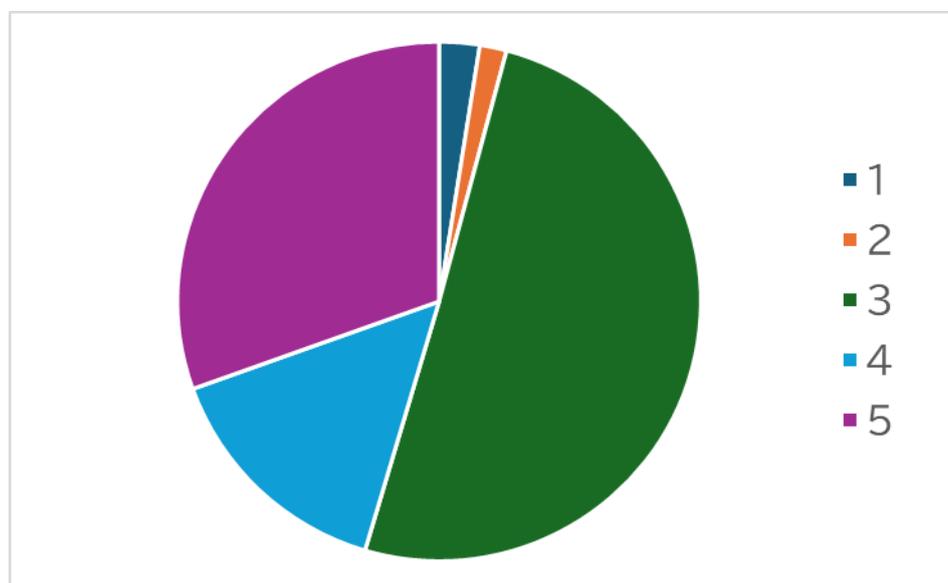


(n=361 選択肢は1つのみ)

1 知っている	10.2%	(37名)
2 知らない	89.8%	(324名)

無回答 0.0% (0名)

< 4 > あなたは、医薬品に関する相談をしたり、市販薬を購入したりするときに、健康サポート薬局を利用していますか。また、健康サポート薬局を利用したいと思いませんか。



(n=361 選択肢は1つのみ)

1 健康サポート薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う	2.5%	(9名)
2 健康サポート薬局を利用したことがあるが、今後は利用したいと思わない	1.7%	(6名)
3 健康サポート薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う	50.4%	(182名)
4 健康サポート薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない	15.0%	(54名)
5 分からない	30.5%	(110名)

無回答 0.0% (0名)

〔「1 健康サポート薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う」の理由〕

気軽に相談しやすい雰囲気や会話をしてくださるので利用しやすく利用したい。
かかりつけ専属薬剤師さんがいると、色々気にかけてくれるし、薬の内容が変わったりしたら聞かなくても薬剤師側から聞いてくれる。安心です。
たまたま通っていた薬局で紹介されて、信頼度が増したから。
自分で調べなくても調べてくれるから。飲み合わせていいかどうか分かりやすく教えてもらえる。

主治医より、話し易く過去の内服履歴を把握してくれている。

【「3 健康サポート薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う」の理由(抜粋)】

親、子供ともにアレルギー症状に悩まされているから、日々の薬をストックしたり薬を通じて体質改善したいから。

この制度についてはあまりよく知らなかったが、医療費の抑制につながる事なので、これからいろいろ情報を集め、実践してみたい。

薬や病気のことは、自分ではわからないしネットの情報も本当かわからないので、対面で話せるのは心強いから

医療機関に行かなくてすむ場合も出てくると思うから

薬について、飲み合わせなど詳しく教えてくれそうだから、利用してみたい。

そもそも存在を知りませんでした。

自分の使用している薬などで気軽に相談できるようなので、ぜひ相談してみたいと思いました。

お薬に頼らなくていいのであればそうしたいし、必要であれば専門家の指導を受けたい

病院の医師に相談するのはハードルが高いが、薬剤師さんは医師に比べると身近に感じられるので相談してみたいと思った。

病院に行くほどでもないときに、このような薬局があると気軽に行けるのでとても助かると思ったからです。

ネットの情報は何を信じて良いか分からないので専門家に相談したい

インターネットでなんでも調べることはできるが、薬の飲み合わせや、本当にその薬が適しているのか、間違えると予期せぬ副作用につながる恐れがあるので可能であれば専門家に相談したい。

仕事や子育てで忙しく、病院に行く時間が取りにくいので、ちょっとした不調のときに気軽に相談できる薬局があると助かります。ドラッグストアより専門的で、健康管理や市販薬の選び方も教えてもらえるなら安心です。生活に身近な場所として、今後ぜひ利用したいと思います。

病気をすると薬の数ばかり増え続け、病院を変えても薬はそのまま引き継がれ、年齢と体調と実際あっているのだろうか？と疑問に思うからです。

知識のない自分が勝手に薬を選ぶよりも、専門的な知識を持っている人に相談した方が安心だから。

かかりつけ薬局が医療機関の近隣に数カ所あるため、個人的により深く薬、またそれ以外のことも相談できる薬局があると知っていれば、現在かかっている医療機関の処方箋をひとつの健康サポート薬局に集約して取り扱ってほしいと思うから。

薬は飲み合わせで副作用などが心配だから。また、市販薬で治らない病気は病院に行っ

て処方してもらう判断材料になるから
専門家の意見を聞くことによって自分の中で納得できるものを使うことが出来るため
自分が服用する薬品の事については詳しく知っておきたいからです。
病気（薬）の面からではなく、生活面でも相談してみたいから。

〔「4 健康サポート薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない」の理由
(抜粋)〕

薬を利用する時は二つのパターンがあります。病院で処方してもらう場合と、ドラッグストアで購入する場合があります。前者は医師に相談でき、後者は薬剤師に相談できるので、困っていません。服用中にわからない事があっても、大抵の場合はインターネットによる検索で解決しています。
かかりつけ医に相談するほうが信頼性もあり、効率的だと思うため。
健康サポート薬局を利用したことはなく、今後も特に考えていません。理由は、どこが該当薬局か分かりにくく、過去に薬剤師に相談しても「医師に診てもらってください」と言われた経験からです。ただし、大手ドラッグストアが該当するなら利用するかもしれません。
健康サポート薬局という存在を知らず、またどこにあるのかさえ分かっていない現状において特に困った事もないので、今後も利用しないだろうなと思います。
薬剤師の知識経験がどの程度かわからないので、信頼性が不明
今、かかっている薬剤師の対応が冷たいからなるべく話したくない。人気のある薬局は処方箋作業だけで忙しそうだから。
調剤薬局はいつも混んでいて忙しそうなので、処方された薬のこと以外は聞きにくい、相談しにくい雰囲気があるため。
利用するメリットがよくわからないため。
めんどくさい。インターネットや取扱説明書等を読めば大丈夫だと思うから。
体調が悪い時に知らない人と話すのは疲れるから。
多くの情報がネットで検索できるため必要性を感じない。
健康サポート薬局などは、決められた基準に適合すれば認められる制度であるが、その適合された薬局が素晴らしいとは限らない。あくまで法的に決められた基準を満たされただけで、たとえば現状、処方箋を持って行く以外の目的で薬局を訪れることはほとんどない。

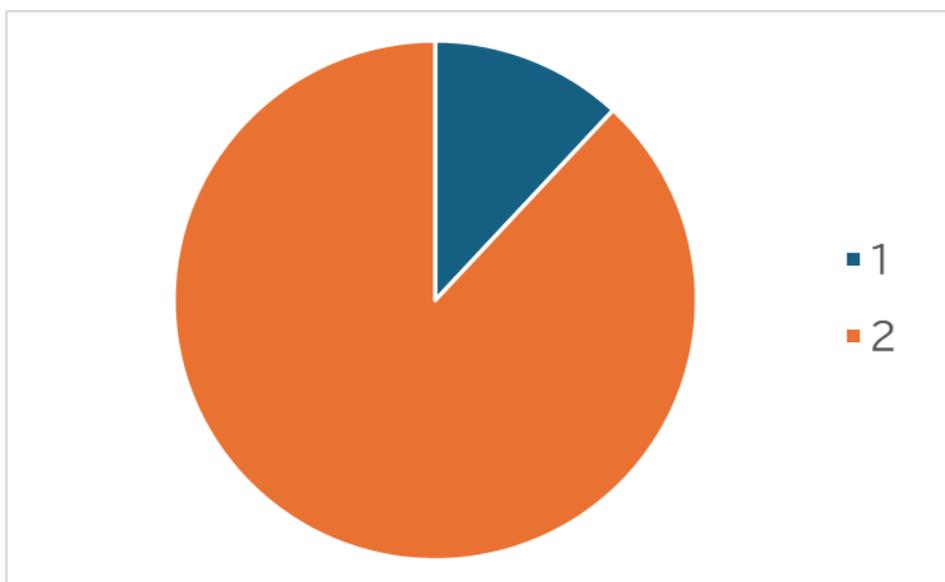
< 5 > あなたは、「地域連携薬局」という言葉を知っていますか。

※ 地域連携薬局とは

令和3年8月から始まった制度で、住み慣れた地域で医療や介護のサービスを切れ目なく利用できるようにするために、様々な医療関係者と連携を取り、地域・患者を支える薬局のこと。

地域連携薬局は、病院の入院時・退院時における情報連携をしたり、在宅医療で地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応したりすることができる薬局として、県による認定を受けている。

令和5年3月末時点で、福岡県内に119の地域連携薬局がある。

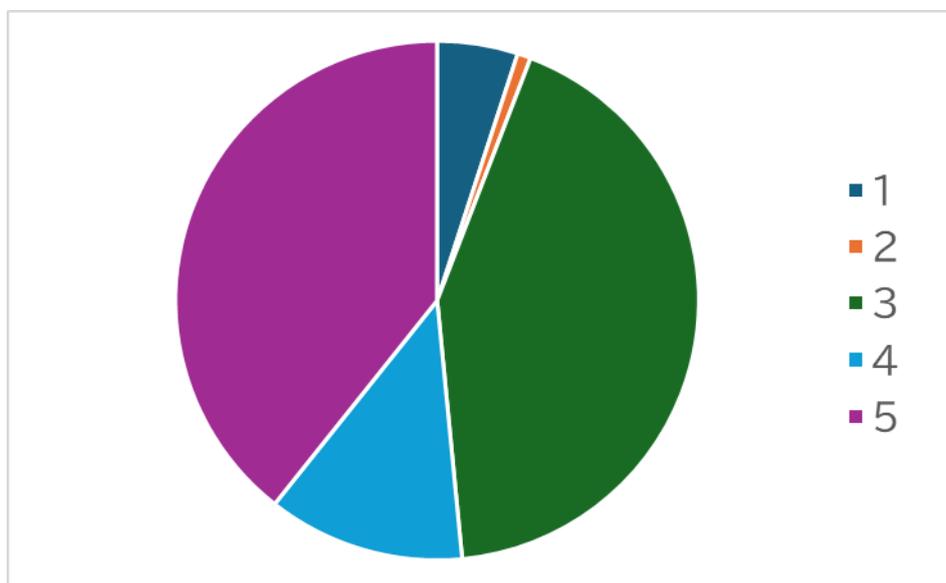


(n=361 選択肢は1つのみ)

1 知っている	11.9%	(43名)
2 知らない	88.1%	(318名)

無回答 0.0% (0名)

< 6 > あなたは、医薬品に関する相談をしたり、市販薬を購入したりするときに、地域連携薬局を利用していますか。また、地域連携薬局を利用したいと思いますか。



(n=361 選択肢は1つのみ)

1 地域連携薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う	5.0%	(18名)
2 地域連携薬局を利用したことがあるが、今後は利用したいと思わない	0.8%	(3名)
3 地域連携薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う	42.7%	(154名)
4 地域連携薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない	12.2%	(44名)
5 分からない	39.3%	(142名)

無回答 0.0% (0名)

〔「1 地域連携薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う」の理由 (抜粋)〕

入退院をはさんだ場合でも安心して服用できたり、電話して相談したりもしやすいため。
安心できる
体調等に応じて使う薬をこまめに見直したいので利用したい。
薬局に処方された薬がなかった時、家まで無料で配達してもらったことがあり、とてもありがたかった。
医療をする上で、効率よく便利だと思うから。

〔「3 地域連携薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う」の理由（抜粋）〕

<p>身近なところで相談に応じてくれるところであれば、心強いし移動の負担も減るから、利用してみたい。</p>
<p>一元的・継続的に対応することが可能であれば利用したいと思うから。 薬の飲み合わせなどオーバードースにならないようにアドバイスも含めて連携していくのであれば各病院、薬局に個別に聞かなくていいので助かると思いました。</p>
<p>医療機関が違って情報が一元化されていると薬の情報が共有できて、併用に気をつけなければいけない薬などの管理が容易になると思うから。</p>
<p>服用量や頻度などの情報など自分で調べた情報だけでなく専門的知識を持っている人にも確認したいため。</p>
<p>病院や他の薬局と情報を共有してもらえるから。 複数の病院にかかっているので、薬の重複や飲み合わせをしっかりと管理してもらえるのが安心。 退院後や在宅療養のときもサポートが受けられるから。 地域全体で自分の健康を支えてもらえるから。 病院・薬局・介護施設などが連携していることで、切れ目のないサポートを受けられると思う。緊急時や休日にも対応してもらえる安心感があるから。</p>
<p>知識のある方のアドバイスを聞きたいから。</p>
<p>様々な医療関係者と薬局が連携してくれれば住み慣れた地域で安心して過ごし続けられやすいから</p>
<p>地域連携薬局は、病院や診療所と情報共有ができるため、安心して薬を受け取れると思います。自分の薬の履歴や健康状態を一元的に管理してもらえることで、飲み合わせの心配も減り、より安全に治療を続けられると感じます。</p>
<p>入院等で通常受診やかかりつけの病院が異なる場合、薬状は素人にはわからず、自分で報告や相談するには不安があるから。</p>
<p>わからないことを、気軽に尋ねやすい薬局があるなら、是非利用してみたい</p>
<p>一元的、継続的に対応してもらえる点が安心できるから。</p>
<p>自分の病歴を理解してアドバイスしてくれる存在は貴重だと思う。</p>

〔「4 地域連携薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない」の理由 (抜粋)〕

あまり必要性を感じないから
病気は病院で判断してもらうのがベストで他の人のアドバイスは危険だと思う。
健康サポート薬局と同様に地域連携薬局という存在を知らず、またどこにあるのかさえ分かっていない現状において特に困った事もないので、今後も利用しないだろうなと思います。
40代でインターネットを使える年齢であれば人に相談せずとも調べて自己解決できるため
処方せんで薬を頂き薬局で聞いてます
地域連携薬局の役割がよく理解できない
地域連携薬局を調べたが、家からかなり距離があるので行かないと思う
調剤薬局はいつも混んでいて忙しそうなので、処方された薬のこと以外は聞きにくい、相談しにくい雰囲気があるため。
元々、普通のシルバーの方に比べれば医者にかかる頻度が少ないと思うし、地域連携薬局の必要性が理解出来ないくらいです。
薬に関しての知識は調べれば十分な情報が得られると考えているため
かかりつけ医がいるため、相談事は医師に行くため。
あまり身近に感じないから。

<7> セルフメディケーションについて、これまでの設問以外に意見はありますか。

[意見（抜粋）]

- ・セルフメディケーションについて相談できるところが、身近であれば良いと思う。
- ・緊急でない場合に、自分でとか、健康サポート薬局や地域連携薬局を利用することで、うまく対応できるようになれば医療費も安くできると思うので、是非推進して欲しい。
- ・この多忙な現代社会では、セルフメディケーションができる余裕のない人が多いのではないのでしょうか。
- ・市販薬を服用したあとに医者にかかる際は、その市販薬も持って診察に行った方がよいと感じました。
- ・特にありません。ですが、今回の設問で、「健康サポート薬局」や「地域連携薬局」の存在を知ることが出来ました。ありがとうございます。
- ・自身の健康については自身で責任をもつという意見は大事であるがすべての人が現在の医療環境や福祉環境、政策、自身の体の事を理解している訳ではないので周囲がしっかりサポートし情報を提供したうえで本人に選択してもらう事が理想ではあるが現在はそれを取りまとめる機関が存在しないため各種機関を取りまとめコーディネートする機関、部署があれば良いと思う。
- ・最近田舎に住んでおり、徒歩圏内に薬局はない。薬局に行くにはJRかバスになる。利用しようと思っても時間も金もかかる。田舎の住人には困難なことだ。
- ・自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てするセルフメディケーションは医療費抑制の為に非常に重要だと思います。その為に日頃から健康を意識して軽度な身体の不調には市販薬を使用して健康の維持や疾病の予防・改善を心がける事も大事だと思います。だからこそ、健康サポート薬局や地域連携薬局の存在をもっと県民に知らせないと意味がないと思います。そして、自分たちの身近なところに存在していないと意味がないので薬局の数も増やす必要があると思います。
- ・最近ネットでたくさんの情報が拾えるので、それを探しつつ自分に合いそうな情報を得て活用している。調剤薬局の人は処方の際にアドバイスをしてくれるが、通り一遍な内容なので、あまり役に立つ気がしない。
- ・健康サポート薬局・地域連携薬局とも存じ上げていますが、現行利用者寄りの制度運営ではなく薬局にとっての合法的点数加算制度になっていると思われれます。なかなか利用者として一歩踏み出すには躊躇われます。
- ・たとえ持病を持っていなかったとしても、安易に市販薬を飲もうとは思わないので、健康サポート薬局や地域連携薬局は活用してみたい。
私の場合は感染症にかかったとしても、食事に気をつけ、身体を温め、しっかり睡眠を取ればすぐ治るのであまり気にしていなかったが市販薬であろうが自己判断で服用することは少なからずリスクがあると思うので少し抵抗がある。

- ・まわりでは、軽い症状でもすぐに医療機関にかかる人が多く、セルフメディケーションはあまり浸透していないと感じる。医者にかかった方が安心する気持ちもわかるが、一方で病院に行ったから安心して医療に任せきりになり、自分で生活を改善したり、軽症のうちにセルフケアするということが実践されていないように思う。医療費の抑制のためにも、自分自身の健康にもっと目を向けるべきだと思う。
- ・今回なんとなくしか知らなかったことを詳しく知れて、今まで知識不足を痛感したのもっと学んでいきたいし、周りにも教えたいと思いました。
- ・軽度な身体の不調は自分で手当てすること その通りだと思うし自分でもそうありたいと実行している。健康管理に気をつけているだけで、ウォーキングやジムで筋トレをしているのですが。風邪薬や湿布は市販薬で済むよう日頃から早めに休養することも最近では気をつけている。
高齢者の話しを聞くことが多いが、みなさん自分の健康や病状を医者に頼り過ぎていると思う。医者は定期的に来て欲しいから大量の薬を処方しているを目の当たりにしやり切れない思いもある。
- ・もっと気軽に薬剤師や、医師に相談できる制度や、場所が必要だと思います。
- ・言葉自体はよく聞けるが、結局は中々自分ではしない、出来ない。また、やはり病院信仰の様なものがあり、セルフメディケーションが広がりにくく感じる。
- ・自分の健康は自分が責任をもって管理するということは、大切なこと。多くの人がある概念を理解して、自己管理に努めることで、健康生活が伸び、医療費の負担も軽減すると思います。是非、PRして欲しい。
- ・セルフメディケーションは、軽度な身体の不調を軽度なうちに自分で治すと理解した。私が過去に学んだ中医学(東洋医学)では、『未病(みびょう)』(健康な状態と病気になった状態の間の段階)のうちに、食事療法や漢方、鍼灸を処方することによって、健康な状態に戻すという考え方がある。特に、医食同源と言うように、食事の大切さが東洋医学では薬膳などで発展している。日本人でもあるので、もっと東洋医学的な治験も活用すると良いのではと思う。
- ・医療機関で処方される薬品でもあまり服用したくないのですが、年齢と共にそうは言われてられなくなってきました。できるだけ服用薬が減らせるようなアドバイスをもらえるような薬剤師さんと出会えたらいいなと思います。
- ・セルフメディケーションについても、地域差があると思う。
結局、大きな市では市民体育館も充実しており、様々な講義や活動もあつたりするが、田舎になるとそういったことも少ない印象。
- ・高齢化により、医療費も増大しています。健康寿命を延ばすためにセルフメディケーションの考え方を広め、さらに推進していく必要があると思っています。
- ・これからの高齢化社会に対応できるように、いろんな取り組みをすることは大事なので、社会全体にもっと広まればよいと思います。

令和7年度県政モニターアンケート 調査結果報告書

「こども施策について」

福岡県福祉労働部
こども未来課

1. 調査目的

国において令和5年4月から「こども家庭庁」が発足し、こどもの最善の利益を第一に考え、こども政策を強力に進めていくため、こども基本法（※）が施行されました。

福岡県においても、こどもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中、令和5年4月から新たに「こども未来課」を新設し、こども施策を総合的に推進しています。

県として、全てのこどもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組んでいくことは、県政における最優先の課題の一つであると考えております。

そのために、県民の皆様のごども施策等に関する御意見をお聞かせいただき、今後のこども施策の推進の参考にさせていただきます。

※ こども基本法とは

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。

同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

2. 調査時期

令和7年10月10日～令和7年11月3日（第4回）

3. 回答者の構成

項目	総数	性別			年代別					
		女性	男性	その他	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	361	186	172	3	51	59	76	62	76	37
構成比	100.0%	51.5%	47.6%	0.8%	14.1%	16.3%	21.1%	17.2%	21.1%	10.2%

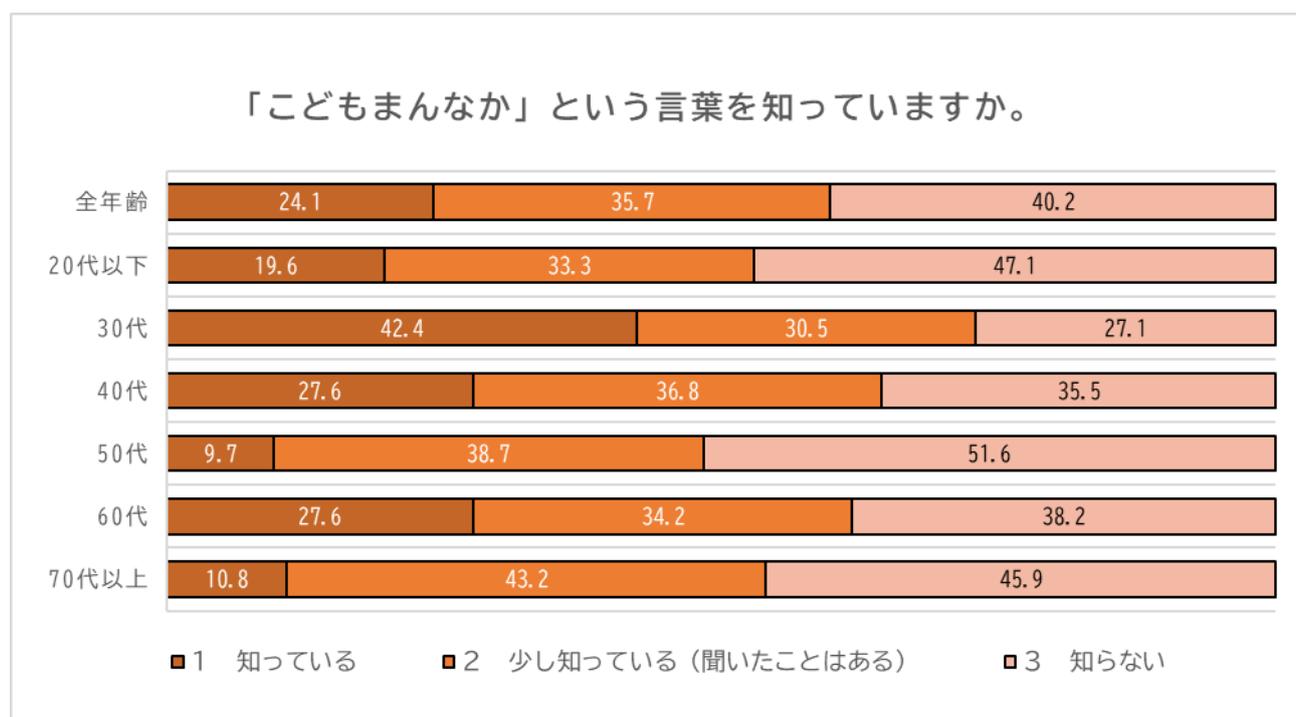
※各選択肢の構成比は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

4. 回答結果

問1 あなたは、「こどもまんなか」という言葉を知っていますか。
次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	回答数	回答率	(参考) 過去結果	
			R6	R5
1 知っている	87	24.1%	21.4%	16.7%
2 少し知っている (聞いたことはある)	129	35.7%	32.9%	33.6%
3 知らない	145	40.2%	45.8%	49.7%
	361	100.0%	100.0%	100.0%

回答	全年齢	年代別					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	87	10	25	21	6	21	4
2 少し知っている (聞いたことはある)	129	17	18	28	24	26	16
3 知らない	145	24	16	27	32	29	17
計	361	51	59	76	62	76	37

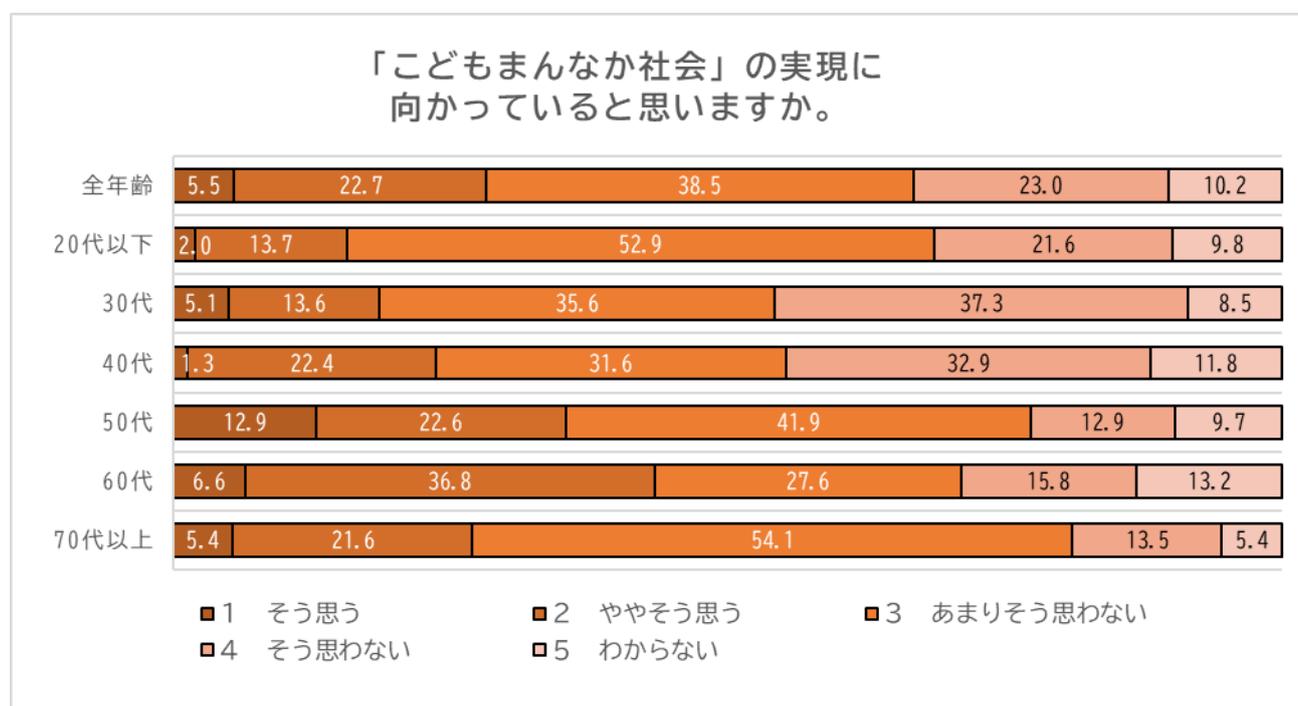


※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問2 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思いますか。次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	回答数	回答率
1 そう思う	20	5.5%
2 ややそう思う	82	22.7%
3 あまりそう思わない	139	38.5%
4 そう思わない	83	23.0%
5 わからない	37	10.2%
計	361	100.0%

回答	全年齢	年代別					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 そう思う	20	1	3	1	8	5	2
2 ややそう思う	82	7	8	17	14	28	8
3 あまりそう思わない	139	27	21	24	26	21	20
4 そう思わない	83	11	22	25	8	12	5
5 わからない	37	5	5	9	6	10	2
計	361	51	59	76	62	76	37



※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問3 「こどもまんなか社会」の実現には、わが国も1994年に批准している「児童の権利条約（こどもの権利条約）」の考え方がとても大切です。

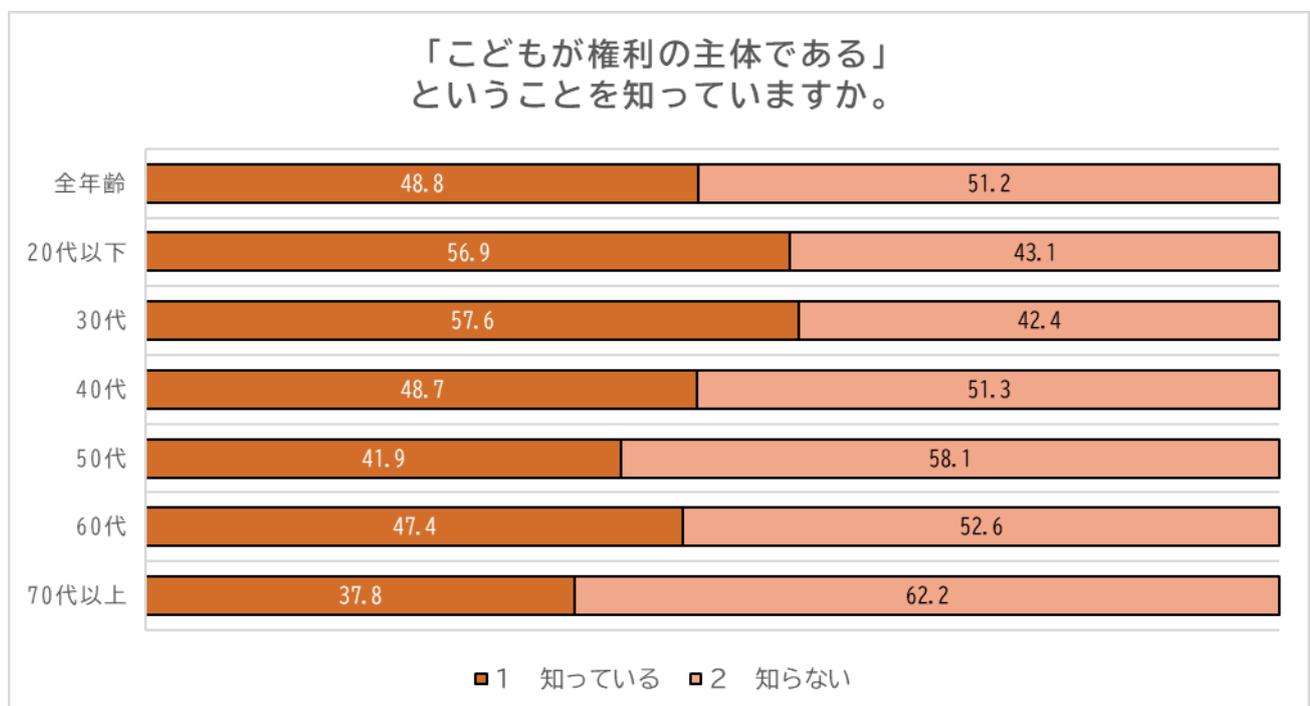
この条約では、18歳未満の児童（こども）を権利を持つ主体と位置づけ、大人と同様、ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要なこどもならではの権利も定めています。

あなたは「こどもが権利の主体である」ということを知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	回答数	回答率	(参考) R6 結果
1 知っている	176	48.8%	46.0%
2 知らない	185	51.2%	54.0%
計	361	100.0%	100.0%

回答	全年齢	年代別					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	176	29	34	37	26	36	14
2 知らない	185	22	25	39	36	40	23
計	361	51	59	76	62	76	37



※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

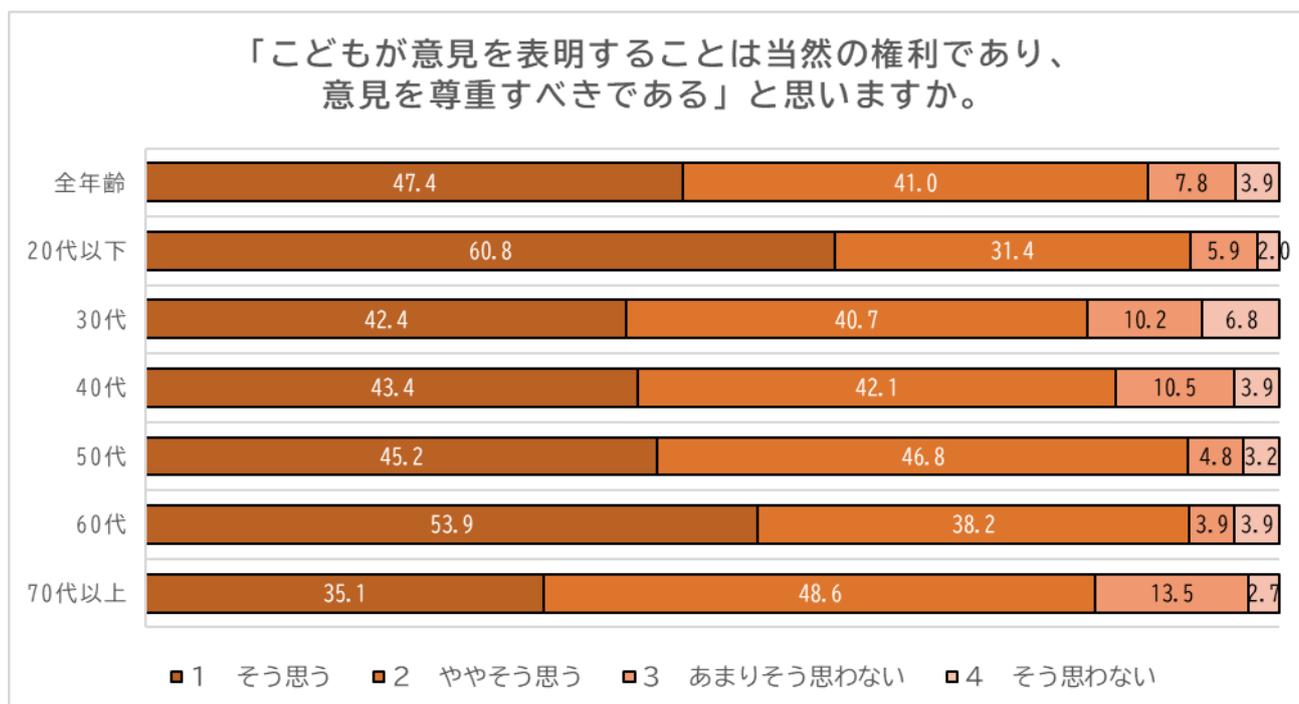
問4 こども基本法の制定により、「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こどもの意見を聴きながらこども施策を進めていくことになりました。

あなたは「こどもが意見を表明することは当然の権利であり、意見を尊重すべきである」と思いますか。

次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	回答数	回答率	(参考) R6 結果
1 そう思う	171	47.4%	55.1%
2 ややそう思う	148	41.0%	37.3%
3 あまりそう思わない	28	7.8%	5.8%
4 そう思わない	14	3.9%	1.9%
計	361	100.0%	100.0%

	全年齢	年代別					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 そう思う	171	31	25	33	28	41	13
2 ややそう思う	148	16	24	32	29	29	18
3 あまりそう思わない	28	3	6	8	3	3	5
4 そう思わない	14	1	4	3	2	3	1
計	361	51	59	76	62	76	37

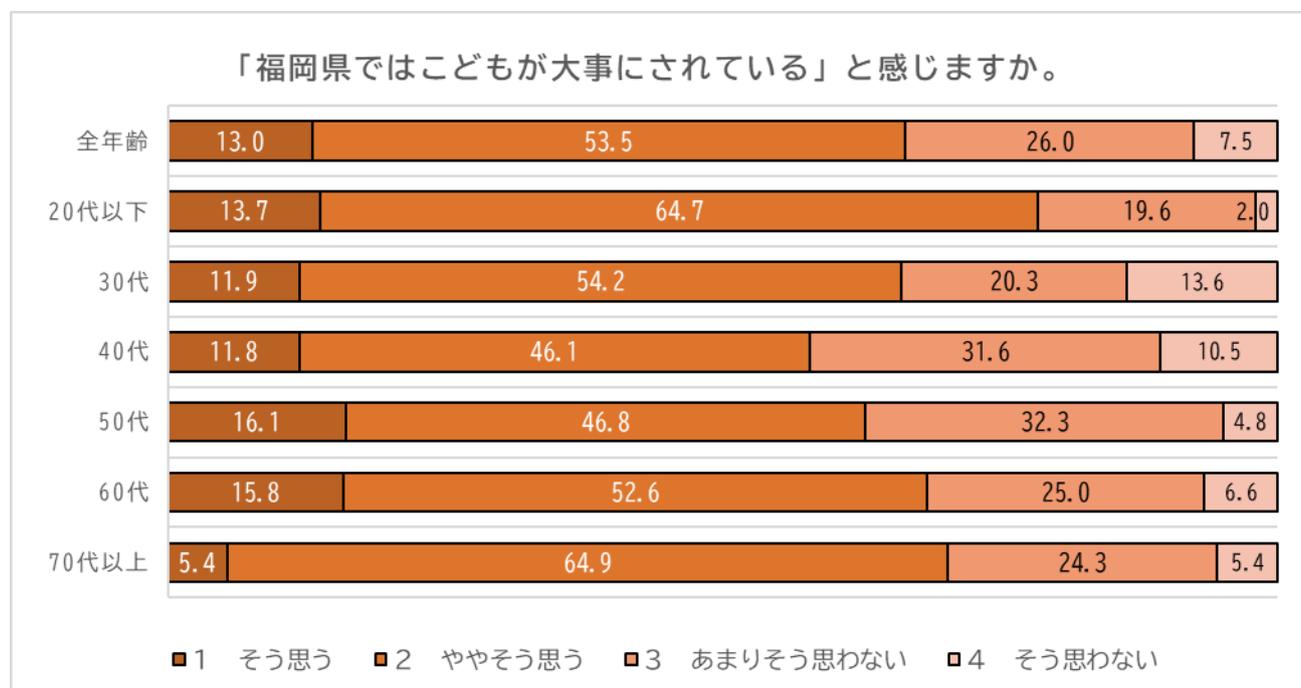


※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問5 あなたは、「福岡県では子どもが大事にされている」と感じますか。次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	回答数	回答率	(参考) R6 結果
			R6
1 そう思う	47	13.0%	21.1%
2 ややそう思う	193	53.5%	49.9%
3 あまりそう思わない	94	26.0%	25.5%
4 そう思わない	27	7.5%	3.6%
	361	100.0%	100.0%

回答	全年齢	年代別					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 そう思う	47	7	7	9	10	12	2
2 ややそう思う	193	33	32	35	29	40	24
3 あまりそう思わない	94	10	12	24	20	19	9
4 そう思わない	27	1	8	8	3	5	2
計	361	51	59	76	62	76	37



※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問6 こども施策について、これまでの設問以外に意見はありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

No	意見	性別	年代
1	経済的理由で子どもを産みたいのに産めない若者に助成すべき。	男性	30代
2	このまま少子化が進むことは、今の子供たちの将来にとっても不幸なことだと思う。少子化に歯止めをかけることは甚だ困難なこととは思いますが、せめて今の子供たちには自分の力で生き抜く術や、自分で幸せをつかむ力をつけさせてやりたい。	男性	60代
3	福岡県内のある自治体は、子供関係予算や教育予算を削っているため、こどもまんなかとは思えないので、福岡県も同様という認識。	男性	30代
4	今はまだ、こどもはやはり親の裁量や事情によりできないことを選択肢の線引きが多くあると感じており、「弱い立場」であるとも感じます。こどもの意見を吸い上げる場をもっと多く設けたり、こどもを育てる「親を育てる」という意味ではもっと知識の面、教育の面、生活の面でもサポートが必要なように感じます。	女性	20代以下
5	普段子供と接しているかで回答が変わる要素が多く、普段子供と接するかどうかの質問もするべきでは？ 私自身子供と接することが少ないため、こどもまんなかの意識は持ったことがないし、意識したことがない。	男性	20代以下
6	私は夫と短時間ですが以前里親ショートステイを請け負いましたが、子供達が普通に幸せに生きて生活させてあげたい様工夫しました。ショートステイなりに効果ありましたが、本人の生きて来た傾向は中々変わらないので、里子支援の充実と又実子の子育て充実と色々こども未来課に伺いたいです。後そもそもこども未来課が何をしているか認識不足ですので、県だよりやマスメディアで特集して教えて下さると有り難い限りです。	女性	40代
7	5歳と1歳の子どもを育てながら、保育士として働いています。少しずつ子育て支援は充実してきているのかなとは感じています。 ただ、『こどもまんなか』かと聞かれると、母としても保育士としてもあまり実感する機会がありません。 もっと子どもの居場所づくり、保育や教育の多様化、オルタナティブスクールや私立学校への助成金など、子どもが楽しく安心出来る環境作りや、お金や住む場所に関係なく希望できる選択肢が増えるといいなと思います。	女性	30代
8	大事なことだと思うが、やり過ぎる必要はないと思う。あくまで子どもの意見として参考にすべき。	男性	50代
9	もっと、こどもに優しい県にしてほしい。	女性	20代以下
10	子供のネット依存や携帯依存が社会問題化され、これら依存解消のため代わりになる施策が考えられているのでしょうか。外に出れば交通事故、家では携帯ばかり。禁止に替わる「何か」が必要と思うのですが・・・	男性	70代以上

No	意見	性別	年代
11	子供の待遇はよい。	女性	60代
12	福岡県に限ったことではありませんが、インターネットでは「児童相談所が機能していない。むしろ酷い対応をされた」などの声が溢れかえっています。それが事実なのかどうか調査するべきだと思います。	女性	20代以下
13	自身の子どものころに比べたら、県内でかなり大事にされていると思います。 メディアで子どもたちがいきいきと過ごしているのは、未来と希望を感じます。 親支援にもなっていると思います。	女性	50代
14	税金の無駄使いになっていなければよいと思います。	男性	40代
15	こども政策があることはとてもいいことだと思います。 私自身妊活をしており、今は子供がいませんが、今後出来たら嬉しいなと思います。 しかし、子供が出来た時のサポートや補助金がもう少しあれば嬉しいなと思います。 例えば「ベビーベッド」や「ベビーカー」など赤ちゃんや子供が小さい時までしか使わないものを県がレンタルしてくれるなどのサービスがあれば良いなと思いました。	男性	30代
16	児童手当の金額を上げてください。	男性	30代
17	報道などで子どもの虐待や性被害などを目や耳にすることが時折ありこれは氷山の一角であると思う。また、家庭や教師による子どもへの加害も最近聞く。子どもたちはそれが「いけない事だと分からない」「いけない事だけど誰にも言えない」という事があるとも聞くため子どもたちが訴えたいことをしっかり聞くしくみ（電話、SNS等）を整え24時間体制で対応できれば良いと思う。 ただ、子どもたちの意見を無条件に聞くのではなく社会の一員として教え守るべき事、協力してもらう事などについてはしっかり教育していかなければならないと思う。 そのための仕組みづくりをしっかりとこなっていく必要があると思う。	男性	50代
18	言葉ばかりが先行し、何か成果はあがっているのでしょうか。公園では危険だという理由で過剰に遊具が規制され、近隣の苦情によりボール遊びも出来なければ大きな声で遊ぶこともできません。怪我をするから迷惑だからと規制をした結果、子どもたちの身体能力や考える力は著しく低下しているように感じます。地域が本当の意味で子どもたちを見守り、怪我を恐れず考えて遊ぶ子育てが必要ではないのでしょうか。文面だけでなく社会の流れを変える必要があると思います。	女性	40代
19	今の政権ではこども家庭庁は方向性が変わってくるのではないかと思います。 時流を適切に読んでほしい。 また子育て世代だけでなくこれから結婚を考える若者にサポートを検討してほしい。	男性	40代

No	意見	性別	年代
20	あまり過保護にならないようにしてほしい。子供の意見というより保護者のわがままには規制をする必要があると思う（基準を明確にしたうえで）	男性	60代
21	子供が親と一緒に時間を過ごせる環境を整えてあげてほしいです。共働きを当たり前にして納税を増やす目的なのはわかるが、0歳の子供が朝から晩まで保育園で過ごすことは子供の精神発育に問題が出てきそうな気がします。子育てまで欧米化してしまっただけでは日本の心を持った子供が減ってしまいそうです。	女性	30代
22	政治は高齢者や選挙権をもつ人の方を向いて動いていると思う事が多いので、こどもの将来に期待できる世の中になってほしい。	男性	40代
23	以前住んでいた自治体の方が、子どもに対する福祉や色々な事が優しいと感ずる。	女性	30代
24	安易に子供を作らないでほしい。できちゃったから産むとかではなく、それなりに覚悟を持って産んでほしい。こども施策については、親の教育が第一だと思う。	女性	60代
25	なんでも税金を使えばいい訳じゃない。私の地域の市町はこどもの遊び場を作ったが利便性も悪く、私は税金の無駄遣いだと思う。	女性	40代
26	こどもを大事にしたいという理念は大切なことだが、この数十年間、程度の差はあれ出生率の向上に対しては関心はあったが、結果は伴っていない。数十年の結果が伴わなかったこと、先進国での人口減が進んでいることから、生まれる数ではなく生まれてきた子供の人間の力を向上させるような質の方に目を向けた方が良いと感じる。	男性	50代
27	報道などで見聞きするだけなので、実際どうなのかは分からないけれど『こどもが権利の主体』と、親の養育義務・権限のバランスが難しそうですね。けれども最低限、貧困によるこどもの不幸は、行政のチカラで何とかなるものかと思えます。こども食堂に補助金出さずとか、生活環境を整えるための金銭ではなく物品にするとか。	女性	60代
28	子どもたちが多くの時間を過ごすのは学校であり、学校が子どもを中心とした教育活動を行うことが出来なければ、子どもたちが権利の主体という意識を持たせる事は難しいと思う。厳しい校則、生徒指導、押しつけで教師主導の学校行事などを、子どもの意見を取り入れ、子どもたちが主体の教育活動を作り上げていくことが大切であると思う。学校の意識改革が必要である。	男性	60代
29	国や県はいろいろなことを計画、実施しているが一番残念に思っていることは子どもたちがスマホ漬けになっていることである。外国では禁止しているところもあるが日本は放置している。最優先に対応すべきことだと思う。健康上、脳力など心配なことが多すぎる。	男性	70代以上

No	意見	性別	年代
30	こども政策推進会議も必要だが人口減少は自然現象なのでそればかりに特化しなくてもよいと思う。	女性	60代
31	子供には手厚い支援が必要である。	男性	40代
32	保育園問題があると思う。	女性	60代
33	子供自身には関係のないことなので、子供に関係する施策で所得制限等はなくしてほしい。不平等と感じる。	男性	50代
34	児童相談所に、相応の権限を付与し、また、他の、行政機関、警察機関も協力できる組織的な仕組みを整える。 これだけ取り組んでいるにもかかわらず、ネグレクトを含む子供への虐待が後を絶たないのは、子育て世帯への経済的、人的サポートが機能していないのでしょうか。	男性	60代
35	少子化対策をして欲しい。	その他	50代
36	子供は、まだ十分な判断力、思考力、実行力がない。周りの大人がサポートしなければならない。例えば、SNSの問題。長時間、有害情報にさらされ、子供が間違っただけで思考に走ることがないように、福岡も1日2時間までという県条例を設けるべき。	女性	60代
37	子供の人権を守ることは勿論大事ですが、まずは大人が手本となる世の中にならないといけないと思います。	男性	50代
38	福岡に限らず、全国的な子供に対しての政策で、過保護かなと思う部分もある。 子供の意見を尊重することは大事だが、全ての意見を実現させるという意味ではないと思う。	男性	50代
39	子育て世代の声が国に全く届いていないと感じる。	女性	30代
40	ある都道府県では、田舎の中学校は坊主など、こどもの人権が守られていないと感じるので、特に福岡県が筆頭となり、九州全県に見本をみせて、徹底させて欲しい。	男性	50代
41	親の収入によって子どもが受けられるサービスに差がある現状は、「こどもまんなか社会」とは言えません。 すべての子どもに等しく機会が与えられるべきであり、親の所得に関係なく教育や体験の支援などが公平に受けられる仕組みが必要です。 一見すると「高所得者にも支援するのは不平等」と思われるかもしれませんが、中・高所得層に子育て負担が集中すると、可処分所得が減り、結果的に社会全体の消費や経済循環が滞る恐れがあります。 巡り巡って若年層、子育て世帯の賃金停滞や結婚・出産の減少にもつながっていると感じます。だからこそ、子育て支援はすべての層に開かれた制度であるべきです。	男性	30代

No	意見	性別	年代
42	<p>こども施策を重要視すると結果的に、子どもを持つ親を優遇するような状況に陥って「子持ち様」と揶揄するような社会の分断に繋がっているように感じています。子どもを特別視や優遇といった印象を拭かないと、いくら施策をやっても社会全体で育てるという空気の醸成は出来ないと思います。そして分断が広がり続けると思います。</p> <p>また、こどもを大事にすることと子どもの好き勝手自由に何でも許されるのは全然違うと思うので、しっかりと社会のルールの中ですら我儘ではない意見を聴くようにしていくことも重要だと思います。</p>	男性	30代
43	<p>子供施策は是非やって欲しい。子供は成長して直接関わっていないが孫の世代に是非明るい社会にして欲しい。</p>	男性	60代
44	<p>今更、少子化を止めることは無理。 子供を産むことができる世代が少なくなるのだから。</p>	男性	50代
45	<p>こどもに権利はあるが、それを親が理解できる環境にないと考える。</p>	男性	50代
46	<p>こどもまんなか、というのが行政の施策だけでなく地域や住民にも浸透していくといいなと思います。</p>	女性	30代
47	<p>子ども自身の意見が聞かれているという実感はあまりない。子どもの遊び場を提供したり、地域で子どもを守っていく、という施策としてどんなことがなされているかを理解したい。</p>	男性	40代
48	<p>助成金や保育料の低減、保育園を増やすなど現実的な施策をしてほしい</p>	男性	30代
49	<p>問5の「福岡県ではこどもが大事にされている」という文を読んで思うが、県がこどもを大事にする以前に、家庭がこどもを大事に出来るかが重要。家庭環境の格差がこどもにとっては大きく埋めがたい。</p>	女性	50代
50	<p>福岡県だけでなく全国的に子どもへの配慮が手厚いと感じます。私の子育て時にもこれくらいの手厚さがあつたらもう少し楽しく子育てができたのかなと感じます。</p>	女性	50代
51	<p>こどもに対する施策は年々手厚くなっていると思う。十分だと思う。</p>	女性	50代
52	<p>今の教育だと成績だとかが漠然としか分からず、競争のない授業に思えます。 以前のように自身の立ち位置が解かり目標に向かって頑張る姿勢が感じられません。成績に応じて、救い上げる教育と成績優秀者にも一段上の目標を目指せる教育が必要では。</p>	男性	70代以上
53	<p>こどもが自ら意見表明することは当然のことです。と同時に、こども自ら意見表明・意思表示をすることができる子たちがどれくらいいるのでしょうか。</p>	男性	70代以上

No	意見	性別	年代
54	充分政策もされてはいますが、もっと子育てしやすい世の中になってほしいです。今現在、2人子供がいますが、経済(物価高)などの関係で3人目に踏み出せません。	女性	30代
55	子供手当を引き上げるとか、高校大学の費用を完全無償化するとか、子供を産んだら一人につき500万とか、そういうことをやった方がよっぽどいいと思います。	男性	40代
56	数年前までは、他県に比べてこどもや、教育への施策が少なく感じていたが徐々に良くなった感じがする。	男性	40代
57	子供はまだ、精神が未熟なので意見を尊重させすぎるのは危険だとおもう。	女性	40代
58	子どもにも大人と同様の権利を唱えるのは良いが、まずそれをするための正しい教育がなされなければいけないと思う。 「こどもまんなか」で今一番欠けているのは、自分でやりたいと思ったときに行動できるサポート面。 例えば、経済面でもそうだが、治安悪化からくる安全面の問題もだし、間違った歴史観や教育も普通になされているのでそこを訂正し、日本の子どもたちが日本人として誇りを持って育ていけるような環境を作っていくことがまず必要と思う。	女性	30代
59	子どもがいないので、全く知りませんでした。地下鉄やバスの広告を使ってはいかがでしょう。大人も見ます。	女性	50代
60	子供が大事にされていないと思うわけではないが、特に大事にされているとも感じない。具体的にどのような施策が行われているのでしょうか。ただ、昨今は物価高等により大人ですら生きることにも苦労しているので、大人たちは自分を守ることで精一杯で(他人の)子供にまで考えが及ばないように思う。	女性	40代
61	辛い思いをしている子どもがいなくなり、心から笑って欲しいと思います。そのために周りの大人も協力し理解していくことが大切だと思います。	女性	40代
62	各家庭の事情や経済格差があるので教育費全般では難しいと思うが、せめて給食費の無償化は国や自治体の施策として取り組んで欲しい。私立と公立で給食費に差がある場合は、平等性を確保するため、私立に対しては公立と同額の給食費支援とするなど、現実的な支援策を実現して欲しい。	男性	60代
63	これまでの取り組みや成果、今後の取り組みについて広報をもっとすべきと思います。	男性	70代以上
64	一人暮らしの高齢者などがこどもを嫌がる傾向があります。バスの中で感じます。	女性	70代以上
65	人口構成として高齢者が多いため、選挙対策として高齢者向けの施策が多く、子ども向けの福祉などは高齢者に比べて充実していないように感じる。	男性	30代

No	意見	性別	年代
66	<p>父親として、福岡県は子どもを大事にしてくれているなど感じる場面が多いです。週末に家族で出かけると、公園や体験イベント、図書館の読み聞かせなど、親子で楽しめる場が本当に増えました。行政や地域が「子どもと一緒に楽しむ」「子どもの声を聞こう」としてくれている雰囲気も感じますし、そういう空気があるのはありがたいです。</p> <p>ただ、実際に子育てをしていると、まだ“つながり”の部分で困ることもあります。たとえば、保育園の先生から相談をすすめられても、次の窓口が別の場所だったり、書類や予約が必要だったりして、たらい回しのようにになってしまうことも。忙しい共働き家庭にとっては、そうした小さな手間の積み重ねがけっこう大きいです。どこに相談したらいいかわからないとき、「ここに聞けば大丈夫」という窓口が一つあるだけで、親の安心感はぐっと違うと思います。</p> <p>また、子どもたちが自分の意見を話せる場がもっと増えたらいいなと思います。学校の授業や行事だけでなく、「こんなまちになったらいいね」と話せるような地域の場があれば、子どもたち自身が“社会の一員”として関わられるし、自信にもつながると思います。こどもまんなか、という言葉の通り、制度の中心に子どもがいるのはもちろんですが、家庭や地域の中でも「子どもを真ん中に置いて考える」意識が自然に広がっていくといいなと感じます。父親としても、子どもが安心して育ち、親が気軽に相談できる福岡であってほしいです。</p>	男性	40代
67	<p>現在、家族や県内の親族には子供はいません。 将来、孫などから子供が生まれた時に考えます。</p>	男性	70代以上
68	<p>「こどもまんなか社会」という言葉を初めて聞きました。子ども権利条約との関係も含めた説明を聞きたいと思いました。また、外国での子供をめぐる社会状況との比較も知りたいと思いました。</p>	男性	50代
69	<p>いずれ子供たちが時代を支えて作っていくわけです。そのこども達が間違っただ大人にならないよう、「こどもまんなか」を「こども中心」と履き違えのない施策を進めてほしいです。</p>	女性	40代
70	<p>福岡県は子どもや子どものいる家庭に対して、かなり手厚いと感じます。このままそういった家庭に優しい地域であってほしいと思います。</p>	女性	20代以下
71	<p>少子化が進んでいるなかで、子どもの社会的存在価値の変化に合わせた施策のあり方。</p>	男性	70代以上
72	<p>各市での子どもの出来る体験が異なるのは生活環境によって異なるので仕方ないことだとは思いますが、公費での助成が大きく違ってくる（直近で言うと給食費の無償化など）のは親の負担、しいては子どもへも影響するのではないかと思う。</p>	女性	30代
73	<p>高校の授業料が無料になったりして高校も義務教育化しつつあると思う。家庭の環境に左右されずに子供たちが等しく、必要な教育が受けられることを望む。</p>	女性	60代

No	意見	性別	年代
74	社会として子供第一で支えていく意見には賛同するが、ミクロな視点では、子供がいない世帯からすると負担が大きくなるだけで利益がありません。 まずは親が最も負担をすべきと考えますので、所得だけではなく、子供の有無で子供にかかるコストの負担配分を考えていただきたい。	男性	30代
75	こどもを権利の主体にとらえることは当然大事だが、子供の生活環境（収入、家族構成など）についても目を向けて、全体をとらえたいうえで使える施策を策定し進めてほしい。	男性	30代
76	行き過ぎた過保護に繋がる事も懸念される。	女性	60代
77	こどもを大事に周りの社会も一緒になって見守って行くことには賛成しますが、過剰になりすぎて、こどもたちがその社会の通念に”あぐらをかく”ような事態にならないようにしてほしいです。具体的な例は挙げにくいですが、一方でこどもたちによる青少年犯罪が増加しているのが現実です。多少の不自由さは残したうえで、こどもの成長を見守ることが大切だと感じています。	男性	60代
78	ワクチン接種の補助に、より力を入れていただきたいと感じております。	女性	30代
79	こども施策は、子育て世帯の支援、教員への労働環境改善、学校へ行けないこどもへの対策など幅広い側面で足りないのが現状だと思います。	男性	30代
80	小学校中学校では、場所に問わず、スマホ使用は禁止で良い。	男性	40代
81	(子どものイジメ問題について) 何故、被害者が不登校や転校、自殺に追い込まれ、加害者はお咎め無しなのかが理解できない。 福岡県でも、イジメによる被害者の自殺の事案も起こっている。 大人であれば、犯罪であり、場合によっては職場を解雇される等、社会的制裁も受ける。 子どもの自殺、イジメ問題が後を絶たない昨今、何が「こどもまんなか」と言うのか。おかしいと思う。	女性	30代
82	こども施策となると、こども本人側に目が行きがちだが、こどもを育てる親世代への援助が不可欠だと思います。近年こども食堂という素晴らしい取組が地域で行われていますが、裏を返せば共働きでこどもが孤食になったり、働き方や経済的な理由でそこに頼らざるをえない状況にある親世代が多いと言うことだとも思います。	男性	40代
83	こどもが問題を抱えていても、家庭の問題として立ち入れなかったり、こども自身が持っている情報が少なく、異常に気づけないことで権利が守られないことが心配。	女性	30代

No	意見	性別	年代
84	<p>1、児童館が少なすぎる。その時点で大事にされているとは感じられない。</p> <p>2、双子以上の多児世帯について、サポートがほぼない。やはり、大事にされているとは言えない。</p> <p>3、子供への性犯罪について、法制度が十分でない。厳罰化すべきで、子供が守られていない。</p> <p>4、なんでもかんでも、自主性、個性を第一にしすぎて、協調性、社会性が育っていないと思う。ダメなものはダメと言える教育にしないといけないと思う。</p> <p>5、LGBTの教育については、海外でも不適切な事案がたくさん報告されている。特に、義務教育では早すぎる。</p>	男性	40代
85	<p>必要な施策とは思いますが、教育に関わる仕事の皆さん全てが激務の中で、さらに負担を求め現状が悪化する事になるのではと危惧します。</p>	女性	50代
86	<p>これからの日本を担うこどもを大切にすることは、喫緊の政策であると思う。そのためには子育て世代の支援もどんどん充実して行ってほしい。</p>	女性	60代
87	<p>子供を大事にするのは当然のことだと思います。でも子供が安心して生活できる家庭を大人たちがちゃんと作っているのか疑問です。自分自身が子供のころ両親の離婚でとても苦労したのでなおさら、幸せな家庭で子供たちを守ってほしいと思います。</p>	女性	60代
88	<p>大人も子供も1人の人間であるから、ある程度の年齢になれば、権利は当然と思ってまして、逆にびっくりしています。まず大人社会から変わっていく必要性を考えていくべきだと。</p>	女性	60代
89	<p>子どもが2人います。先日、2人とも風邪をひいてしまい自宅療養となったため、子どもを残して家を出て買い物に行くなどができず生活が非常に大変でした。地域の人にちょっとこもりを頼めるような、そんなコミュニティがあれば嬉しいです。</p>	男性	30代
90	<p>福岡の中の子でも、一方は給食費無料や病院代数百円を先行してやっていたように、こどもまんなかといいながら、格差が生じている事は少し違和感を感じていた。</p> <p>財源の問題や地域によって抱えている課題の差だと思うが、地域によって子ども応援の本気度の温度差にはバラツキを感じる。</p>	男性	40代
91	<p>共働き家庭が主流である、両親が休みやすい制度をもっと作るべき。</p> <p>休んだ分の職場の人員確保も必須。</p>	女性	50代
92	<p>「こども未来課」は結構ですが、親の役割が段々薄れないように！</p>	男性	70代以上
93	<p>福岡県はもともと子供に対して寛容で、子供の教育や福祉、医療についても進んでいると思う。</p>	女性	20代以下
94	<p>自分に子供がおらず、友人にも子供がいないのでよくわかりません。</p>	女性	50代

No	意見	性別	年代
95	給食の少なさ。お金を配っても家庭の財政が物価高で厳しいので子どもまで行き届かないと思う。 引きこもりも多く、学校も家庭に踏み込めないで、心理士さんなどが家庭を回るように派遣してもらいたい。民生委員は、地域の高齢者なので、ちゃんと子ども達をケア出来る人に動いてもらいたいです。	男性	50代
96	小学校・中学校の給食が無償化されている自治体と、そうではない自治体がありますが、不公平ではありませんか。何を差し置いても子どもにおなか一杯食べてもらうことは、おとなの責務ではないでしょうか。	女性	50代
97	周りの大人たちが身をもって手本になるべきだと思う。	男性	70代以上
98	こどもの意見は教育によっても変わってくると思う。 親の理解と協力を得ながら、良い教育を受けられることを望みます。	女性	40代
99	子ども中心に考えていくことは、将来の財産であるので当然です。栄養バランスの取れた給食の完全無料化及び、居場所の提供（学習できる場所や相談できる場所）、公園をより緑豊かな場所にしてほしい。公園は、木がきられ、見晴らしがいいが木がなく、木陰がない場所が多い。また、ボールで遊べない公園も増えている。何ででしょうか？いっそ、公園管理を子どもたちに考えてもらうなどの取り組みをするべきだと思う。また、3名以上の子どもを持つ家族に支援があれば良いと思う。例えば、ランドセル無償、中古ランドセル配布、お米の配布や習い事代助成など支援体制を強化すれば、2名の子どもを持つ親は、もう1名を考えるのでは？ 私は、こども家庭庁はいらぬ派なので、こども未来課も必要ないと思います。そのような部署は、教育委員会が兼任したら良いと思う。税金の無駄遣いはしないでほしい！	女性	40代
100	今の現状は、子ども支援に過剰にシフトしており、特に行政機関などではかなり支援をしているが、子育てをする保護者や子供が自己の要求を過剰に請求することの助長にまで進展していると感じている人が少なからずいるということを軽視すると反発につながる流れが生じることが懸念される。 一例であるが、地方公共団体職員（女性）が子供に熱があるということで休暇を取得していたが、公園で一緒に遊んでいたりと、ショッピングモールに買い物に来ていることがあった。子どもの介護時間が必要であると申請すれば、疎明資料など必要がなく、休暇を取得できるとのことであった。子どもは元気であり、不正な休暇取得であることは明らかであった。 氷山の一角であろうが、このような子ども支援に乗じて、不正な休暇を取得しているような現状を複数見ると、子ども支援に対する反発を持つ市民が生じる。この対策に対しては、各種支援策に対して要件の明確化と確認や疎明などが必要であると思われる。	男性	50代

No	意見	性別	年代
101	福岡県だけの問題ではないが、先日、サッカーの指導者がフランスから帰国する飛行機の中で、自身のパソコンで児童ポルノを見ていて逮捕された。また、日本は、スポーツ指導の行き過ぎの声も聞く。いわゆる”勘違いした大人”の多いこと、驚くばかりである。一刻も早く、子どもを守る社会への大人の意識の醸成を図るためにできることは何か考え、規制強化を含めて、即実行しなければならないと考える。	女性	50代
102	子どもを議論する際に、今生を受けている子どもの話をしているのか、これから生まれてくる子どもの話をしているのか、これから生まれてくる子どもを増やそうという話をしているのか、主題がどこにあるのかが議論する人々の間でバラバラで噛み合っていない印象を受ける。	男性	30代
103	福岡県は取り組み課題ごとの指標と進捗を管理し、公表して欲しいです。	男性	60代
104	施策は大人の視点で作られることが多いですが、実際に支援を受ける子どもの声を聞くことも大切です。子ども自身が意見を言える機会（子ども議会やアンケートなど）を増やすことが望まれます。	男性	50代
105	子どもを欲する夫婦への金銭的・精神的支援の拡充。保険回数6回の撤廃を国へお願い。	女性	20代以下
106	問5は「4. そう思わない」を選択しましたが、私には子供もいないので本当は「わからない」というのが正しい答えになります。「こどもが大事にされている」というのは親の経済力や家庭環境にかかわらず、こどもの権利が守られているという状態を目指しているのだと思いますが、現実的には家庭環境に依存するのが実態だと思います。どうすればこどもの権利を守れるのか？についての施策や条例等が具体的にみえていないのではないかと危惧しています。	女性	60代
107	こどもを大切にすることは大前提だと思います。その中で、こどもの権利をきちんと守っていくと同時に、親や周囲の大人がこどものために、仕事をしたり、教員や教諭の方々、そのたサポートをしてくれている人がいることを改めて知ることが必要だと思います。その上で、自分のしたいことや考え、将来について大人と話(対話)をすることに繋がればいいなと思いました。	女性	30代
108	隅々まで目が行くことは非常に難しいと思う。子供が声を上げることは少ないから。	女性	70代以上
109	自治体差があると思う	女性	50代
110	核家族が多くなり、近隣との交流が少なくなってきた現代、各家庭により常識の違いが大きくなってきたと感じる。自分の家庭しか知らなかったらそれが常識と思い込んでしまい、自分は助けが必要な存在かどうかもわからないと思う。家庭という閉鎖的な空間にどう入り込み、介入していくことができるか考える事が必要と考える。	女性	40代

No	意見	性別	年代
111	こどものための政策ならば、親を満足させないと難しい。	男性	40代
112	福岡県は子どもが住みやすく暖かい街だと思います。公園などでボール投げ等、自由に遊べるように、遊びの幅を狭めないように心がけていただきたい。	男性	40代
113	ブラック校則や多すぎる宿題等は是正されるべきだと思う。また虐待した親をスムーズに隔離したり、いじめの隠蔽等には厳しく対応するべきだと思う。	男性	20代以下
114	子どもに何を身に着けさせたいか、何を学ばせたいかというのが大事。権利を主張する時に、それが正当性のあるものかを理解できる能力を育てることが大事。	女性	40代
115	子育てをしているが、恩恵を受けたと感じない。	男性	30代
116	こどもの意見尊重は大切なことではあるが、まずは正しい大人の導きが肝要であると思われる。そうした共創社会を目指すことが第一歩ではないだろうか。	男性	20代以下
117	こどもを甘やかしすぎ。 もっと厳しく学校や家庭で社会のマナーや対人関係を潤滑させる。 教育の時間が必要。	男性	50代
118	小学生の「家読」の取組は活字離れが進む中、よい取組と思う。 スポーツが上手な子ども達の発掘もよいと思う。	女性	60代
119	保育園や幼稚園などの施設での虐待ニュースをよくみる。 無くすことは難しいのかもしれないが、せめて取り締まりや罰則を強化して欲しい。 我が子(1歳)を預けてるので心配。	男性	30代
120	少子化対策も含め、学費面、医療面での助成を市町村ごとに異なるのではなく、一律にしてほしい。 特に子供医療など。 市町村によって、中学生まで無償だったり、高校生まで無償だったりする。	男性	40代
121	年々、子どもが自由に遊べる公園や広場が少なくなっているように思う。県立公園は車を使わないと行けない場所が多いし、地域の公園も少ない。遊びも学びのうちだと思うが、大人中心のまちづくりになっている。	男性	40代
122	60歳以上で、子育ても終わりあまり関心がないこともあり、福岡県の取り組み情報に乏しい現状があります。以前は地域全体で子育てをしなければならぬと思っておりましたが、日常生活において子どもの姿を見なくなると感心も薄れます。 子育て世代に関わらず、もっと多くの広い世代にも積極的な啓発活動をお願いします。	男性	60代

No	意見	性別	年代
123	少子化改善が日本の第一課題と思うので、こども施策の充実を早急に押し進めていくべきと思う。	女性	50代
124	保護者が多忙すぎると感じる。親が子育てに時間と手間をさけるように労働環境を改善していかなければならないと思う。 子育て世帯の減税に取り組むべき。(社会保険料と住民税が高すぎる)	女性	30代
125	こどもといっても発達段階で大きな違いがあると思います。可能な範囲で当事者であるこどもの気持ちを聴く機会を設けていただけたらと思います。	女性	60代
126	子ども食堂は要らないと思う。 お金に困ってない人たちが利用しているイメージです。	女性	30代
127	こども施策の間は、こどもにアンケート調査するべきである。 こどもの感覚、大人の感覚は違う。 大人が良かれと思っても、こどもには違う。 ジェネレーションギャップ対策も必要と思料する。	男性	60代
128	こども計画などが各市町村で作成されているが、行政側の意見が強く、形骸化している感じが否めません。こども計画については、市町村が独自に作成することになりましたが、市として特色のあるものができたかという疑問に思います。	男性	40代
129	賛成ですが今はあまりにも子ども中心になっている恩恵が多くなっていますが本音は不満です。もっと高齢者に目を!	男性	70代以上
130	「こどもが大事にされている」とはどういうことを言うのか? その議論を国会、地方議会でされた記録があるなら、まずそれをネットなどで見て学びたいです。「こどもまんなか」についても同様に学びたいです。	男性	60代
131	小学校や中学校の給食は一律で無償化して良いと思った。 最近、ムスリム食とか優先順位が間違えている施策が目立つ。	男性	40代
132	今子供がちょっと意味を履き違えて大事にされすぎていると思います。単なるわがままな子を増やしているだけな気がしており、20年30年先の社会がとても不安に感じています。こどもまんなかも大事だと思いますが、そのためにはその子供を支える親やその上の世代が充分時間、経済的に余裕があることが前提と思っています。まだそこが充分でないため、子育ては難しいと思います。	男性	40代
133	大人に余裕がなく幸せでなければ、こどもまんなか、は実践されないと 思います。 子どもが自身の権利とその侵害を自覚できるようになることと、侵害された時の相談先、避難先がわかることを、あまり明るくないですが現実的な目標の一つにしてもらいたいです。	女性	40代

No	意見	性別	年代
134	子ども自身が、きちんと表明できるような力（学力）、適切に判断できる力をもつことが必要であり、そのための家庭環境の整備、学習環境の整備、学力保障も必要だと考える。	女性	40代
135	実際に子育てをしている身として、子どものための施策はそれなりに充実していると感じる。しかしその他大勢のやるべき施策が多く埋もれてしまい認知されていない。	男性	30代
136	こどもの意見を聞くことは、ただのわがままに繋がるのではないか。 ただ、いうことを聞くことが大切なわけではない。 こどもの意見を聞くのではなく、子供を育てる世代にどうしたら子育てをしやすくなるのかが重要ではないか。 結局、子供を育てるのは家庭であり社会である。 核家族化しており、一人で抱え込む母親も多い。 また、子供がいることで仕事にいけない母親もいる。 24時間勤務がある会社は保育所を併設することや、24時間保育園を増やす、独身と子どもがいる家庭の差別をなくす。 こういったことが、よりよい社会に繋がると考える。	その他	30代
137	貧困家庭、不登校、若者の自殺等が増加するばかりというのは、これまでのそして現在の行政の施策がピントはずれだったということではないのか？学校に関しても、教師の成り手不足に対して、誰でもいいから採用するというのは、一応数的には満たせましたので、後は学校にお任せ！（丸投げ）という感じがして、おかしいと思う。教職の免許は、通信でも取れる。教員養成学部でなくても取れる。そのようなところで免許を取った人の中には、勿論優秀な人もいると思う。しかし、レポートを出せば免許を取れて、採用試験の勉強はしなくても合格できて、合格後に教育実習。実習で初めて、教職の向き不向きがわかるというのはどうだろう？学校に赴任したら、当然のように学級担任、学級崩壊！当然のような気もするが???	男性	70代以上
138	日本ではずっと世帯という括りで制度が作られている。これによって子どもや女性は個々として、とらえられなくなるのではないか。親の収入で学費が変わるのもこれによるものだ。子ども一人一人学ぶ機会を得られるようにすべきではないか。つまりそれが個々として扱われることではないか。	女性	50代
139	公園の除草など、昔はシルバー人材の方がしてくださりとても綺麗でした。 今は地域みんな等となっていますが高齢化がすすみ高齢者は厳しく、また若い世代もいつも同じメンバーで不公平を口にしている方もあります。 1000円ほど支給があれば、平日お家にいらっしゃる元気な高齢者も毎日でもやりたいとおっしゃっていました。 そのような諸謝金的な制度があるとよいですね。	女性	50代
140	きちんと成果が出る取り組みを目指してほしいです。	男性	70代以上

No	意見	性別	年代
141	よく所得税非課税等で分けられることがあるが、富裕層と非課税世帯の真ん中の世帯も物価高で苦しい。子どものためなら全子供平等な政策も作ってほしい。	女性	20代以下
142	問5について。福岡市とそれ以外の地域の差は顕著ではないでしょうか。 県として、福岡市以外の地域にも人材・財源を適切に配分し、どの地域に暮らす子どもも等しく支援を受けられる体制を整えることが必要です。地域格差の解消こそが、本当に「こどもが大切にされる福岡県」につながると考えます。	女性	40代
143	共働き、片親家庭が多いなか、保育施設、学童保育の充実、職員の資質向上をお願いしたい。	女性	60代
144	子どもの権利を守ることはとても大切だと思っていますが、中にはその権利の主張ばかりに傾きすぎている子どももいるように感じます。守られるべき権利があると同時に、子どもとしての義務もあることを家庭や学校で教えていく必要があるのではないかと思います。	女性	60代
145	子供の意見は尊重されるべきだが、ある程度理解ある子供は尊重されるべきだが、理解力のない子供の意見は一律に尊重されるべきとは思わない。	男性	30代

県政モニターアンケート：キク（菊）の消費について

(農林水産部 園芸振興課)

【調査の目的】

キクは葬儀・仏事需要が主であるが、近年、葬儀形式の簡素化により、需要が縮小。このことから、日常生活や贈答用等、新たなキクの活用を模索し、キクの消費・拡大の手がかりとするもの。

① 回答状況

361名より回答があり、地区別では福岡地区からの回答が過半を超える。全体の男女構成は、ほぼ同じ割合である。また、年齢構成は、18～19歳を除き、概ね10～20%となっている。

① 花を飾る機会について

キクを含む花を飾る機会は、ほとんど飾らないが49%（全体）を占める。特に若い世代はほとんど飾らない傾向が強い。一方、月1回以上飾る割合は、28%であり、60歳以上では過半に近い。

表 花を飾る機会について

年代	週に1回以上	月に2～3回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんど飾らない	総計
18～19歳	1 14%	0 0%	1 14%	1 14%	4 57%	7
20～29歳	0 0%	3 7%	5 11%	13 30%	23 52%	44
30～39歳	4 7%	3 5%	2 3%	15 25%	35 59%	59
40～49歳	2 3%	3 4%	6 8%	20 26%	45 59%	76
50～59歳	10 16%	2 3%	8 13%	9 15%	33 53%	62
60～69歳	19 25%	5 7%	11 14%	16 21%	25 33%	76
70歳以上	5 14%	5 14%	7 19%	8 22%	12 32%	37
総計	41 11%	21 6%	40 11%	82 23%	177 49%	361

② キクを飾る機会について

キクをほとんど飾らない割合は、70%を占める。花を飾る機会と比べて、ほとんど飾らない割合が高い。全年代でキクの購入は非常に少ない状況。

「ほとんど飾らない」「年に数回程度」と回答する層が多く、日常的にキクを飾る習慣が浸透していないことが伺えた。

表 キクの購入頻度

年代	週に1回以上	月に2~3回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんど飾らない	総計
18~19歳			2		5	7
20~29歳			1	7	36	44
30~39歳	2	2		3	52	59
40~49歳	1		4	14	57	76
50~59歳	4		6	8	44	62
60~69歳	9	4	7	19	37	76
70歳以上		2	4	9	22	37
総計	16	8	24	60	253	361
	4%	2%	7%	17%	70%	

③ キクに持つイメージ

仏花としてのイメージが過半を占める。これは、ほとんどキクを飾らないものほど、顕著である（データ略）。一方、季節を感じる、長持ちするという意見も一定数見られる。

表 キクにもつイメージ

年代	季節を感じる	華やかで飾りやすい	長持ちする	仏花
18~19歳	1	2		6
20~29歳	3	7	12	39
30~39歳	4	4	8	56
40~49歳	9	8	15	70
50~59歳	8	7	17	57
60~69歳	14	7	27	74
70歳以上	14	6	9	28
総計	53	41	88	330
	10.4%	8.0%	17.2%	64.5%

④ キクの用途について

キクへの魅力を感じない割合が多い。気分転換や癒し、季節のイベントでの用途への回答も見られる。これは「仏花」以外の新たな用途開拓の可能性を示唆できる。

表 キクはどのような用途に魅力を感じる

年代	食卓やリビングのインテリア	誕生日や記念日の贈り物	季節のイベント (クリスマス、正月など)	気分転換や癒し	魅力を感じない
18～19歳	2	1	1		3
20～29歳	12	4	10	14	20
30～39歳	9	2	8	14	33
40～49歳	16	3	13	31	33
50～59歳	9	4	19	18	24
60～69歳	15	5	18	31	25
70歳以上	9	6	10	16	12
総計	72	25	79	124	150
	16%	6%	18%	28%	33%

⑤ キクを家庭で飾るための効果的な取り組み

花束やアレンジメントでの活用、手軽に飾れる本数での販売、魅力の情報発信等の意見が多い。自由意見としては、仏花のイメージが強いため、払拭する必要があるとの意見が多い。

表 キクを家庭で飾るための効果的な取り組み

年代	花束やアレンジに組み合わせて販売	手軽に飾れるサイズや本数で販売	商業施設などでの展示・コラボ	キクの魅力を伝える情報発信(SNS等)	自由意見
18～19歳	5	2	1	1	
20～29歳	21	22	15	17	2
30～39歳	24	23	17	24	14
40～49歳	44	34	23	35	6
50～59歳	31	25	21	31	8
60～69歳	37	35	17	38	7
70歳以上	19	20	12	12	3
総計	181	161	106	158	40
	28%	25%	16%	24%	6%

⑥ アンケートを参考にした今後の対応

回答者の大半がキクに対して「仏花」というイメージを強く持っており、これが日常的な消費を妨げる最大の要因となっている。特に若い世代ほどこの傾向が顕著であり、仏壇や墓以外でキクを飾ることに抵抗を感じる、あるいは想像できないという意見が多く見られる。

一方で、「仏花」のイメージとは対照的に、「季節を感じる花」や「長持ちする花」というポジティブなイメージも一定数認識された。キクが持つ本来の魅力であると考えられ、キクの振興において活用すべき点であると思われる。

これらを踏まえ、キクの消費振興における最大の課題は、「仏花」としての固定されたイメージからの脱却と、日常的な生活空間における新たな価値提案が必要と思われる。

キク振興方針（消費）案

① 若年層へのアプローチ:

若い世代をターゲットにした SNS での情報発信。インスタグラム等で、キクを取り入れたおしゃれなインテリア、ブーケ、テーブルコーディネート等を発信

② ライフスタイル提案:

「食卓やリビングのインテリア」「気分転換や癒し」といった用途に合わせた、具体的な飾り方やアレンジメントのアイデアを、インフルエンサー等とのコラボレーション等を通じて提案。「洋風の部屋に合う感じのを作ったらいいのでは」「飾り方のイメージ発信が必要」という意見も多い。

③ ミニブーケ、一輪挿しの提案:

「手軽に飾れるサイズや本数で販売」という意見が多く見られる。気軽に購入できる一輪挿しや、他の花と組み合わせたミニブーケなど、既存の仏花とは異なる形態での販売を提案。また、「花瓶を保有している人が少ない」という意見を考慮し、おしゃれな花瓶とキクをセットで販売することで、購入へのハードルを下げる。

<食育・地産地消の推進について>

【調査の目的】

県では、食の重要性や農林水産業の果たす役割と意義などについて理解を深める「食育」(※1)や、県内の豊かな農林水産物を県民の皆さんに食べていただく「地産地消」(※2)を県民運動として展開しています。食育や地産地消に関する皆さんの御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

※1 食育とは

心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

※2 地産地消とは

地域で生産された農林水産物をその地域で消費することです。

<1> 「食育」は、どのような点で重要だと考えますか。

(n=361 選択は3つまで 回答件数=999件)

子どもの心身の健全な発育に必要な	67.6%	244名
食生活の改善につながる	49.0%	177名
生活習慣病(がん、糖尿病等)、肥満ややせすぎの予防につながる	39.3%	142名
食育を通して、自然の恩恵や食に対する感謝の気持ちを持つことができる	29.9%	108名
食品の安全・安心を確保するために重要	26.3%	95名
地域の食文化を守るために重要	28.3%	102名
大量の食べ残しなど食品廃棄の問題の解消につながる	21.9%	79名
消費者と生産者間の交流の機会や、信頼関係の構築が期待できる	8.9%	32名
有機農業など自然環境と調和した食料生産の発展につながる	3.6%	13名
その他	0.8%	3名
食育に関心がないのでわからない	1.1%	4名

[その他(抜粋)]

・共働き家庭が増える中で、忙しさから「食」をゆっくり考える時間が減っていると感じます。だからこそ、家庭や学校で「食を通じて親子が会話する時間」を大切にする取組がもっとあってほしいです。心のゆとりや家族のつながりも、食育の大事な一部だと思います。

<2> 「地産地消」は、どのような点で重要だと考えますか。

(n=361 選択は2つまで 回答件数=674)

身近な場所から、新鮮で、より安価な農産物を得ることができる	73.1%	264名
生産者の情報が分かり、安心感が得られる	28.3%	102名
地域の食材を活用した伝統的な食文化の継承につながる	26.0%	94名
地域の消費者のニーズをとらえた効率的な生産、品質改善、サービスの向上が期待できる	16.3%	59名

流通経費が削減され、生産者の収入増が期待できる	22.2%	80名
輸送距離が短くなり、環境負荷の軽減につながる	18.6%	67名
その他	1.1%	4名
地産地消に関心がないのでわからない	1.1%	4名

[その他（抜粋）]

- ・特に子どもにとっては、身近な地域の食材を使うことで、より食物に興味を持つことができ、食文化への関心が高まる

< 3 > 農林水産物を購入する際に価格以外で重視することは何ですか。

(n=361 選択は2つまで 回答件数=662)

新鮮であること	72.9%	263名
国産であること	67.9%	245名
地元産、福岡県産であること	28.0%	101名
銘柄（例：「夢つくし」、「はかた一番どり」など）	6.6%	24名
環境に配慮したものであること	6.6%	24名
その他	1.4%	5名

[その他（抜粋）]

- ・生産国と同時に今は価格も一番の判断材料

< 4 > 農林水産物・食品を購入する際、環境への配慮の観点から選ぶものはありますか。

(n=361 選択は3つまで 回答件数=765)

国産のもの	73.1%	264名
近隣の地域で生産・加工されたもの	43.2%	156名
小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量のもの	42.7%	154名
過剰包装でないもの	23.5%	85名
環境に配慮していることに関する表示（有機JAS、ふくおかエコ農産物等）のあるもの	24.7%	89名
環境に配慮した農林水産物・食品をあまり選ばない、まったく選んでいない	3.3%	12名
その他	1.4%	5名

[その他（抜粋）]

- ・ネットで「訳あり」商品を購入することがあります。品質は落ちていないのに規格外というだけで消費できるからです。
- ・新鮮さと、その農林水産物に相応の値段であること。

< 4-2 > (< 4 >で「環境に配慮した農林水産物・食品をあまり選ばない、まったく選んでいない」を選択された方にお尋ねします。)環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいない理由は何ですか。

(n=12 選択は2つまで 回答件数=19)

価格が高い	41.7%	5名
どれが環境に配慮した農林水産物・食品か判断する情報がない	50.0%	6名
本当に環境に配慮した農林水産物・食品かわからない	8.3%	1名
興味・関心がない	41.7%	5名
身近に環境に配慮した農林水産物・食品を購入する場所がない	16.7%	2名
その他	0.0%	0名

<5>どのような農林漁業体験をしたことがありますか。

(n=361 複数選択 回答件数=653)

実家、親戚、知人の農作業の手伝い	44.3%	160名
学校での農業体験学習	41.3%	149名
観光農園での収穫体験等	41.3%	149名
行政や地域が行う農林業体験イベント	14.6%	53名
体験をしたことがない	18.8%	68名
市民農園や体験農園での農作業	13.3%	48名
農家民宿での宿泊による体験	4.2%	15名
その他	3.0%	11名

[その他 (抜粋)]

- ・農業ボランティアとして、住み込みで働いた。
- ・家庭菜園 遊漁船 地引網 (修学旅行)

<6>県が実施している食育・地産地消の取組について、知っているものはありますか。

(n=361 複数回答 回答件数=544)

いずれも知らない	50.4%	182名
「ふくおか地産地消応援の店」認定制度	19.1%	69名
福岡県ワンヘルス認証制度	21.9%	79名
食育・地産地消月間	13.6%	49名
「ふくおか地産地消応援ファミリー」登録制度	14.1%	51名
ふくおかエコ農産物認証制度	9.1%	33名
ホームページ「いただきます！福岡の美味しい幸せ」での情報発信	11.1%	40名
「ふくおか農林漁業応援団体」登録制度	6.6%	24名
インスタグラムなどSNSでの「いただきます！福岡の美味しい幸せ！」での情報発信	4.7%	17名

<7>食育・地産地消の推進について、これまでの設問以外に意見はありますか。(n=110 抜粋)

- ・初めて知る事ばかりでした。こどもたちの為に、学校教育で積極的に取り入れて欲しいです。
- ・いただきますとごちそうさまでしたの重要性
- ・身近に自然に触れ合う機会の紹介を県だよりやマスメディアでして頂くと有り難みが分かり色々活用したくなります。梨狩りミカン狩りの場所とか御提案頂きたいです。
- ・スーパーなどで地域の方が生産した農産物を置いてあるコーナーなどがあり興味をもって覗いてみるがどうしても割高感があり価格の安いものを手にとってしまう。品質は良い事は承知しているが価格を凌駕する条件がなかなか見つからない。少し高くても消費者に買ってもらうようメリットを打ち出す工夫が必要だと思う。
- ・食育、地産地消の取り組みはとても良いと思うが、まだ県民に十分に浸透しているとは言えないと思う。メディアやネットを活用した広報活動やアナウンスがもっと必要だと思う。
- ・福岡県政モニターになってから、県の取り組みには関心を持っているが、地産地消応援ファミリーなども案内には気づいたことがない。もっと視野を広げて関心を持って探してみたい。
- ・農業守る為地元産物を購入し国産の米又夢つくしをたべて県民一丸で応援しよう
- ・教育を通して、学校給食などに取り入れて欲しい
- ・食育はこれからも子どもたちに対してどんどん行っていけばよいと思います。小さい頃から親しんでいけば大人になっても地元の食を選んでくれるはずです。



買って応援！ 食べて応援 ふくおか農林漁業応援団

福岡県産の美味しい農林水産物を愛用して、福岡の農林水産業をもっと応援しよう！という取組です。

ふくおか地産地消応援ファミリー

県産の農林水産物を積極的に購入して、福岡の農林水産業を応援するご家庭です。
応援ファミリーを対象に、野菜・果物の植付けや収穫、椎茸の駒打ち等の林業、酪農、漁業等を実際に体験する「ふくおか農林漁業体験ツアー」を実施しています。

《体験ツアー参加者の声》

- ・現地を訪れて、生産者の顔を見ることによって、より農産物への愛着と安心を感じ、地産地消の大切さを実感しました。
- ・田植えをしたことがなかったので、本当にいい体験でした。子どもがごはんを残したときにこの体験のことを話したら、きっと残さなくなると思います。

登録は
こちら！



収穫体験



調理体験



加工体験

ふくおか地産地消応援の店

年間を通じて、県産の農林水産物を使用する飲食店、惣菜店等です。

HPで
検索！



ふくおか農林漁業応援団体

県産農林水産物の消費拡大につながる取組や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業・団体です。



農林漁業応援団体の表彰



詳しくは

福岡の美味しい幸せ

検索

<http://f-ouen.com>

SNSでも
情報発信中！



お問合せ先：福岡県農林水産部食の安全・地産地消課 TEL 092-643-3575

令和7年度第5回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑豊	筑後
		人数(人)	構成比				
総数	人数	355		92	183	28	52
	構成比		100.0%	25.9%	51.5%	7.9%	14.6%
性別	女性	185	52.1%	48	97	13	27
	男性	168	47.3%	42	86	15	25
	その他	2	0.6%	2	0	0	0
年代別	20代以下	51	14.4%	12	27	4	8
	30代	56	15.8%	15	29	5	7
	40代	76	21.4%	19	39	6	12
	50代	60	16.9%	17	31	4	8
	60代	76	21.4%	21	34	8	13
	70代以上	36	10.1%	8	23	1	4

モニター数 398人

回答数 355人

回収率 89.20%

実施期間 R7.11.7～R7.12.4

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

令和7年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ:九州ロゴマークについて

福岡県 総務部 県民情報広報課

1. 調査目的

九州・山口各県と九州の経済4団体で構成する「九州地域戦略会議」では、観光のPRや農林水産物の輸出などに、県境を超え、九州一体となって取り組んでいます。

九州ロゴマークは、このような九州の連携する姿を国内外にPRするために、平成30年5月に作成したものです。

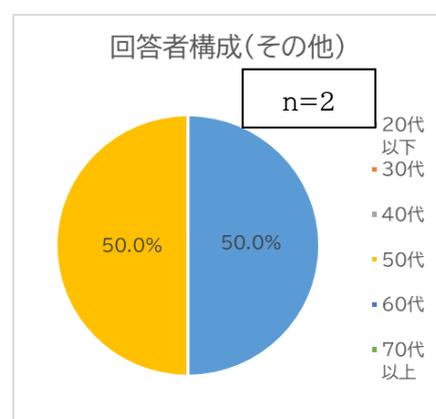
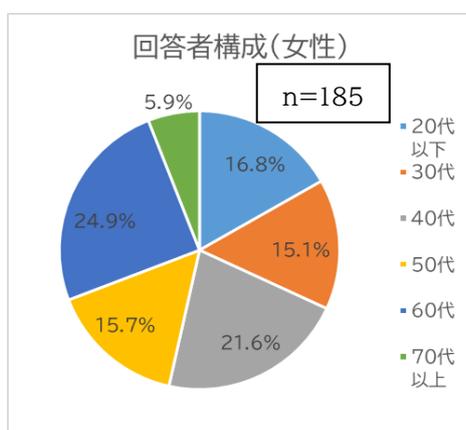
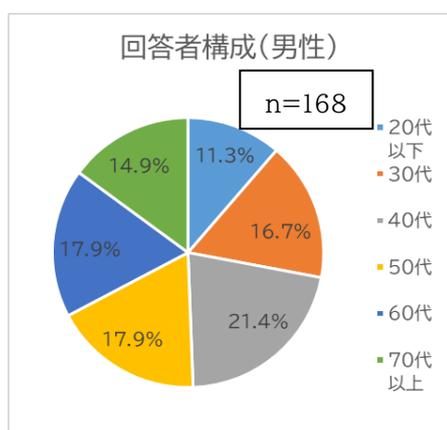
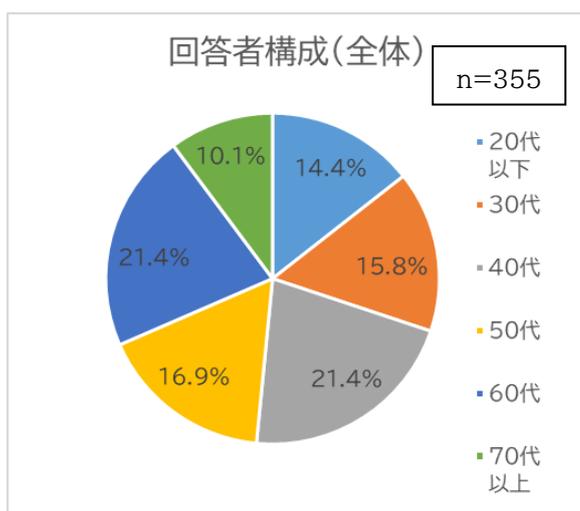
本アンケートは、九州ロゴマークがどの程度認知されているか調査を行ったものです。

調査結果は、九州ロゴマークの今後の活用方法の検討材料とさせていただきます。

2. 調査時期

令和7年11月7日～令和7年12月4日(第5回)

3. 回答者の構成

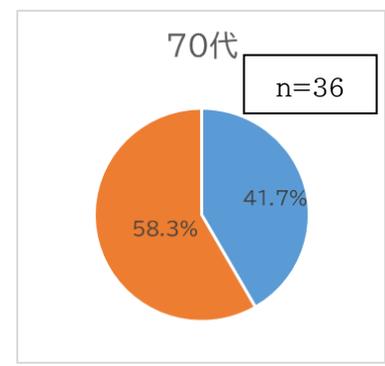
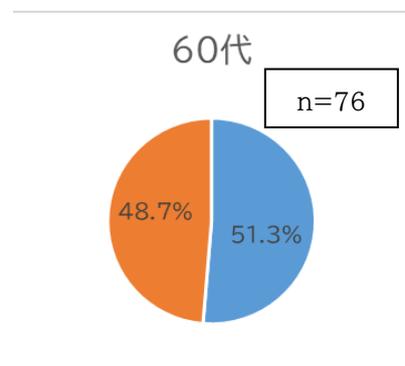
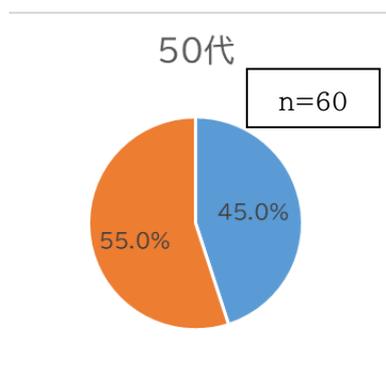
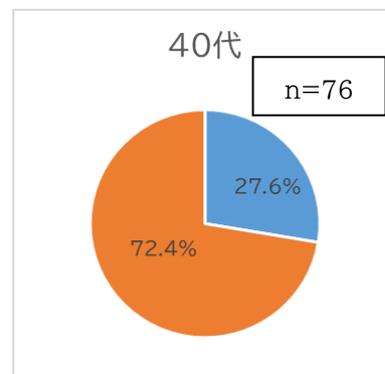
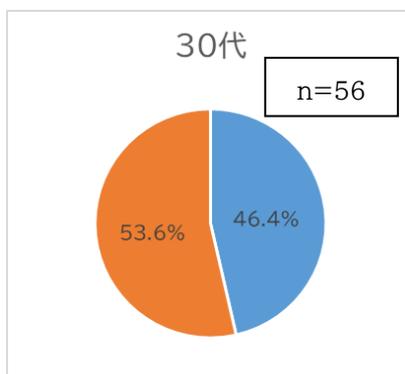
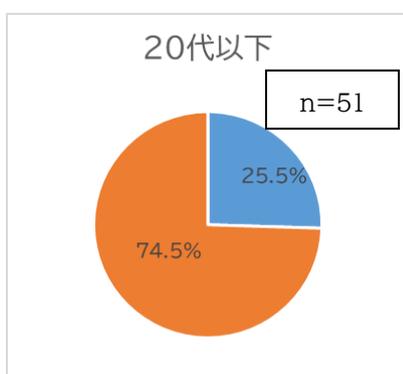
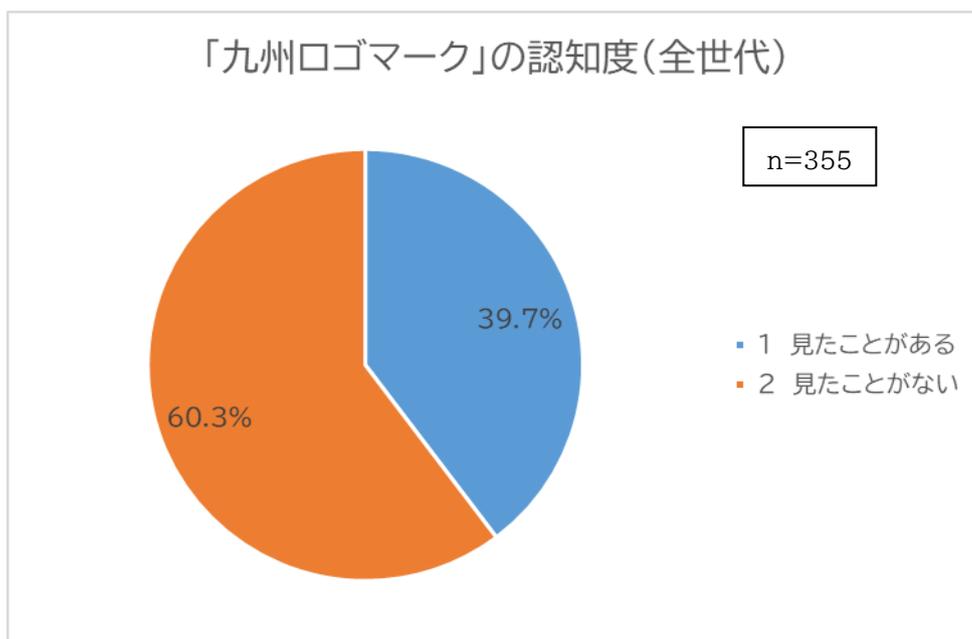


項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	355	92	183	52	28
	構成比		25.9%	51.5%	14.6%	7.9%
性別	女性	185	48	97	27	13
	男性	168	42	86	25	15
	その他	2	2	0	0	0
年代別	20代以下	51	12	27	8	4
	30代	56	15	29	7	5
	40代	76	19	39	12	6
	50代	60	17	31	8	4
	60代	76	21	34	13	8
	70代以上	36	8	23	4	1

4. 回答結果

問1 あなたは、「九州ロゴマーク」を見たことがありますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

全回答	回答	全世代	10代	20代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
	1 見たことがある	141	4	9	13	26	21	27	39	15
	2 見たことがない	214	3	35	38	30	55	33	37	21
	計	355	7	44	51	56	76	60	76	36



問1-2 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)

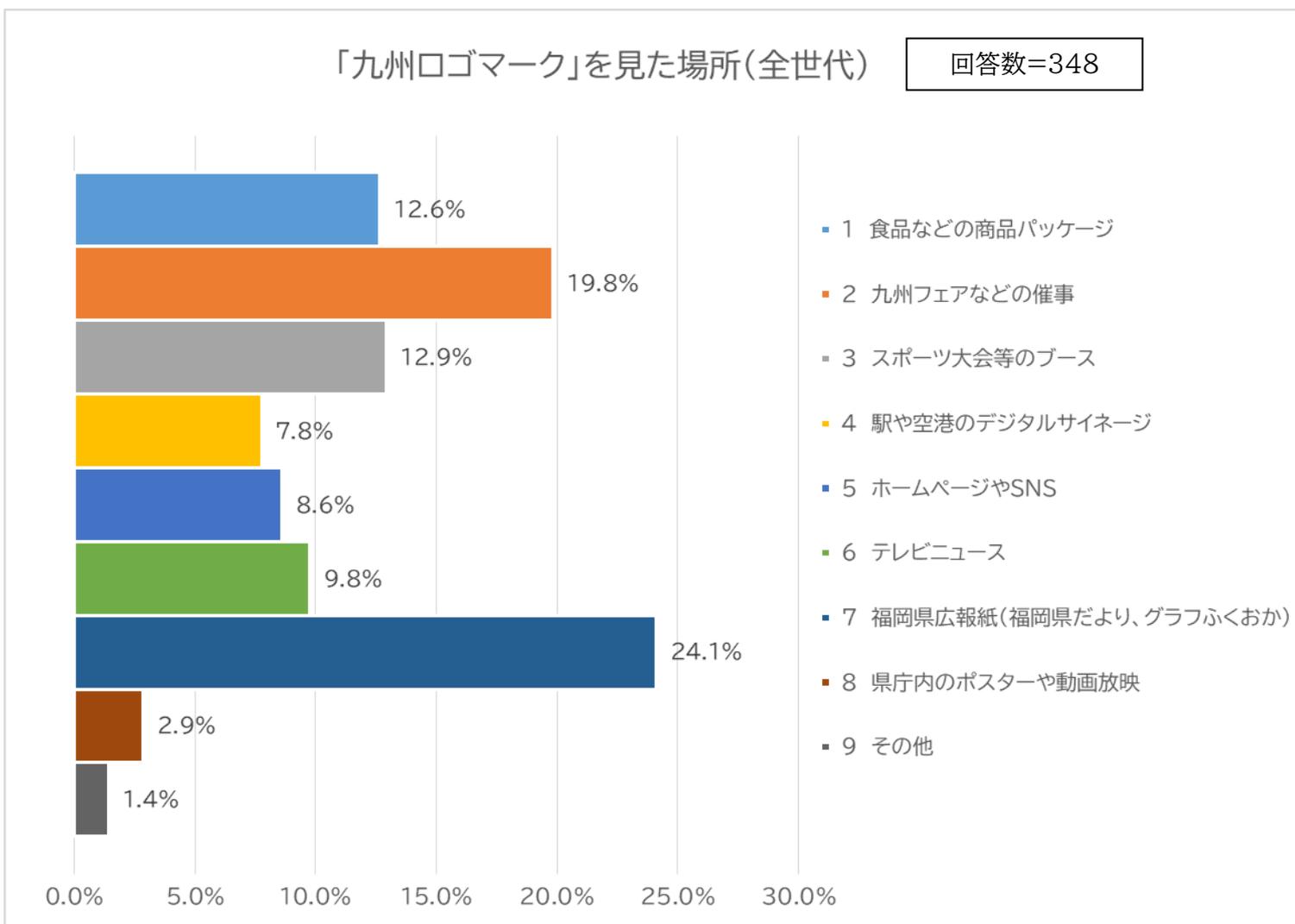
九州ロゴマークをどこで見ましたか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

回答	全世代	10代	20代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 食品などの商品パッケージ	44	1	3	4	9	7	5	13	6
2 九州フェアなどの催事	69	2	7	9	11	10	9	21	9
3 スポーツ大会等のブース	45	1	4	5	6	7	8	12	7
4 駅や空港のデジタルサイネージ	27	0	2	2	5	3	1	11	5
5 ホームページやSNS	30	1	1	2	5	4	4	11	4
6 テレビニュース	34	0	1	1	8	5	8	9	3
7 福岡県広報紙(福岡県だより、グラフふくおか)	84	0	4	4	13	11	16	27	13
8 県庁内のポスターや動画放映	10	0	1	1	2	2	3	1	1
9 その他	5	0	0	0	1	2	2	0	0
計	348	5	23	28	60	51	56	105	48

「九州ロゴマーク」を見た場所(全世代)

回答数=348



問1-2-2 問1-2で「9」を選んだ場合は、その内容を入力してください。

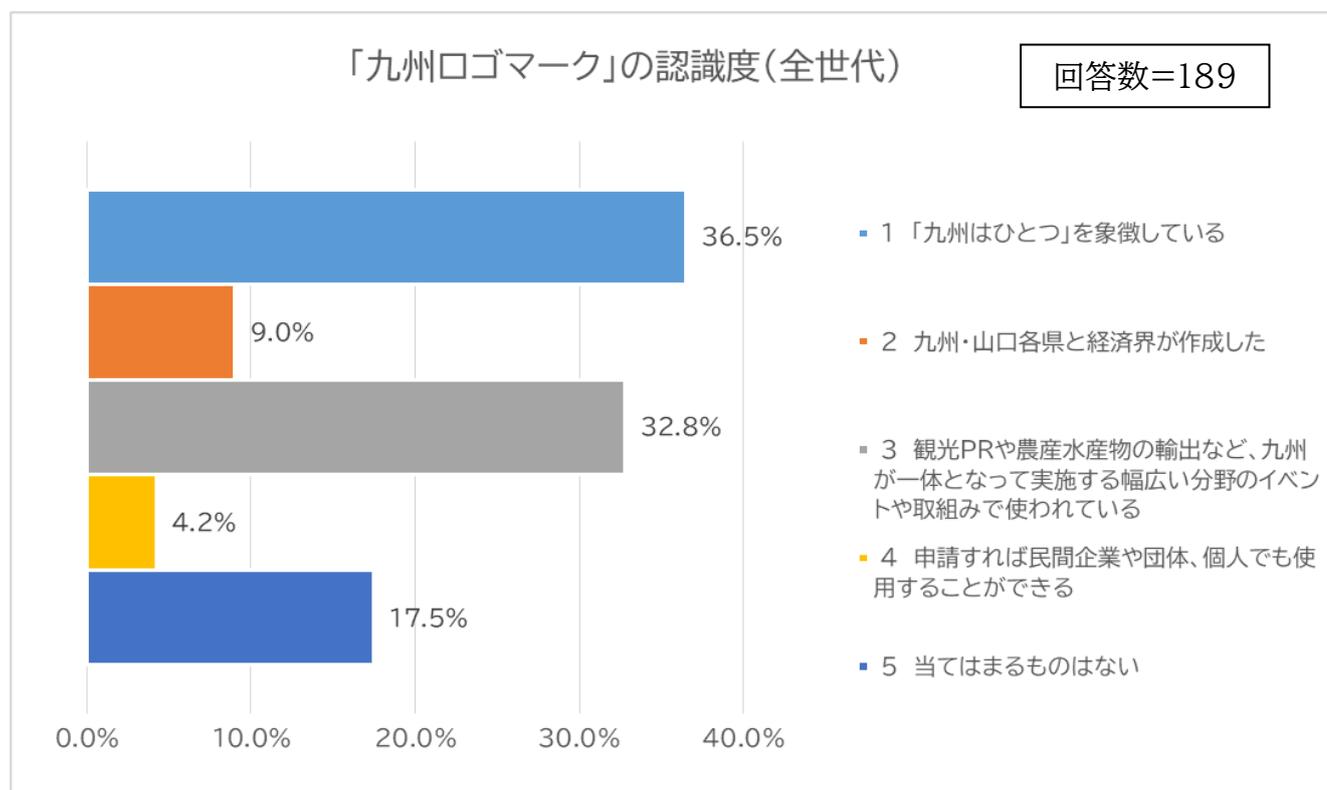
1	知事がバッチをつけているから。
2	県のホームページ
3	どこか覚えていませんが見たことがあります。 歩いていて目に入ったのだと思います。 印象に残るマークだなどと思います。
4	福岡県ホームページ
5	イベント

問1-3 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)

意味や経緯など九州ロゴマークのことについてどの程度知っていますか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

回答	全世代	10代	20代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 「九州はひとつ」を象徴している	69	1	2	3	11	10	8	26	11
2 九州・山口各県と経済界が作成した	17	0	3	3	0	5	2	4	3
3 観光PRや農産水産物の輸出など、九州が一体となって実施する幅広い分野のイベントや取組みで使われている	62	0	2	2	8	11	11	21	9
4 申請すれば民間企業や団体、個人でも使用することができる	8	0	1	1	1	3	0	1	2
5 当てはまるものはない	33	2	3	5	11	4	8	3	2
計	189	3	11	14	31	33	29	55	27



問2 九州ロゴマークについて、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

1	見たことがあるかもしれないが記憶にないためもっと印象に残るロゴを作るべき。
2	自分は知っていたが、認知度は今一つのような気がする。
3	アピールできる一つの象徴と感じる。
4	初めて九州ロゴマークをテレビで見ましたが当時はそういう物がある位の認識でした。簡単に1と3の内容は理解していましたが、九州の経済発展のためにも詳しく状況を聞きたいです。
5	もっとインパクトのある分かりやすいものの方がいいと思う。九州を違う視点から見て、捉えられるロゴが出来れば。
6	言われてみれば、言葉自体はどこかで聞いた記憶は何となくありますが、実際に見たという記憶はありません。認知度が低いと感じます。円安で外国人観光客が急増している現在、京都や長野、せいぜい広島が中心のような気がします。もっとこのロゴマークを利用した大きなイベントを企画して、観光PRをやってみたらどうでしょうか。
7	残念ながら私の周りの方々に知っている方はいませんでした。
8	地元からしたらあまり必要はないと思うが、九州産を関東や関西、もしくは外国向けにアピールするのによいと思う。 焼酎や温泉など九州ブランドとして改めて大きくPRしていくのに活用していったら面白いのではないのでしょうか。
9	九州ロゴマークがあるのを初めて知りました。 とてもいいマークだと思います。
10	もっとロゴや思想について幅広い層に認知して貰うため、SNSを利用し宣伝する。
11	ロゴの持つ意味などは大切な事だと思うが有効に活用されているとは言い難い。 もっと様々なものにロゴを入れこんで広く県民の目に触れる機会を増やす必要があると思う。
12	もっと幅広く使用してもらった方が良くのではないのでしょうか。
13	いまいち。
14	「九州ロゴマーク」というものを知らなかったため、見たことがあるかもしれませんが記憶にも残っていません。 いっそのこと「クイズってなに？」でクイズという言葉を知りさせたように「九州ロゴマーク」をあちこちに掲示して「これってなに？」みたいな形でアピールしたらいいかもしれません。
15	もっと色んなところに置くことで住民に把握してもらえるようにすべきではないか。
16	ロゴマークやキャラクターはお土産などでどこに行ったのかがわかりやすく非常に人気が出るものかと思っておりますので、もっと広報に力を入れて良いと思います。
17	初めて見たので、これから注文したい。
18	一般に浸透してないように思われるがどうなのでしょう。
19	ロゴマーク自体に親しみがなく、うたっているデザインの意図がわかりにくい。

20	福岡県産のものと九州ロゴマークのものなど、いろいろなものに金をかけているが結局何をどうしたいのか、行政の無駄ということがよく言われるが、この事業はそうではない理由がよく見えない気がする。
21	特にありませんが、今まで見たことかありません。もっと広報活動をした方が良いと思います。多分、ほとんど知られていないのではないのでしょうか。
22	マークはたまに見かけますが、昨年まで8年間九州を離れていたのも、あまり気にしていませんでした。作成経緯などもわかったので、これからはもっとマークを積極的に購入したいと思います。
23	下関生まれなので九州と山口、特に福岡県と山口県、北九州市と下関市との連携に関心がありますが、九州ロゴマークの記憶がありません。反省しています。北九州市と下関市のそれぞれの市長の会談が長年なく、現市長間で始まったと聞き驚いています。県民の問題ではなくトップの人々にも関心を持ってもらいたいと思います。県知事間の面談はされているのでしょうか、聞いたことはありません。
24	はじめはなんだか見慣れなかったですが、だいぶ馴染んだ気がします。
25	ロゴマークは重要である。
26	もっと身近で広げて欲しいです。
27	主要駅のお土産もの屋さんに行けば見られるのかな？と思いますが普段手土産を買わないとスーパーなどでは気にしていないせいか記憶に残っていないのが私の率直な感想です。九州から旅行以外で出たことのない私は、せっかく良いデザインロゴなので、広まってほしいです。
28	九州はひとつということを表示するロゴとして認識している。今後も大いに露出してほしい。
29	見たことはあっても、制定の経緯や、意味は知らなかったのも、アピール不足だと思われまます。ロゴマークを確認しようと県のページにとんだ後、戻り方がわからなく、戻るボタンで戻ったら、最後の最後で、送信を拒否されて、最初から入力し直すはめになり、回答意欲が低減している。
30	もっと認知度を高めるために、いろいろな雑誌、フリーペーパー、刊行物などに載せる。
31	詳細を知るとより身近に感じられる。
32	九州ロゴマークの認知度は低いのではないかと感じました。ご当地キャラと九州ロゴマークが合体したデザインなどがあると興味が湧き、知るきっかけにつながるのではないかと感じた。
33	小学校の式にも、県章とともに掲げてほしい。
34	申請すれば民間企業や団体、個人でも使用することができることが商工会や会議所で周知されると良い。県が行う経営革新補助金の時に活用例に入れれば、本件活用周知において広告費もかからない。
35	平成30年5月に作られたロゴの割にはあまり浸透していないように思います。もっともっと積極的にロゴを使っていく、使ってもらうことを展開していかないと、せっかく作ったロゴが税金の無駄遣いで終わってしまいもったいないと思います。
36	県民への浸透がうすいと思われる。県職員のための襟章かと思っていた。
37	どこかの建設会社のロゴに見える。九州のイメージがわからない。
38	地下鉄利用の際に、スーツ姿の人が偉そうにしていたので知った。

39	九州が連携して一体となっていることを PR してどのようなことを期待しているのか、どのような効果や意味合いがあるのかがわかりにくいです。
40	このマークがあることによるメリットがあまり感じられない。ただ、デメリットがあるわっ気でもないと思うので続けて良いのではないかとも思っています。
41	わかりやすいマークだが、町中であまり見かける事がないので、知名度は低いと思う。
42	そのようなロゴマークは知らなかったし、そのロゴマークが掲示されているはイベントや催しにもこれまで行き当たらなかったのだろうと思う。県単一のイベントなどはちょこちょこ見掛けるが。
43	初めて見ましたが、わかりやすく目立つデザインで好感が持てます。もう少し目にする機会があればいいのと思いました。
44	初めて見ました。
45	電車の中で貼って欲しいです。
46	なんとなく見たことがある感じ。どこで見たとはっきり言えません。近年はコロナ関係で外出控えしていたこともあるかと思いますが、HP を読んでいてとても良い企画だと感じたので各県内のイベントや広報誌を通じてもっと周知されるとよいなと思います。
47	見た事はあるが、意識して見たことはなかった。もっと一目でわかりやすいイメージなら子供たちにも馴染みやすいかなと思います。
48	ロゴは見たことなかったですし、URL から見ましたが特にインパクトも感じられなかったです。また、概要も見ましたが一般の我々にはあまり関係ないかなと思いました。
49	特にないが、どこで観たか記憶にないくらい認知度は低いと考える。
50	知りませんでした。もっと使うようにしてもらえたらいいかと思います。
51	特にありません。ただ、面白いと思うのでもっといろいろなところでお知らせしてほしい。
52	おしゃれで素敵なデザインだと思っていました。意味合いは今回初めて知り、さらに好きになりました。
53	いろいろ使用されていると書かれていましたが、私の社会活動が少ないためか全く知りませんでした。 PR がもっと必要かと思います。
54	福岡で子育てをしていると、「九州ってやっぱりつながってるなあ」と感じる人が多いです。家族で出かけると、熊本の温泉や佐賀の海、長崎のイベント、大分の動物園など、県境をまたいで遊ぶことが日常的で、距離も近いし、文化も食も似とるけん、まさに「九州は一つ」という言葉にはすごく共感します。そういう意味で、この九州ロゴマークが「のれん」をモチーフにして九州の一体感を表しとるのは、温かみもあってとても良いと思います。 ただ、正直に言うと、日常生活の中でこのロゴを見かける機会はあまりありません。自治体のパンフレットやイベントポスターにはたまに見ますが、スーパーや地元商品のパッケージなど、もっと身近なところに使われたらいいと感じます。たとえば「九州産の安心な野菜」や「九州の子育て支援プロジェクト」など、暮らしや子育てに関わる身近な場面でこのマークを見かけると、「あ、これ九州の取り組みなんだ」と親しみが湧きます。 また、子どもたちにも「九州ってこうやって繋がっているよ」と教えやすい教材や動画、スタンプラリーみたいな体験イベントなどがあると、家族で楽しく学べるきっかけにもなると思います。最近は地域ごとのキャラクターやご当地カードが人気

	<p>ですが、九州ロゴもそういう形で“九州の絆”を子ども世代にも伝えていけたら、もっと広がるはずです。</p> <p>九州は自然も人もあたたかくて、外から来た人にも「一つの地域」として誇れる魅力があります。九州ロゴマークはその象徴として、もっと生活の中に溶け込む存在になってほしい。観光PRだけでなく、子育て・教育・食・防災など、県を越えて支え合う九州の姿を、このマークを通して発信していけるといいなと思います。</p>
55	ときどき目にするが何を意味するのか分からなかった。ただ、形から「九州」に關係する何かのロゴくらいにしか思わなかった。
56	説明を見ると良く考えられたデザインなのですね。
57	もう一つ遊びが欲しいです
58	『九州は一つ』素晴らしいロゴマークです。 これからの展開を期待します。
59	九州の魅力がより伝わるように、ロゴはもう少しシンプルでわかりやすいデザインだと嬉しいです。今のロゴは、情報だけが独り歩きしている感覚もあり、所見では印象に残りにくいと感じました。 色使いや形がもう少し、地域の個性に寄り添ったものであるともっと面白いかもしれません。
60	ロゴマークの展開をさらに広げていくことが必要だと思いました。様々な公共交通機関の車体に印字することによって、認知度が高まると思います。
61	存在を知らなかったです。
62	今まで知りませんでした。山口も地元なので福岡含めてロゴマークを確認してみます。取り組みも確認します。
63	今回の調査で初めて目にしました。
64	九州の地図を型どったデザインがわかりやすいと思う
65	九州は一つとしての位置づけは理解できるものの、観光物産の発信は基本的に各県単位で行われているのが実情ではないでしょうか
66	見たことはありますが、それが何なのか全く知りませんでした。 目には入ってはいますが「店のロゴかな？」くらいの感覚なので印象にも残りませんでしたし、どこで見たかもよく覚えていません。 自分で事業等をしていない限り、知らない人の方が多いのではないかと思います。
67	シンプル過ぎてスルーしていたかも。
68	今度から意識して探したいと思った。
69	特に意見はありません。しかし、沖縄も九州との枠組みに入れるのであれば、沖縄も入っていると分かるようなデザインにするともっと情報発信やデザインの活用に繋がると感じました。
70	非常にいい取り組みだと思います。 町中やイベント会場で見かけると嬉しくなります。 もっともっとPRして欲しいと思いますし、JR九州や西鉄などとタイアップして観光業に力を入れるのも一つの方向性と考えます。
71	このマークがなにを表しているのか知りたい。
72	赤い色に意味があるのでしょうか？ 赤が良くない訳ではないが、色のバリエーションがあっても良いのではないかとと思う。

73	九州ロゴマークを、自治体関係の広報紙、啓発ポスターだけでなく、医療や介護等の利用者が多い場所に掲示するポスターに印刷してほしい。
74	このアンケートではじめて知りましたが、よい試みだと思うので広がって欲しいと思います。
75	認知されているとは思えない。
76	九州を表していると一目でロゴと分かり好きです。
77	ロゴデザインが素敵なので、ロゴの意図を知ってもらい、申請すれば企業や団体、個人でも利用できることをアピールして、色々な場面で利用されるようになると良い。
78	これから気をつけて確認します。
79	九州が協力して取り組むことにシンボルマークとして一目で見てわかるので良いと思います。福岡ではよく見かけるのですが他県ではどうなのかなと思います。
80	デザイン、作った経緯など共感出来ます。ただ、見かける機会がないので、ピンバッジやシールなどで、周知徹底出来たらいいのかなと思います。
81	前々からこのロゴマークについては、感じていた事があります。それは KYUSHU と一体になっているからよく見れば判るが、ぱっと見は、漢字の九、州、一の組み合わせには見えず、小や川のデザインに見えてしまう事。説明がなければ判りづらいロゴマークだと感じます。
82	マークの意味をもっとたくさんの方が知ったらいいなと思いました。
83	ロゴマークの主旨が世間に知られてないような気がします。
84	色彩的に地味。もっとカラフルにした方がよかったです。
85	人目見ただけではわかりにくい感じがする。言われたらそうか。と思うが。少し大人しすぎる感じ。
86	「九州らしさ」が抽象的で、初見では意味が伝わりにくい可能性があります。
87	ロゴマークがついていることによって、九州、山口近隣の商品と分かってもらえるようにどのようにアピールしたら良いか
88	意味が分からない！公募して、投票やデザインを募集して決めた方が、注目されて県民に馴染みができます。やり方を考えた方がいい。
89	各県知事が付けているバッチには見かけることがあるが、九州山口が一体になってやるという具体的なことが見えない。
90	全く知りませんでした。もっと色々なところに設置して欲しいです。
91	素敵なロゴなので、観光のPRも取り入れたら良いと思う。 SNSでイベント等のアピールをして欲しいです。
92	見たことがないので、今後、気をして見ていきたい。
93	ロゴマークを見る事はあるが、その意味の周知を見たことが無いので理解が進んでいないと思う。せっかくなので、周知して欲しい。
94	ロゴマークの理念やデザインの趣旨は理解できるものの、日常の中で目にする機会がまだ多くないと感じています。自治体や企業が活用している事例を、もう少し分かりやすく紹介してもらえると認知が高まり、住民としても親しみを持ちやすくなると思います。また、観光地や交通機関など、県外の人に触れやすい場面での活用を広げることで、「九州は一つ」というメッセージがより伝わるのではないかと感じます。

95	いまいち九州、山口の人に主旨が理解されていない。
96	厳密に言うと、「見ていたと思うが、印象に残っていない」という感じであった。今回初めて認識した。福岡県だよりもプリントされているのに気づいた。福岡県のお花のマークや地下鉄の各駅のマークは、よく目にしている。では、どうして九州ロゴマークの認識が私的に低かったか考えてみると、ぱっと見”川”に見えて漢字に近い形になっていることが関係しているのかもしれない。脳内で、ロゴというよりも文字として認識していたのかもしれない。取り組みは素晴らしいと思うので今後も続けてほしいと思うが、ロゴの変更もありかもしれない。
97	とても良い取り組みだと思います。九州が一体となって活性化を目指しているところが、大変良くわかります。これからもいろんなかたちで継続してもらいたいです。
98	さらに各分野で広く使用して欲しい。
99	もう少し柔らかい感じもいいかもしれません。
100	至るところでこの九州ロゴマークを拝見するようになりました。ただ、これに「九州は1つ」というメッセージはあまり浸透していないように思います。ロゴの「意味」に対する認知度もあげて行ければいいなと思います。
101	こんなロゴマークが存在することを初めて知りました。駅とか空港とかでもみたことがありません。もっと積極的な公開が必要ではないかと思いました。
102	憶えやすくわかりやすい。
103	九州ロゴマークを私は全くしりませんでした。もしかすると、色々な場面で使われているのかもしれませんが、もっと街中（地下鉄の中、バスの中、駅、デパート、スーパーなど商業施設、学校など）の目に付くところにあるといいと思います。
104	何となく見たことあるように思う。今回よく見ると九州の文字が合わさり良いと思う
105	見ても何を意味するものか分かりにくいので印象が薄く覚えていない。
106	九州という一つのかたまりをロゴマークという分かりやすい形で表現することはよいことだと思います。もっとその、意味とかをアピールしてほしい。
107	九州一帯で取り組まれていて大変良い。
108	山口県が入っている理由は何でしょうか？あまりイベントとかでもこのマークを見たことがないように思います。文面を読んだ印象では、ちょっと分かりにくいと感じました。
109	見たことは何度もありましたが、意味や経緯は知りませんでした。今回このアンケートを通じて初めて知りました。
110	カッコいいと思います。もっと普及してほしい。
111	インパクトのあるとても良いデザインだと思います。
112	「州」だと本州もあるために九州のイメージが薄い。背景に九州の絵でもあればインパクトは強くなる気がする。
113	イベントにて聞いたけど知らない人が多くてがっかり？PR 不足か？
114	九州山口で連携して盛り上げようとロゴマークの制作をはじめ活動することは良いことだと思うが、認知度は低いと思う。活動の幅を今後広げていくことが課題ではないか。
115	いいマークだと思います。ただ、最初見たときは、JR九州のマークかな？と思いました。
116	何のロゴマークかよくわからない。本州でもあてはまるように見える。もう少し一目でわかるものがないと思う。

117	認知度が低いのでもっとアピールしたほうがいいと思う。
118	目立ちにくくわかりにくいと思いました。
119	見たことはあるのかもしれませんが、記憶にありません。
120	ロゴマークは何となく見覚えがあるだけで、成り立ちや意味などを意識したことが無かった。九州が一丸となって経済的に何か取り組んでいるということは感じたことが無く、福岡だけが経済的にも知名度的にも独走をしているという印象がある。
121	必要性が全くわからない。
122	九州というエリアを商業的、観光的なものとして取り上げる時に「マーク」として、象徴的に印象付ける点は、とても賛成である。
123	このロゴマークを見て、九州は一つというメッセージはうけとることができますが、山口の複数の県も連携するというのに少し疑問があります。 このロゴマークがくまモンほど浸透していないのでなかなかわかりにくい気はします。
124	九州のロゴマークは見たことなかったので、県や市が主催するイベントなどで PR すべきだと思う。
125	福岡のマークと比べて、あまり知られていないのではないかと思う。もっと、周知できるように、ロゴマークを使うべきではないか。
126	もっと色々なところで目につくようにしてほしいと思います。
127	わかりやすいデザインでおしゃれなので、まだまだいろんなところや商品に使われてほしいです。

令和7年度 県政モニターアンケート 調査結果

テーマ:令和7年国勢調査について

福岡県企画・地域振興部 調査統計課

1. 調査の目的

今年度は国勢調査が実施されました。国勢調査は我が国の人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策等の基礎資料を得ることを目的として5年に一度、すべての世帯を対象に実施される重要な調査です。

しかし近年はプライバシー意識の高まりや在留外国人の増加などから、調査の実施が難しくなっております。

そのような中で、福岡県では国勢調査の重要性を県民の皆様にご理解していただき、回答率を向上させるために実施した広報について、次回調査(令和12年実施)の参考とするため、アンケートを実施しました。

2. 調査時期

令和7年11月7日～12月4日

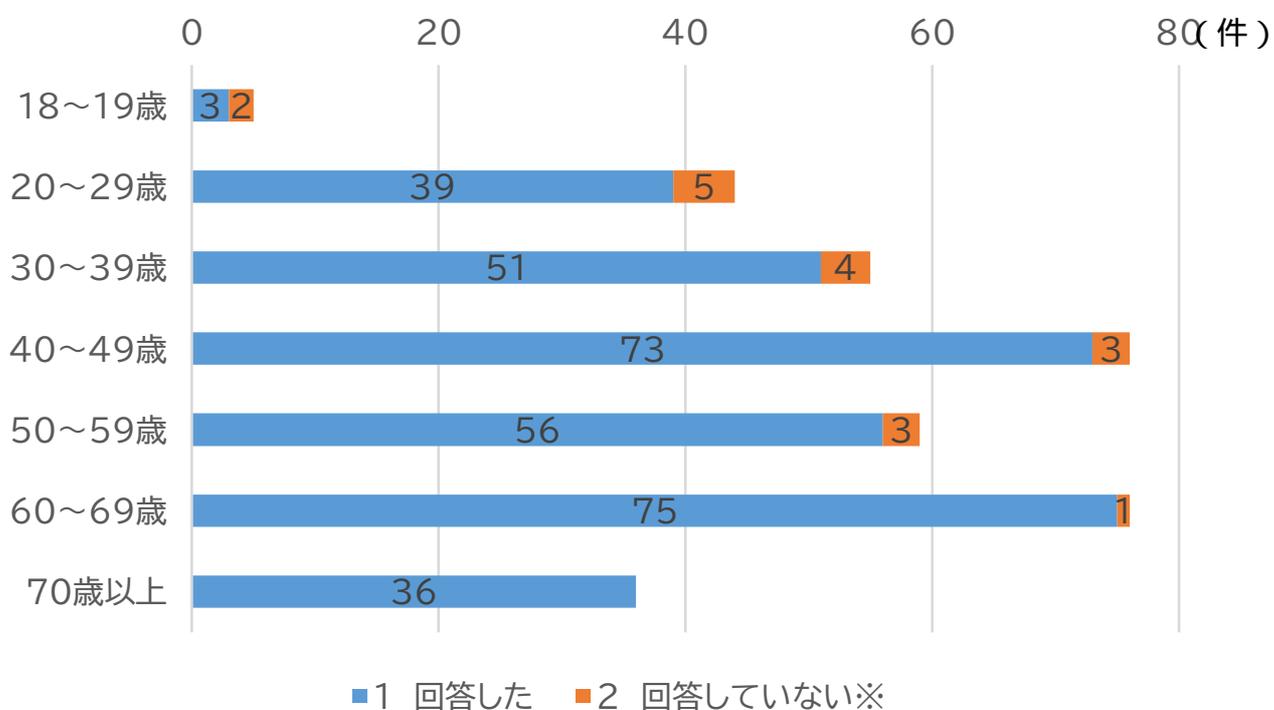
3. 回答者構成

項目		計		北九州	福岡	筑豊	筑後
		人数(人)	構成比				
総数	人数	355		92	183	28	52
	構成比		100.0%	25.9%	51.5%	7.9%	14.6%
性別	女性	185	52.1%	48	97	13	27
	男性	168	47.3%	42	86	15	25
	その他	2	0.6%	2	0	0	0
年代別	20代以下	51	14.4%	12	27	4	8
	30代	56	15.8%	15	29	5	7
	40代	76	21.4%	19	39	6	12
	50代	60	16.9%	17	31	4	8
	60代	76	21.4%	21	34	8	13
	70代以上	36	10.1%	8	23	1	4

4. 回答結果

問1 令和7年国勢調査に回答いただけましたか。次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合	年代	1 回答した	2 回答していない※
1 回答した	333	93.8%	18～19歳	3	2
2 回答していない	22	6.2%	20～29歳	39	5
合計	355	100.0%	30～39歳	51	4
			40～49歳	73	3
			50～59歳	56	3
			60～69歳	75	1
			70歳以上	36	0
			合計	333	18



※年代別「2 回答していない」の人数は、問2「その他」の理由で「ほかの家族が回答した」等の回答を除いている

調査への回答率を世代別にみると、若年層ではやや未回答率が高い傾向にある

問2（問1で「回答していない」と回答された方にお尋ねします）回答しなかった理由をお聞かせください(複数回答可)

	合計	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 忙しくて回答する時間がなかったから	9	0	3	3	2	1	0	0
2 個人情報漏洩しないか不安だったから	8	0	3	1	1	3	0	0
3 自分が回答しなくても影響はないと思ったから	3	0	1	1	1	0	0	0
4 国勢調査を実施していることを知らなかったから	1	1	0	0	0	0	0	0
5 その他	7	3	0	2	0	1	1	0

（「その他」の具体的内容）

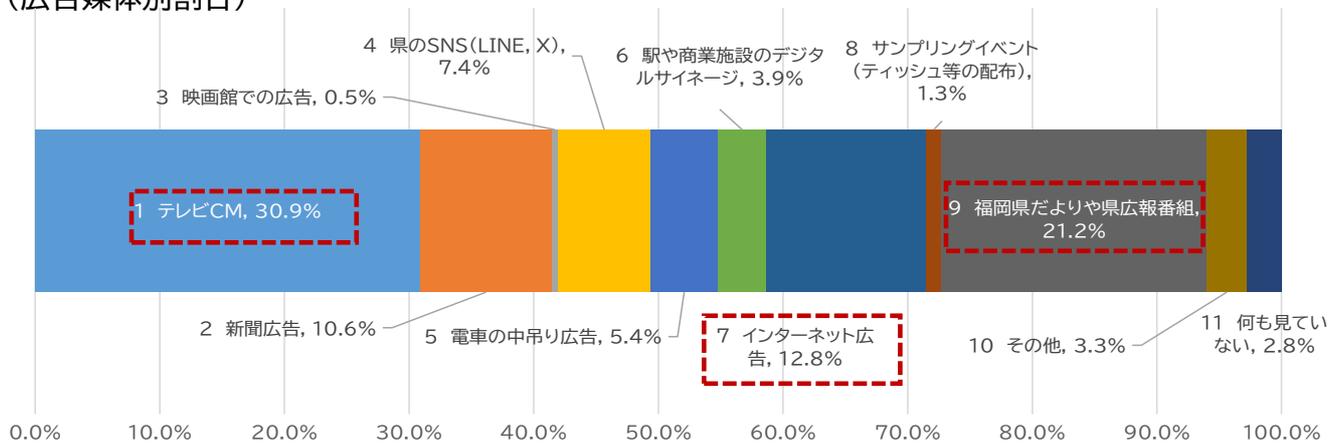
性別	年代	地域	内容
女性	30～39歳	福岡	世帯主の父が回答し、郵送したから。
男性	30～39歳	福岡	オンラインで回答したかったが、回答期日が短いことに気づくのが遅く、期限が過ぎてしまっていたかといって紙ベースで回答するには自分自身には手間に感じる作業であった
男性	18～19歳	福岡	アンケートがある事を知らなかった。
女性	18～19歳	筑豊	家族と暮らしているから
男性	18～19歳	筑後	家族が回答しているから。
男性	60～69歳	筑後	国勢調査の回答用紙がうけとれなかったから。
男性	50～59歳	筑後	父が回答したから

国勢調査の実施を知らなかったために回答できなかったのはごくわずかである。現役世代を中心に回答の時間がなかったことや、プライバシー意識の高まりによる個人情報漏洩の不安などが原因として見られた。

問3 令和7年国勢調査に係る各種広告について、見聞きされたものをお選びください
(複数回答可)

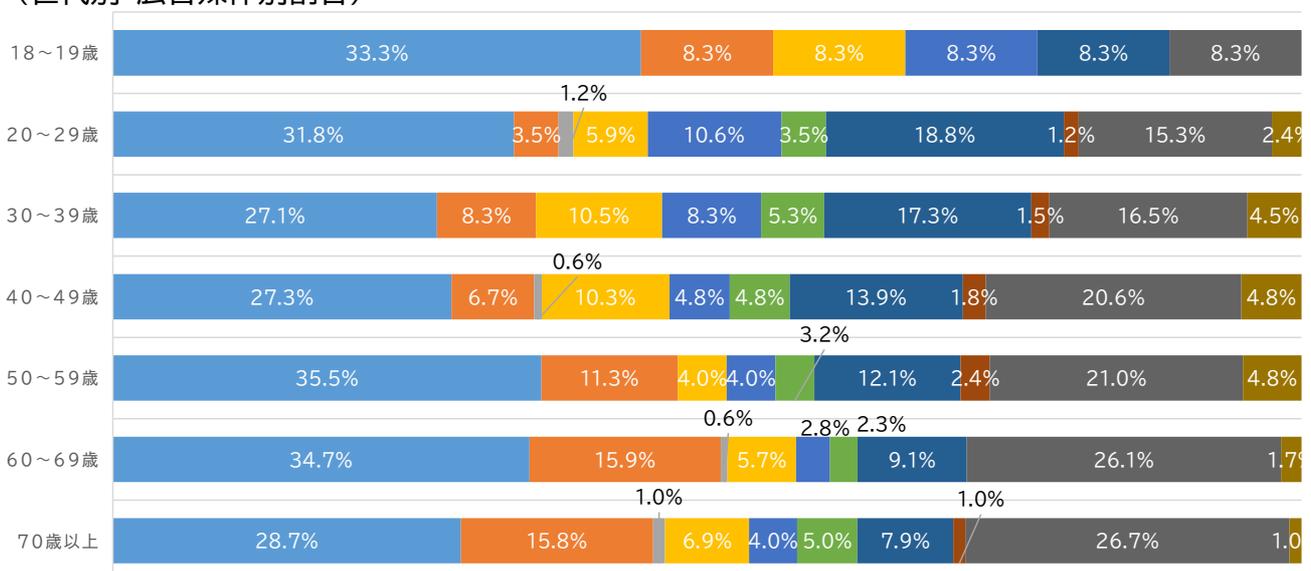
	18~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳 以上	合計
1 テレビCM	4	27	36	45	44	61	29	246
2 新聞広告	1	3	11	11	14	28	16	84
3 映画館での広告	0	1	0	1	0	1	1	4
4 県のSNS(LINE, X)	1	5	14	17	5	10	7	59
5 電車の中吊り広告	1	9	11	8	5	5	4	43
6 駅や商業施設のデジタルサイネージ	0	3	7	8	4	4	5	31
7 インターネット広告	1	16	23	23	15	16	8	102
8 サンプルイベント(ティッシュ等の配布)	0	1	2	3	3	0	1	10
9 福岡県だよりや県広報番組	1	13	22	34	26	46	27	169
10 その他	0	2	6	8	6	3	1	26
11 何も見ていない	3	5	1	7	2	2	2	22
合計	12	85	133	165	124	176	101	796

(広告媒体別割合)



広告媒体別で見ると、最も多く見聞きされたのはテレビCMであり、県の広報媒体とインターネット広告がそれに続く。

(世代別・広告媒体別割合)



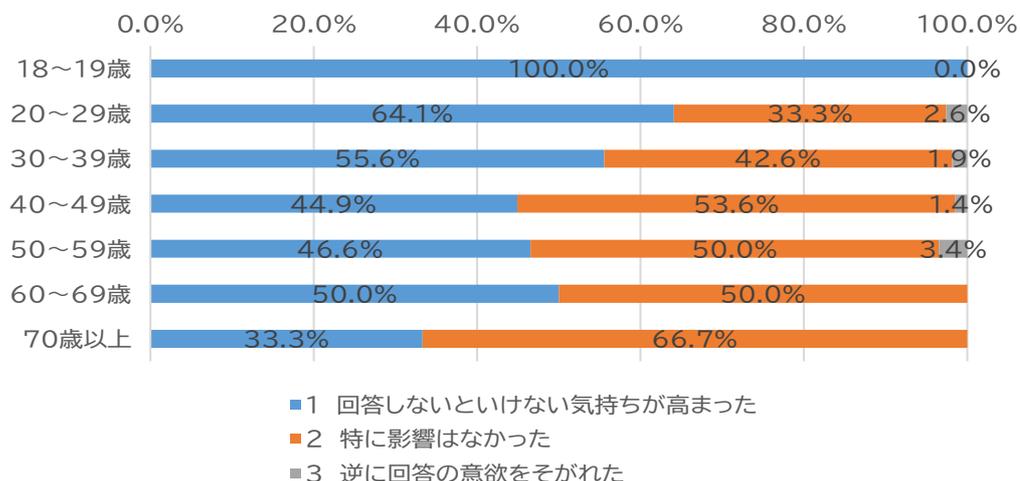
テレビCMは幅広い世代で見られている。高齢者層は新聞広告の比率が、20代~30代はインターネット広告の比率が相対的に高くなっている

（「その他」の具体的内容）

親	訪問担当者からの案内
・市の広報誌 ・国勢調査の迷惑メールがたくさん届くようになったので、それもある意味広告になった	テレビ：モーニングショー
調査員申込用紙案内、今年国勢調査員に申し込んだので。	町内の掲示板
電車内の音声広告	仕事の関係で
市政だよりと再度ポストに回答する旨を書いたチラシが入っていました。	町の広報誌
町内会の会議	飯塚市の放送でよびかけていた。「国勢調査にうかがっていますので、ご協力ください」と。
訪問	マンション管理人からの掲示板。
SNSで「国勢調査詐欺に気をつけましょう」という内容が流れていた。	町内放送、回覧板
調査員の投函	テレビ番組
市のちらし	町内の掲示板
インフルエンサーのSNS	マンション内の掲示板での告知
調査に関わる方が事前に訪問されました。	筑後市の広報誌
実際に国勢調査の調査員も行った。	郵便

問4（広告を見聞きされた方へ）上記の広告により国勢調査の回答への意識が高まりましたか。

	1 回答しないとイケない気持ちが高まった	2 特に影響はなかった	3 逆に回答の意欲をそがれた
18～19歳	4	0	0
20～29歳	25	13	1
30～39歳	30	23	1
40～49歳	31	37	1
50～59歳	27	29	2
60～69歳	37	37	0
70歳以上	11	22	0
合計	165	161	5

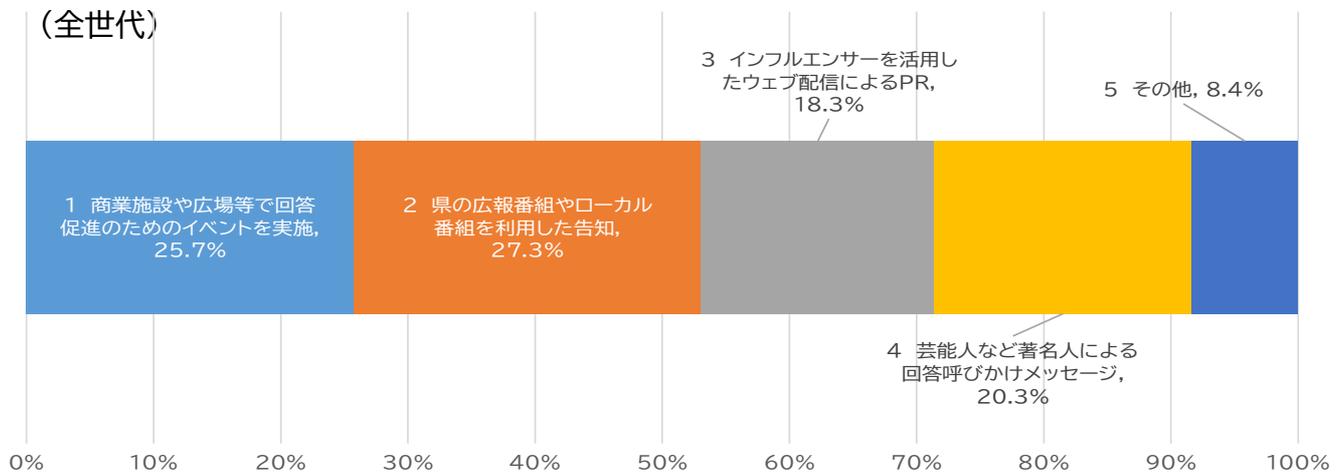


若年層を中心に広報は一定の効果があったと思われる

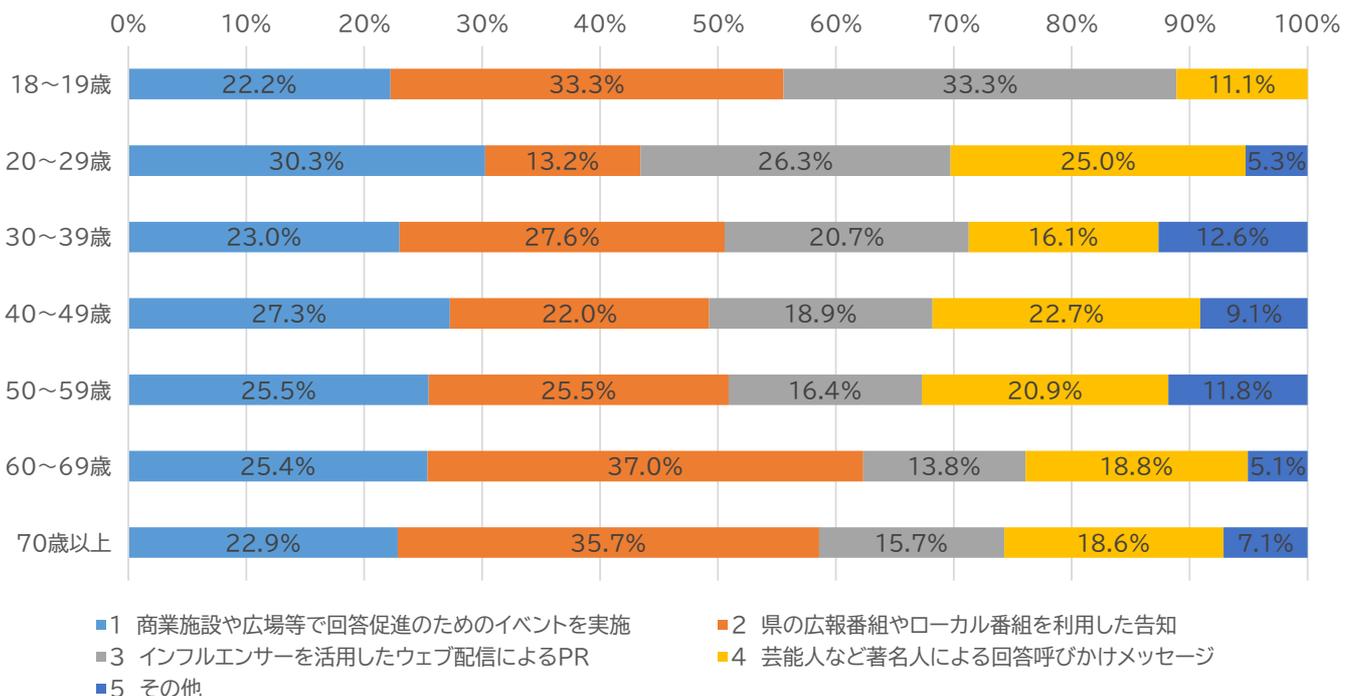
問5 近年、プライバシー意識の高まりや在留外国人の増加などから国勢調査の実施が難しくなっております。今回は「問3」に記した広報を中心に実施いたしましたが、それ以外に、国勢調査の重要性を理解し、回答率の増加につなげるために有効と思われる広報のやり方をお聞かせください(複数回答可)

	1 商業施設や広場等で回答促進のためのイベントを実施	2 県の広報番組やローカル番組を利用した告知	3 インフルエンサーを活用したウェブ配信によるPR	4 芸能人など著名人による回答呼びかけメッセージ	5 その他	合計
18~19歳	2	3	3	1	0	9
20~29歳	23	10	20	19	4	76
30~39歳	20	24	18	14	11	87
40~49歳	36	29	25	30	12	132
50~59歳	28	28	18	23	13	110
60~69歳	35	51	19	26	7	138
70歳以上	16	25	11	13	5	70
合計	160	170	114	126	52	622

(全世代)



(世代別)



- 1 商業施設や広場等で回答促進のためのイベントを実施
- 2 県の広報番組やローカル番組を利用した告知
- 3 インフルエンサーを活用したウェブ配信によるPR
- 4 芸能人など著名人による回答呼びかけメッセージ
- 5 その他

全体では県の広報番組やローカル番組が最も有効という結果であった。世代別に見ると10代~20代の若年層にはインフルエンサーや著名人を活用することも比較的有効だが、イベントやテレビ番組なども含め多様な方法による広報が必要と思われる。

(その他の具体的回答)

男性	20～29歳	北九州	プライバシーに配慮していることや在留外国人も回答する必要があることを強調すべきだと思う。若い世代や外国人はそもそも国勢調査が何か分かってなくて回答する必要がないと思っている。
男性	30～39歳	北九州	メディアで煽らず、国、県での正しい情報提供
女性	40～49歳	北九州	日本語学校、地域の日本語教室で広告書類提示、外国人の職場、ラジオテレビで多言語の説明すると良いです。
女性	40～49歳	北九州	国勢調査は、日本語がよくわかった人じゃないと、難しいと思うので、色々な言語で調査しないと回収率がよくなると思う。
男性	60～69歳	北九州	マイナンバーカードと紐付けてポイント付与など実施すれば回答率が上がらないでしょうか？ これまで使用していた広報料金をポイントに充ててください。
女性	40～49歳	北九州	勤めている会社を通してなどの方が回答率が上がるのではないかなと思う。私の場合は調査員が知人であったため安心して回答できた。
男性	20～29歳	北九州	質問内容やどのくらいで終わるかを予め伝えれば、そんなに手間じゃないことが分かると思う
男性	30～39歳	北九州	国勢調査をしなければ、補助金が貰えない等の対応が必要 宣伝、協力をお願い等では限界があると思う
男性	70歳以上	北九州	プライバシー保護は、強化されたと感じている。在留外国人は、在留資格更新の条件とする。未提出者の調査と説得、それでも未提出の場合 住民税加算。
女性	40～49歳	北九州	年末調整のように会社などで実施する
男性	50～59歳	北九州	いろんな省庁で色々調査をしているが無駄じゃないかと常々感じている。実施が難しいなら辞めるという選択肢はないのか不思議に感じる。
男性	70歳以上	北九州	大分前に回答したので内容を忘れてしまいましたが、多くの費用をかけ国勢調査を行うことに疑問を感じました。各地区に民生委員がいますので、その人たちの協力で大半の回答は得られると思います。またマイナンバー制度を充実できれば、費用をかけずに済むのではないのでしょうか。
男性	40～49歳	北九州	広報では変わらないのではないかな
女性	30～39歳	北九州	在留外国人にも分かりやすくして伝わりやすい、協力してもらえるような広報が有効になると感じた。
男性	50～59歳	北九州	たまたま知ったのですが、今年は郵便局のスペースを使って、デジタル機器でその場で案内をしながら回答ができる場所が近場にありました。 全体的に見れば効率はそこまで良くないかもしれませんが、一定の年齢以上の人たちにはかなり効果があったのではないかなと思いました。
女性	30～39歳	北九州	回答者には金券やマイナポイントの進呈等の金銭的な還元がないと、個人情報の提供は今後ますます困難になると思う。
男性	50～59歳	福岡	国勢調査に協力しないと、市町村県民税が上がる仕組みにして欲しい
男性	30～39歳	福岡	日本国民としての共同体意識を高めることが必要です。 「社会全体で支え合う仕組み作りに協力することが国勢調査の意義」と明確に伝えることが重要だと思います。
男性	30～39歳	福岡	高齢層のパソコン教室のほか、各国語に向けたポスターの掲示
男性	50～59歳	福岡	義務教育で周知する
男性	40～49歳	福岡	勤務先に配ってもらい、回収してもらった方が回答率向上につながると思います。
女性	50～59歳	福岡	情報漏洩は無く安心だということの徹底周知
女性	50～59歳	福岡	現状で足りている

男性	70歳以上	福岡	個人差があります 国民の義務と思います 学校等の授業で認識する必要があるのでは
女性	50～59歳	福岡	NHKニュースなどで取り上げてもらう
男性	40～49歳	福岡	保育園や学校など、地域の身近な場を通じた周知が効果的だと思います。子育て世代は日常の忙しさから広報を見逃しがちですが、園便りや学校のお知らせに国勢調査の案内があれば、家庭で話題にしやすい、家族全体で意識が高まります。 また、「国勢調査」という堅い名前を少し柔らかくして、「みんなの暮らし調査」や「日本まるごとチェック」など、参加意識を持ちやすい呼び方に変えるのも効果的だと思います。
女性	20～29歳	福岡	SNSで「無作為に選ばれている、プライバシーの損害になっている」などの間違った情報が流れていたため、そういった情報をテレビなどで大々的に否定した方がいい。
女性	70歳以上	福岡	学校教育の現場で国民としての意識づけをする。
男性	40～49歳	福岡	企業から所属している社員への周知
男性	30～39歳	福岡	国勢調査の目的や意義、国勢調査を通して政策や社会保障にどう生かされるのかを国民や在留外国人の方々に周知と理解を深めることが必要だと感じた。
男性	50～59歳	福岡	特になし
女性	30～39歳	福岡	ネット広告、市役所等での直接回答
男性	40～49歳	福岡	会社、職場での啓発活動
女性	60～69歳	福岡	インターネットで簡単に回答できるのでめんどくさいと思って拒否している人に知ってもらうのもいいかもしれません。 ネット回答者にはネットで使えるポイントを付与したら効果があると思いますが経費が掛かるのが難点ですね。
女性	60～69歳	福岡	仕事をされてる方も多いの職場での呼びかけやポスター等が必要ではないでしょうか
男性	60～69歳	福岡	回答率に問題があるとすれば、昨今のフィッシングや詐欺メールといった悪質詐欺行為と大きく関係していると感じます。そのような背景の中で個人情報に関わる事への警戒感が大きいのではないかと。そういう意味では、広告やプロモーションよりも調査方法のやり方を見直す視点も必要だと簡易います。
女性	50～59歳	福岡	国勢調査の重要性は理解していますが、詐欺と思われるメールが多く届き、正規の案内との区別が難しく不安です。安心して回答できるよう、公式マークの明示や送信元の統一など、信頼性の高い広報を強化してほしいです。
女性	40～49歳	福岡	国勢調査は必要がない
男性	50～59歳	福岡	ラジオやテレビ番組の情報コーナーでの広報。 日刊紙での広告。
男性	60～69歳	福岡	回答したら、くじやポイント、現金を配る。
女性	50～59歳	福岡	コンビニ内でラジオ放送風にして流す。外国語でも。
男性	60～69歳	福岡	回答した場合には、景品等のメリットをつける。
女性	60～69歳	福岡	広報では変わらないと思います。 国勢調査に回答した人と回答していない人で受けられる特典があると回答率変わると思います。例えばマイナポイントのようなものがあれば皆さん回答する意義を感じるのではないかと以前から思っていました。もしくは厳格な義務化を実施するとかも。国勢調査に未回答の場合は補助金を受けられないとかにすれば、各家庭の回答率上がるのではないのでしょうか。
男性	30～39歳	福岡	国勢調査の重要性を認識していない人に対しては、問5にあるようなイベント・PRはあまり効果がないのではないのでしょうか。回答者への協力品のような目先の利益につながるものの方が効果がありそうです。

男性	50～59歳	筑豊	協力者への報酬
男性	40～49歳	筑豊	・市役所などで回答用紙配布し、回答支援を行う(今回、詐欺を疑い回答を拒否するケースや心理が働きやすかったため)。 ・マイナンバーカードからのプッシュ型のお知らせ。 ・広告に経費をかけるのであれば、回答後に地域で使えるクーポン券や割引券を配布して回答を促す。
女性	30～39歳	筑豊	広報の問題ではなく、調査方法の変更が必要な時期にきている。
男性	20～29歳	筑後	回答をしても時間は取られるがメリットがないのでなにか回答によるメリットが欲しい。商品件やQUOカードが貰えるなど
男性	40～49歳	筑後	各企業、団体内での展開を依頼。
男性	50～59歳	筑後	回収や訪問してくる人の対応が悪いのをよく耳にします。 アルバイトだとしてもきちんとした対応ができる人を雇用すべきだ。 また、一目で国勢調査員だとわかる服装と専用のバスケースで提示させるべきだと思います。
男性	70歳以上	筑後	広報にお金をかける意味がわからない
男性	30～39歳	筑後	個人情報保護の観点、最近の情報流出の事案、犯罪などの増加を背景として回答を控えるケースが、多いと思う。(自身も少し躊躇った) 安全性について何かもう少しアピールできれば少し違うかも。

問6 令和7年国勢調査について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。 ※「特になし」等の回答を除く

男性	30～39歳	北九州	各家庭に知らない人が調査用紙を手渡しで渡すのは、時代遅れで防犯意識の高まりで出る人が少なく非常に効率が悪いと思う。時代の変化に応じて変えるべきでは？
女性	20～29歳	北九州	インターネット回答が便利で良かったです。 セキュリティなど大変だとは思いますが、続けていただきたいです。
男性	60～69歳	北九州	国内の人口や就業状態などの実態を把握するためには必要な調査だと思う。しかし住民の理解や協力が得にくくなって調査は難しくなっており、最近では国勢調査まがいの詐欺まで発生しているので、調査方法は最高の必要があると思う。
女性	60～69歳	北九州	初めて国勢調査員として活動しました。原則調査票手渡しというアナログな調査方法に疑問を感じました。2度とやりたくありません。
男性	30～39歳	北九州	無意味に感じている方も多いため、やることの意義を明確に
女性	40～49歳	北九州	今年初めて国勢調査員になりましたが、それで今まで国民の責務なのでしっかり書いていましたが、調査員側に回るとより自分しっかり理解出来国勢調査の有り難みが分かりましたので、今後もなるべく国勢調査員は続けたいです。
女性	30～39歳	北九州	もっと匿名性があり、回答がどのようにいかにされるのか、回答したらどんないいことがあるのかが分かるかというのかなと思います。
男性	50～59歳	北九州	回答が困難な方への対応を考えることが急務だと思う。
女性	60～69歳	北九州	従来の調査には改善すべき点があると思う。 オンライン回答はできるようになったが個別訪問販売されて用紙を受け取る方法は時代にそぐわないのでは？
女性	40～49歳	北九州	職業を書くところが、面倒で難しい。
男性	70歳以上	北九州	国勢調査が自分たちにとって面倒なものとの感覚がぬぐえません。もっとこの調査が自分たちの生活に必要と感じるため、下記のことを考えます。 ■「自分ごと」になる質問設計 住環境、医療、教育、子育て支援、災害対策など、回答者の生活シーンに直接つながる質問を増やし、「回答＝地域サービス向上」と実感できる内容にする。 ■結果のわかりやすい可視化 回答後に、自治体ごとに反映された政策例や数値変化を、SNS・アプリ・郵送などで届け、調査が生活改善につながった実感を得られるようにする。 ■調査回答のインセンティブ化 回答者に地域ポイントや行政手続きの簡素化など、実質的なメリットを付与し、“やらされている”から“得するからやる”へ転換。 ■個人情報の透明な説明 情報の利用目的・保護体制や「何を収集していないか」を明示し、安心感を持って回答できる環境をつくる。 ■テーマ別のミニ調査の導入 5年に1度の大規模調査だけでなく、必要なテーマを短い設問で定期的の実施し、市民参加のハードルを下げる。
女性	50～59歳	北九州	国勢調査の記入の仕方をじっくり見て、インターネットから回答しましたが、最初の2ページの説明で迷いました。調査の封筒を持参した方には、家族の人数を聞かれました。ですが、内容をよく読むと、今この家に住んでいる人について回答するということでした。入院している人は含まないとわかる。 持参スタッフの方は、家族の人数をどこかに反映するのでしょうか。 回答後、疑問に思いました。
男性	40～49歳	北九州	何のために実施しているのかよくわからない人の方が多いと思う。 朝のワイドショーや情報番組で説明された方が理解される人が多いのではないのでしょうか。
男性	30～39歳	北九州	会社内の同僚が国勢調査を答えなかったら罰則が発生するのを知りませんでした。 なので、そういった内容を全面的に出した方が強制力を発揮すると思います。
男性	50～59歳	北九州	国勢調査は国策を決定する上で重要な意味を持つ事業ではあるが近年の回答状況をみると有効に行われているか疑問に思う。このような調査で重要事項を決定する足掛かりになると誤った施策につながるのではと危惧する。国勢調査のあり方、方法について考え直す時期がきたのではないかとと思う。

男性	60～69歳	北九州	何のための調査なのか、私たちの暮らしにこういった形でフィードバックされているかをもっと強く周知してほしい。
女性	30～39歳	北九州	国勢調査の目的に疑問があるため、それを解決させるような討論会等をネットで流すなどすると興味を持って取り組める気がします。 例えば、家族構成の問がありました。すでに国には戸籍やマイナンバー等の個人やそれを取り巻く家族を把握する制度がありますが、それに登録しているにも関わらずさらに家族構成を問われる意味とは？など、そのあたりの透明性を聞けたりするとスムーズに回答しようと思える気がします。
女性	50～59歳	北九州	知り合いが市役所から、国勢調査票の回収と集計の依頼を受けたと言っていた。 公務員でもない市民に個人情報のバイトの話しがる事に驚いた
男性	40～49歳	北九州	最近は詐欺が多いので、国勢調査も詐欺ではないかと心配になった。
女性	70歳以上	北九州	インターネットで回答したが簡単でした。
女性	40～49歳	北九州	かなりの個人情報を入力しなければいけないので、昨今の詐欺や個人情報流出がよぎり、不安になった。あまり気乗りしなかったし、きちんと情報がなければ、詐欺だと思いです。
女性	30～39歳	北九州	絶対回答しないといけないというのが、プライバシーの観点から正直嫌でした。
女性	60～69歳	北九州	QRコードでの回答がとても簡単だった。 設問内容が昔と比べてずいぶん少なくなったので、それも含めて楽だった。
男性	50～59歳	北九州	マイナンバーカードで対応できるように改善すればいいし、それで収集できないデータは誤差として認識したほうが合理的なのではないかと思う。
女性	60～69歳	北九州	今回期限が過ぎても調査用紙が届かず、自分から行政に連絡して調査員が配布した。配布する人で滞っていることもあるので、郵送で届けて欲しい マイナンバーなどで携帯のサイト回答出来るようにして欲しい
男性	60～69歳	北九州	特にありませんが、今以上にスマホなどでも簡単に回答できるようにしていかなければ回答率は上がらないと思います。ただ、年配者には従来の紙媒体の方が回答しやすいので、回答方法を一本に絞るのではなくいろいろな方法で回答できるように選択を増やしていかなければならないと思います。
女性	60～69歳	北九州	私の地域ではないが、私の友人の地域で、調査票を配布する方が高齢になり、インターネット回答の事などよくわかっていらっしゃる方が固有番号を取り違え配布されたと聞いた。また近年のありえない酷暑の中、配布は酷ですので、郵便配達やアマゾンなどの配達員の方々に依頼しても良いのではないのでしょうか。
男性	40～49歳	北九州	広報してどうこうよりも、必須にするべき。 プライバシー云々よりも必須にするほうが先。 プライバシーで拒む人ほど大したプライバシーではない。データが乱れるほうが影響があると考える。 そのためにも、データを使う側のリテラシーももっとしっかりする必要がある。 外国人については戸籍もないので、在留するために記載を必須にするべき。問題があれば即退去なども含めて。
女性	60～69歳	北九州	国勢調査で把握するのが正確ではないと思い外人増加で今後より困難増加となると懸念
男性	40～49歳	北九州	ネットが使用しにくい
女性	60～69歳	北九州	当たり前だと思って参加してますが、出さない方への調査はされているのでしょうか
男性	50～59歳	北九州	回答するとポイントなどのインセンティブが付くようにすると回答率が上がるのでは。また、早く回答するとよりポイントが付くようにすれば、関心も高まると思います。
男性	60～69歳	北九州	回答した人への何らかの特典を与えるか、非回答者へのペナルティを事前に公開しておく。
女性	50～59歳	北九州	新聞で「現場はつらいよ国勢調査」というコラムを読みました。調査員活動を行った友人もいます。5年後も今のやり方で高い回収率は難しいだろうなあと思いました。
女性	60～69歳	北九州	実際に回答したが、一部、意味不明な所があった。
女性	30～39歳	北九州	「調査員が個別に自宅に訪問し、調査票の提出を促す」という方法がより困難な時代になっていると強く感じる。
男性	50～59歳	福岡	外国人を中心に、国勢調査に協力したら、マイナンバーカードより、税金を1000円割引してくれる様な特典をつけて欲しい。

男性	30～39歳	福岡	<p>国勢調査は、国民一人ひとりの生活実態を把握し、政策立案や社会インフラ整備に活かすための重要な手段であると同時に、日本国民としての「共同体への参加」や「主権者としての意思表示」の機会でもあるべきです。</p> <p>しかし現実には、政治が外国人労働者の受け入れ拡大ばかりを優先し、日本国民の生活安定や雇用環境の改善、税負担の適正化には十分に向き合っていないと感じている国民も多いのではないのでしょうか。これにより、「国勢調査に協力しても自分たちの暮らしは良くならない」「主権者として尊重されていない」といった不信感が生まれ、回答率低下にもつながっていると考えられます。</p> <p>まず政府・自治体がすべきことは、国勢調査を「協力させる手段」ではなく「主権者が関わる場」として位置づけ直し、国民一人ひとりがこの国の大切な構成員であると感じられるような政策姿勢を示すことです。住民の声を「集計」するだけでなく「反映」させる姿勢があってこそ、国勢調査の意義が共有され、真の参加意識が育まれていくと考えます。</p> <p>また、本調査は住民基本台帳と居住実態(住民票はそのまま他地域に就学等で転居している場合や同一の家で世帯が分離している場合など)をそのまま受け入れるべきであるが、住基通りでないで地方交付税交付金に影響したり、誤差の説明を用意する必要があるため無理やり住基に合わせる運用がなされていると推察される。</p> <p>このような運用では、実態の把握といった本来の目的は達成されない。</p> <p>乖離を受け入れず誤魔化しの運用をするのであれば、これこそ税金の無駄遣いである。</p>
男性	70歳以上	福岡	国民のどれくらいの方が回答していたのか気になる。
男性	30～39歳	福岡	<p>国勢調査そのものが時代にそぐわないものになってきているように感じます。</p> <p>調査内容が居住している建物の階数を尋ねたり、家族構成を尋ねたり、専業主婦かどうか、職場の名前を尋ねたりなど、昔の質問内容がそのまま使われていて、ニセ電話詐欺で聞かれるような質問内容になっているので、プライバシーを気にする人は答えたくないような内容になっていると思います。</p> <p>国勢調査そのものを令和の現状に応じたアップデートをしないとイケないと思います。</p>
男性	60～69歳	福岡	SNSを利用しました。前回まではペーパーでの提出で回を追うごとに進化していると感じたが、一方でお年寄りへの気配りの必要性を感じた。
男性	60～69歳	福岡	国民の義務として考えるべきだと思います。
男性	20～29歳	福岡	<p>街中での広告をもっと増やした方が良いと思います。</p> <p>特に、駅や空港など、大きな広告を設置できる場所に増やすと良いと思います。</p>
男性	50～59歳	福岡	個人情報扱いについて欧米より意識が劣る…低俗
女性	30～39歳	福岡	各戸配布だったので答えなければいけないという義務感もあり、回答するのが当たり前であると自然に思えたので回答を促す手法として良いと思います。
女性	40～49歳	福岡	<p>芸能人の方のPRなどありましたが、実際生活の中で目にする機会があまりなかったように思います。子どもはSNSで国勢調査に関する投稿を目にするのはあったみたいですが、国勢調査を疑う内容もあったみたいです。国勢調査の信用性、重要性が伝わっていないように思います。どれだけ重要なものか、そしてプライバシーの観点での安全性を具体的に、テレビやSNSなどで頻繁に広報してもらいたいです。</p>
男性	40～49歳	福岡	<p>もう時代にあっていないのだと思う。</p> <p>一般市民にとって負担になるものを重要だからやってほしいだけではやらないと思う。</p>
男性	30～39歳	福岡	義務だという認識だが、それならばもう少し強制力が働くような文面にしたほうがよいと思う
女性	50～59歳	福岡	家に届いてすぐにネット回答をした。以前より質問内容が簡単になっている気がした。国勢調査に関連するアルバイトなどに応募するか迷ったが、調査員の負担を訴えるネット記事が多く、応募は断念した。
女性	50～59歳	福岡	<p>回答率がどのくらいなのかはわからないが、私は半分義務だと思っているので回答は当然と思っていますが、そう思っていない方も周りには多く、調査の意味がないように感じます。プライバシーを懸念している方も多いと思うので、そのような心配事への対策等を周知させてほしいと思いました。広報活動に力を入れて、国民一人ひとりに意識づくように持ってほしい。</p>
男性	70歳以上	福岡	以前より、簡単になっていますね
男性	70歳以上	福岡	私用のスマホを使い回答致しました。この簡便性と利便性を、もっとアピールすべきだと思います。
女性	40～49歳	福岡	マイナンバーカードが普及し、住民票もあり、納税もしているのにいまだに人海戦術で国勢調査をする必要性がよくわからない。
女性	60～69歳	福岡	ネットで簡単にできることをもっと伝えて欲しい
女性	40～49歳	福岡	<p>個人情報やプライバシーなどの点から各世帯への配布は大変困難な事情と存じます。</p> <p>ですがとても大事な調査だと思しますので配布担当の方が安全に手渡しできるようになればと思います。ウェブでの回答はともしやすいのでありがたいです</p>
男性	40～49歳	福岡	<p>調査の実施が難しくなっていると割に、調査員が普通に家に尋ねてきましたし(いついつ来ますっていう予告まで事前にされました)、あと調査したところで物価高対策をしようとせず国民の市民の暮らしの現状を理解しようとしにくい国に真面目に回答したところであんまり意味がないのかなと思いました。</p>

女性	30～39歳	福岡	詐欺か本物か分かりにくい
女性	30～39歳	福岡	職場内での案内(自転車のヘルメット着用の案内のように)
女性	50～59歳	福岡	住民票との違いがわかりません。住民票ではわからない何かを調べているのでしょうか。それにしても、住民票ほどの取り締まりが無いので回答率が低いのではないのでしょうか。大丈夫でしょうか。
女性	40～49歳	福岡	国勢調査に回答したが、個人情報なので回答したくない気持ちもあった。何に利用されるものなのかもよくわからない。また、回答用紙がポストに投函されていたが、本物なのか(詐欺ではないか)という不安もあった。インターネット広告は怪しいものもあるので、県の広報など信用性の高い既存の媒体での広報に注力すべきと感じる。
女性	60～69歳	福岡	人を媒介すると余計な経費がかかったりミスを警戒してしまう。インターネットで出来る事を全面に伝えて出来るだけ人を使わず実施してほしい。個人情報なので詐欺も怖い。
女性	40～49歳	福岡	国勢調査を装った詐欺が怖いと思っていました。
女性	70歳以上	福岡	日本人、在留外国人にもう少し強制力のある法律を作って欲しい。義務では弱い
男性	40～49歳	福岡	子育てをしている父親として、国勢調査の大切さは理解しています。人口や世帯の実態を正確に把握することは、教育や福祉、地域のインフラ整備など、子育て世代に直結する行政施策の基礎になります。だからこそ「調査に協力したい」という気持ちはありますが、正直、名前や仕組みが少し難しく感じられ、「自分たちの生活にどう関わるのか」が見えにくいのが課題だと思っています。 特に若い世帯や子育て世代は、日々の生活が忙しく、国勢調査の封筒が届いても「後でやろう」と思って忘れてしまうこともあります。調査の目的や活用例を、もっと身近な言葉で伝える工夫が必要だと感じます。たとえば「保育園や学校の数を増やす参考になる」「災害時の避難所運営に役立つ」など、子育て世代にとって直接的なメリットを具体的に伝えることで、関心が高まると思います。 また、広報の方法も変化が必要です。テレビCMやSNSだけでなく、保育園や小学校の配布物、地域のLINEグループなど、日常生活の中で自然に目に入る形での周知が効果的です。子どもを通じて家庭に伝わる情報は、信頼性も高く、参加へのハードルを下げると感じます。 さらに、「国勢調査」という名称自体が堅く感じられるため、もう少し親しみのある名前にするのも良いと思います。たとえば「みんなの暮らし調査」や「日本まるごとチェック」など、生活者が自分ごととして捉えやすい呼び方に変えることで、特に若い世代や外国人世帯にも参加しやすくなるのではないのでしょうか。 子育て世代としては、国勢調査が「行政のための作業」ではなく、「自分たちの暮らしを良くするための仕組み」として伝わるのが大切だと思います。その意識が広がれば、回答率の向上にもつながると感じます。
男性	60～69歳	福岡	広報手段よりもメッセージの内容が重要。調査結果の管理方法と活用方法、誰がどのように管理するのか、どこに公開されるのか、誰が何に利用するのか等を公表し、回答者(国民、住民)にとって意味のある調査であることの周知が大切と思う。
男性	70歳以上	福岡	私自身は国勢調査に回答することに何もこだわりはありませんが、やはり個人情報を出すことに難色を示す人が回答を拒むようですね。この点の安全性ををもっとPRしてもいいのではないのでしょうか。
女性	70歳以上	福岡	ネットで回答できたので回収率が上がったのではないのでしょうか
女性	50～59歳	福岡	影響力がある方が司会の番組で、「なぜ、回答が必要なのか」をおたく目線でより詳しく伝えると、おもしろいかもしれません。我が家は、母親が義務のようにすべて答えておりましたよ。
男性	50～59歳	福岡	私は今回インターネットで回答しました。国勢調査を用いた分析の実際について、より詳しく説明が載っているとよいと思いました。国勢調査を実際に担当している部署が県庁でどのような仕事をしているのかも、見てみたいと思いました。
女性	40～49歳	福岡	たまたま、自宅にいて受け取ってしまったタイミング時にTVで取り上げられているのを見て、怪しいとおもっていたが、提出するものだと知りました。でなければ間違いなく捨ててました。
女性	60～69歳	福岡	調査員が自宅に来る必要はないと考える。留守の時に何度も来られていて負担に感じる。私はネットから回答しているので郵送でいいのではないか。
男性	60～69歳	福岡	余りにも個人情報の保護が優先される状況にあるので基本的にはwebでの回答にシフトしていくしかないのではないか。
男性	20～29歳	福岡	最初は国勢調査が重要なものであるとは知らなかったため、学校で回答の義務があることを授業で伝えたり、学校や職場等でまとめて実施する等したほうが良いと思った。
女性	70歳以上	福岡	どのように国調の結果が活用されているのか、結果が見える化されているとは感じたことがない。また、世界中で実施されているこのような調査についても国民が知る機会がない世界ではどのような方法でなされていて、結果が国民の利益につながった事例があれば紹介して欲しい。とにかく『国勢調査』が他人事だ。本当は国の施策に重要な数字になっていると知らないし、実感がない。 今後も調査は難しくなる一方だ。調査員も不足しているし、あやしい関係者の餌食になる一方としか思えない。外国にルーツがあり、日本語の理解がおぼつかないまま日本に居住する対象者は置き去りされているので、今回の調査結果の信憑性が失われると思えば多額の税金を浪費していて残念で仕方がない。

女性	20～29歳	福岡	回答した方には商業施設で割引を受けられるなど、何か特典があっても良いのかと思います。もう少し回答することへの意味が浸透しないと、全員が回答するのは難しいのかと思います。
女性	60～69歳	福岡	国勢調査が何に使われて、どう影響があるのかしっかり情宣してほしい。
男性	70歳以上	福岡	調査に回答することで、将来の行政サービスにどのように繋がり、そのサービスを楽しむことができるのかといった点について、イメージが出来るような例示紹介がもう少しあればと思います
女性	20～29歳	福岡	国勢調査と紛らわしくて、今回初めてだったからびっくりした。そもそも国勢調査の意義や仕組みがどういうものなのか、学生時代に教育が足りない気がする。ネットでできるなら最初からネットでできる方法が良いのでは。調査員が訪問に来る方法に対してのネットのマイナスイメージが強く警戒してしまう。
女性	60～69歳	福岡	以前よりは国勢調査の内容、回答することはそう難しいことではないことが伝わっていたような気がしました
女性	60～69歳	福岡	以前の調査より簡易化されていて回答が楽だった。身近に回答したくない、個人の情報を言いたくない、何のための調査なのか、などと言う人もいた。調査の結果の目的や、今後どのように活かされ私たちの生活に反映されるか、もっとアピールしたら良いと思う。
女性	60～69歳	福岡	調査員皆様、お疲れ様でした。ネットの回答が早くて便利だと思います。
男性	30～39歳	福岡	国勢調査の調査員の物理的な負担が以前に比べて減ってはいますが、プライバシーの観点から精神的な負担は増えてきていると思います。戸別訪問も大事ですが、働きながら調査員をできるような体制や手法を取らないと、調査員のなり手も減ってくると思います。自治体それぞれですが、説明会を日中ではなく土日祝に行う、又は平日の夜間に行う等の改善も行ってほしいと感じました。
女性	60～69歳	福岡	回答を強要するような回収方法には疑義を感じる。自発的な回答率を向上させる施策の立案が行政としての取り組み課題
男性	60～69歳	福岡	以前と比べてテレビを常時見ている世帯は減少しています。私もテレビ(民間番組)の視聴時間が減少しました。限られた予算の中での啓蒙活動であるからやり方をWEB中心に変えるなどの方策があってもいいかと思います。事実、回答もWEB回答が増加していると推察されます。時代は完全にテレビ、ラジオのマスメディアからWEBにシフトしていると考えます。
女性	30～39歳	福岡	やり方が現在の時代状況に合っていないのではないのでしょうか。闇バイトによる強盗事件が増えている中で、警戒心から回答率が低くなるのは当然だと思います。責任感を持ってお仕事をされていることは理解していますが、このようなご時世に家族構成までお伝えするのは不安があります。
男性	30～39歳	福岡	ネット回答の際、ログイン等手間だと感じた。そのため紙で実施したが、本来はネットのみの実施にした方が集計がやりやすくなるのではないかと思う。できるだけ予算をかけずに実施するため、ネット回答に一本化し、ネット回答をやりやすくするべきだと思う。
女性	50～59歳	福岡	マイナンバーなどの更新を国勢調査と一緒にいき、回答と更新を同時に行ってもらってはどうか。
男性	40～49歳	福岡	国勢調査は国民の義務であることを知らない国民が多い。罰則規定を設けるべき。
女性	30～39歳	福岡	国勢調査を悪用した詐欺も起こらないよう、調査回答促進だけでなく詐欺への注意喚起も行ってほしい。
男性	50～59歳	福岡	大正9年の法律がベースになっていて、現代に即していないし、全く必要性を感じない
男性	40～49歳	福岡	外国人による犯罪、詐欺、未遂が知り合いでも複数聞いた。手法に問題がある。マイナンバーなどが活かされていない。
女性	50～59歳	福岡	TVを見ないためCMも見ず、用紙が届き初めて知りました。そういえば町の広報誌に載っていたような。
女性	60～69歳	福岡	猛暑の中、調査員さんの個別訪問は、大変な状況だったと思う。郵送だけで対応するようにはできないだろうか。回答率の低下が危惧されるが、回答率を上げる仕掛けを考えていけると良いのでは。
女性	70歳以上	福岡	各地域の区長さんからの案内は効果があると思われます。
女性	40～49歳	福岡	調査が行われた時期がまだまだ暑い時期で、調査員の方が暑さで具合を悪くされたり汗だくで来られた状況でした。現代の気候に合わせ、開催時期の見直しが必要ではないのでしょうか？
男性	40～49歳	福岡	国勢調査の方が、服装も小汚く見えて、すごく怪しい方と思った。基本、宅急便以外はあまり訪問者にインターホンで出る事はないので、詐欺や訪問販売と明らかに違う服装や身分証明書の提示をするなどわかりやすいルールを提示して欲しい。

女性	40～49歳	福岡	<p>スマホで回答しましたがとても分かりやすく簡単で良かったです。 今後も今年のようなやり方で実施して欲しいです。 プライバシー意識の高まりや在留外国人の増加などの問題もあると思いますが、日本の状況を把握し、今後の様々な問題や課題に対する傾向と対策を練るためにも、国勢調査は必要なことなので、実施した方が良いと思います。 在留外国人も回答しなければならないことを何か外国人の手続きの際に行うとかの工夫をして回答率を上げるなど対策していく必要があると思います。(すでにご対応済みのことでしたら申し訳ございません) また、解答欄のところについて私の周りの人の中に、性別のところが男・女しかなかったことにマイノリティに配慮していない、という意見がありました。 その意見をきいて、「その他」の欄を設けた方がいいのかな?と思いました。</p>
男性	70歳以上	福岡	<p>国民一人一人の意識の問題ですね。何でもかんでも「プライバシー意識の高まり」では片付けられないテーマに対する個人の自覚の問題だと思う。</p>
男性	50～59歳	福岡	<p>簡素化した方が良い</p>
女性	60～69歳	福岡	<p>国勢調査を名乗ったメール多数がたくさん来て、迷惑だった。 文章も巧妙で、だまされた人もいるのではないかと心配してしまう。 次回はこの辺の、対策もしっかりしてほしい、感じた。</p>
女性	50～59歳	福岡	<p>インターネットで回答できるので便利。紙ベースで回収するケースが減っているので、調査書の配布など、郵便やメールでもよいのではと思う。 国政調査員のなり手もなかなかいっしょらなくて大変そうだと思う。また外国人などはどのくらい正しく回収、回答されているのか気になる。</p>
女性	50～59歳	福岡	<p>令和7年国勢調査に関連する迷惑メールが多く届いており、正規の調査案内との区別が非常に難しく感じています。 特に、調査を装った不審なメールが巧妙な文面で送られてくるため、正規の調査であっても不安を覚えることがあります。 国勢調査の重要性は理解しておりますが、こうした状況では安心して回答できず、信頼性にも影響しかねません。 今後、正規の調査案内と詐欺メールとの違いが一目で分かるような工夫(公式マークの明示、送信元の統一、事前周知の強化など)をぜひご検討いただければと思います。</p>
女性	60～69歳	福岡	<p>インターネット回答と郵送があったかと思いますが、お年寄りにはネットはなかなか難しいと思いました。 また、マイナンバーと紐付けしてもっと簡潔にできないものではないでしょうか</p>
男性	50～59歳	福岡	<p>人件費削減したり、ネットでするように促し、早く回答したら特典があるようにしたり、書類のペーパーレスにするなど、環境にいい事を進めてもらいたい。</p>
女性	40～49歳	福岡	<p>インターネットで回答できたので、思っていたより簡単でした。質問数は多いけど、5年に1度なら仕方ないかなと思いました。</p>
女性	20～29歳	福岡	<p>もっと目的などを分かりやすくPRに含めてもらえるといいと思います。</p>
女性	40～49歳	福岡	<p>調査員が何回も訪問するルールの撤廃。 広報などで早期回答の特典などを用意して回答して貰い、回答がなかった分のみ配布するなど。</p>
女性	40～49歳	福岡	<p>あえて税金を使ってまで、国勢調査をする必要があるのかすごく疑問。マイナンバー利用率を高めるか、戸籍や住民票が日本にはあるため、区役所などで情報を取りまとめるだけでいいのでは?昔から続くものもいいとは限らない。システムを活用してほしい!</p>
男性	50～59歳	福岡	<p>毎回、思うのですが、調査項目が少なく、これで必要な統計や調査ができるのかと思います。現状で回収率をの向上を図る努力は十分だと思います。</p>
男性	60～69歳	福岡	<p>回答は任意と思っている知人がいた。全員参加を更にアピールする必要がある。</p>
男性	60～69歳	福岡	<p>オンライン回答について、より分かりやすく迷わず入力できる構成に改善されると、さらに利用しやすくなると感じました。また、ネット回答者に対して現金やポイントなどのインセンティブが付与されれば、回答率向上に大きく寄与すると思います。あわせて、調査結果が地域の施策にどのように活かされているかを具体的に示す広報が増えると、調査への参加意識も高まるはずです。外国人住民向けには、多言語での案内やサポートをより充実させることで、参加しやすい環境が整うと感じます。</p>
女性	50～59歳	福岡	<p>前々回、国勢調査員をした経験があるので回収する大変さをよく理解している。その頃からしても外国人は増えているので、外国籍世帯は大変だろうと思う。外国人はなぜかコンビニが好きなので、コンビニで明るい感じで必要性を訴えた音声流すと認知度は上がると思う。最近の日本人でも、国勢調査の必要性を理解していない人が増えていると思う。必要性を広く訴えていくのが何よりも必要である。</p>
男性	50～59歳	福岡	<p>単身赴任先にも調査が来ます。どちらの居住地で解答すべきか迷いました。よく読むと主たる居住地とのこと。こういった人も中にはいるので、Q&Aにも書いてあったらよかったです。</p>
女性	40～49歳	福岡	<p>国勢調査の必要性があまり伝わっていないように思います。 調査員の仕事もとても負担が大きく、名札をしていたとしても、戸別訪問は困難だと思います。 もっとスマートな方法があるといいなと思います。</p>
男性	50～59歳	福岡	<p>多様性にそった調査も必要かと思っています。</p>

女性	20～29歳	福岡	何もぶら下げていない方が何度も我が家のインターホンを鳴らしており、管理人にお伝えし、それは国勢調査員であったことが分かりました。防犯カメラなどで見た時に、【明確に調査員である(安全である)】と分かるような服でまわるなど、次回は工夫していただくと助かります。
男性	30～39歳	福岡	オンライン回答の期間を通常の期間と同じにしていただけると嬉しいです。
女性	60～69歳	福岡	外国人が増えたから回答率が悪くなったような設問の仕方そのものが悪いと思います。そもそも日本人でも義務を守らない人はいるし、国勢調査も現代にあったやり方に変えるべきだと思います。ネットでの回答ができるようになったのは良い事だと思いますが、そもそもネットの利用が出来ない方もいらっしゃる筈なので、国が本当に国勢調査を大事で厳密にやるべき事項だと考えているのであれば、全員の回答を入手できる方策を作るべきです。
女性	30～39歳	福岡	国勢調査を行う上で、結果からどんな情報が得られて、どのように活用されているのかを国民レベルだけでなく福岡県在住の県民が具体的に理解できるように発信する場が多くあるとよいと思いました。県民レベルでの活用内容や得られた情報を発信することがあるとより興味を持ったり、必要性を理解し参加への後押しや意識変革にも繋がるのではないかと思います。
女性	70歳以上	福岡	これは何を調べるのだろう。これにより何か問題を指摘されるのだろうか 何に使われるのだろうと不安に思う
女性	40～49歳	福岡	あれだけ広報活動おこなっていても国勢調査の返答をしていない人がいる。していないのではなく理解できずできていない事もあるのではないかな。インターネットで簡単に回答できるが、それさえも難しい、読んでも意味がわからないという人が身近にいて驚いた。
男性	40～49歳	福岡	国勢調査はとても大切だと思いますのでその結果をもっとアピールしてほしいです。SNSなどでの拡散も必要と思います。
女性	40～49歳	筑豊	国勢調査の回答率は何%ぐらいなのでしょう？回答しないことで起こる不利益を教えて欲しいです。また、義務ということで、調査員の方が玄関先まで勝手に入ってくるがありました。調査員の方の謝礼も出ているとのことですが、負担は大きいだろうなと思います。義務という名詞で不快感を持つ方もいらっしゃるだろうと感じます。国勢調査に変わる新しいシステム作りが必要だと感じます。
男性	30～39歳	筑豊	郵便局で回答のサポートをしているのを見ました。住民に身近で良い取り組みだと思いました。
女性	60～69歳	筑豊	国勢調査をするたくそのアルバイトの人を雇ってまでする効果が分からない。 この調査が何に活かされてくるのかを周知させれば、協力するご家庭も増えるのではないのでしょうか。
男性	40～49歳	筑豊	昨今の詐欺事件の多発から、電話や訪問にはかなり疑う目で見えたり、身構えてしまうのは仕方がないことだと感じました(私もその一人です)。なので、相手に来てもらい、行動を引き出す手法や、仕事の一環として回答してもらうような、義務を全面に打ち出した手法でないとい後はますます厳しいのではないかと感じました。
男性	60～69歳	筑豊	アンケート資料訪問配布の改善が急務。人件費や印刷費その後の集計などに費やす時間と費用削減を考えてほしい。議論はされていると思うが、早期にマイナンバーと紐づけし、ペーパーレスの環境整備に移行するべきだと思う。
女性	60～69歳	筑豊	今年、初めてインターネットで回答したが、とても簡単にできた。回答の手順などを商業施設などで教えたら、年配の人は助かると思う。
女性	30～39歳	筑豊	回答したらマイナポイント付与や税金の控除額が増えるなど、マイナンバーカードと連携した調査が出来ないのかな？と思います。または未回答で罰金に。 調査員が不足しているのは全家庭に直面手渡して回答を依頼するというのが現実的でないからだと思います。ポストインが良いと思いますし、それならば郵便で済ませませんか？高齢の叔母が役場にたのまれて断れず調査員を引き受けていましたが、相当なストレスを受けていたようでとても心配でした。やり方が時代に合っていないと思います。過去に殺人事件も起こっているのに何故やり方を変えないのか疑問です。
男性	70歳以上	筑豊	昔は自分も手伝ったことがあります。今の調査員は地元密着になってなく敬遠する人が多い。心配して電話があった
女性	30～39歳	筑後	福岡県内における国勢調査の広告周知は非常に良かったとは思う。 だが、国勢調査の意義がわからず、家族で調べたり職場で話し合ったりもしたが、今後も続けていく意義については検討した方がいいのではないかな。 調査員が家に来訪し、家族の男女比など構成について聞かれ答えたが、調査員の守秘義務についての感覚の違いなど大丈夫なのか不安に思うことがあった。 (担当者がバラバラしゃべるような人だったので) 事前にしっかりと調査員研修などは受けているはずだが、身分証の紛失ニュースなども報道されているのを見て、現代社会に合っているのか今一度見直しをしてほしいと感じる。
女性	20～29歳	筑後	国勢調査の調査員不足について感じたこと。 不在の場合は何度も訪問する、というやり方は効率が悪い。一度訪問して不在であれば投函で良い。調査する人の負担を減らさなければ、調査員の成り手不足は解消されないため、従来からのやり方を見直す必要がある。
男性	60～69歳	筑後	国勢調査に関する迷惑メールが来ました。内容は「国勢調査が提出されていません……ここをクリックして……」というものでした。国勢調査を受け付けました旨の完了メールが無かったと思いますので、5年後は国勢調査の時は、受付完了メールが欲しいです。

男性	40～49歳	筑後	もっと手軽にできるとありがたい。
女性	50～59歳	筑後	近所の方が調査員をされていたが、とても大変そうだった。 ネットで回答するか郵送かなどのチェックまでされて、そこまで細かく聞き込みをしなけりばいけないのかと思った。 近所の顔見知りなので気軽に話せたが、全く知らない人だったら警戒しかないとと思う。 ポストインのみでよいのではないかとと思う。 調査員の負担は大変なことと思う。 個人情報漏れも気になる(紛失など)ので、次回からそのあたりを考えてほしいと思う。
男性	40～49歳	筑後	非回答者は所得税を加算するなどすれば回答率が上がる気がします。 マイナンバーカードとの連携が良いと思いました。
女性	40～49歳	筑後	調査員が来る、というのに抵抗がある。 不在にすると何度もメモが入るのも心苦しい。 郵送いただくだけでよいのと思います。
男性	30～39歳	筑後	国勢調査の実施される数ヶ月前に厚労省から『国民生活基礎調査』があり、大変な苦勞を要した。両者は回答内容がかなり重複していたので、私も含め両方回答した世帯からはかなり不満の声があった。次回から各省庁同士がきちんと話し合いをし、実施時期をずらすなどの対策をしてほしい。 また、ネット回答が普及しているにも関わらず、国勢調査にかかる経費が大幅に増えていると聞いたことがあるためコスト削減、あるいは実施の抜本的な見直しを図った方が良いと思う。
女性	60～69歳	筑後	現状を把握し、今後の見通し、プランを形成するためには「調査」での直接データはとても重要である。その点を、しっかりと国民は理解していなければならないのだが、若者世代を中心に「面倒」な手続きととらえられている傾向があるように感じる。ただ「大事な調査だから協力を」と呼び掛けても向上は望めない。前回の調査を具体例として、その調査データをどのように活用し、現在の社会生活にどう生かされているのかを示す必要があるように考える。
女性	50～59歳	筑後	国政調査は確かに今のご時世に、こんな個人的な回答を要求されるのかと思いました。その必要性が十分理解できていませんが、義務なら仕方ないかと回答しました。税金と同じく、学校で教えていないと理解されないのかなと思います。
女性	60～69歳	筑後	マイナンバーカードを導入したので国勢調査を行う意味があるのか疑問です。 あと、わざわざ訪問員が来て回収するというのも古いような気がします。高齢者でネットが使えないと手渡しになるのでしょうか？ 防犯の点においても改革の時が来ているような気がします。
女性	20～29歳	筑後	国勢調査の書類をもらう時に直接訪問され、外出時に何度も来られると不信感や恐怖を感じた。今は詐欺もあるので、とても怖かった。可能ならポスト投函でもらいたかったし、それが難しいなら証明書付きの名刺などをつけて訪問日時をポストに投函して知らせてもらえたら良かったのと思った。 またマイナンバーがあるので、それを利用した方法を考えてほしいと感じた。
男性	60～69歳	筑後	日常的に町が把握していればよいのと思った
女性	60～69歳	筑後	国勢調査をうたった詐欺メールが何度か送られてきたので、詐欺メールに対する注意喚起のCMや告知なども検討していく必要があると思いました。
男性	70歳以上	筑後	人件費や用紙の配布など費用もかかり時代に合っていないので、マイナンバーなどデジタルを活用してあまり費用がかからないようにしてほしいです。
男性	30～39歳	筑後	届けるべき人に届ける媒体が必要です。届けるべき人とは、高齢者ではありません。高齢者は昔から知っています。 届けるべき人は国勢調査を初めてする若年者です。若年者はテレビを見ません、それにアプローチできる媒体での広告活動が必要です。

令和7年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ：ワンヘルスについて

福岡県 保健医療介護部 ワンヘルス総合推進課

【調査目的】

今、地球上では、人口増加、森林開発や農地化などの土地利用の変化によって、自然環境の悪化や地球温暖化などの気候変動が生じています。

また、人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増え、新型コロナウイルス感染症をはじめとする人と動物の双方に感染する「人獣共通感染症」が増えています。

こうした問題に対応するためには、人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく「ワンヘルス (One Health)」の考え方が重要です。この考え方は、世界的に広がっており、「G7 サミット」など国際間の枠組みでも合意されています。

県では、みやま市に全国初のワンヘルスの実践拠点となる「ワンヘルスセンター」の整備に向けて準備を進めるなど、全国に先駆け、ワンヘルスの推進に取り組んでいます。

今後、より一層の取組を進めるにあたり、「ワンヘルス」について皆様の御意見をお聴かせいただき、事業及びその評価などの参考とさせていただきます。

※端数処理の関係で、割合の合計が100%にならない場合があります。

1 令和7年度第5回県政モニターアンケート調査

(概要)

モニター数： 398 人

回答数： 355 人

回収率： 89.20%

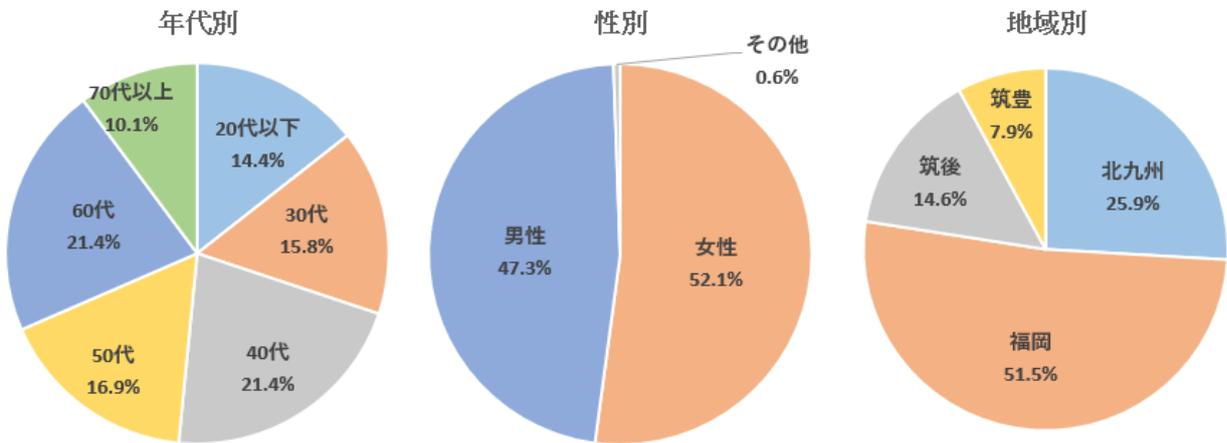
実施期間： 令和7年11月7日～令和7年12月4日

(回答者構成)

(R7：n=355)

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	355	92	183	52	28
	構成比		25.9%	51.5%	14.6%	7.9%
性別	女性	185	48	97	27	13
	男性	168	42	86	25	15
	その他	2	2	0	0	0
年代別	20代以下	51	12	27	8	4
	30代	56	15	29	7	5
	40代	76	19	39	12	6
	50代	60	17	31	8	4
	60代	76	21	34	13	8
	70代以上	36	10.1%	8	23	4

回答者構成



n=355

2 調査結果

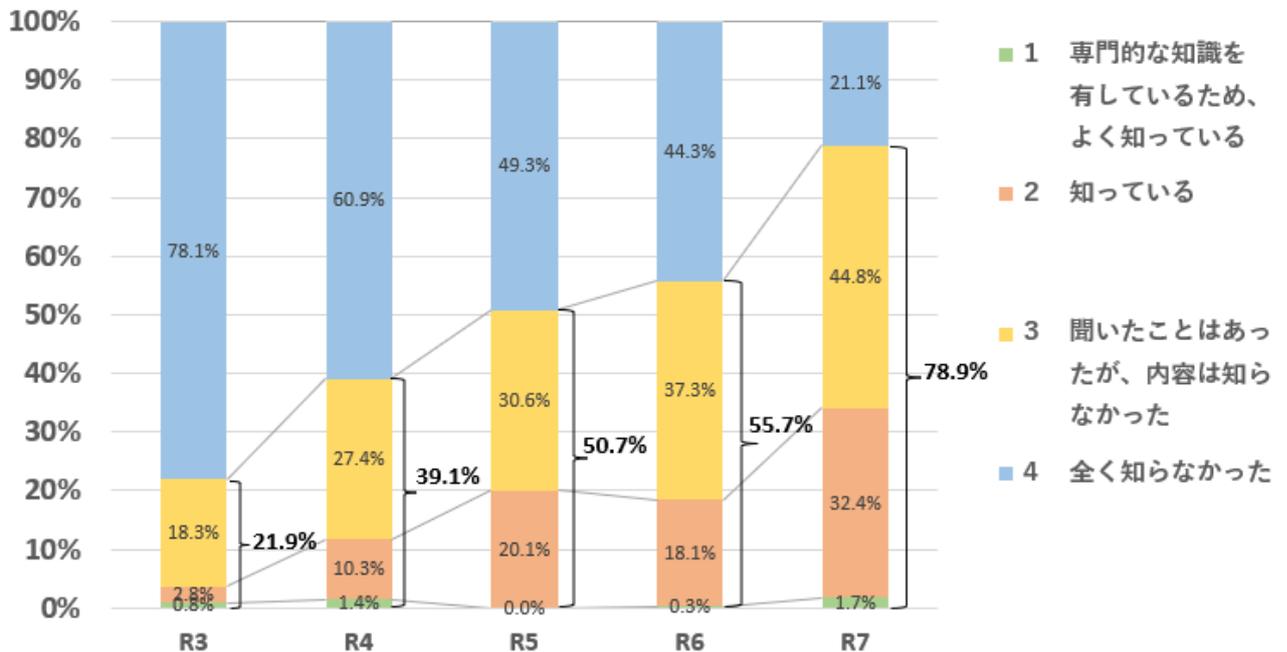
問1 あなたは、「ワンヘルス」とは何か知っていましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

【全体】

(R7 : n=355)

選択肢	R3		R4		R5		R6		R7	
	回答数	割合								
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	3	0.8%	5	1.4%	0	0.0%	1	0.3%	6	1.7%
2 知っている	10	2.8%	36	10.3%	73	20.1%	67	18.1%	115	32.4%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	66	18.3%	96	27.4%	111	30.6%	138	37.3%	159	44.8%
4 全く知らなかった	281	78.1%	213	60.9%	179	49.3%	164	44.3%	75	21.1%
合計	360	100.0%	350	100.0%	363	100.0%	370	100.0%	355	100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1~3と回答した方)	79	21.9%	137	39.1%	184	50.7%	206	55.7%	280	78.9%

ワンヘルスの認知率



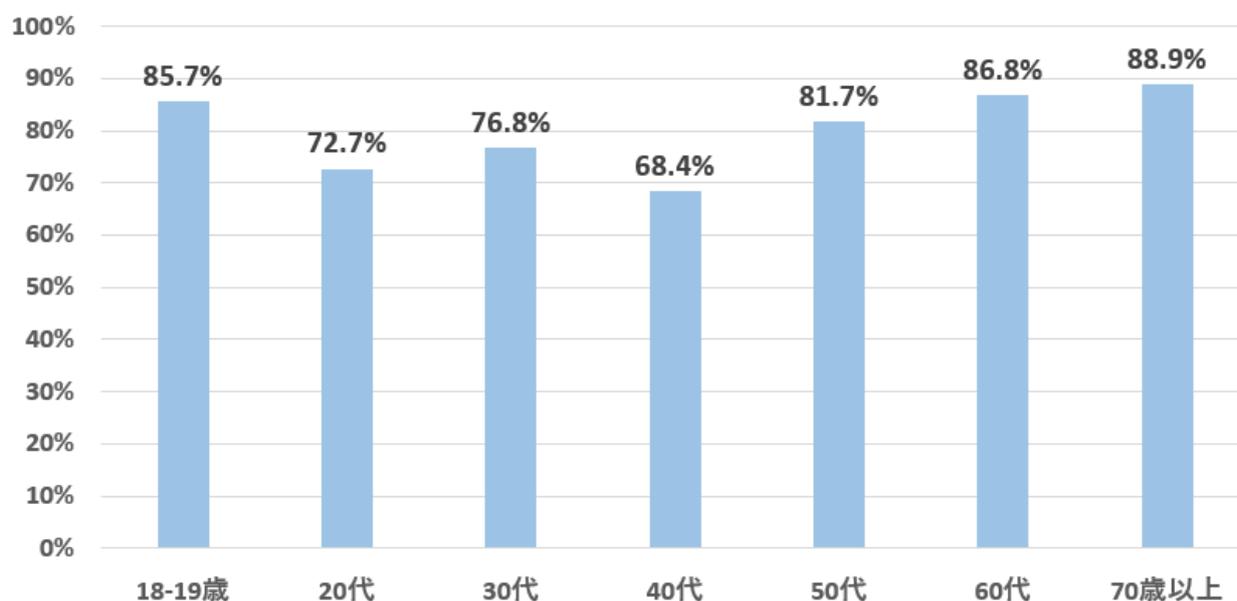
- ・ 調査を開始した令和3年度以降、「ワンヘルス」という言葉を知っている方の割合（認知率）は増加傾向にあり、今回の調査では前年に比べ23.2pt増加した。（R6:55.7% → R7:78.9%）

【年代別】

(R7 : n=355)

選択肢	18-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	1 2.3%	1 1.8%	0 0.0%	3 5.0%	1 1.3%	0 0.0%	6 1.7%
2 知っている	4 57.1%	10 22.7%	19 33.9%	20 26.3%	22 36.7%	28 36.8%	12 33.3%	115 32.4%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	2 28.6%	21 47.7%	23 41.1%	32 42.1%	24 40.0%	37 48.7%	20 55.6%	159 44.8%
4 全く知らなかった	1 14.3%	12 27.3%	13 23.2%	24 31.6%	11 18.3%	10 13.2%	4 11.1%	75 21.1%
合計	7 100.0%	44 100.0%	56 100.0%	76 100.0%	60 100.0%	76 100.0%	36 100.0%	355 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	6 85.7%	32 72.7%	43 76.8%	52 68.4%	49 81.7%	66 86.8%	32 88.9%	280 78.9%

年代別の認知率



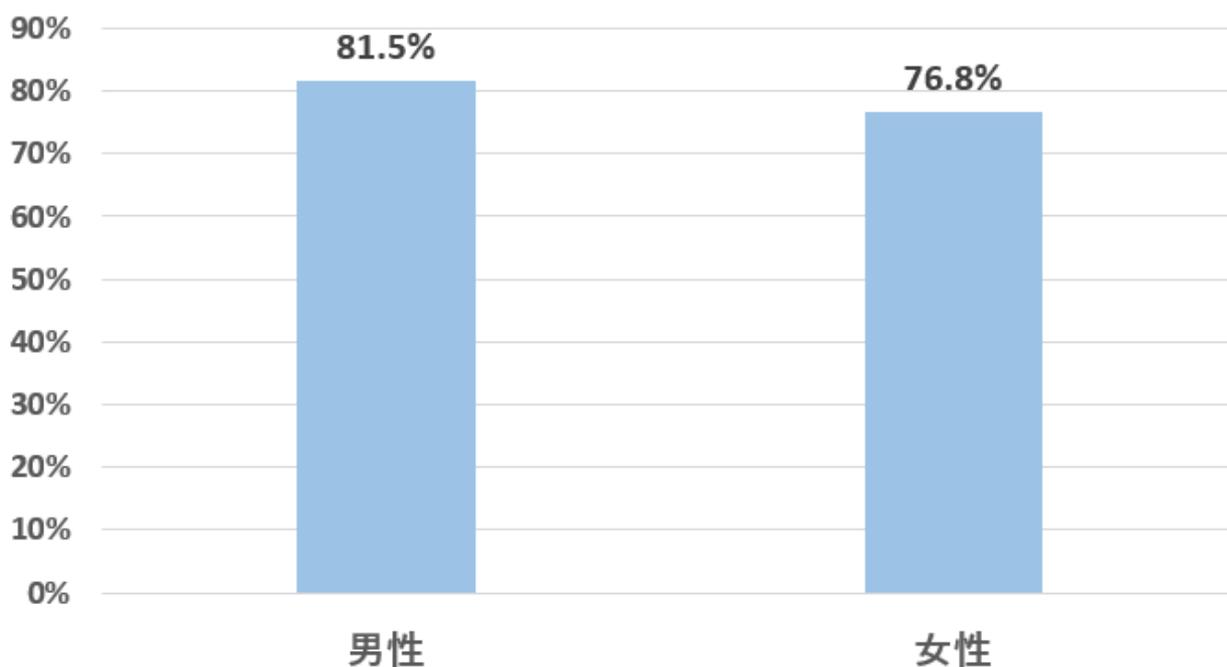
- ・年代別のワンヘルスの認知率は、18歳から19歳と50代以上が80%を超えているのに対し、20代から40代では70%前後となっている。

【男女別】

(R7 : n=355)

選択肢	男性	女性	その他	合計
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	5 3.0%	1 0.5%	0 0.0%	6 1.7%
2 知っている	58 34.5%	56 30.3%	1 50.0%	115 32.4%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	74 44.0%	85 45.9%	0 0.0%	159 44.8%
4 全く知らなかった	31 18.5%	43 23.2%	1 50.0%	75 21.1%
合計	168 100.0%	185 100.0%	2 100.0%	355 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	137 81.5%	142 76.8%	1 50.0%	280 78.9%

男女別の認知率



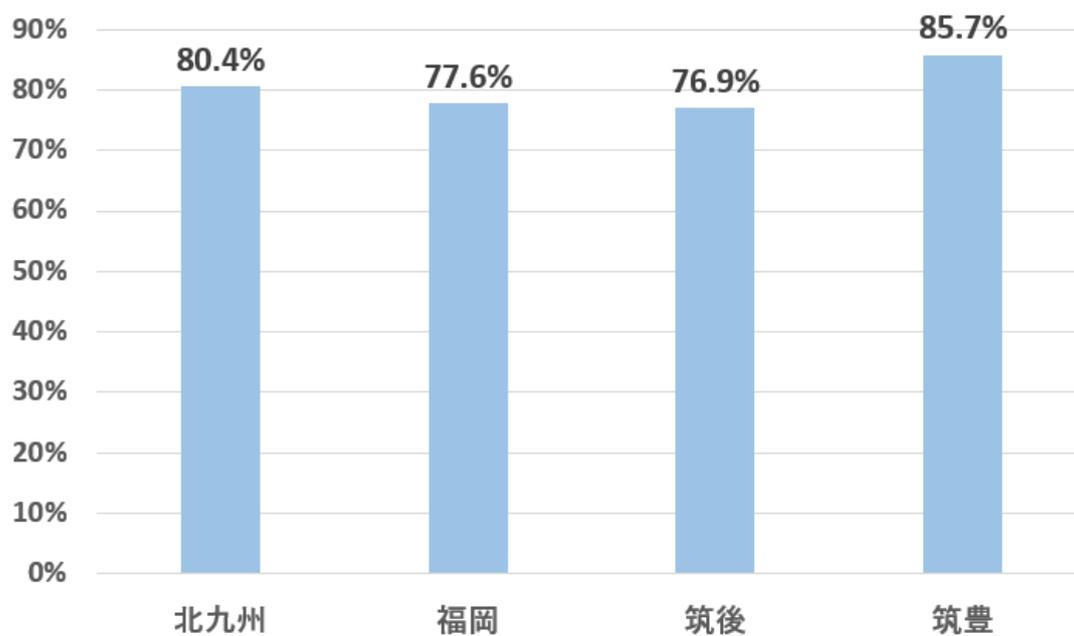
- ・男女別のワンヘルスの認知率は、男性 81.5%、女性 76.8%であり、男性の認知率の方が高くなっている。

【地域別】

(R7 : n=355)

選択肢	北九州	福岡	筑後	筑豊	合計
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	3 3.3%	3 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.7%
2 知っている	32 34.8%	54 29.5%	18 34.6%	11 39.3%	115 32.4%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	39 42.4%	85 46.4%	22 42.3%	13 46.4%	159 44.8%
4 全く知らなかった	18 19.6%	41 22.4%	12 23.1%	4 14.3%	75 21.1%
合計	92 100.0%	183 100.0%	52 100.0%	28 100.0%	355 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	74 80.4%	142 77.6%	40 76.9%	24 85.7%	280 78.9%

地域別の認知率



- 地域別のワンヘルスの認知率は、全体的に 80%前後となっており、大きな差はない。

問2 (問1で「1～3」を選択された方にお尋ねします。)

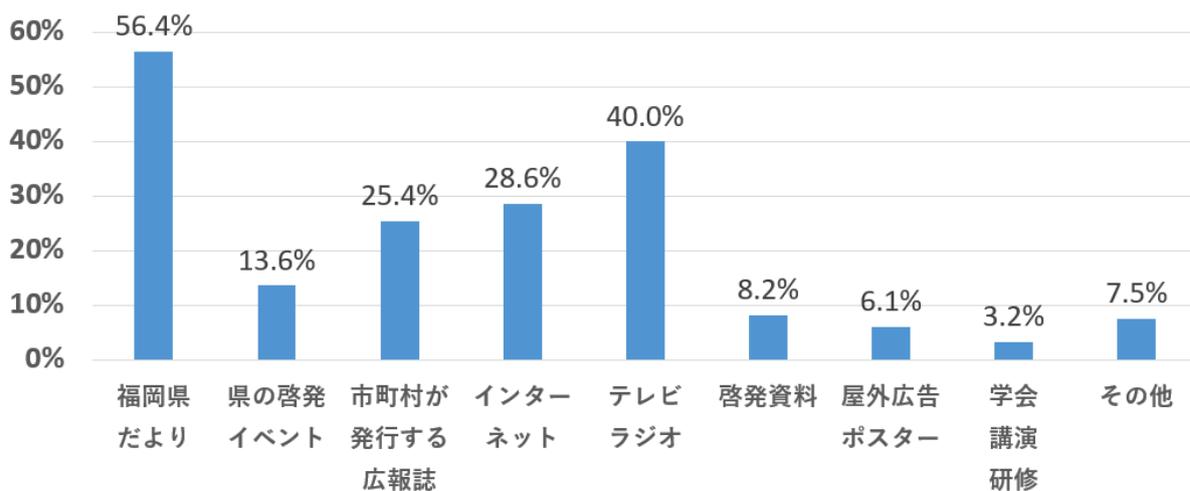
「ワンヘルス」という言葉を知ったきっかけは何ですか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(複数選択可) (R7：n=280)

選択肢	R6		R7	
	回答数	割合	回答数	割合
1 福岡県だより	98	47.6%	158	56.4%
2 県の啓発イベント	24	11.7%	38	13.6%
3 市町村が発行する広報誌	42	20.4%	71	25.4%
4 インターネット (県HP、ワンヘルス推進ポータルサイト、広告など)	46	22.3%	80	28.6%
5 テレビ、ラジオ	109	52.9%	112	40.0%
6 啓発資料 (ワンヘルス推進冊子、ワンヘルス教育啓発資料、チラシなど)	16	7.8%	23	8.2%
7 屋外広告・ポスター	12	5.8%	17	6.1%
8 学会、講演、研修	15	7.3%	9	3.2%
9 その他	8	3.9%	21	7.5%

※R6年度から設問と集計方法を変えたため、R6年度から掲載しています。

ワンヘルスを知ったきっかけ (R7年度)



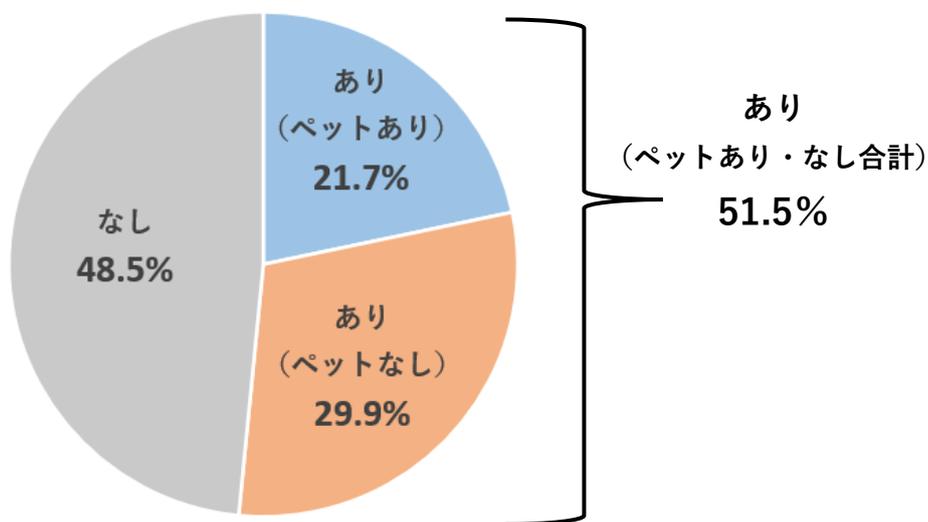
- ・ワンヘルスについて知っている人が、知ったきっかけについて、最も多かったのが「福岡県だより」、続いて、「テレビ、ラジオ」「インターネット」「市町村が発行する広報誌」の順であった。
- ・このうち、「福岡県だより」については、令和7年9月号よりワンヘルスに関する記事を毎号掲載したこと、「テレビ、ラジオ」については、10～11月に開催したワンヘルスフェスタのPRのためのテレビCMや、ワンヘルス認証のテレビCMが放映されたことによるものと考えられる。

問3 あなたは日常生活の中で、動物とふれ合う機会がありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

(R7 : n=355)

選択肢	R4		R5		R6		R7	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 現在、ペットを飼っており、日常的にふれ合う機会がある	82	23.4%	71	19.6%	75	20.3%	77	21.7%
2 ペットは飼っていないが、動物とふれ合う機会がある（ふれあい動物園やイベントなど）	110	31.4%	106	29.2%	115	31.1%	106	29.9%
3 動物とふれ合う機会はない（アレルギーがある、動物に興味がないなど）	158	45.1%	186	51.2%	180	48.6%	172	48.5%
合計	350	100.0%	363	100.0%	370	100.0%	355	100.0%
動物とふれ合う機会がある方 (1～2と回答した方)	192	54.9%	177	48.8%	190	51.4%	183	51.5%

動物とふれ合う機会 (R7年度)



n=355

・動物とふれ合う機会がある方は51.5%と、およそ2人に1人である。

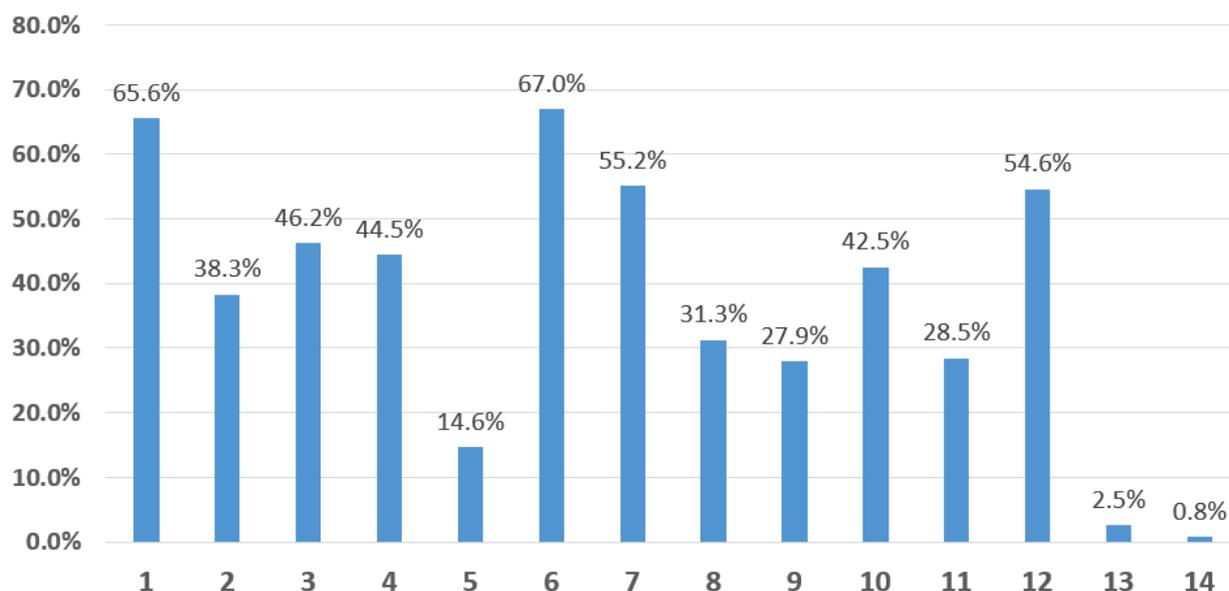
問4 県では、ワンヘルスの課題に対し、「人獣共通感染症対策」、「薬剤耐性菌（抗生物質などが効かない、または効きにくくなった細菌）対策」、「環境保護」、「人と動物の共生社会づくり」、自然や動物とのふれ合いを通じた「健康づくり」、「環境と人と動物のより良い関係づくり」を進めています。これらに関して、あなたが、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。次の中から該当するものを【全て】選んでください。

(複数選択可) (R7 : n=355)

選択肢	R4		R5		R6		R7	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 動物に触れた後は、手洗いを 行い、清潔に保つ (人獣共通感染症対策)	252	72.0%	271	74.7%	260	70.3%	233	65.6%
2 ペットに口移しで食事を与 えるなど、過剰な接触を避け、 人と動物の共通感染症にかか ることを防止する (人獣共通感染症対策)	146	41.7%	145	39.9%	157	42.4%	136	38.3%
3 登山や里山など野生動物が 多く生息するような環境に出 かける際は、マダニなどに咬 まれないようにするため、長 袖、長ズボンなどを着用し、感 染防止に努めている (人獣共通感染症対策)	146	41.7%	157	43.3%	168	45.4%	164	46.2%
4 病院や薬局で処方された抗 生物質は、途中でやめないな ど、用法用量を守り、薬剤耐性 菌を生む要因の発生防止に貢 献する (薬剤耐性菌対策)	142	40.6%	157	43.3%	175	47.3%	158	44.5%
5 移動の際は自家用車の使用 を控え、公共交通機関を利用 し、地球温暖化の防止に貢献 する (環境保護)	55	15.7%	72	19.8%	77	20.8%	52	14.6%
6 買い物の際にはレジ袋をも らわず、エコバッグを持参し、 プラスチックごみの削減に貢 献する (環境保護)	253	72.3%	289	79.6%	268	72.4%	238	67.0%

選択肢	R4		R5		R6		R7	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
7 野生動物にはむやみに近づかない、餌付けをしないなど、適正な距離を保つことを理解している (人と動物の共生社会づくり)	202	57.7%	230	63.4%	236	63.8%	196	55.2%
8 ペットを飼う場合は、その健康管理を行うとともに、飼育環境を清潔にする、散歩中の糞は持ち帰るなど、適切に管理している (人と動物の共生社会づくり)	97	27.7%	112	30.9%	119	32.2%	111	31.3%
9 ハイキングや森林浴などにより、自然とふれ合うことで、身近な自然への理解を深めている (健康づくり)	100	28.6%	113	31.1%	101	27.3%	99	27.9%
10 食材を購入する際は、できる限り地元で生産された農産物を選び、地産地消に取り組んでいる (環境と人と動物のより良い関係づくり)	150	42.9%	163	44.9%	152	41.1%	151	42.5%
11 食材を購入する際は、低農薬など、環境負荷の少ない農産物を選ぶようにしている (環境と人と動物のより良い関係づくり)	106	30.3%	107	29.5%	107	28.9%	101	28.5%
12 買いすぎない、作りすぎない、注文しすぎない、食べきるなどを心がけ、食品ロスの削減に取り組んでいる。 (環境と人と動物のより良い関係づくり)	201	57.4%	207	57.0%	222	60.0%	194	54.6%
13 取り組んでいることはない	11	3.1%	9	2.5%	6	1.6%	9	2.5%
14 その他 (次の設問で具体的に入力してください。)	2	0.6%	3	0.8%	1	0.3%	3	0.8%

日常生活の中で取り組んでいること（R7年度）



- ・ ワンヘルスの各課題に対し日常生活で取り組んでいることの割合は、「動物に触れた後の手洗いによる人獣共通感染症対策（選択肢1）」、「エコバッグ持参による環境保護（選択肢6）」が6割以上と、高い割合を占めている。
- ・ 一方で「自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献（選択肢5）」が、14.6%と低くなっており、自家用車が生活において不可欠であることが伺える。

問5 問4で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・ 街路樹や公共の花壇との触れ合い。企業や民家、寺社の庭作り。地域猫の保護活動。動植物園の活用。【50代 女性（福岡）】
- ・ 子供にはなるべく動物や昆虫に触れてもらい、生き物を大切に扱うことのできる大人になるよう教育している。【30代 男性（筑後）】
- ・ 肉食をやめた。【50代 女性（福岡）】

問6 ワンヘルスについて、これまでの設問以外に意見はありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。
(例：今後、県のワンヘルスの取組において求めることなど)

- ・ 福岡県は熱心に取り組んでいるが、県民のワンヘルスに関する認知度が低いような気がする。もっと市町村を巻き込んだ啓発活動を進めるべきではないか。
【60代 男性 (北九州)】
- ・ ワンヘルスの考えは重要だと思うが色々な要素が入りすぎて何が重要なのか分からなくなっている。
主に、人獣共通感染症についてだけに焦点を当てて考えるべきでは？エコバッグとかは間接的に繋がっているとは思いますが別のそういった運動もあるからいっしょくたにしなくてもいいと思う。【20代 男性 (北九州)】
- ・ 福岡県とよその地域でどうワンヘルスに取り組んでいるか記事を県日よりやマスメディアで見たら安心して理解出来ると思います。最近の熊の被害もびっくりしつつ理解し受け入れられ、対策が得られるのでワンヘルスがどういった物か的確に理解したいです。【40代 女性 (北九州)】
- ・ 動物に普段関わってなければなかなか難しいと思う。動物の特性等をもっと広めていく必要があると思う。【50代 男性 (北九州)】
- ・ 日々、健康に暮らしていくための必要な取り組みと思う。
【60代 男性 (北九州)】
- ・ ワンヘルス施策に莫大な予算が投入されているが、本当にそのような予算や、現在の使い道が必要なものなのか説明されていない感覚が強いです。
【20代 女性 (北九州)】
- ・ 日常生活で取り組んでいることについての設問の選択肢にあった、「ペットを飼う場合は、その健康管理を行うとともに、飼育環境を清潔にする、散歩中の糞は持ち帰るなど、適切に管理している」という取組をもっと推進してほしいです。特にふんの持ち帰りは、お願いしたいです。街中ではペットボトルに水を入れていて、電信柱に犬がオシッコをした後に水をかけるのは常識といっている人もいるのですけれども。まだまだ、ペットを飼っている人たちのマナーの向上を願います。
ワンヘルス事業といっても多岐にわたるようなので、浅く広くを狙うより、重点目標を上げた方がいいのかもしれませんが。これもワンヘルス？という感じで啓発していってもらえると浸透していく気がします。【50代 女性 (北九州)】
- ・ 横文字なので意味が覚えられません。【40代 男性 (北九州)】
- ・ 街猫など野良猫に餌を与えてる行為を黙認している地域がチラホラ見えます。また外国人など、餌付けしないというルールを知らずに与えてるのも見られるため、認知を上げるのがいいと思います。【30代 男性 (北九州)】
- ・ ペットを飼育する場合、ルールを守っていくことを様々な媒体を通じて広報して欲しい。また、畜産など動物を生業にしている業者等は収益の追求のためにむやみに動物に薬など与えることが無いよう指導して欲しい。
【50代 男性 (北九州)】
- ・ 18年ほど前、職場でコウモリを家で育てる人がいたが、コロナ以降、危険だと思う。「人獣共通感染症」のため、その人も今では、やめたと思う。
【70代以上 男性 (北九州)】

- ・ 最近ではマダニ、セアカゴケグモ、ハチなどの被害が多くなってきているようです。最低限の危険な生き物、植物等どんなものがあるか知らしめてほしい。
【60代 男性（北九州）】
- ・ 私自身は医療従事者でもあり、ワンヘルスの言葉自体を認識しているつもりですが、一般的にはまだ言葉の意味自体が認識されていないことの方が多い印象です。そのため、まずは言葉について認知されるよう広報活動に取り組むと良いかと思います。【30代 女性（北九州）】
- ・ もっと啓発するべきでは。【70代以上 男性（北九州）】
- ・ 東北、北海道全国で熊の被害が相次いで、大変なことになっていると感じる。幸い、九州は熊が居ないが、今後、様々な野生動物との共存は身近なことと考えていく必要を感じます。【60代 女性（北九州）】
- ・ 毎年鳥インフルエンザで多数の鶏が殺処分されています。どの養鶏場でも万全の対策を取っていると思いますが、まだ盲点があるのでしょうか？不思議に思います。
全国各地でクマによる被害が出ています。農作物だけでなく人にも影響が出ています。
理由がよくわかりませんが、徹底的に駆除をせず、森深く追い払うような対応がとられています。動物保護の観点からの処置なののでしょうか。信じられません。
日常生活が脅かされている人々に同情します。【70代以上 男性（北九州）】
- ・ 最近クマ出没で問題だが自然環境破壊しすぎて里山減少が原因だ。金儲けのため開発し土地販売を辞めるべきだ。【60代 女性（北九州）】
- ・ 地域で取り組む課題と考えます【40代 男性（北九州）】
- ・ 無駄な予算を使わず身の丈に合った活動、疑念を持たれないような活動をしてほしい。【50代 男性（北九州）】
- ・ ペットや家畜を除き、野生動物の生息域を侵さない、荒らさない。野生動物にとって人間との共生やふれあいは、必ずしも、望ましいものではない。
【60代 男性（北九州）】
- ・ 継続的な活動が必要だと感じているので、PRも引き続き、多くの人が目にする、知る可能性のあるもの中心に続けていくことが大切だと思う。
【50代 女性（北九州）】
- ・ 全く性質の異なる政策テーマ（人獣共通感染症対策、薬剤耐性菌、環境保護、動物愛護、観光振興、健康づくり等）を一つの「ワンヘルス」というパッケージに詰め込んでいる点に強い違和感を覚えます。SDGsのように、「何でもかんでもくくってしまう」姿勢は、かえって問題の本質を曖昧にし、現場の課題解決にはつながりにくいのではないのでしょうか。
例えば、地域猫活動は「動物との共生」や「癒しによる健康づくり」とくくれるのかもしれませんが、現実には餌付けによって周辺住民の敷地に糞尿被害が出たり、砂場がトイレ化したり、ノーリードの猫がごみを漁ったりするなど、公衆衛生・生活環境の面で「一見優しい善行」が深刻な課題を引き起こしています。こうした状況は、人獣共通感染症のリスクにも直結するはずです。
「共生」や「ふれあい」などの理想的な言葉だけで語るのではなく、野生動物との線引き、ペットの適正飼育、地域トラブルの現実にも正面から向き合った上で、現場目線での実効性ある施策設計を求めます。
また、経済的に余裕のない家庭では、環境や動物に配慮した行動（地産地消、公共交通機関の利用、環境負荷の少ない農産物の選択等）が難しいのが実情で

す。「行動変容」を求める前に、まず県が住民の生活基盤を支える政策（物価対策、雇用、福祉など）を誠実に進め、住民が協力できるだけの余裕を取り戻すことが先決だと思います。【30代 男性（福岡）】

- 世界的に One Health という言葉が定着していたとしても、カタカナでの「ワンヘルス」はあまり馴染みがない県民に定着していない言葉だと思います。ワンヘルスの中身にある環境保護、環境と人と動物のより良い関係づくり、人と動物の共生社会づくり、地産地消などはそれぞれの項目自体は現在実践されているものがほとんどで、薬剤耐性菌や人獣共通感染症についてはあまり知られていないことだと思うので、その部分に関しては周知が必要だと思いますが、わざわざワンヘルスということ強調しなくても良いのかなと思います。むしろ、県民にとってのワンヘルスは特定の人物のやりたがっている政策や税金の無駄遣いといった悪い印象の方が強くなっているのではないかなと思います。

もっと親しみやすいわかりやすいフレーズに変わるとまた変わってくるかもしれません。【30代 男性（福岡）】

- 告知が全般的に弱い。もっと打ち出し強化して意識づけをしてほしい。【60代 男性（福岡）】
- 将来的にも取り組んでいく課題だと思います。【60代 男性（福岡）】
- 義務教育で周知する。【50代 男性（福岡）】
- 人と動物の健康に係る環境保護や環境保全に対して福岡県や自治体（ex. 福岡市）が取り組む具体的なプランが明瞭でない。【70代以上 男性（福岡）】
- 内容をもっと周知したほうがよい。【30代 男性（福岡）】
- ワンヘルスという言葉は度々聞くが、正直なところ、その定義がよく分からない。人、動物、自然とかなり広い範囲を対象にした取り組みのようだが、具体的なイメージがない。【50代 女性（福岡）】
- ワンヘルスという言葉は詳しくは知らなかったが、今まさにクマ問題も関連している問題だなと思いました。（九州にはクマはいませんが）人間と動物、そしてその生息環境（自然環境）の健康問題、生息環境の保全など、とても重要な取り組みだと思うので、広報活動も積極的に行って、一人でも多くの方に考えてもらいたいと思います。【50代 女性（福岡）】
- 人と動物の共生と同程度の強度で、ペットの糞尿の始末をしない飼い主に閉口しています。特に朝方のペットを連れた散歩族に目に余るものがあります。エゴの固まりのような方々が多い。【70代以上 男性（福岡）】
- 知事選で吉田さんも仰ったように「行政の私物化」だと私も思います。大変申し訳ありませんが、ワンヘルス事業に反対です。【40代 男性（福岡）】
- ワンヘルスについて、知らないまま進められており、またよくわからないモニメントにもかなりの税金が投入されていると後に知りました。近年、全国の自治体において都道府県民を置いてけぼりにした政策が行われ、またそれに関して声を上げて役人が反応しないという現状に甚だ疑問を感じております。ワンヘルスに限らず、政策案が出た時点でしっかり内容を県民に届くよう工夫し、それに関して県民の声をきちんと吸い上げ反映させる努力をすることが自治体の本来のあるべき姿だと思います。【30代 女性（福岡）】
- ワンヘルスの定義が広すぎるのではないのでしょうか。会社やプライベートで話題になったことはありません。ひとつひとつはとても大事なことだと思います

ので、言葉に惑わされず、地道に啓発活動を続けてほしいし、我々も日常生活で取り組んでいきたいです。【50代 女性（福岡）】

- ・ ワンヘルスは聞いたことがあったが、人の健康のことかと思っていて動物も含めたものであることを知り勉強になった。動物との触れ合いはないので関係ないかと思っただが、地産地消やエコバッグの持参など普段行っていることがワンヘルスの取り組みであることをはじめて知った。一人一人の行動が世界で合意されている取り組みにつながるということをより多くの人が認識できるようワンヘルスの概念をもっと広く浸透させられるとよいと思う。

【40代 女性（福岡）】

- ・ 動物の事なので、イベント等あれば楽しいと思う。【60代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルス、よい取り組みなので知名度が上がるような活動があるといいなと思いました。【40代 女性（福岡）】
- ・ 子どもと暮らしていると、動物や自然に触れる機会は思っている以上に多いものです。動物園や水族館、油山のような自然公園、そして近所のペットショップなど、子どもが興味を持つ場所はたくさんあります。こうした場所で「動物との正しいふれあい方」や「自然と人との関係」をテーマにした学びの機会がもっと増えたらいいなと思います。ただ、実際にイベントを開催する側の負担を考えると、頻繁な実施は難しいという現実も理解しています。

そこで、もっと無理のない形でワンヘルスを広げる工夫があってもいいのではと思います。たとえば、動物園や水族館に行ったときに、展示パネルやQRコードで「人と動物の健康を守るちょっとした行動」などを紹介する仕掛けがあれば、親子で自然と学べます。デジタルサイネージや短い動画でもいいですし、混雑時でも立ち止まらずに見られる工夫があれば、現場の負担も少ないと思います。

また、県の広報やSNSなどで「家庭でできるワンヘルス」をテーマに、家庭菜園・地元野菜の選び方・ペットとの衛生的な接し方などを紹介するシリーズがあると、参加型で広がると思います。保育園や小学校でも、絵本やシールラリー形式など、子どもが楽しみながら自然と関心を持てる教材があると嬉しいです。

親として感じるのは、「自分の暮らしと環境・動物がつながっている」という実感がないと、なかなか行動につながらないということ。ワンヘルスは専門的な言葉ですが、家庭では「手を洗う」「自然を大事にする」「動物を思いやる」といった、日々の行動の延長線にある考え方だと思います。

県が進めるみやま市のワンヘルスセンターの取組はとても意義があり、全国的にも誇れると思います。その中で、こうした家庭や地域レベルでのちょっとした実践を紹介・発信していくことで、「自分たちにもできる」という共感の輪が広がるのではないのでしょうか。

ワンヘルスを「特別な活動」ではなく、「日常の中の小さな選択」として根づかせるための仕掛けを、ぜひ県全体で進めてほしいです。

【40代 男性（福岡）】

- ・ あれもこれでも盛り込み過ぎのような感がある。福岡県での今年度の重点課題とか、第一フェーズでは何、第二フェーズでは何と段階的な目標を立てるなどして、目標や達成度の明確化や視覚化を心掛けて欲しい。

【60代 男性（福岡）】

- ・ 「ワンヘルス」の意味を何度か聞くのですが、今一つ良く理解ができていません。なにか冊子などでじっくり読むことが必要なのでしょう。冊子化したものは身近なところで入手できるようにして欲しい。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ イオンなどの大型施設で啓蒙活動をします。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスについては今まであまり意識していませんでした。
【70代以上 男性（福岡）】
- ・ これからの社会に必須の視点だと思います。人と動物、環境を切り離さず整えることで、安心して暮らせる未来につながると思います。シンプルですが、本質的な考え方です。【50代 女性（福岡）】
- ・ 他の地域でのワンヘルスの取組みを知らないの、福岡県がどのくらい力を入れているのかわからないでいます。比較する材料をテレビのニュースや報道で探しているところなので、そういう面を県だよりなどで知らせてもらえるととても理解が進むと思います。【50代 男性（福岡）】
- ・ SNSの力はすごいと思うが、どうしてもいきすぎる点が目につきます。必要最小限の生活からすれば200%の増々でやりがち。【40代 女性（福岡）】
- ・ ペットについての飼育者としての学習は学校教育にも取り入れてほしい。特に命の観点から、他者、人も動物も植物も地球の命を守ることが自分の命を守ることにつながるということが体感できる機会が老若男女問わず身近になって欲しい。
災害時の命の守り方は『人』だけでなく、『すべての生きとし生けるものの』権利を守ることだ。健保で保障されてもいる。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスが県の行政施策として、急に取り上げられたことへの背景が今一つ見えないところがあります。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 何をおこなっているのかよく分からない。本当に資金を投入してまですべき事だと思えない。【30代 女性（福岡）】
- ・ 予算などは計画的に使ってほしい。【60代 女性（福岡）】
- ・ 人獣共生の理念には共感しますが、やはりそこには守るべき境界があると思います。すなわち昨今報道を賑わせているクマの人里出没や、福岡市内では野生のサル出没など、ヒトに危害を加えかねない事態が頻発しています。ペットを飼うにしろ飼い主以外の人から見れば脅威を感じる場合もあります。うまく共生していけるような風土作りに期待しています。【60代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスセンターが増えていくのは正直困る。
私は動物が得意ではないので、あまり行きたい場所ではない。
【30代 男性（福岡）】
- ・ 子連れだと公共交通機関の移動がなかなか難しいのが現状です。
【40代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスは、県民の身近にあることを啓発してほしい。
【30代 女性（福岡）】
- ・ 正直税金の無駄遣い、怒りさえ感じる。
福岡県はお金が余っているのか、200億円は別の用途に振り向けるべき。
【50代 男性（福岡）】
- ・ 言葉は最近よく耳にしますが内容が多岐な事もあり具体的にどんな概念を指しているのか掴めていません。学びやすく教育に使いやすいよう理念や実際の活動を分かりやすく解説した漫画教材があるといいと思いました。
【50代 女性（福岡）】

- ・ わからなかったのでワンヘルスの成り立ちや、国・福岡県の取り組みを見ました。ワンヘルスは理解はできますが、まだまだ言葉が追いついてない。日々の生活の中で自然といつの間にか取り組める、取り組んでると言うような事になれば子供達も参加しやすいと思います。まずは、学校や身近な所でのワンヘルスと言う言葉から入らないといけないと思います。【60代 女性（福岡）】
- ・ 気候変動の影響で、これまでの生態系のピラミッドが今後更に変わる可能性があると思っています。
環境保護として、庶民としてやれる事はサステナブルな活動をする事しか無いのでしょうが、合わせて今回のようにワンヘルスをする事で、個々人の自己防衛も必要なかな思いました。【40代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスという言葉も意味も知らなかったので今回をきっかけに知ることができ良かった。クマやイノシシのニュースが多く、やむを得ず駆除しなければなりません、人と動物との共生社会や両者の健康を守る意識は忘れてはいけないと思います。【40代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスという言葉を知らない、理解してない県民が多いと思う。啓蒙活動の強化をお願いします。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスと一言でいっても、かなり広範囲に該当し、なかなか実感がないのが事実。
絞りこんだ取り組みのほうが、わかりやすい気がする。【60代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスで具体的に何をするのか今ひとつわからない。別に特別に事業を立ち上げなくても、それぞれが必要な施策を連携して行えばいいのではないかと思う。箱物を（みやま市に）巨費を投じて作る必要はない。【50代 女性（福岡）】
- ・ 人と動物、環境の健康を一体で考えるワンヘルスの理念は非常に重要だと感じます。今後は、県民へのわかりやすい情報発信や教育機会の充実、災害時や感染症対策における連携強化を期待します。多様な立場の声を反映した、実効性ある取組をお願いします。【50代 女性（福岡）】
- ・ 現在、ペットと同居している家族も多いと思います。
県営住宅なども、共存できる部屋があれば経済的にも助かる方があるのではと。また、里親になりたいくてもなれない家族もなれる、そういう取り組みもしてほしい。【60代 女性（福岡）】
- ・ 馬など触れ合える場所を提供してもらいたい。馬は、優しく、撫でると人間にもいい効果がある。【50代 男性（福岡）】
- ・ 人間活動も環境のひとつなので、利己主義的な考えは無くすべき。
【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 人と動物、環境の健康がつながっていることをもっと広く知ってもらいたいと思います。
学校教育などで子ども向けの啓発を進めてほしいです。
身近な例（感染症・災害・ペットとの生活）を紹介すると理解が進むと思います。【40代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルス自体に必要性を感じないです！税金を投じる意味がわかりません！この費用を全て子供の福祉や障害、お年寄り、環境保全に使っていただきたい！！【40代 女性（福岡）】
- ・ 動物と人間の共存する上で、ペットを持つことで、理解の促進や思いやりの感情を持つことの効果はあり、否定するものではないが、人間と動物の距離が近くなりすぎており、感染症など公衆衛生上では、今後、かなり警戒感を持って

施策を遂行していく必要がある。行政として、公衆衛生の維持を第一に進めてほしい。【50代 男性（福岡）】

- ・ 自然環境と動物の問題が、ごちゃ混ぜになっている印象で分かり難い。自然環境に絞っていいと思う。【60代 男性（福岡）】
- ・ 福岡県だけ実績づくりの為かワンヘルスのテレビCMを流しているが、あのCMではワンヘルスがどういうものか全く伝わらない、作る側の自己満足でその制作費、放映料、税金を別のものに使って欲しい。【50代 男性（福岡）】
- ・ ペットの飼育環境も気になるが、家畜の飼育環境も気になっている。糸島では牛の畜産をしているようだが、放牧されている姿は全然見かけない。たまたま見ていないだけかもしれないが、畜産の飼育環境が適正に行われているかが気になる。【50代 女性（福岡）】
- ・ 「ワンヘルス」に、良いイメージがない。【50代 女性（福岡）】
- ・ あまりよくわかりません。なぜその取り組みを行っているのか。なぜ、急にワンヘルスと叫び出したのか。ここ数年ででてきた文言だと思います。主旨はわかるのですが、なぜ全国ではなく、福岡県だけがこれに力を注いでいるのかを説明してもらいたいです。【50代 男性（福岡）】
- ・ もっとPRして欲しい。【60代 男性（福岡）】
- ・ これからは大切だと思います。【50代 男性（福岡）】
- ・ 具体的に福岡県で発生している獣害動物の被害等に関する設問があっても良いのではないかと思います。
例えば、猿、イノシシ、アライグマ等の住宅地区への登場、侵入、住みつき等はたびたび報道されています。これらがまさにワンヘルスの重要性につながる実例なのに、ここで何も設問がないことに違和感を感じました。
【60代 女性（福岡）】
- ・ 一人ひとりの意識が世界日本を変えていくものだと思います。
【60代 女性（福岡）】
- ・ 広く県民に知ってもらえるような 取り組みをやって欲しいです。
【60代 女性（福岡）】
- ・ 里山でなくても、もっと近くにマダニは潜んでいる。道路愛護デーに草取りをしている場合は、そのあり方を早急に見直すべきだと考える。（人や動物、環境に配慮した除草剤をまくなど）【40代 女性（福岡）】
- ・ 問9（日常生活で取り組んでいることについての設問）にあった選択肢を見ても、ワンヘルスにあてはまる内容が幅広であり、何から何までがワンヘルスの対象なのかよく実態がつかめなところがあります。問9の選択肢の行動で日ごろからやっているものは複数ありますが、実際のところワンヘルスを意識して実施したものではありません。ワンヘルス推進の取り組みとその効果の因果関係や影響をはかるのが難しいような感じがしています。【30代 男性（福岡）】
- ・ 率直に言って、あまりよいイメージはない。
動物は大切だと思いますが今はもっと、こども施策に焦点を当てるメッセージを伝えるべきだと思います。【40代 男性（福岡）】
- ・ 新型コロナウイルスのワクチンによる健康被害増加のため接種の中止。
【10代 男性（福岡）】
- ・ 野生動物の問題や多頭飼育の問題など、今、動物に関する課題は多いように思います。ネットなどでそれらの問題を知る機会も多くなりましたが、専門家の

意見というのはあまり聞けないというのが印象です。そういった取り組みが増えていくと理解も増えていくと思います。【40代 女性（筑豊）】

- ・ 野良猫にも命があるのでむやみに処分しない取り組みを国をあげてやってもらいたい。【50代 男性（筑豊）】
- ・ 釣りを趣味としている人へのゴミ意識の向上。海洋環境破壊に繋がっている意識が低い人には釣りをさせないような取り組みが必要なほど酷い（食品の包装やタバコ、糸や仕掛けなど）。自然と向き合いながら、きれいに釣りを楽しんでいる人が、それらの人の影響で釣りができなくなるのは避けたい。

【40代 男性（筑豊）】

- ・ 福岡県主導で展開している「ワンヘルス」ですが、今後、一般の人々の理解と行動が重要だと思います。全国、世界へ啓蒙活動を広げるためには、愛犬家、愛猫家へのアプローチが有効だと考えます。【60代 男性（筑豊）】
- ・ 聞いたことのない言葉が急に公に出てきて、実施状況、行う意味、何もわからず言葉だけが広がった印象。そのための県の予算も少くない額で計上されていると思われ、ずっと疑問を感じている。【50代 女性（筑豊）】
- ・ ショッピングセンターで勤務しているが、商品を手前から取らず奥から奥から引っ張り出して購入する方がほとんどである。商品棚は開店して数分で乱雑状態。世代には関係なく高齢者が特に多い。この為に賞味期限切れで廃棄する量が半端ない。また、整頓する店員の労力もふえる。正直、社会に浸透していない。【60代 男性（筑豊）】
- ・ 知事がPRされていますが地元では認識や理解度が低いと感じます。

【70代以上 男性（筑豊）】

- ・ 動物と人間との距離のバランスの大切さはもっと真摯に向き合い考えるべきである。

昨今、熊による人間への襲撃が相次いでいるが、外国人による山間部へのゴミの放棄や、動物たちの生息地である山間部への開拓事業などが理由となっていることを忘れてはいけない。【30代 女性（筑後）】

- ・ 県民に対する認知活動をもっと積極的に行っていった方がいいと思います。十分に取り組みの意義が伝わっていないように感じています。

【60代 男性（筑後）】

- ・ もっと周知したほうが良いと思いました。【40代 男性（筑後）】
- ・ もっとアピールをしていかないと広まらないと思います。

【40代 男性（筑後）】

- ・ 地元みやま市にワンヘルスの施設が移転するので期待している。でも田舎すぎて太宰府から来られる方は、がっかりしているのではと思う。地域の活性化につながればよいと思う。【50代 女性（筑後）】
- ・ ブランケットや扇風機を持参することで、夏、冬でもアイドリングを減らす。

【40代 男性（筑後）】

- ・ 知事肝入りの政策とお聞きしていますが、そこまで必要なものか疑問です。ワンヘルスという言葉が今でもピンときません。【50代 男性（筑後）】
- ・ 筑後市で行われたワンヘルスのイベントに行きました。高校生の学習発表や出店など若い頃から関心を持つことは大切だと思います。とても素晴らしい取り組みだと思います。【40代 女性（筑後）】
- ・ 環境について関心がある自分ですら『ワンヘルス』という言葉を知らなかったの、世間の認知度向上に努めて頂きたい。【30代 男性（筑後）】

- 我が家の飼い猫は3匹とも、保護猫である。知り合いが個人的なボランティアとして長年「保護猫活動」を行っている。当然、無償である。しかし、かなり経済的な面や、保護猫を引取って飼ってもらえる家庭の確保の面など、ご苦労していることを知っている。行政として、何かしらの援助ができないのだろうかと感じる。【60代 女性（筑後）】
- 事業の必要性は理解するが、正直なところ福岡県が特に力を入れて取り組む理由が今一つ分からない。【50代 男性（筑後）】
- ワンヘルスは分かりにくいところがたくさんあるため、一体どういうことなのかを解説する場が必要だと思う。
今回説明を読んでも具体的な部分がないので、分かりにくかった。
【20代 女性（筑後）】
- ワンヘルスということばがイメージと違う。変えたほうがいい。
【60代 男性（筑後）】
- 人と動物の双方に感染する感染症について、まだ認知度が低いように感じるので、どのような感染症があるのか周知の徹底を図っていきべきだと思います。
【60代 女性（筑後）】
- どのようなことかまだ広まっていないと思うので、もっと身近に触れる機会を増やしてほしいです。【70代以上 男性（筑後）】
- 現在、熊による人的被害に顕著に現れているが、熊や鹿等の鳥獣の個体数の管理が疎かになっている。
さらに、都市部におけるカラスによる人的被害も発生している。鳥獣保護のあり方を抜本的に見直す必要がある。【60代 男性（筑後）】
- みやま市では、広報や学校などでも教育がなされており、ワンヘルスの理解が他の市町村よりはできていると思う。【40代 女性（筑後）】

地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する取組について

【調査の目的】

県では、飼い主のいない猫の過剰繁殖による生活環境被害の軽減及び所有者不明の猫の引取数を減らすことを目的として、平成26年度から地域猫活動支援事業を実施し、地域住民が主体となって市町村が実施する地域猫活動を支援しています。

また、県が引取りした犬猫の新しい飼い主を探すため、動物愛護センターで動物愛護団体と連携して譲渡促進の取組を実施することにより、致死処分数を削減し、人と動物が共生する社会づくりを推進しています。

このため、地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する取組について皆さまの御意見をお聴かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。

(保健医療介護部生活衛生課)

※ 地域猫活動とは

地域における、飼い主のいない猫の過剰繁殖やトラブルの防止のために、地域の合意のもとに複数の地域住民が主体となり、不妊去勢手術の実施や餌・トイレの管理などを行い、猫を適切に管理する活動です。

本活動により管理されている猫を地域猫とします。

一世代限りの飼養や新しい飼い主探しにより、将来的には地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指します。

【現在県が行っている支援】

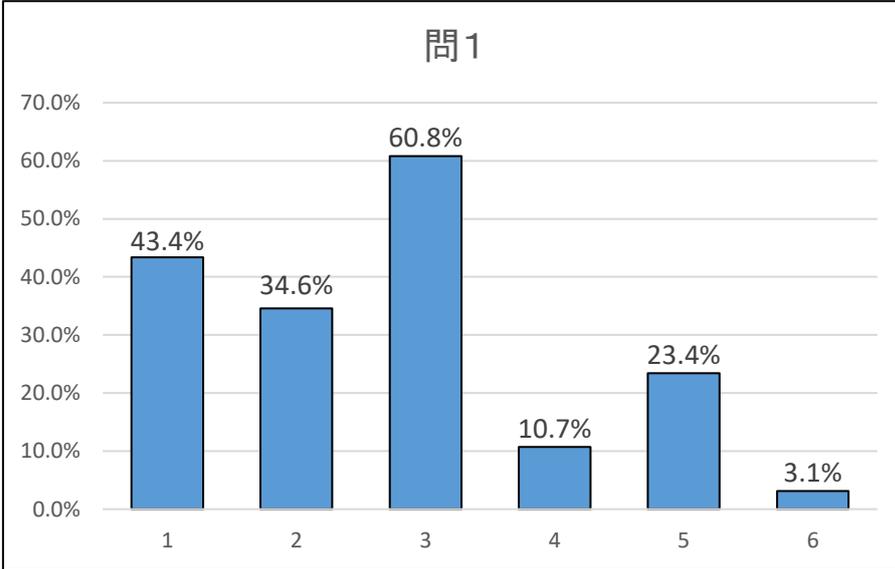
- ・地域猫活動に対する技術的な助言
- ・市町村への不妊去勢手術費用の補助

問1 あなたは、屋外にいる猫による生活環境被害を軽減するためにどのような対策が必要だと思えますか。

(n=355 選択は2つまで)

選択肢	回答数	割合
1 飼い猫は屋内で飼育し、屋外に出さない	154	43.4%
2 飼い猫に迷子札を装着するなど所有者を明示し、餌やトイレ管理など適正な飼養管理を行う	123	34.6%
3 飼い主あるいは餌を与えている方が不妊去勢手術、餌の後片付けやトイレ管理などマナーを守ってお世話する	216	60.8%
4 追い払う、柵や塀の上に障害物を設置して敷地内への侵入を防ぐなど、自分でできる対策をとる	38	10.7%

5 飼い主のいない猫に対しては、地域住民の間でコミュニケーションをとり、地域猫活動を実施する	83	23.4%
6 その他	11	3.1%



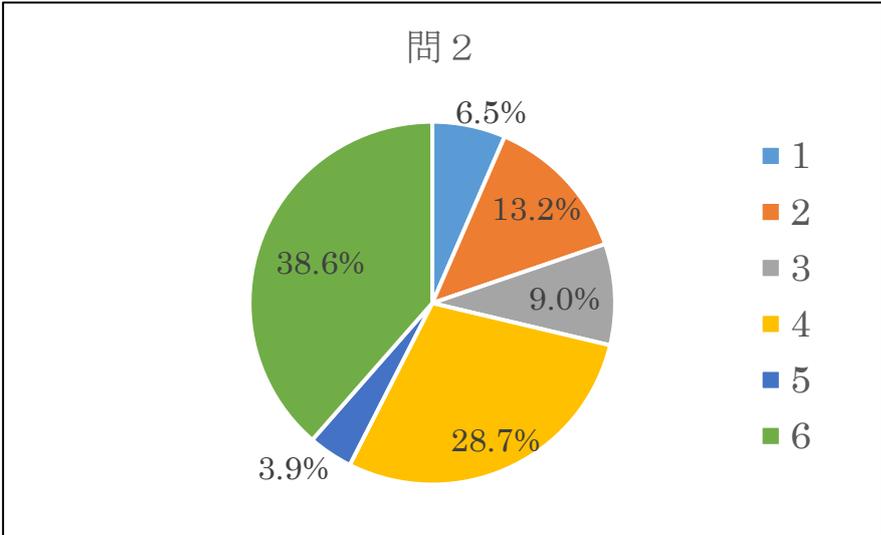
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- ・ 飼い主のいない猫は、行政などの手で集め、引き取り手のない猫は殺処分すべき(3)。
- ・ 無意味に餌付けしている人に警告や罰則を設け、条例を作るべき。
- ・ 猫の餌代に課税してその対策費に回す。

問2 あなたは、「地域猫活動」について知っていましたか。また、県が「地域猫活動」の支援事業を行っていることを知っていましたか。

(n=355 選択は1つのみ)

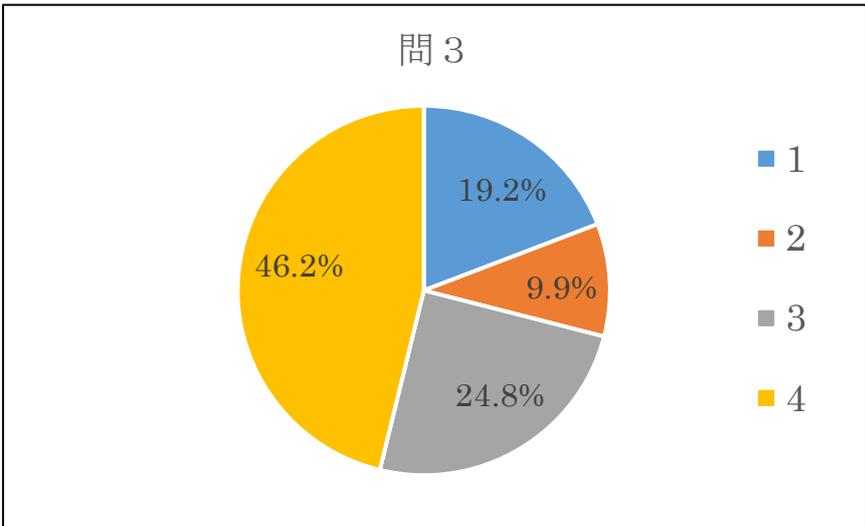
選択肢	回答数	割合
1 地域猫活動を行っており、県の支援事業も知っていた	23	6.5%
2 地域猫活動は行っているが、県の支援事業は知らなかった	47	13.2%
3 地域猫活動を知っており、県の支援事業も知っていた	32	9.0%
4 地域猫活動は知っていたが、県の支援事業は知らなかった	102	28.7%
5 地域猫活動のことは知らなかったが、県の支援事業について聞いたことはあった	14	3.9%
6 どちらも知らなかった	137	38.6%



問3 あなたは、福岡県動物愛護センター（古賀市）を知っていましたか。また、当センターにおいて、県が引き取りした犬猫の新しい飼い主を探していること（譲渡事業）を知っていましたか。

(n=355 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 施設名を知っており、譲渡事業も知っていた	68	19.2%
2 施設名を聞いたことはあるが、譲渡事業は知らなかった	35	9.9%
3 譲渡事業は知っていたが、実施している施設は知らなかった	88	24.8%
4 施設名も譲渡事業も知らなかった	164	46.2%

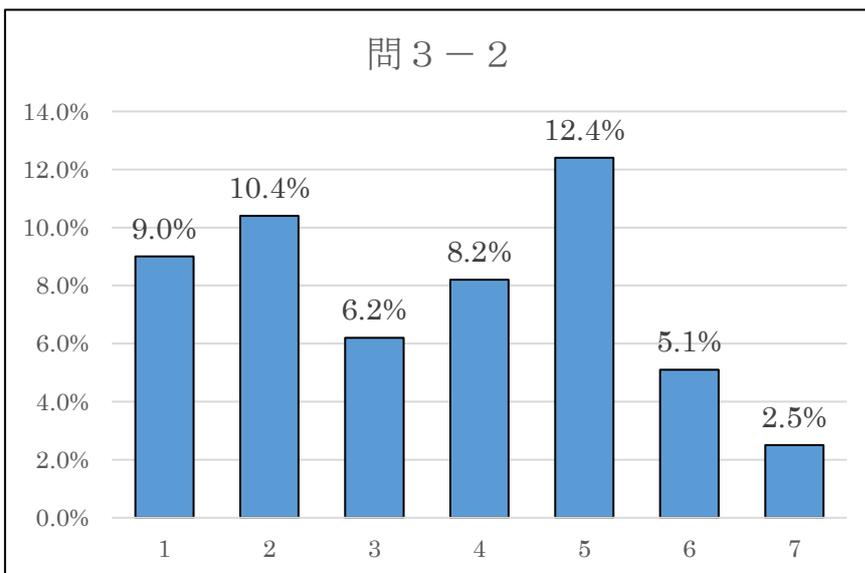


問3-2 （問3で「1」を選んだ方にお尋ねします。）

福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡について、次のことを知っていますか。

(n=355 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 譲渡する犬猫は、原則として不妊去勢手術が済んでいる	32	9.0%
2 譲渡する犬猫は、原則として感染症を防ぐための混合ワクチンが接種されている	37	10.4%
3 譲渡する犬猫は、原則としてマイクロチップが挿入されている	22	6.2%
4 犬の譲渡を希望する場合は、事前に講習会を受講する必要がある	29	8.2%
5 犬猫を譲り受けるためには、家族の同意など一定の条件を満たす必要がある	44	12.4%
6 譲渡事業以外にも、譲渡した犬の同窓会、犬のしつけ方教室のほか猫の飼い方教室などを実施している	18	5.1%
7 いずれも知らない	9	2.5%

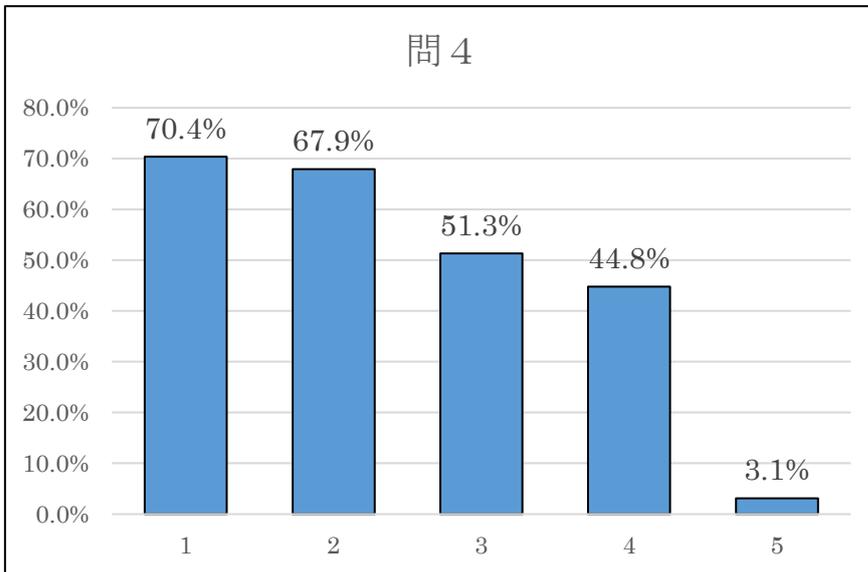


問4 あなたは、福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(n=355 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 ホームページやSNSを活用し、動物愛護センター事業の広報を強化する	250	70.4%
2 犬猫を譲り受けるための条件を分かりやすく、ホームページ等に掲載する	241	67.9%
3 新しい飼い主を募集している犬猫の性格や特徴を詳細に説明する	182	51.3%

4 県内各地に出張し、譲渡会を実施する	159	44.8%
5 その他	11	3.1%



[その他]

- ・ 市政だよりでは余り見かけないので、今までうっすらとしか理解出来ていなかったです。市政だよりも記載して貰った方がより分かりやすいのでは。
- ・ 譲渡した犬猫を大事にしない里親がいると聞いたことがあります(意図的に傷つける目的で引き取るもふくめ)譲渡して終わりではなく、その後も見守り等の支援があった方がいいと思います
- ・ 義務教育で周知する
- ・ エサ代やワクチン接種費用の補助
- ・ テレビに特集してもらう
- ・ 犬や猫が好きだけど飼えない環境の人(自分もそうです)も賛同できる活動なので募金やクラファンなどの協力できることがあるなら協力したいです。
- ・ 動物愛護センターが本腰を入れて保護活動を行うことを切に願う。
- ・ 福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進める必要はない必要な人はインターネットで探すと思う
- ・ 広報活動にそれほど効果があるとは思えない。無駄に税金を使うべきではない。

問5 地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する取組について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

[ご意見(別添参照)](回答数=133)

性別	年代	地区	意見
男性	30～39歳	北九州	地域猫活動には正直反対です。我が家の住宅街には野良猫が多く、早朝や夜間に喧嘩の声でうるさいばかりでなく、花壇を勝手に荒らされたり庭に糞をよくされるので大変迷惑しています。「地域猫」と聞こえはいいですが、実態は所有者の責任があいまいのまま育てているだけで、餌をあげている人は実際に被害を受けている家庭の気持ちを分かっているのではないのでしょうか？
男性	60～69歳	北九州	高齢者が地域猫に餌付けをしている光景をよく目にする。何とも言えない気持ちになる。
男性	20～29歳	北九州	譲渡会を行うのはいいが大勢の前や屋外で見世物のように扱うのはどうかと思う。宣伝にはなるかもしれないが私のペットがそのような扱いを受けていると思うと嫌になるからやめてほしい。屋内でかつ、大勢の前ではパネルや映像での展示をして実際に見たい人だけに見せるようにするとか。
女性	40～49歳	北九州	実家も愛猫家でしたが、知人や公園の猫を引き取って飼っていましたので、これからはもっと地域猫活動及び犬猫の譲渡を幅広くこのアンケートのお陰で理解出来たので又目を向けたいです。
男性	50～59歳	北九州	この取り組み自体をもっと広めていかなければならない。あらゆる媒体を使って広めていく。SNSや各年代に合った広め方を考える必要がある。
男性	60～69歳	北九州	北九州市の動物愛護センター(小倉北区西港)へは行った事があります。似たような活動状況でしょうか？
男性	70歳以上	北九州	<p>■「お試し同居」体験プログラム 2週間～1ヶ月の期間限定で犬猫と暮らせる制度。飼うか迷っている人でも生活相性を確認でき、返却後も別の動物とマッチングできるため、双方のストレス軽減にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>■AI性格マッチング診断 希望する暮らし方(散歩頻度・家族構成・活動量・騒音許容度など)を入力すると、性格や行動傾向に近い犬猫をAIが提案。婚活アプリのように「相性」を見える化し、ミスマッチ譲渡を削減できるように思います。</p> <p>■「譲渡型シェルター×カフェ×学び場」複合施設 保護動物と触れあえるカフェに、飼育知識のワークショップや子ども向け命の教育プログラムを併設。地域住民・学校・企業が関わり、譲渡だけでなく啓発とコミュニティ形成の場として機能するのではないのでしょうか。</p>
男性	40～49歳	北九州	ペットショップは大盛況なので、県報・市報などで譲渡会の案内を定期的にあげたら良いのでは？
男性	50～59歳	北九州	現在、ペットを飼育している方、これからペットを飼育しようとしている方には最後まで責任を持ってペットを飼育して欲しい。そのため県にもそのような広報活動を行って欲しい。ペットを飼育する場合、適切な個体管理を行うよう指導、広報して欲しい。
女性	40～49歳	北九州	少子化や核家族化の影響により動物を飼う人が増えているように思います。それに関してはとても嬉しいことではありますが、ペットショップなどでは高額で命を取引し、一方では捨てられ消えてゆく命があります。高価だったから大切にするという考えも一部あるかもしれませんが、保護犬や保護猫達の命をそういった方々に救って欲しいというのが本音です。どうすれば良いのか。極論ですが、動物の命の取り引きを法的に禁止していただきたいです。この犬種がかわいいとか、この猫種が好きだとか、もちろんあると思います。それでも、命の高額取引ではなく、かわいそうな命を救って欲しいのです。難しい問題ですが、少しでも命が大切にされるように願っています。また、地域猫などに対する動物虐待の罰則も厳しくして頂きたいです。
男性	70歳以上	北九州	小倉駅前、歩道橋の広場で譲渡会を時折開催しているのは良いと思う。
男性	60～69歳	北九州	ペットの飼育禁止のマンション(賃貸を含めて)が多いのを何とかしてほしい。高齢になり子供たちも独立し、年配の夫婦だけの暮らしになった時、ペットがいるといえないのでは生活上も精神的にもかなり違ってくると思います。もちろんアレルギーや動物嫌いの人もいるのだからお互いが納得する形のルール作りをきちんとしたうえでであることは当然です。ペットを飼う人は「ペット」ではなく「家族」として生活している人が大多数で、そういう思いを持つことで無責任な飼育が減っていくはずで。そのためにもペットを飼うことのできる環境を少しでも多くする対策をとってほしいと思っています。現在はマンション形式の住環境が多くなってきています。そんな中で「ペット禁止」とする規約は時代遅れではないのでしょうか。根拠もわかりません。マンションでのペット禁止の見直しについて県や市がもっと働きかけるべきだと思います。
女性	30～39歳	北九州	地域猫活動については自治会でも議題にあがったばかりでした。地域猫活動をしたいという人もいますが、ほとんどは反対派でありうちの自治会においては行われておりません。なお、単純に猫を嫌っているのではなく、住みよい街をつくるにあたって地域猫活動をする事によるデメリットが大きいことと、そのデメリットを解決するような策がうちの自治会では打ち出せないということが主な理由です。特に解決策がないものとして、地域猫活動をしていると聞きつけて、無責任に捨て猫を連れてくることや、地域猫と認定されている猫が人や物を傷つけた場合の責任の所在についてなど、他にもありますがそのような事柄がたくさんあげられうちの自治会では地域猫活動は非現実的であるという結論に至りました。犬も猫も大切な命であることは変わりませんが、地域猫からの無責任な捨て猫からのさらなる繁殖となり、最終的に殺処分などの方向になるほうがよっぽどかなしい結末になるため、私個人としては地域猫すらも無くして、飼い猫・飼い犬のみに全国的にすべきかと思っています。
男性	40～49歳	北九州	外猫が庭に糞をするので、各家庭でしっかり、糞尿のしつけをしてほしい
男性	70歳以上	北九州	まだ結構屋外に野良猫がいるがどれが地域猫なのかそうでないのか区別がつかない 何か識別できるようにできないのでしょうか
女性	40～49歳	北九州	保護団体が多数ありますが、どの事業所さんも、金銭面でかなり苦労があると思います。市や県からの支援金や、保護猫、保護犬の譲渡までの健康チェック、ワクチン手術などのすべてを無料にするなどして頂きたい
男性	50～59歳	北九州	昭和の時代は増えすぎた犬猫は殺処分するために専門の職員がいたわけだし、それが時代とともに違う仕事になりつつあるわけだが、増えていった犬猫に対して必要以上の税金を投入する必要性というのは意識すべきだと思うし、設問が事業ありきとなっており不誠実なアンケートだと感じた。
女性	60～69歳	北九州	介護用ペット事業を進めて、施設などに訪問してもらおうと良い

性別	年代	地区	意見
男性	60～69歳	北九州	私の住んでいる地域でも地域猫活動が行われているが、経済的支援が町から行われていないので、ボランティアで活動されていると聞いている。自治会がカンパのような形で支援活動を行っているが、県および自治体ももっと支援を行っていかないとボランティアの善意に頼ってはいは長続きはしないと思う。活動自体は大変意義のあるものだと思うので、長く続けていくためにも経済的(財政的)支援はきちんと予算化するべきだと思う。
女性	60～69歳	北九州	行橋市に戻って一年近くなるが、何度も花を植えたばかりの花壇を夜間に掘られ、糞を埋められていた。外で猫を見かけたが飼い主がわからず、対応できなかった。飼い猫の管理を厳重にして、夜間の徘徊を無くし、このような悲しい出来事が起きないようにしてほしい。
男性	70歳以上	北九州	犬や猫が大嫌いです。たくさんの方が猫や犬を昔に比べて飼い始めているように思います。世の中がすすんできており、相手をしてくれる猫・犬をかわいがりはじめたのでしょうか。犬に着物を着せて歩かせている人を良く見かけますが、人間と違い犬は発汗作用があり、それを着た着物が防いでいます。動物本来の性情を知らずに猫かわいがりしている人を見ると動物に同情したくなります。
女性	60～69歳	北九州	保護活動はよいことで継続してほしい
男性	40～49歳	北九州	譲渡が必要なのか?と思います。
女性	60～69歳	北九州	知り合いが、飼われてない猫や犬の避妊治療や餌やりを自腹でしてますが、補助金申請などできますか。
男性	60～69歳	北九州	一旦飼い始めたら、最期まで、責任を持って飼う、無責任な繁殖をさせない、ことを地域活動や学校で、再三周知する
女性	60～69歳	北九州	近くに大きな森があり、そこにたくさんの野良猫がいる。それに餌付けをしたり、面白半分でかわいがる人がいるため、野良猫が増えすぎて、困っている。何とかしてほしい。
女性	50～59歳	北九州	どちらも保護する必要がある限り、続けていかなければならないと思う。ネットでも随時、犬猫の特徴や譲渡希望の条件など情報を更新して、希望する方とのマッチングができるようにし、幅広く、柔軟に対応して大切な命が悲しい結末を迎えることのないようにこれからも積極的に取り組む必要があると思う。一方、飼うという時点で、条件などを見直し、最後まで責任ある行動をとれない場合は簡単にははいけないという厳しさも必要だと感じている。
女性	30～39歳	北九州	猫を飼っていない実家の庭や家庭菜園の畑に猫の糞被害が起きていて大変困っています。猫除けの対策をいろいろ試しているのですが、自費での費用がかさむ上に効果がみられずで、、、飼っていないのになんで糞の処理をしないといけないのかと嘆いています。効果のある猫除け対策についての情報や屋外猫が引きこす問題を伝える取り組みがあつたらと切に願います。
男性	30～39歳	福岡	地域猫として餌やりをしている家庭では、「癒し」「可愛い」という感情のもと猫との接触を楽しめますが、猫の糞尿は当然ながら餌場以外の場所に及びます。実際には、周辺住民が自腹で猫よけ剤や忌避剤を購入し、年間数万円から10万円近い対策費を強いられているケースもあります。 地域猫活動を「善意」として評価するのであれば、少なくとも被害を受けている側への公的支援や、餌やり家庭への責任の明確化が不可欠です。現状のように「好きでやっている者は得をし、関係のない者が黙って損をする」状態を放置するのは、極めて不公平であり、持続可能な地域共生とは言えません。明確なルール設計と補償制度が伴ってこそ、地域猫活動は社会的に受け入れられるものとなります。
男性	30～39歳	福岡	動物愛護の観点からすれば、地域猫活動は必要なことだろうとは思いますが、一方で動物が嫌いな人やアレルギーを持つ人たちの立場からすると、地域の人間が管理していると言っても飼い猫ではなく野良猫には違いないので迷惑な存在だと思います。基本的には犬や猫は飼い主が存在して、その家の範囲内で飼育されるべきだと思います。飼えない犬や猫の保護施設も必要だと思いますが、基本的には飼えない数以上の犬や猫の殺処分はやむを得ないと思います。犬や猫の飼育に関して、飼い主には高いレベルの管理意識を求めべきだと思います。
男性	60～69歳	福岡	身内で活動に参加する者があり、良く認識しているが、みんなが猫好きではなく近所の住民で餌提供の犯人捜しですする人さえいた。活動の必要性を訴える場面ももっと必要だと思う。
男性	50～59歳	福岡	近所に猫を屋外で餌付けして去勢手術もせずに繁殖させている人がいる。大変迷惑しており大事な問題だと思う。
男性	50～59歳	福岡	天拝山公園で地域猫が放置され、訪問した子ども家族が平気で触っている…要注意だと思う
女性	50～59歳	福岡	六本松のそばに地域猫と地域住民たちがとてもうまく共生している公園があることを聞いている。県が助成していることは全く知らなかったが、そのような活動はとても良いことだと思う。
女性	30～39歳	福岡	譲渡のための研修等を回数多くしてはどうでしょうか。
男性	30～39歳	福岡	譲渡より野良にすることに罰則を定めるなどして、野良を減らす方にもっと力を入れてほしい
女性	50～59歳	福岡	これまで犬や猫を飼った経験がなく、特に犬は怖くて近寄るのも苦手なので、あまり思い付くものもない。
女性	50～59歳	福岡	私も犬を飼っているので、飼い主の身勝手な行動からかわいそうな思いをする動物をなくしたい!と強く思います。譲渡に関してはとても厳しい審査があると聞きましたが絶対に緩めず厳しくしてほしいと思います。引き取ったからの継続調査も必須にしてほしいです。また、プリーダーさんや多頭飼育をしている方への定期的な報告も義務化してほしいと思います。
男性	70歳以上	福岡	犬、猫を欲しが人も多数います。もっとPRが必要では
女性	40～49歳	福岡	地域猫と呼び名をかえて野良猫がウロウロしているのは不衛生と感じる
女性	30～39歳	福岡	以前、猫を飼っていたことがあるので、色々熟知しています。猫は病気で世界しましたが、またいつかは、猫を飼いたいと思います。
男性	40～49歳	福岡	野良を減らせれば致死処分数も当然減りますので「動物愛護センターへの見学」を学校の行事で入れるのはどうでしょうか?犬猫を飼える条件が整っている家庭の子には、必ずではないですが積極的に飼ってもらえるよう働きかけるのと同時に、命の大切さ、命を預かった責任などの道徳教育も並行して行えると思います。
男性	40～49歳	福岡	このような取り組みはPRが全てだと感じている。

性別	年代	地区	意見
女性	30～39歳	福岡	譲渡会の実情は知らないが、譲りたくても譲れなくて困っている家庭はないのかなと思った。
女性	30～39歳	福岡	殺処分を0にすることはとても重要だと思っています。命の大切さを考えるためにも譲渡会のCMなどを県が積極的に行うことはできないでしょうか？
女性	50～59歳	福岡	地域猫の来る喫茶店に行き、癒されています。常連が餌を持ち寄っています。
女性	40～49歳	福岡	地域猫活動にも限界はあると思うので、一匹でも多くの犬猫が譲渡会などで安心して暮らせる飼い主に出会えるといいと思う。犬猫を連れて各地を回るのは人も犬猫も負担なので、希望者が現地に何度も行かなくても候補の犬猫を決められるようインターネット等を活用して(写真だけでなく動画など)広く案内ができるとういと思う。
女性	60～69歳	福岡	このようなことこそ、snsを使って悲しい運命になる子がいなくなれば良いと思う。
女性	40～49歳	福岡	もっと地域猫活動や犬猫の譲渡に関する取り組みが身近になるといいなと思いました。
女性	70歳以上	福岡	とにかく動物を殺生しないで済むようにしてほしい
男性	40～49歳	福岡	うちの地域では外で猫を見ることがほとんどなく、正直「地域猫活動」という言葉も最近知りました。地域によって屋外の猫の数に差があると思うので、まずは「地域ごとの現状調査」を行い、課題がある地域とそうでない地域の実態を「見える化」することが大切だと思います。猫が少ない地域では、今後トラブルが起きないように「未発地域での予防啓発」を進めることも必要だと思います。 また、福岡県動物愛護センターについても、これまで名前も事業内容も知りませんでした。県の広報誌や自治体のLINE、保育園・小学校のおたよりなど、「生活に近い情報発信の場」で紹介してもらえると、より多くの人に知ってもらえると思います。特に、譲渡される犬猫の「性格」「これまでの経緯」などをSNSで丁寧に伝えると、共感を呼びやすいのではないのでしょうか。 さらに、県内各地で「出張型の譲渡会」を開催したり、地域イベントと連携して紹介コーナーを設けたりすると、気軽に動物と触れ合える機会が増えてよいと思います。子どもたちにも「命を預かる」という体験の入り口になるはずです。 全体としては、「猫や犬の問題」は一部の人だけのものではなく、地域の理解と協力があってこそ成り立つことなので、県がそれぞれの地域の状況に寄り添いながら、柔軟な支援を続けてほしいです。
男性	60～69歳	福岡	諸事情で犬猫を飼えなくなった飼い主が犬猫を捨てる前に相談できる窓口があると良い。もし、既にあるならば、広く周知して欲しい。また、災害や迷子など特別な事情を除けば、野良犬／野良猫の主な原因は飼い主の覚悟と責任の欠如なので、犬猫をペットショップで購入したり、譲渡会などを通じて譲渡してもらう際に、自治体への登録を義務付ける制度があっても良いと思う。
男性	70歳以上	福岡	当方、マンション住まいのためなかなか動物の飼育が難しいのですが、TV等で保護猫や保護犬の番組を診て関心はあります。
女性	70歳以上	福岡	福岡県動物愛護センターが周知されていない
男性	70歳以上	福岡	犬、猫の取組の前に、テーマ3 ワンヘルスとともに、県住民の生活向上に力を注いで頂きたいと思います。
女性	50～59歳	福岡	繁殖を抑えつつ命を守る現実的で最も効果的な共存策。感情でも放置でもなく地域全体で責任を分かち合う仕組みとして優れていると思います。
男性	50～59歳	福岡	私が住む福岡市早良区でも、だいぶ野良犬・猫を目にするのは少なくなりました。町内の区画再整備によって建物が高層化すると、それまで徘徊していた猫の数も少なくなってきたと感じます。地域猫活動の変遷を知りたいと思うことが時折あるので、県日よりなどで取り上げてもらえると嬉しいです。
女性	60～69歳	福岡	一度人間に飼育され手放された犬や猫は人間に裏切られているから、里親の条件は厳しくすべきだと思う。経済的なことや留守番時間が長くないなど動物の幸せも考えが浸透すべきだと思う
男性	50～59歳	福岡	近年は、昔に比べてご近所付き合いが少なくなり、また動物の飼育においても、飼い主のマナー低下により糞の放置などでお困りの方が多いと伺っております。 可愛いという気持ちだけではなく、飼い主一人ひとりの意識が変わらなければ、こうした問題の解決は難しいと感じます。 以前、マイクロチップを埋め込み、飼い主を特定できる仕組みを拝見しましたが、その後の取り組み状況は分かりません。費用面などの課題もあるかと思いますが、「命の重み」という点も含め、今一度ご検討いただければ幸いです。
女性	60～69歳	福岡	いわゆる野良猫は人間の身勝手から生まれる。 飼い主のいない猫を増やさないための活動はもちろん、エサやり活動も 堂々と行えるように 活動する人たちをもっと援助してほしい。
男性	60～69歳	福岡	地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する関係者の取り組みにより最近街中で野良猫を見かける機会がかなり減ったと思う。地道な努力が徐々に効果となって出ている様に感じます。
女性	70歳以上	福岡	高齢者と子どもでふれあいを兼ねた保護活動を展開していく。
女性	20～29歳	福岡	ペットショップなどでも普及活動を行って良いのではないかと思います。
男性	70歳以上	福岡	基本は飼い主の責任にあると思います
女性	20～29歳	福岡	保護犬を迎えたいと思っていたけど、どこのサイトが保護施設のサイトなのかわかりにくかった。保護施設主催イベントかと思って行ったら、安売りする業者だったりした。
男性	30～39歳	福岡	昔に比べたら随分野良犬や野良猫が少なくなって、民間の団体やボランティアによる譲渡会が開かれているのをよく見かけるので良いと思います。 知り合いが保護犬を引き取る活動をしているのですが、土地を探すのに苦労したり、金銭的体力的に大変だと聞いてます。 私も犬や猫を捨てて里親を探したりしたこともあります。ケージを揃えたりシャンプーをさせたり、結構お金が掛かるものです。 苦労は少しは分かるので、できればそういった活動をしている団体へのサポートを手厚くしてもらいたいです。

性別	年代	地区	意見
男性	30～39歳	福岡	譲渡も同様に動物を購入する際は犬や猫等に登録制度を導入することが大変大事だと思います。登録することで飼育の責任が生まれやすくなり、買えなくなった場合は動物病院や動物愛護センターなどの関係機関を通すことで次の譲渡先を探すなど、責任を持つ制度を導入してほしい。
男性	60～69歳	福岡	福岡県下に野生の猫がいるとは考えにくいので、いずれかのタイミングで飼い主が捨てたことが想像されます。そういう観点からすれば地域猫を同するよりも地域猫を作らないための制度作りが重要と考えます。設問1の選択肢2にあるように飼い主を明確化し責任の所有をはっきりすることがいいのではないかと思います。銃刀法とまでは言いませんが、それに近い形で、どのご家庭がどういったペット(猫、犬に限らず)を飼っているかを行政として把握する手段を構築してほしいです。
男性	30～39歳	福岡	まさにいま猫被害に困っています。正直、猫のための地域活動に時間を取られたくない。住民主体ではなく、県や市町村で対策部局を設置し、主体となって対策してほしい。
女性	50～59歳	福岡	県内各自治体などで地域住人の動物愛護センターの見学会を実施する。保護動物に興味を持たれた方は再度家族で見学などされ、譲渡出来る場合も出てくるのではないかと。
男性	40～49歳	福岡	犬猫を簡単に捨てる人間に罰則規定を。
女性	30～39歳	福岡	動物は言葉を話さない。 人間や飼い主の存在が全てである。 おもちゃやアクセサリではない。 安易な気持ちで飼育しないでほしい。 そして動物の命は、人間と同等に尊く、愛おしい存在だということを、徹底的に県民に周知させるべきだ。
男性	40～49歳	福岡	法整備を行なって、犬猫の管理を確実にできるようにする。
女性	50～59歳	福岡	譲渡猫を育てるさと納税の寄付等で熱心に支援している人が身近にいます。運営大変だと思いますが頑張ってください。
女性	70歳以上	福岡	飼い主は常に動物への責任があるという事を自覚してほしい
女性	60～69歳	福岡	図書館で譲渡会のポスターをたまたま見かけます。 興味がないわけではありませんが情報量が少ないと思います。 足を運んでみようとは思わないです。 譲渡会に参加して次どうなるか等やはり育てられないなどの情報をもっとあれば良い。
男性	40～49歳	福岡	昔、犬を飼ってましたが、非常にいい活動かなと思いました。 自身が小学生時代に学校でウサギを飼った記憶がありますが、学校でも犬猫を受け入れて教育の一環で動物に触れる機会が出来るなら、子供達の心身の発達に繋がるのかなと思いました。
男性	70歳以上	福岡	自分が住んでる地域の新聞販売店(読売花畑やよい坂販売所)が不定期に猫の譲渡会を開催している主旨が理解出来ました。
女性	60～69歳	福岡	熊本の温泉で、保護猫の写真付きで、里親を探しているのをみた。 なかなかいい方法だと、感心した記憶がある。 たくさんの人が見てくれるいい方法だと思う。
女性	50～59歳	福岡	今後は、譲渡後のフォロー体制の充実に加え、高齢者が安心して飼えるような支援や、状況に応じた譲渡条件の柔軟化も進めていただけると嬉しいです。
女性	60～69歳	福岡	引き取りたくても住宅等の理由でできないこともこれからは考慮する必要があるかと
男性	50～59歳	福岡	あまり、知られてないのでもっとわかりやすく宣伝してもらいたいです。
男性	70歳以上	福岡	ペットには興味がないが、一部飼い主の無責任さや街中での排泄物放置などマナー違反に憤りを感じる。
女性	40～49歳	福岡	地域猫の活動がもっと広まると、トラブルや殺処分が減ると思います。 譲渡会の情報を、広報やSNSで分かりやすく案内してほしいです。 高齢者や一人暮らしでも飼える「一時預かり」制度があると良いと思います。
女性	20～29歳	福岡	刑務所などで保健所にある保護猫を飼うことで、囚人達の心の教育や情操教育に良い影響を与えるという取り組みが海外であるらしいです。殺処分を減らす&刑務所の環境や教育にも良い影響を与えるという、ダブルで良い施策だと思うので、ご検討いただきたいです。 保護犬と暮らすというのは広島や姫路の刑務所などで始まっていると聞きました。 猫にも人を癒す力があります。更正という観点からも検討の価値があると思います。
女性	40～49歳	福岡	古賀市ですが、野良猫は減った気がしています。たまたま見かけた猫が地域猫の場合もあり、活動の成果があるように思います。
女性	50～59歳	福岡	譲渡後のフォローアップの強化
女性	40～49歳	福岡	地域猫の活動には賛成しています。ただし、猫を近づかせないようにするために、庭に音の出るものを置いている家があり、通るたびに甲高い音が鳴りとても苦痛です。敷地内に置くのは理解できるが、他者への騒音問題にはならないのだろうか？朝から音を聞き、とても不快な思いをしています。排除する気持ちが強くあり、精神的に大丈夫かと感じてます。
男性	50～59歳	福岡	譲渡して終わりではなく、その後、飼育に困った時の相談窓口の設置が必要。
男性	60～69歳	福岡	大切な命なので、殺処分は無くなくて欲しい。意義のある取り組みだと思う。

性別	年代	地区	意見
男性	60～69歳	福岡	地域猫活動は、地域の理解と協力があってこそ成り立つ取組なので、活動内容や効果を住民に分かりやすく伝える広報がさらに充実すると、参加や理解が広がりやすいと感じます。また、不妊去勢手術に関する補助や相談体制がもう一段手厚くなれば、地域の負担を減らし、活動の継続性にもつながると思います。 犬猫の譲渡については、譲渡会の開催頻度やオンラインでの情報発信を増やし、動物の性格・健康状態・飼育のポイントを丁寧に示すことで、新しい飼い主が探しやすくなり、譲渡が進みやすくなると感じました。譲渡後のフォロー体制が見える形で示されると、初めて飼う人も安心できると思います。 一方で、野良犬や野良猫が増えることで地域の安全や衛生面に影響が出ることも懸念されます。譲渡促進や地域猫活動を進めつつも、やむを得ない場合には適切なルールのもとで対処を行うなど、総合的な管理が必要だと感じます。
男性	50～59歳	福岡	譲渡された犬猫が適切に飼われているか、数カ月後に確認等を行ってほしい。
女性	50～59歳	福岡	ある日突然ベランダに母猫と子猫3匹が現れたことをきっかけに、福岡市の動物愛護センターに、保護してほしいと連絡したことがある。動物愛護センターの人はこう言った。「引き取ってもいいですが、貰い手が見つからなかったら結局処分されますよ。まずはご自身で数ヶ月保護して、自分で貰い手を探してください。とにかくこっちは保護猫でいっぱいなんですよ。」と。福岡県の取り組みはそんなものかと思った。近所の目があるのと、賃貸住まいであり先住猫がいたため、自宅内で保護もできない。ある程度子猫が大きくなるのを見計らって、自費で母猫と子猫のうち雌猫だけ避妊手術を施した。埼玉県越谷市では犬猫処分0を達したとのこと。他の市町村から学ぶのいいのでは？
男性	50～59歳	福岡	とにかく猫の糞で困っています。地域には、朝夕に猫に餌をあげている老人を複数見かけます。その猫たちが、我が家の敷地で糞尿をします。この餌をあげている老人たちに一言、言いたいところであるが、このご時世何を言われるかわからないので我慢しています。猫除けスプレーなども購入しています。本当に困っているひとは周囲にたくさんいると思ってます。他人が餌をやっている野良猫の糞尿の処理をおこなっている人は、正直、愛護センターが、引き取ってほしいという気持ちになるのが普通だと思います。
男性	60～69歳	福岡	まず地域の状況を、問題点、対策と共に教えていただきたい。
男性	70歳以上	福岡	野良猫などに食事を与えている人がいるので注意喚起が必要と思う。
男性	50～59歳	福岡	地域の方々が協力して猫たちと共生していくための取り組みとして、とても意味のある活動だと感じています。
女性	60～69歳	福岡	住んでいる地区で野良猫、野良犬をみかけたことがないので、福岡でそのような保護活動が具体的にどこでどのような組織が実施しているのか？についても全く情報をもっていませんので、それらに対して意見が言える状況には残念ながらありません。
女性	50～59歳	福岡	なし
女性	60～69歳	福岡	ありません
女性	40～49歳	福岡	猫に餌を与えるのであれば責任を持って去勢手術や糞尿の片付けをするべきだと思う。
男性	40～49歳	福岡	マッチング感覚で譲渡したい人と欲しい人が上手く結びつけるスキームができればいいと思います。
男性	40～49歳	福岡	大切な犬猫の命を守ってほしい。重要取り組みだと感じた。
女性	60～69歳	福岡	保護犬猫を譲り受けた家族間の交流があれば(既存ならごめんなさい)
男性	18～19歳	福岡	譲渡をしてくれた方には何らかのプレゼントをする。
女性	40～49歳	筑豊	譲渡会が開かれているのを良く見かけるようになりましたし、テレビでも番組があって認知度は上がっていると思います。しかし、譲渡会での条件が厳しい、譲渡会の団体が態度が良くない、とうよ話も聞いたりします。また、譲渡された動物をネットで販売していることもあるそうです。譲渡に関するルールを明確にすることで、よりスムーズな運営も可能になるのかもしれない。
男性	50～59歳	筑豊	ネコちゃんをもっと大事にして欲しい
女性	60～69歳	筑豊	犬や猫は基本的に嫌い。 ペット好きな人は、みんなが好きだと勘違いして、「可愛いでしょ」とって、感じて犬や猫を近づけてくる。全くの迷惑だ。
女性	30～39歳	筑豊	民間の保護団体のようにSNSを活用することで保護活動への理解が得やすくなると思います。職員による投稿ではなく、SNS対策専門の人材を雇うと良いと思います。
男性	70歳以上	筑豊	近所にて猫に餌やりはよくされていますが放置でたくさんの猫が集まっているのですが我が家の畑や竹林、実家では時折床下にはいり子猫を生んで困っています
女性	30～39歳	筑後	現在、知人から譲り受けた猫を飼っているが、多頭飼いを考えているため、現在も定期的に福岡県動物愛護センターのホームページを閲覧している。 ただ、県の事業として、手続きなどに関して少し腰が重く感じることもある。 動物を責任をもって共に過ごしたいと考えている人は、現代、多くいると思うが、問い合わせなどの窓口をもう少し近い存在として設けてくだされば、譲渡事業もさらに拡大すると感じる。
男性	60～69歳	筑後	正直、地域猫の糞や車のボンネット内への侵入等で困っています。塀を設けたりまでしようとは思いませんが、毎朝糞の片付けをするのも苦痛ではあります。また、それらの地域猫が蚤やダニのいる背の高い草むらの中によく入って行くので怖いです。 犬猫の譲渡に関しては、その取り組みがうまくいくことを心から願っています。
男性	40～49歳	筑後	もっと周知したほうが良いと思いました。
男性	20～29歳	筑後	1匹でも保護され幸せに生きて欲しいと願います。
男性	40～49歳	筑後	命に関わること。譲渡する側、される側の責任を明確にする。違反時の罰則も。
女性	40～49歳	筑後	譲渡するだけでなく、どの後のフォローも必要だと思う。しつけや去勢、予防接種などの情報提供や困った時の相談窓口など。
男性	70歳以上	筑後	無責任に餌をやる人を処罰する条例を作してほしい。

性別	年代	地区	意見
女性	60～69歳	筑後	昭和のころ、家の近所にはいわゆる「野良犬」がいた。今はその姿をほぼ見ない。しかし、現在も「野良猫」の姿はよく目にする。だからこそ、何らかの取り組みは必要であり、地域猫活動をさらに広報して、各自が自分にできることを考えられることを期待する。
男性	50～59歳	筑後	小さくても大切な命を粗末にしない取り組みは大切だと思う。もっと推進してもらいたい。
女性	60～69歳	筑後	県内の地域猫活動や譲渡の取組を広報誌やテレビなどで紹介してほしいです。また、地域猫の不妊・去勢手術費用に対する助成金を増やしてほしいと思います。
男性	70歳以上	筑後	新しい飼い主がきちんと責任を持って飼育できる環境なのかも大事なので、きちんと確認して譲渡してほしいです。

令和7年度
県政モニターアンケート調査結果

テーマ：県立高校に期待することについて

福岡県教育庁
教育振興部高校教育課・教育総務部総務企画課

■ 調査の目的

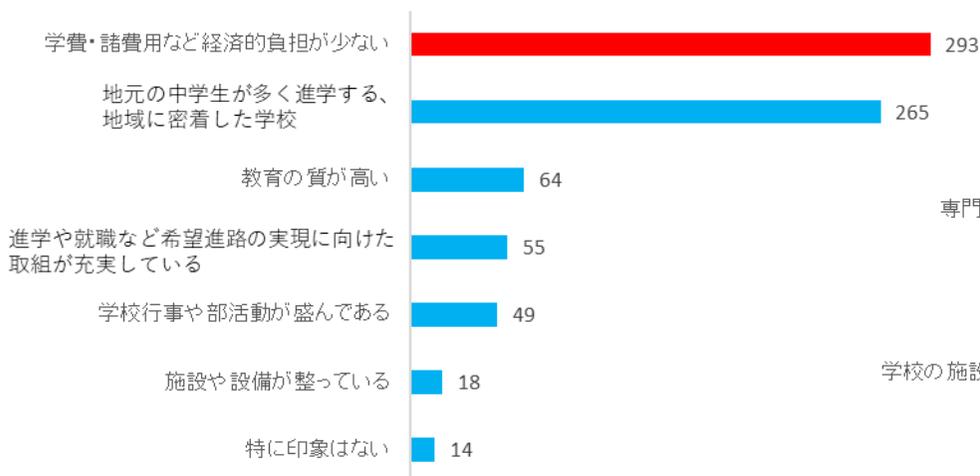
人口減少や生徒の進路選択の多様化、国における高校無償化の動きなど、県立高校を取り巻く環境は大きく変化しており、質の高い教育と地域を支える人材育成を強化し、魅力化・特色化を図っていくことが、県立高校の喫緊の課題となっております。

皆さんの御意見をお聴かせいただき、課題を整理した上で、今後の県立高校の活性化方策の参考とさせていただきます。

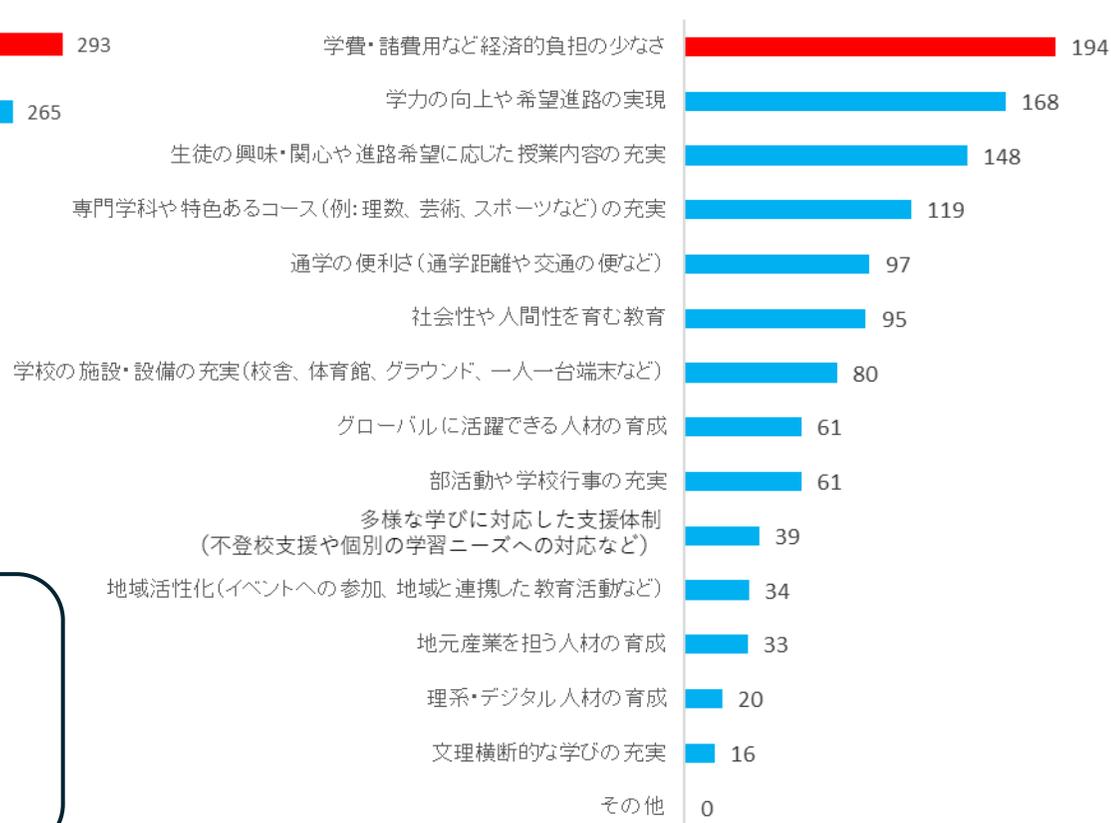
■ 実施概要

- ・ モニタ数 398人
- ・ 回答数 355人
- ・ 令和7年11月7日～令和7年12月4日

問1 公立である県立高校に対して どのようなイメージを持っていますか。 (3つまで選択可)



問2 県立高校にどのようなことを期待しますか。 (4つまで選択可)



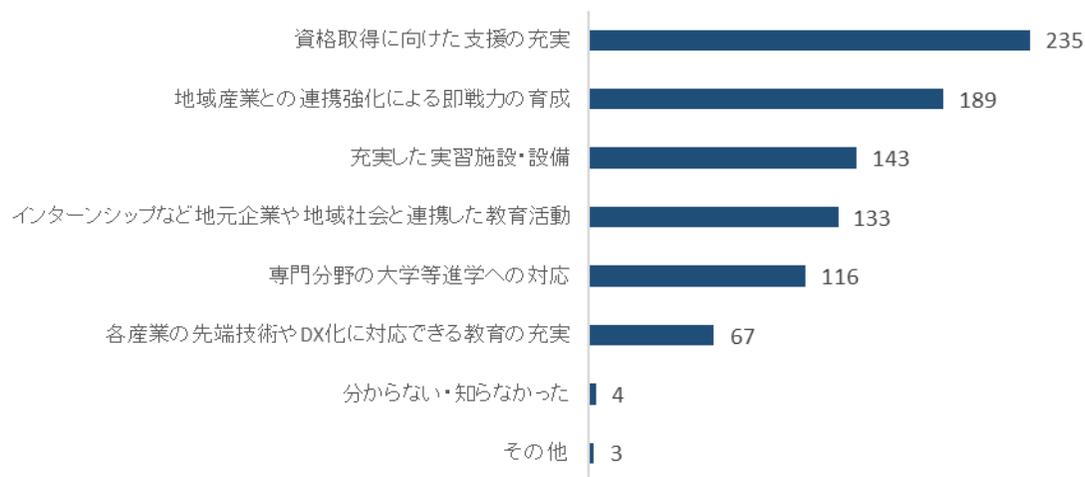
問1 (イメージ) と問2 (期待) で、いずれも最多選択は、「経済的な負担が少ないこと」となっている。

問3 「専門高校」(※)にどのような特徴があると、魅力的であると思いますか。

(3つまで選択可)

※ 専門高校とは

農業、工業、商業、水産、家庭、情報、福祉を専門に学ぶ学校です。職業高校ともいわれます。



その他の意見(3件)

- ・ 高卒で就職したい場合に有利。
- ・ 留学など国際的にやっていけるような育成の支援(経済的なものも含む)
- ・ 技術だけでなく、経営(ネット戦略や海外への販路拡大、人脈作りの場など)についても学べるコースがあると魅力的に思います。

問4 県立高校に期待することについて、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

[回答内容（一部抜粋）]

- ・高校独自のカラーを発信して、魅力を大いに中学生にアピールしてほしい。
- ・県立の学費のよさや取組など分かるようにしてもらいたい。
- ・専門性を生かした学校が増えると、選択肢も増えるので、受験する時点で目標を絞りやすくなり、将来を見据えて学ぼうとする生徒が希望する学校を見つけやすくなるのではと思う。
- ・公立高校はそれぞれの専門学科や特色あるコースで魅力アップを狙うほうが良いと思う。その魅力的な学校やコースが自分達が住んでいる身近にあることが大事だと思う。
- ・生徒数減少に対応し、従来ある学校の統廃合を検討してはどうか。通学に不便性はでてくるかもしれないが、一部で在宅通信授業を取り入れる等の試みはあり得るのではないか。
- ・教科だけでなく生徒の興味関心に応じて、もっと外部から専門性の高い講師などを配置し、生徒の学ぶ意欲を高められる良いと思う。また、普通科以外のコースを多く設置し、授業も幅広く選択できるようにしてはどうか。
- ・県立高校に関しては、通いやすい生徒を優先してもらいたい。
- ・学区制をなくしてもらわないと行きたい高校に行けないから対処してほしい。
- ・県立高校を第1希望から第3希望まで選べると嬉しい。
- ・教員が授業に専念できるようにするためのシステム（保護者対応をクラス担任頼りにしない。教員の給与の充実）
- ・部活動をなくしたりして、教員の負担を減らしてほしい。
- ・勉強以外の部分でも、部活動や学校行事などの「仲間との関わり」から多くを学べるような学校であってほしい。
- ・地域の担い手として若い人の活躍への期待はますます高まっていくと思う。高校生のうちから、働くことや地域貢献の喜びが学べるような学校づくりが求められる。
- ・理系・文系といった枠を超えた「文理横断的な学び」も重要だと思う。例えば、理系でも社会課題を考える視点を持ち、文系でもデータやテクノロジーを理解できるような教育が進めば、将来どんな道に進んでも役立つはずである。
- ・地域に根ざしつつも、進学・就職どちらにも対応できる実践的な学びを充実させてほしいと感じる。特に、地域産業や地元企業と連携した体験型の授業や探究活動が広がれば、生徒の進路選択にも良い影響があると思います。
- ・ICTを活用した授業や、学習サポートの拡充により、学力や興味の違いにあわせた指導が受けられる環境が整うと、より学びやすくなる感じる。施設面の老朽化対策や空調・図書環境の改善など、学習環境の強化も引き続き期待する。
- ・生徒の進路希望についてさらに親身になって考えるようなカリキュラムと教員の教育を充実させてほしい。
- ・高校生らしさを求める「生活指導」の在り方に、生徒と先生のジェネレーションギャップを感じる。もっと生徒個々の個性を重視し、自由な学校環境の構築が必要であると感じる。

<県産農林水産物の認知度について>

【調査の目的】

福岡県には高品質で美味しい農林水産物がたくさんあります。それらの銘柄の認知度や購入動機等についてのご意見をお聴きし、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

農林水産物のブランド化のための事業効果を把握するため等の基礎資料として活用します。

(農林水産部 園芸振興課)

1 (1) 県産農林水産物の銘柄 (果実・野菜) で知っているものを選んでください。
(今年度調査 n=355 複数回答可 回答件数=2,077)

県産農林水産物の銘柄 (果実・野菜)	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 みかん「福岡みかん」	38.6%	137名
2 みかん「早味かん (はやみかん)」	20.8%	74名
3 みかん「北原早生 (きたはらわせ)」	5.4%	19名
4 なし「福岡なし」	18.0%	64名
5 なし「玉水 (ぎょくすい)」	46.8%	166名
6 柿「福岡のかき」	23.9%	85名
7 柿「秋王」	34.4%	122名
8 いちじく「福岡のいちじく」	23.7%	84名
9 いちじく「とよみつひめ」	52.1%	185名
10 いちご「博多あまおう」	92.7%	329名
11 ぶどう「福岡ぶどう」	12.7%	45名
12 キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	11.0%	39名
13 キウイフルーツ「甘うい (あまうい)」	12.7%	45名
14 もも「福岡のもも」	7.0%	25名
15 すもも「福岡のすもも」	3.1%	11名
16 なす「博多なす」	37.5%	133名
17 ねぎ「博多万能ねぎ」	60.6%	215名
18 トマト「博多のトマト」	10.7%	38名
19 レタス「福岡レタス」	6.8%	24名
20 なばな「博多な花おいしい菜」	5.1%	18名
21 きゅうり「博多きゅうり」	7.3%	26名
22 アスパラガス「博多アスパラガス」	6.8%	24名
23 蕓菜「博多蕓菜 (はかたつぼみな)」	7.3%	26名
24 フロッコリー「博多フロッコリー」	7.0%	25名
25 キク「八女電照菊」	31.8%	113名
26 知らない	1.4%	5名
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳			20~29歳			30~39歳		40~49歳		50~59歳			60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性		
人数	185	168	2	4	3		27	16	1	28	28	40	36	29	30	1	46	30	11	25
品目数	6.2	5.5	4.5	3.0	5.7		5.2	3.5	5.0	4.6	5.4	5.6	4.9	6.3	5.2	4.0	8.0	5.9	8.5	7.4

1 (2) 県産農林水産物の銘柄 (米・食肉等) で知っているものを選んでください。
(今年度調査 n=355 複数回答可 回答件数=2,504)

県産農林水産物の銘柄 (米・食肉等)	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 米「夢つくし」	92.4%	328名
2 米「元気つくし」	88.5%	314名
3 ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	43.1%	153名
4 大豆「ふくよかまる」	18.3%	65名
5 しめじ「博多ぶなしめじ」	45.4%	161名
6 えのきだけ「博多えのき」	23.1%	82名
7 むめりすぎたけ「博多すぎたけ」	3.7%	13名
8 「県産たけのこ」	15.5%	55名
9 「県産しいたけ」	14.1%	50名
10 緑茶「福岡の八女茶」	83.9%	298名
11 緑茶「八女伝統本玉露」	38.3%	136名
12 抹茶「八女抹茶」	44.5%	158名
13 畳表「博多華織 (はかたかおり)」	13.8%	49名
14 「福岡花ごさ」	11.0%	39名
15 鶏肉「はかた地どり」	70.1%	249名
16 牛肉「博多和牛」	40.0%	142名
17 牛肉「福岡牛」	8.7%	31名
18 豚肉「博多すい〜どん」	10.7%	38名
19 獣肉「ふくおかジビエ」	9.6%	34名
20 「県産牛乳」	30.1%	107名
21 知らない	0.6%	2名
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳			20~29歳			30~39歳		40~49歳		50~59歳			60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性		
人数	185	168	2	4	3		27	16	1	28	28	40	36	29	30	1	46	30	11	25
品目数	7.4	6.6	7.0	6.3	9.0		7.3	4.4	6.0	6.0	7.1	6.9	6.4	7.2	7.0	8.0	8.8	6.7	8.8	7.2

1 (3) 県産農林水産物の銘柄（水産）で知っているものを選んでください。

(今年度調査 n=355 複数回答可 回答件数=1,447)

県産農林水産物の銘柄（水産）	割合（今年度）	人数（今年度）
1 「福岡有明のり」	69.0%	245名
2 「豊前海一粒かき」	44.2%	157名
3 「糸島カキ」	74.9%	266名
4 「唐泊恵比須かき（からとまりえびずかき）」	10.7%	38名
5 「津屋崎干軒かき」	7.9%	28名
6 「若松妙見かき」	6.2%	22名
7 「豊前本ガニ」	15.8%	56名
8 「鐘崎天然とらふく」	13.0%	46名
9 「カナトブリ」	25.1%	89名
10 「一本槍（いっぽんやり）」（釣りケンサキイカ）	15.2%	54名
11 「博多もずく」	14.1%	50名
12 「糸島産ふともずく」	6.5%	23名
13 「あかもく」	39.7%	141名
14 「弘わかめ（ひろわかめ）」	5.6%	20名
15 「金印汐わかめ（きんいんしおわかめ）」	5.4%	19名
16 「筑前海加布里産天然ハマグリ（ちくぜんかいかふりさんてんねんはまぐり）」	1.1%	4名
17 「釣りあじちゃん」	6.8%	24名
18 「特鮮本鱈」（とくせんほんざわら）	1.7%	6名
19 「関門海峡たこ」	27.3%	97名
20 アカウニ「海士の糧（あまのきわみ）」	2.3%	8名
21 「スイゼンジノリ」	10.7%	38名
22 知らない	4.5%	16名
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均（年代・男女別）

	全世代		18～19歳			20～29歳			30～39歳		40～49歳		50～59歳			60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性
人数	185	168	2	4	3	27	16	1	28	28	40	36	29	30	1	46	30	11	25
品目数	4.1	4.1	3.0	2.5	5.7	3.1	2.0	1.0	3.4	4.8	4.0	3.6	4.1	4.1	5.0	4.9	4.3	5.8	4.8

2 生鮮食料品を購入するとき、一番重要視することは何ですか。

(今年度調査 n=355 選択は1つのみ)

生鮮食料品を購入するとき、一番重要視すること	割合（今年度）	人数（今年度）
1 鮮度（色つやなど）	45.1%	160名
2 産地（国内産、県内産など）	22.5%	80名
3 銘柄（例えば、魚沼産のコシヒカリ、松阪牛など）	2.8%	10名
4 栽培方法（有機栽培や減農薬栽培など）	2.0%	7名
5 価格	27.9%	99名
6 その他（次の設問で具体的に記入してください）	0.3%	1名
無回答	0.0%	(0名)

3 販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物はどのようなものですか。

(今年度調査 n=355 3つまで回答可 回答件数=788)

販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物	割合（今年度）	人数（今年度）
1 高い品質をもつ農林水産物	50.1%	178名
2 有名ブランドの農林水産物	12.4%	44名
3 メディア等で話題の農林水産物	5.9%	21名
4 販売価格が上昇した中でも、比較的安価な農林水産物	49.0%	174名
5 県産の農林水産物	22.8%	81名
6 愛着がある産地の農林水産物	21.7%	77名
7 環境負荷に配慮された農林水産物	6.2%	22名
8 安全・安心な農林水産物	51.3%	182名
9 その他（次の設問で具体的に記入してください）	2.5%	9名
無回答	0.0%	(0名)

[その他]

- ・美味しいもの、新鮮なもの
- ・健康に役立つ栄養素の多い食材
- ・県産で「誰が、どこで作っているか」が見える商品
- ・自身の収入に対して、最も味と価格のバランスが取れたもの

4 県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるものを選んでください。

(今年度調査 n=355 複数回答可 回答件数=1,131)

県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるもの		
	割合(今年度)	人数(今年度)
1 イベントでの試食、展示、販売等	74.4%	264名
2 卸売市場や量販店での知事によるトップセールス(試食宣伝)	28.5%	101名
3パンフレット、リーフレット等のPR資料の配布	23.4%	83名
4ポスターの掲示	23.4%	83名
5 宣伝用動画の放映等店頭でのPR	14.6%	52名
6 テレビCM、ラジオ番組でのPR	45.6%	162名
7 インターネット広告やSNS(フェイスブックなど)を活用したPR	36.3%	129名
8 ホテルや人気レストランと新メニューの開発・提供	33.2%	118名
9 大手食品企業、コンビニ、酒造会社等と連携した新商品の開発・販売	39.2%	139名
	無回答 0.0%	(0名)

5 県産農林水産物に関するその他のご意見。

(今年度調査 n=355 選択は1つのみ)

県産農林水産物に関するその他のご意見		
	割合(今年度)	人数(今年度)
1 ある(次の設問で具体的に記入してください)	30.4%	108名
2 特になし	69.6%	247名
	無回答 0.0%	(0名)

[抜粋]

- ・全国的に認知度が高いのは、あまおうぐらいだと思うので、さまざまな品目を全国にアピールしてほしい
- ・積極的なPR、食べられる機会の充実、食べ方やレシピもPRしてまず知って、味わって、買える機会が増えることが大切だと思う。
- ・県庁の食堂の商品などおいしかったので、アピールしてもらいたい。
- ・PRする場所が大事だと思う。西鉄駅構内など人が行き来する場所などで宣伝してほしい。
- ・認知度を高めるためには、情報発信地である東京におけるPRが一番と思います
- ・学校給食や社員食堂等を有する事業所等での地産品消費を通じて認知度の向上を図る
- ・県知事が県産米のテレビコマーシャルに出演していて、私の娘たち(7歳・4歳)は「県産米の人」として定着しています。知事にはさらに他の産品についてもPR広告塔となって、アピールを強化してほしいと思います。
- ・選択肢にあるようなCMなどの金を使った広報だけでなく、新聞記事で福岡の農業に従事する人を記事として取り上げたりするなど、農業部門担当部署から日頃、新聞記者に情報を提供したらよいと思います。
- ・福岡は良質な食材が多いと思いますが、他所に出てみないとその点に気づきづらいと思います。テレビなどでは最近大手コンビニチェーンや食品メーカーの比較紹介番組がありますが、そのように食材比較番組など行って紹介できるようになれば楽しそうです。
- ・身近なスーパーのポップの活用が一番かなと思います。また、福岡県民だよりの特集やプレゼントで認知することが、私は多いです。

令和7年度第6回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑豊	筑後
		人数(人)	構成比				
総数	人数	353		91	182	28	52
	構成比		100.0%	25.8%	51.6%	7.9%	14.7%
性別	女性	186	52.7%	49	99	14	24
	男性	164	46.5%	40	83	14	27
	その他	3	0.8%	2	0	0	1
年代別	20代以下	48	13.6%	13	25	3	7
	30代	54	15.3%	14	27	5	8
	40代	75	21.2%	18	40	6	11
	50代	62	17.6%	17	32	4	9
	60代	76	21.5%	21	34	8	13
	70代以上	38	10.8%	8	24	2	4

モニター数 398人

回答数 353人

回収率 88.69%

実施期間 R7.12.5～R7.12.26

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

令和7年度
県政モニターアンケート調査結果

テーマ：消費生活に係る意識について

生活安全課

1 調査の目的

近年、デジタル化の進展により、インターネット通販やキャッシュレス決済、SNSなどが普及し、利便性が増す一方で、悪質商法の手口は多様化・複雑化しています。

また、高齢化の進展や成年年代引下げ、孤独・孤立の顕在化など、社会情勢の変化に伴い消費者被害の増加が懸念されています。

こうした中、誰もが安心して消費生活を営むことができる社会の実現のためには、消費者被害の未然防止や消費者教育の推進による、自ら学び、考え、行動する「自立した消費者」の育成などの取組が重要となっています。

このため、皆さんの消費生活に関する意識や実態の把握を行い、今後の施策立案の参考とさせていただきます。

2 調査時期

令和7年12月5日～令和7年12月26日

3 回答者の構成

項目	計		北九州	福岡	筑豊	筑後
	人数(人)	構成比				
総数	人数	353	91	182	28	52
	構成比		25.8%	51.6%	7.9%	14.7%
性別	女性	186	49	99	14	24
	男性	164	40	83	14	27
	その他	3	2	0	0	1
年代別	20代以下	48	13	25	3	7
	30代	54	14	27	5	8
	40代	75	18	40	6	11
	50代	62	17	32	4	9
	60代	76	21	34	8	13
	70代以上	38	10.8%	8	24	2

【調査結果の注意点】

集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合があります。

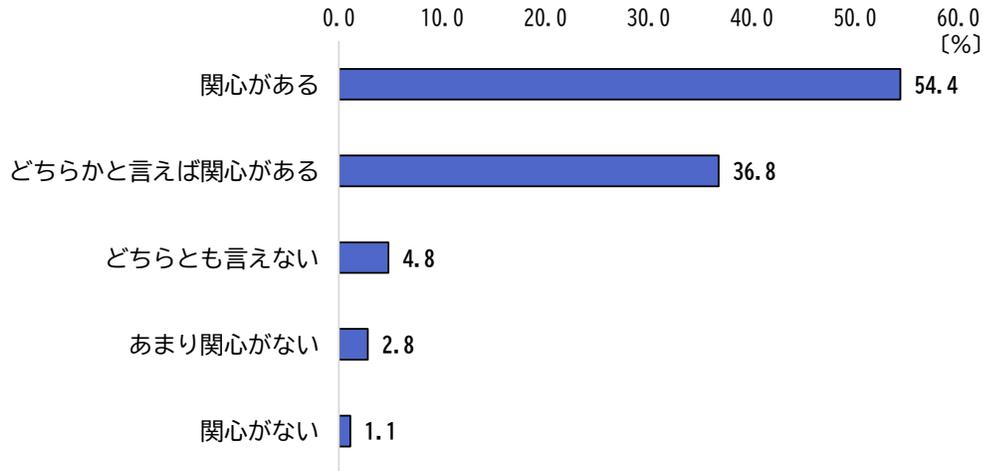


問1 消費者問題に関心がありますか。

※消費者問題とは、商品、不動産、サービス安全上の問題、偽装表示、不正な販売方法などをいいます。

(回答者数：353人)

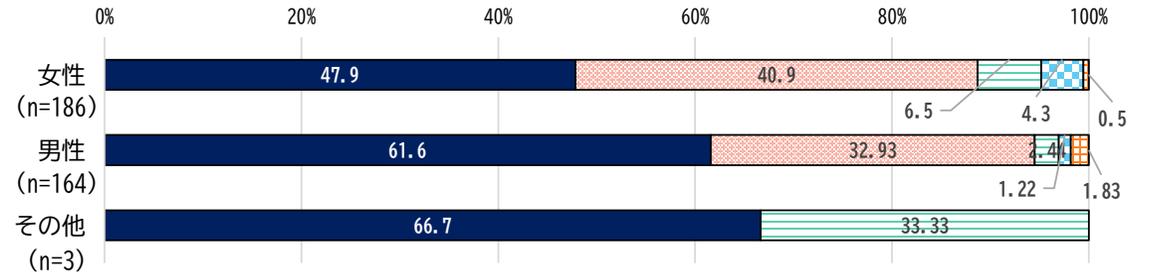
① 全体



調査結果のポイント

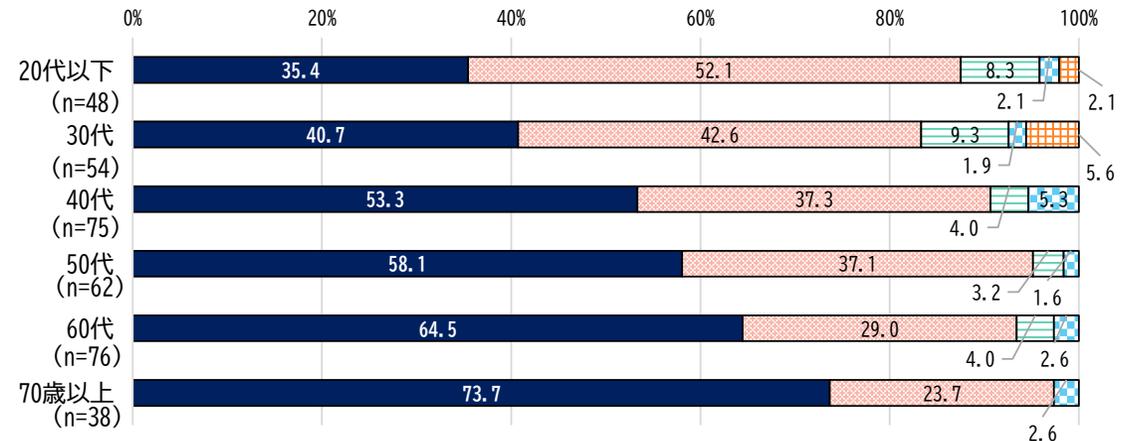
- 「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」と答えた人が全体の9割以上を占めた。
- 「関心がある」と答えた人の割合は、女性より男性に多く、年代別に見ると年代が上がるほど多くなった。

② 性別



■関心がある □どちらかと言えば関心がある □どちらとも言えない □あまり関心がない □関心がない

③ 年代別



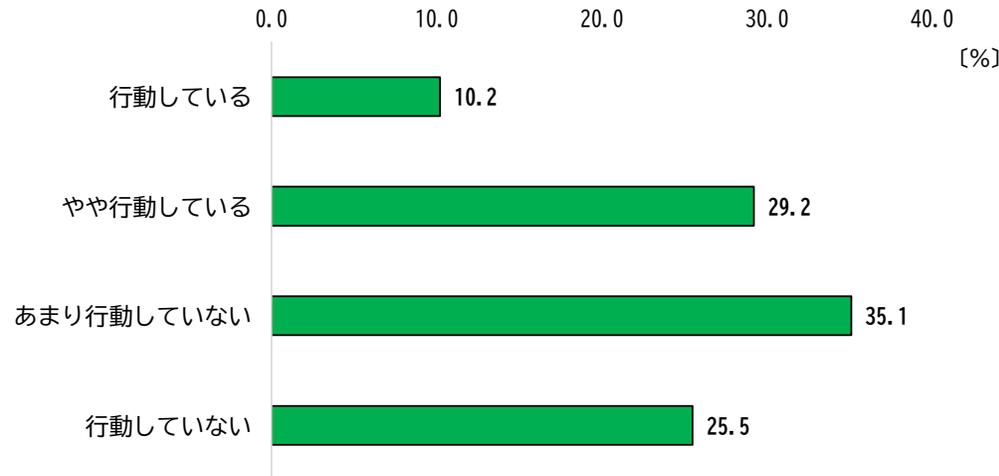
■関心がある □どちらかと言えば関心がある □どちらとも言えない □あまり関心がない □関心がない



問2 消費者被害防止のための講座に参加したり、自ら情報収集などの行動を取っていますか。

(回答者数：353人)

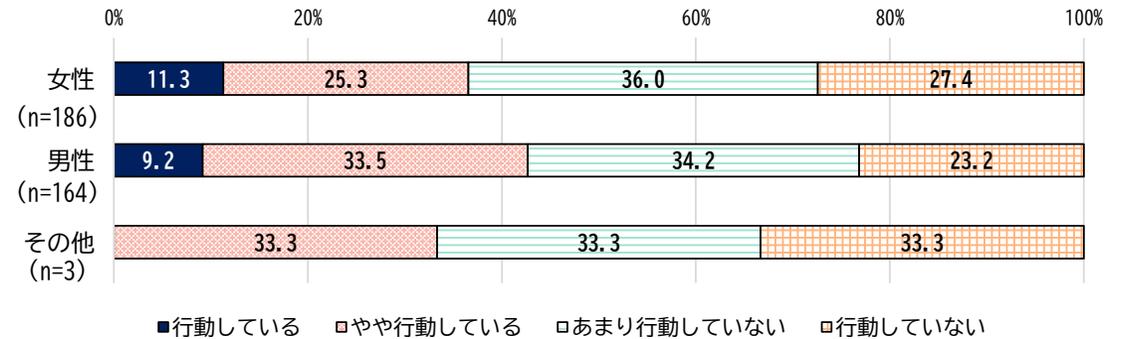
① 全体



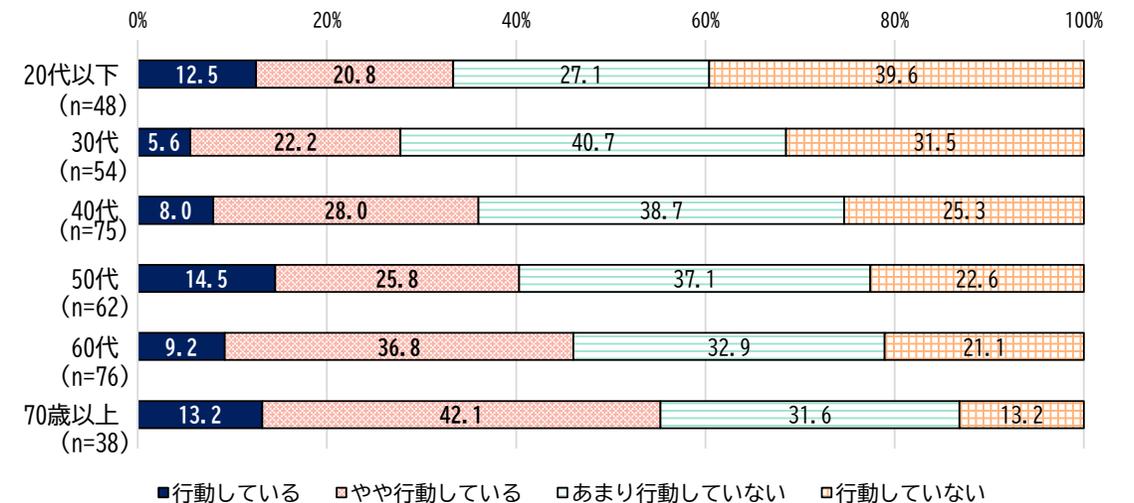
調査結果のポイント

- 全体では「あまり行動していない」と回答した人が最も多かったが、「行動している」「やや行動している」と回答した人は女性より男性に多かった。
- 年代別に見ると、年代が高いほど「行動している」「やや行動している」と回答した人の合計が多い傾向にあるものの、「行動している」と回答した人の割合は20代以下が50代に次いで2番目に高い。

② 性別



③ 年代別

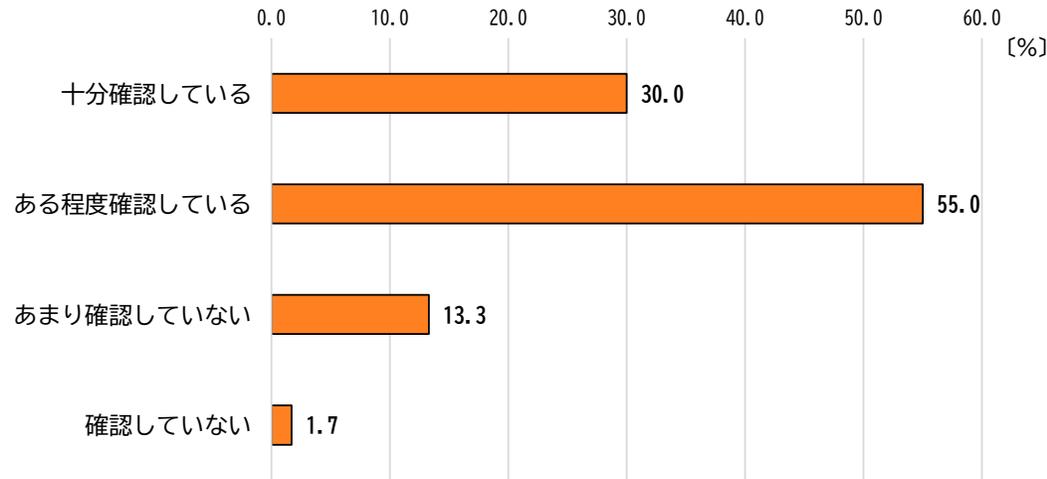




問3 商品を購入したりサービスを契約する際は、表示や説明を十分確認していますか。

(回答者数：353人)

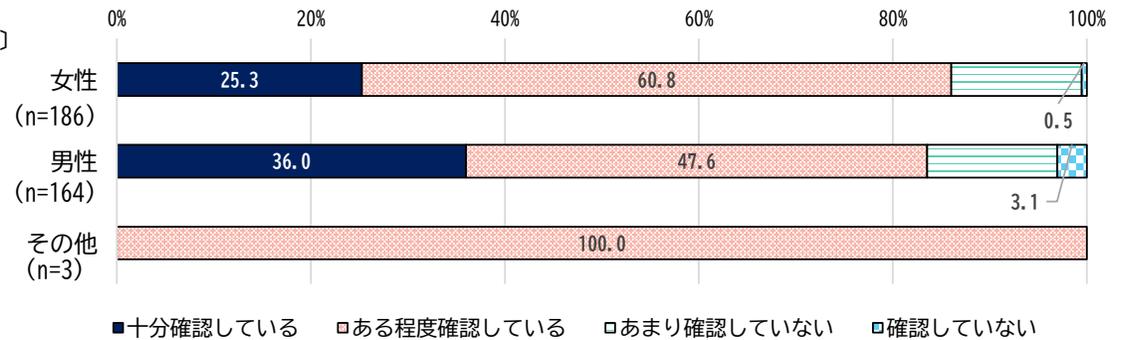
① 全体



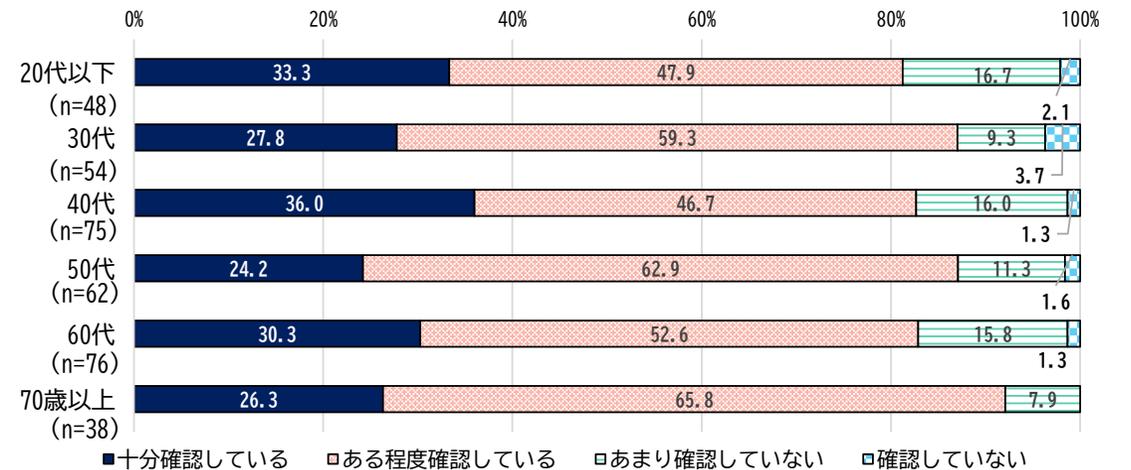
調査結果のポイント

- 全体では「十分確認している」「ある程度確認している」と回答した人が8割以上を占めた。
- 年代別に見ると、「十分確認している」と答えた人の割合は40代までの年代で比較的高い傾向にあり、70歳以上で最も低くなった。

② 性別



③ 年代別

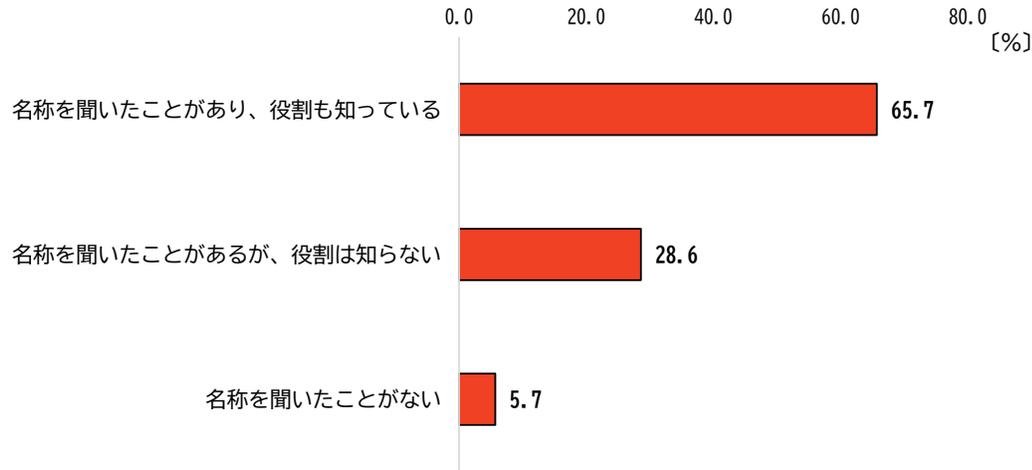




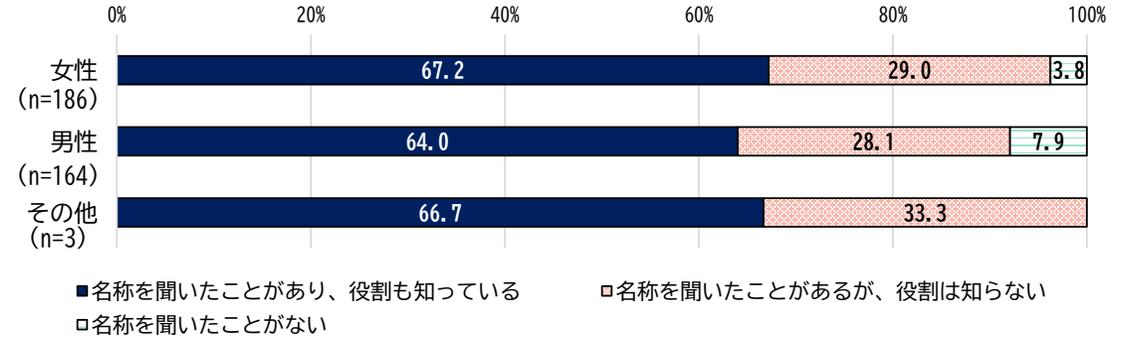
問4 県や市町村が設置している「消費生活センター」や「消費生活相談窓口」
 (消費者が契約した商品やサービスに関する苦情や問い合わせについて、県や市町村が問題解決に向けた
 交渉の方法や助言を行う相談窓口)を知っていますか。

(回答者数：353人)

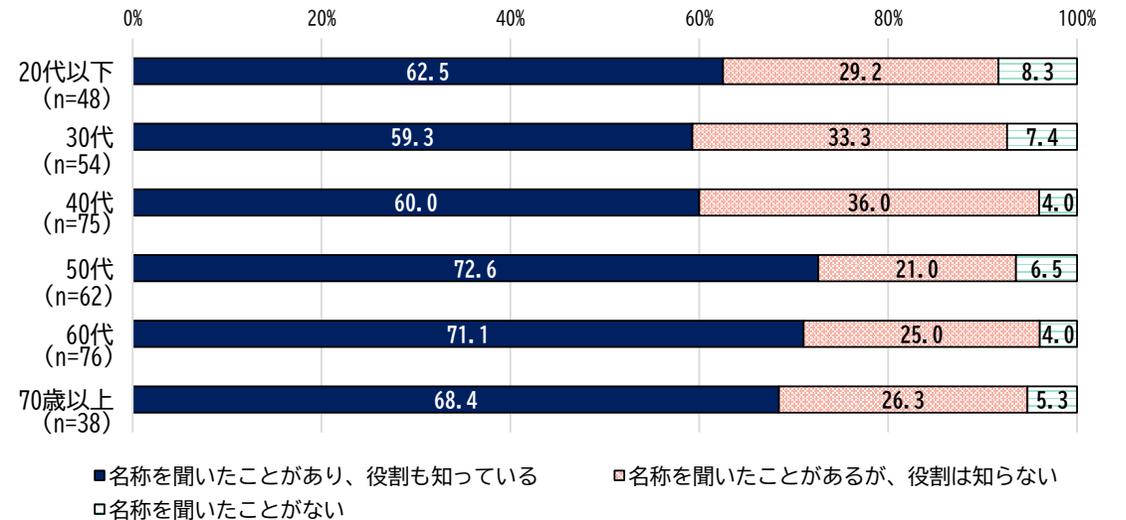
① 全体



② 性別



③ 年代別



調査結果のポイント

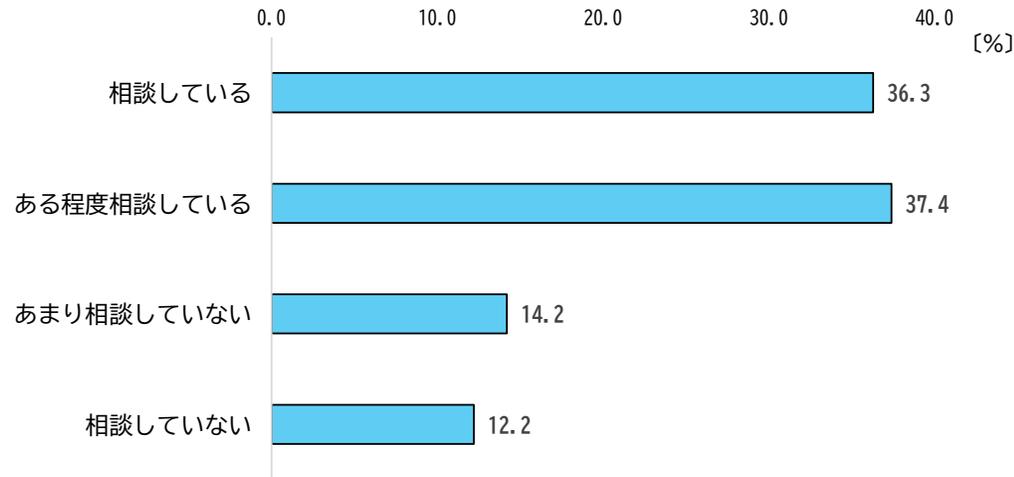
- 「名称を聞いたことがある」と回答した人が全体の9割以上を占めた。
- 年代別に見ると、「役割も知っている」と回答した人は50代以上で多かった。



問5 商品の購入やサービスの契約をする（した）際に悩んだ時に、 家族など周囲の人に相談していますか。

(回答者数：353人)

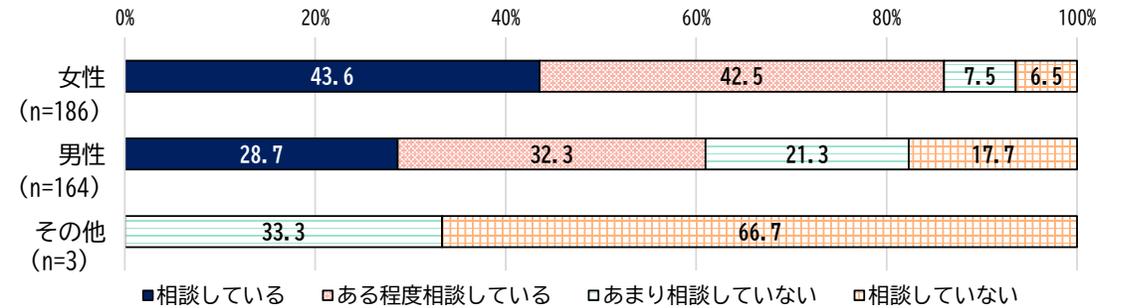
① 全体



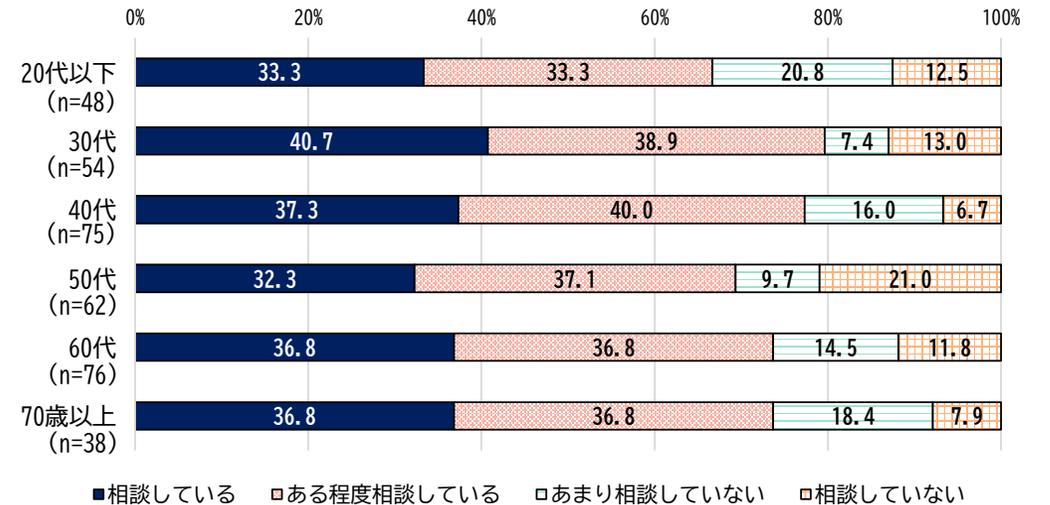
調査結果のポイント

- 約25%の人が、悩んだ際に「あまり相談していない」「相談していない」という結果になった。
- 男性より女性の方が「相談している」「ある程度相談している」と回答した人の割合が高かった。
- 年代別では30～40歳代で「相談している」「ある程度相談している」と回答した人の割合が高くなる傾向。

② 性別



③ 年代別





問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 1/9

相談すること

近年、消費者被害の問題は対策の法制度が日々進化しているが、自分自身の認識が追いついていない。またフィッシング詐欺やパスワードの流出などネット犯罪も、高度で巧妙になっており、こういった側面でもついていけない。自分はすでに手遅れであるが、これからの人は、小さいうちからネットや金融や契約の基本を勉強する機会を設ける必要があると感じる。

偽サイトかどうかよく確認をしています

商品内容が正しいのかも。よく見て確認しています

クーリングオフを補う条例の制定

ひとりて契約せずに 家族友人に相談する。

小中高大学専門学校で、当たり前学ぶこととして、もっと具体的な学びを取り入れる。実際に何かを契約し、詳しく説明してもらったり、学習したりする。

若年層にはゲームのような感覚で正誤を問えるような機会をつくる。高齢者には、セーフティネットとして現役世代の子らへ「親世代で陥りやすい消費者被害」をSNSや公共交通機関など目につくところでの間接的な啓発を行う。

しっかりと学び自分の目で見極めること

今まで市政だよりや新聞で被害は見聞きしていました。幸いに今までなかったもので、50歳にもなっていますので、講座でしっかり勉強していきたいです。

消費者側が気をつけないと問題は無くなると思うので、問題解決のセンターをもっと周知させたり、悪徳会社を探るネット上のパトロールをしたり、どんな危険性があるかを拡散していく必要がある。

加害者に罰則を与える。そのことを世間に知らしめる。

購入する商品の販売元の信用性と、契約内容の確認。

金額が大きい物は、購入するとき家族や知人に相談した方が良いと思う。

違反時の罰則強化。

- ・AIを使って悪質商法の早期検知システムの導入
種々のSNSや通販サイトの情報を分析調査する機関を設置して、詐欺の兆候となるワードや行動パターンをAIで自動検出する仕組みを整備し、警告や取り締まりを行う。
- ・高齢者や子供を中心に最適化した、かつわかりやすいデジタル教育の強化
学校教育・地域講座・オンライン教材を活用し、年代ごとに適いやすい被害や注意点を理解しやすい形で伝える。（地区ごとの市民センターでの教育活動等）
- ・ワンクリック詐欺・サブスク罠など特定被害への迅速な規制アップデート
法律やガイドライン設置等、行政側の対応が実情の変化に対し遅すぎる。後手後手の対応になっている。法律等にある程度幅を持たせ、広く網をかぶせることも必要ではないだろうか。
- ・悪質な通販等の事業者への罰則と被害者補償の強化
事前に悪質通販等がやれないよう罰則をより強力なものにし、業者名の公開は当然ながら、被害者補償の強化と合わせ、保証できない部分は身体的拘束をより強力なものとし、このことをマスコミ等で広い周知活動をおこなう。

相談窓口を充実させ、県民への啓発を十分に行う事だと思いますが、具体的にといわれるとなかなか難しいです。

セキュリティー機能を強化することなど自身でできることはしていけるようになると思います。ただし、慌てさせられたり、急いでいるようなときに被害を受けることが報道されていことを思うと、「自分は大丈夫」と思わないことも大事ではないか

相談できる窓口を広く周知していくとともに、メディアなどを通じて、注意喚起をしていくというのがいいと思います。（小学校の時、テレビをつけると交通ルールや戸締り強化を促す啓発CMは、効果的だったと思います。いまだに頭をよぎっていますので）

インターネットのセキュリティ強化。特に海外サイトへのアクセス。食品の検査を強化する。

常に疑うことかなと思います

当たり前ですが、分からなければ誰かに相談すべきです

有名人のロコミなどを信用しすぎない等の自己防衛が重要だと思います。

なにより、購入規約や契約規約などの理解度が無いま契約等することが多いのが原因と思われます。消費者に契約後すぐに相談できる窓口やカスタマーがあることを認知してもらえよう宣伝が必要と思われます。

どのような状況で被害に合ったか情報を共有する



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 2/9

現在、商取引にインターネット環境を使用したものが多くなりトラブルも多発していると聞く。海外サイトでのトラブルとなると国内法が適用されない事例もある。利用者が学び知識を高める必要があることは大切だがプラットフォーム運営会社の責任、違法サイトへの対応を厳格化する事も必要ではないか。法律問題となるので県による対応は困難だが知事会などより国に要請して欲しい。

悪徳なサービスを行政側がしっかり取り締まり罰する。また、海外からであろうとちゃんと罰してほしいです。

ネット通販でよく騙される人が多いので、その辺りの判断の仕方などの情報の公開。事例などの公表

テレビや民放ラジオで、健康商品や医薬品の宣伝で、症状が劇的に回復したとの消費者の声がある「本当かどうか疑わしいが?」が誇大広告ではと感じる。かなり症状が悪ければ病院へ行く方が良いと思う。厚労省の誇大広告の規制と福岡県でも自己判断で薬を買う時の、注意を周知しても良いのでは。やはり薬剤師や医師の判断が大事だと思う。

福岡県で、消費者に詳細な商品購入のための説明会等を開催することがよいと思います。

具体的にどんな事例があったのか多くの事例を公開してほしい

高齢者の購入や契約時に家族や後見人等への確認システムがあると詐欺等を未然に防げるのではないかと思います。また、詐欺でなくとも認知症で家族の知らないうちに高額購入となっているケースもあると聞いたことがあります。そのようなことを防ぐシステムを検討してもいいのではないかと思います。

家族や相談できる人がいる事が大事だと思います

高齢者や情報弱者に対するさらなる啓発の推進

過日、消費者センターに購入した商品の返品が出来ずに相談した際に、熱心に取り合ってもらえず落胆したことがあり、以後、その会社の商品の購入を辞めた経験があります。消費者からの相談には簡単に「無理でしょう」と片づけずに、相談に乗ってほしいと思いました。

テレビ、広告での周知。

啓発活動、特に、実際にあった事例を、具体的に知らせる活動。テレビ番組やニュース、場合によっては、コマーシャル等を利用してもいいと思う。一人暮らしのお年寄り、福祉委員や民生委員の見守りを利用してもいいと思う。

契約する際には、即断即決を勧める業者が多いので、基本的には二度手間になるが一旦棚上げて後日契約するようにしている。

誇大広告や明らかに詐欺なものを放置しないことだと思う。ai進化が激しい為、自分の親もそのうちだまされると思ってしまう。

クーリングオフ制度の充実

悪徳商法の事例を広報等で広く知らせていくことが大切だと思う。悪徳商法はどんどん新しいものが出てくるので、その情報は常に更新して最新のものを提供するようにしてほしい。また、公民館などで悪徳商法の手口やだまされないようにするための高齢者向けの学習会などを定期的に開催するのも良いと思う。

インターネット上での買い物被害を防ぐには、もっともっと、国や自治体による監視、制限が必要と思う。少しでも怪しければアップできないように制限してほしい。また被害が一件でもあれば、販売停止にすべきである。

新聞やテレビのマスコミで取り上げられている苦情はほんの一部と思われます。たとえば、消費者センターに持ち込まれた苦情をもっと一般の人にできる範囲で公表してもらいたい。そしてその内容を定期的に市民センターなどで説明してほしい。

学生時代にアルバイト収入も数万円という時代に、高額な医療脱毛を契約させられそうになった経験があります。友人の紹介で、私も友人を紹介し、値引きがあるとお得感を出して即日契約させるのが手口だったです。断ってもしつこいので未成年な場合、保護者の同意や電話連絡などしてくれるとありがたいですが、今は18歳で成人なので、もっと奥深く公になっていない被害が浸透しているように思います。気軽にクーリングオフができる仕組みをもっと知って欲しいです。

相談する場があっても法律の知識がないと対応できない場合もあることから、消費者トラブルのリーフレットを作成し、Aの場合にはどのように対処し、Bの場合にはこのように対応する、と類型化したものがあれば、詳しい法律知識がなくとも、被害を防ぐことは可能、と考えます。

被害防止の為報道の注意喚起や警察等で呼びかけ。

ペナルティーの強化

問題が起こるのが日中だけではないので、連絡が常に取れるようにされたら良いと思う。

自分の環境では相談者が身近にいて、ネットを通じて情報を得られるため、恵まれていると感じる。情報弱者の方、スマホ扱いが苦手な高齢者や障害者、一人暮らしの方などにに向けた施策が必要だと感じる。具体例が挙げられませんが(▽▽;))

見た目やデザインだけに惑わされることなく、事前にカタログやパンフレットに記載してある免責事項などの内容をよく読み、理解すること。

悪質業者の社名公表

県のWEB サイトで、被害情報(実態、手口)の公開、県、市町村の消費生活センター等の窓口案内。

12月5日に見たニュース番組で、県立高校生が授業でタブレットを使い、ネットショッピングから定期購入に導かれるという体験学習をしていました。学生時代からの啓発活動は有効だと思いました。

消費被害の一部始終を体験出来るアプリとかあれば、入れてみたい。

消費生活センターが、定時で区役所や出張所で相談会を開く。なかなか電話では相談しにくいし、わざわざセンターに出向くのも敷居が高い。

一人ひとりが日頃より自分のこととして捉えられるよう、相談できる存在をアピールして、あらゆる媒体を利用して注意喚起、また、適宜新たな情報を提示するなど、長期的に声かけ、PRすることが重要だと考えます。

幼少期からの刷り込みが大事だと思います



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 3/9

今以上に取締まりを強化していく必要があると思います。

被害にあったというニュースはよく見るが、その後どうなったかという結末はほとんど目にしない。もし被害がきちんと解決されているのなら、犯罪を犯したものに罰則が与えられているということを周知させ、犯罪の抑止力としてほしい。もし解決しにくい問題のなら、新たに解決できる方法を考えて、その旨を大きく取り上げ、「詐偽は簡単でやったもの勝ち」というイメージを覆すことも大切かと思えます。

24時間のコールセンターを常駐させ、いつでも対応できる状態をつくり、すぐに誰でも電話、メール、チャットできる体制をつくるべき。

「消費生活センター」の周知徹底や成功事例の紹介、小中学生へのゲーム課金の注意や成年年代引き下げ後の高校・大学での契約リスク講座、高齢者向けの詐欺手口を再現した啓発は、いずれも継続的に必要な取組だと思います。ただし、近年の詐欺は非常に巧妙化しており、組織犯罪だけでなく、一般の人が副業感覚で詐欺に関わるケースも増えているため、従来型の啓発だけで被害を防ぐのは難しいと思います。リテラシーの底上げを継続的に行うしかないと思います。

どういった被害があつてののかを発信する

家屋の修理などで、今日も来ていたが屋根瓦がずれていると訪問してきた業者がいた。今やらないと大変なことになりましよと伝えてきた。この手の訪問販売は我が家では絶対に乗らないことにしています。

消費者被害を防止するには、現在子どもたちに対して資産運用などお金についての教育を行っていることと併せて、商品やサービスの際の契約について、そして契約書の見方などの教育を行ない大人になった時に困らないような当たり前の感覚を身につかせれば良いと考えます。子どもに教育を受けさせれば、その情報を家庭に持ち帰り、家族でも考える機会が生まれ保護者や祖父母などにも情報が還元されると思います。また、それ以外の人には県だよりやSNSなどを通して折に触れて目にするような啓発を継続していくと良いと考えます。

リアル店舗購入の際は、産地や材料消費・賞味期限等を良く読むこと。また通販購入の際には相手企業の素性等をよく調べてから購入する。

国においても法整備をして取締まりを強化してほしい。手口が巧妙になっており防御しきれないようになっている。

被害相談事例を公開周知し、啓蒙する。具体的な被害を知ることで、自分も学習することができる。

心療内科・精神科とも連携を行う。

悪徳な事業者やそれに準ずる業者には即業務停止措置とし、刑罰とする法律を制定する

クーリングオフ制度の活用

いつでも気軽に相談できることをアピールする。電車内の広告や地下鉄の電車を待つ場所などや駅など、あえて見ようとしなくても目立つところでPRする。

契約時に必ず確認すべき事項を絞って広報する、学校の授業で取り入れる

消費者一人一人がリテラシーを上げる努力をすべきだと思います

まず手口を知ることが重要なので、インターネットや店頭などを含めたチャネルで周知を行うこと。またクレジットカード会社や決済事業者などと連携することも有用と思われる。

故意の偽装をした会社に対する厳罰化

既に取り入れられている策ではありますが、

・クーリングオフ

・契約の場に家族が立ち合う

通販の「ジャパネットたかた」は高齢者の申込について、家族に確認を取るサービスを行っている数日前に報道で知った。良心的である。

騙してくる方はこちらよりも何倍も上手で、どんなに慎重に行動しても気づかぬうちに騙されている。といったニュースをよく観るので、もう個人ではとても対処できないと思う。気軽に相談できる窓口があるならもっと周知させてほしい。また、県で起こった詐欺を簡単にすぐ検索できるようなサイトも作ってほしい。

現状で起きている犯罪の事例を公報する

まずは、メールによる不正ログインの勧誘などは、その後、被害を被る可能性があり、そのような不正メールを発信するだけでも摘発するような事ができませんか

被害が出てから警察が動くのではなく未然防止の為、他人に被害が出る可能性だけでも罰則するような事となれば、迷惑メールが大幅に減ると思いますが

消費者主体の購買システムになっておらず、IT関連の開発者並びに省力化だけを旨とした各流通段階における関連者サイドで世の中が動いています。消費者が置き去りにされていく動きが正当と評価され、キャッチアップ出来ないのは消費者個人の能力の問題だと切り捨てられている現状下では、消費者被害防止の為の施策というお題目は、オタメゴカシにしか過ぎないと思えます。

今の社会は、何をしても、情報弱者は不利益をこうじやすい。

とりわけ、高齢者に対しては何らかの施策の実施が急務であると思う。

いくら以上の買い物は家族に相談すると事前に決めておく

投資や振り込み詐欺など指示役や上層部がいる犯罪については直接関与してなくても罰則を強くした方がよいと思います。また会社名を変更して同じような詐欺行為を繰り返す場合も強めに罰則をかけるべきかと面ます。

身近な犯罪に子供たちを巻き込まないためにも小学生の内から交通事故防止と同じく伝えてはどうかと考えております。



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 4/9

第三者を交える(一人で決定しようとしな)誰でもいいから相談する

特にネット被害や振り込み詐欺が多いと思うので「ATMを操作しながらの電話禁止」を法律で定めた上で、振込の画面で「それ、詐欺じゃないですか?」や「本当に本当に詐欺じゃないですか?」と念を押す画面を何回か登場させる。

国だけでなく、県や市町村単位で厳しく罰則規定を設けるなど、消費者教育ではなく、業者側の規制を強める動きが必要と考える。

社内で偽の迷惑メールが送られて、開封するか試されるテストが行われており効果があるそうだったので、そのようなテストが行われたら良さそうと思いました。

例え契約や購入を急かされるような言葉をかけられたとしても、一旦立ち止まって周りを巻き込んで考えること(常に誰かと連絡が取れるような番号や連絡先を用意する)を必ず行うよう啓発する。

LINEなどを活用して一人ひとりに多発している詐欺の手口を注意喚起する。犯罪の手口は少しずつ形を変えて巧妙化するのを気をつけていてもいつ気付かずに巻き込まれるかわからない。リアルタイムでこんな犯罪が増えているとお知らせがあれば、自分だけでなくまわりの人にも声かけができる。

やはり気軽に相談出来る場所を作って周知させる事が重要だと思う。相談する人がいなかったり、身近な人には言いたくなかったりする場合は充分にある。信用出来る行政機関で受け皿を増やして欲しい。

特に年配の方の被害が多いと思うので、年配の方への注意喚起や守る仕組みづくりが大切だと思います。

テレビなどでドラマ仕立てで教える

消費者被害を防止するためには、「正しい情報に自然と触れられる環境づくり」が非常に重要だと感じています。特に、子育て世代は日々忙しく、情報収集に時間を割く余裕がありません。詐欺的なサイトや不適切な勧誘に遭遇しても、違和感はあるけど深く調べずにそのまま契約してしまうこともあります。私自身、消費生活センターの役割を十分に理解しておらず、相談できることを知りませんでした。

そのためまずは、県や市町村が「この相談はここに連絡すればよい」という“ワンストップで分かる窓口”をもっと分かりやすく提示してもらえると助かります。SNS広告や検索結果の偽サイトなど、最近の手口は高度化しているため、自分で判断しきれないケースも多いです。「迷ったらここへ」という案内が日常的に届くだけで、行動のハードルが下がります。

また、高齢者や若者だけでなく、子育て世代向けの啓発ももっと必要だと思います。例えば、保育園や学校の配布物、地域の広報誌、LINE公式アカウントなど、生活動線に自然に入ってくる形で「最新の手口」「気をつけるポイント」「相談先」を発信すると効果が高いと感じます。特に、身近な詐欺事例をマンガや短い動画で紹介するなど、視覚的で短時間で理解できる形式が良いと思います。

さらに、オンライン上での危険を学ぶ機会を増やしてほしいです。子どもが成長するにつれ、ネット利用が避けられなくなるため、家庭での消費者教育の重要性が高まっています。親子で一緒に学べる簡易教材や、家庭向けのチェックリストがあると役に立ちます。誰もが「怪しいと思った時にすぐ相談できる」環境を整えることが、消費者被害の未然防止につながると思います。

商品やサービスを提供する側の「スマホに依存する姿勢」を改める必要がある。コスト削減や利便性向上の弊害を認識し、多少コストがかかっても、仮想空間ではなく現実世界でのコミュニケーションや安心して利用できる商取引の手段を残す努力が必要と思う。

1人では決めない

個々の判断力や注意力の問題だと思いますが、多くの媒体を使いこれまでの被害事例や注意喚起をすることが必要だと思います。テレビなどでも効果はありますが、年配者は視聴しても忘れてしまうことが多く、紙媒体で手元に残るものが必要だと思います。

消費者に対して十分な説明をする事を義務付けます。

1人で抱え込まずに、ほかの人に相談するなどの対応が大切だと思います。

○県や市町村に、苦情や問い合わせの内容を、支障がない範囲で公表をお願いします。

○これを見る事で、今まで控えていた相談などが増えると思います。

ロコミや公式情報を確認する、即決断しない、契約前に条件をチェックする。

消費者被害を防ぐうえで、現在どのような被害が起きているかをスピーカーに伝えられることによって、「ああ、これは私も同じ手口だ」と気づくタイミングも速くなると思います。このため、広報誌などの印刷物よりも、LINE等のSNSを通じて情報提供が行われる方が、効果的だと思います。被害を受ける媒体も同じSNS経由であることが多いと思われるので、より効果的だと思います。

注意喚起が小さく書かれていたり、難しい内容で理解できないというのが本音です。ネットで購入物や訪問販売等、たぐみ文句で今買わないと!と判断を誤りかねないです。そのように迷った場合、ロコミを利用します。ロコミも嘘が多いので信用性は低いですが、少しでも同じようなクレームがあれば、買うことを留まります。ロコミのような消費者被害の書き込みがあれば判断しやすいと思います。

snsで商品を購入する際、実際の商品が思ったものと違いが大きいことが多いと感じる

もっと気軽に返品できるしくみを作って欲しいが返品窓口がわからないことが多い

具体的な施策を実施するにしても限界があるだろうし、最後は本人の自覚次第だと思う。

被害にあうのはやはり高齢者が多いと思うので、呼びかけるだけではなく、意識を変える施策が必要。電話や訪問にも安易に出ない、歩いている時に話しかけられても無視など、繰り返し伝える。

ひとり世帯が増えているので、相談相手がない環境を少しでも変化させるために地域の元気な高齢者が集える工夫が必要です。

サロンの声掛けもしてくいので、若者や小中高生などの子どもたちが誘って多様な趣味に誘うなど、例えば夏休みのラジオ体操に教えに来て欲しい!、お手玉やあやとり伝授の会、高校生のスマホ講座、小学生が読む絵本読み聞かせ等々、すべて昼食付、しかも一緒に作って食べる地域食堂はどうでしょう?そこで、コミュニケーションが取れる相手をマッチングする世代ギャップ解消掛人を育成しませんか!?ひとりだけで悩まない雰囲気づくりを地域でひろめていこう。ペットサークルも作ります。

消費者被害の実例を県だけでなく全市の広報誌にシリーズとして掲載する。



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 5/9

実際に利用するまでには、何かトラブルが起こってからでないと相談もしないと思うが、どのような方でも平等に利用できるシステム作りが大事だと思った。
とにかく納得できるまで説明を確認する事
消費者行政だけでは限界があると思われるので、警察と連携が必要と思います
例えば、消費生活センターと地元警察署の連名によるステッカーの配布により訪問販売業者への抑止効果が期待できるのではないかと思います
認証マークについての周知方法を多様にしてほしい。実体験として、子供用のおもちゃが危ない壊れ方をして、企業との対立に発展したため消費者センターを利用した。そこではじめて、おもちゃの認証マークの存在を知った。もうすぐおもちゃの新制度が始まると思うが、それについても自分で調べて知った。今回の事がない限り全く知らなかったと思う。もし知っていたら子供を危ない目に合わせずにすんだのにと、自分の無知さを後悔している。同じ様な親子を増やさないためにも周知の徹底が必要だと思う。
特に高齢者はパニックになると相談するという考えが無くなると思うので、よく通う場所(デイサービスや病院)にポスターを貼ったり、自治体のメールで頻繁に注意喚起するくらいは無いと思う。
犯罪手口は日々変わっていくと思うので常に新情報を発信、アンテナを立てておく
24時間相談できる相談窓口
被害のこまめな公表。公民館など地域コミュニティで啓蒙活動を行う。身近な被害として、認識してもらう。
いろいろな悪質な手口などを公開して、注意喚起をしてほしい。
自分でしっかり確認、分からない場合は消費生活センターに問い合わせ、それでも不明瞭な点は専門窓口を紹介してもらう。突発的な購入を避ける。
「消費生活センター」や「消費生活相談窓口」について、回覧板や地域広報誌などで今一度周知と理解を促す機会を設けることが大事だと感じる。発生してからでは遅いので、発生する前に未然に防ぐために1人でも多くの方に周知してほしい。
契約取り消しの手順を簡単にする。またそれを広める。
悪質な事業者の事例を消費者に分かりやすく触れやすいかたちで公表し注意喚起を図り、悪質性のある事業者には厳しい行政処分の執行による再発防止策を徹底する
垣根の低い相談窓口の設置。電話やメールでもいいが、できるだけ面談形式での相談ができた方がいい。
近年、限定商品や一部の高級ブランドなど転売目的で購入する人が多く、本当にほしい人に届かないことが多く感じる。特に外国人転売ヤーが大量に購入したり悪質な手口を使うケースが多発している。そのため、飲食以外の買い物は、マイナンバーカードの提出やその他身分証明書の提出を義務付け、転売防止に努めるべきだと思う。
家族間や信頼できる人との情報の共有が必要。ポスターなどでの見えるところへの啓発
一定年代以上の層には、家族などの同席を求める。そのような家族がいない方たちには、立会人のような第三者を低廉な料金でお願いできるようにする。また、立会人の養成は自治体などで行う。
スマホで簡単に買い物ができる時代であり、スマホ普及も低年代化しつつある。小学生や中学生、高校生にも、被害防止の為の啓発活動や、講習を行ってほしい。
市町村が積極的にネット上の防犯パトロールをおこない、不正がないか監視する
情報弱者ほど被害に遭いやすいと思う。まずは学校でリテラシー教育を徹底する必要があると思う。
法違反事業者を厳罰、高額な罰金を設ける事。
ネット広告で具体的な事例を紹介しての啓発
一人暮らしの高齢者などが、高額商品を購入する場合、第三者の立ち合いができるようなシステムがあると良いと思う。また、ネット購入の際も、上限設定ができる機能があると良いと考える。
商品そのものについて、自分で調べ、理解する事が必要で、そうする事で自分でトラブルを解決できる。
明らかな被害を及ぼすような会社や業者に対しては厳しい罰則を科すことが一番効果があるように思います。消費者も泣き寝入りしないようにしなければと思います。
1人1人が納得いくまで、理解することですかね。私は相談するって事自体が難しいです。恥ずかしいとか、これくらいで相談しても大丈夫なのかとか悩んでしまいます。
電話相談すると電話代も高くなります
相談しやすい窓口の設置が必要ではないでしょうか？
声がけや犯罪認知が1番効果的だと思います。街のあちこちに注意喚起のポスターなどがあったり、公的施設のあちこちに案内があればこの重大さが周知されると思います。
行政による積極的な広報活動
自分自身こういった事には、気を付けてるタイプなのだが、化粧品などの通販で、初回激安特典などがあって、ついつい釣られて申し込んだら、実は定期購入に勝手にされる事や2回目購入までの縛りがあって2回目は1万円以上の購入ってパターンがあるように、契約書によっては、肝心な所を小さく書いてある事が多い。
一般消費者が騙されたと感じるような契約書の文面は、専門家や第三者機関などが調べて、法改正や条例案などして、赤字で記すなどの分かりやすくするように促したらいいのかなと思う
定期的にセミナーを開催する



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 6/9

被害の多くは、その入り口がインターネット広告やSNSであることを踏まえれば、個人の注意に頼る前に「入り口」を塞ぐ対策が効果的だと思う。例えばプラットフォームの事前の厳しい審査や責任の明確化が必要だと思う。SNSや動画サイト上の広告審査を厳格化し、詐欺的広告を掲載したプラットフォーム側の法的責任を問える仕組みをもっと強化すべき。

消費者被害を防止するためには、以下のような施策が効果的だと考える。

まず、情報提供の充実が重要である。特に高齢者やインターネット利用に不慣れな人でも理解できるよう、被害事例や対処法をわかりやすく伝える啓発活動を強化すべきだ。自治体や学校での講座、SNSや動画を使った広報など、多様な媒体を使うことが望ましい。

次に、悪質業者への厳しい規制と監視体制の強化が必要である。行政が事業者の指導・取り締まりを迅速に行い、違反があった場合は明確な罰則を科すことで抑止力につながる。

また、消費者自身が被害を防ぐための力を身につけることも重要である。そのために、学校教育における消費者教育の拡充や、相談窓口（消費生活センターなど）の利用を促す取り組みも効果的だと考える。

これらの施策を組み合わせることで、社会全体で消費者被害を未然に防止できると考える。

相談センターのフリーダイヤルの表示を行っていく

契約したサービスに不安があった際は最近はchatGPTに相談すること多いです

商行為の違反業者を（元を取れないと自覚させるレベルの）罰則を厳しくする。

一方、消費者が立てば消費行動する人の知識向上を待つしかないが、メディア等で被害状況と具体例を徹底的に広報して自覚させる。

注意書きを大きく見やすくする

基本として、家族内で内緒事はしない。

決断する必要があるれば、ひとことでも話しておく事で被害を防げる事もあると思う。

学校教育の中で積極的に取り入れることが大事かと思っています。

昨今金融教育が高校などで行われることが話題になっているようですが、消費者被害の防止への啓蒙にも取り組むことが重要だと思います。

学校教育や社会人向け講座で、契約の基本、クーリング・オフ制度、詐欺の典型的な手口などを学ぶ機会を増やすこと

教育・啓発の強化、相談・支援体制の拡充。

ネット購入が多いと思うので、携帯にウィルスバスター等の防護策をする

相談しても解決出来なかった。意味がないと考える。、

消費者問題の事例集を配布し、玄関に吊り下げたり、掲示しておくことを推奨する。そしてクーリングオフ制度の周知。

住宅のリースバック契約など「部屋に営業担当者入れてしまうと、契約するまで帰らない」といった事例があり、特に気弱そうな独居老人をターゲットにしていると聞く。そもそういう人を寄せ付けないようなグッズがあると、とても重宝されると思う。

消費者が、安さだけに走らず、一度立ち止まって『安かろう悪かろう』ではないかを吟味したうえで納得して購入する。

「気付いた時にすぐ相談」できる仕組み。

LINE・チャット・SNS相談窓口を全国統一。

24時間対応ホットライン

消費生活センターの人員・予算増。

相談内容をAIで分析し注意喚起情報に反映。

? 相談ハードルを下げることで途中で被害を止められる。

ウェブ上でそもそもアクセス時にアラートが出るようにセキュリティを設定する

自己防衛意識を持つ

デジタルリテラシー教育が必要

より地域のつながり / コミュニティー作りが大事だと思う。日頃から、誰かと話相談できる関係を築けるような場があればいいと思う。それは、消費者被害だけに関わらず。

次々に巧妙な手口が出ており、各機関や団体から啓発活動が必要だと思います。成人年代が18歳とされたこともあり、高校生に対する教育や啓発に重点を置く必要が高いです。

消費者被害のニュースの報道、および注意喚起。気軽に相談できる環境の構築。

消費者のリテラシーを高めるために、テレビ放送や町内会で取り上げてもらったりする



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 7/9

消費者被害を防止するためには、被害が起きてからの対応だけでなく、未然防止に重点を置いた施策が特に重要だと感じます。具体的には、実際に多い被害事例や最新の悪質商法の手口を、テレビ・SNS・広報紙など複数の媒体を通じて分かりやすく周知する取組が効果的だと思います。

また、高齢者や若年層など、被害に遭いやすい層に応じた消費者教育を充実させることも必要です。学校や地域、自治会など身近な場で、相談先や対処方法を含めた実践的な講座を行うことで、被害に遭いにくい意識づくりにつながると考えます。あわせて、気軽に相談できる窓口の存在を広く知らせることで、「一人で抱え込まない」環境を整えることが重要だと思います。

わからないことは自分で調べるか、人に相談する

最近の子供たちはネットばかり見てテレビニュースや新聞等、いわゆるオールドメディアからの情報をほとんど入手していない。よってネットでヤミバイトに簡単に騙され加害者になってしまう。テレビや雑誌以外、ネットという深い闇の部分に現れた今、消費者被害という面も含め中学校や高校での教育が必要不可欠だと考えます。

各世代によって生活様式も違うので、各世代の生活様式を分析した上で、対策を講じる必要があると思う。例えば、10代20代は、コンビニ、マクドナルドによく行っているため、そのBGMの中に若年層をターゲットにした詐欺についての情報を流すとか、SNSで流すなど。中間層は、仕事先やPTAを通じてなど。高齢者は、新聞テレビをよく観ているので、各紙やローカル放送局で詐欺被害例について流す。また全世代的対策には、常に開かれた相談窓口を設置する。そこでは、警察や消費生活センターなどと連携してチームで対応策を話し合うなど。もうしていることかもしれないが、粘り強く取り組むことが大事だと思う。

被害が発生した手口を広め、注意喚起すること。

高齢者が心配。スーツの引き取りしやすとかの広告を新聞で見る。実際中古スーツなんか金額になるわけでもなく、他の金品を目的としているのかもしれない。そういった広告を新聞等の広告欄に普通にあること自体如何なものかと思う。規制できないのかとも思っています。

- ・学校教育や老人向けの情報として定期的、実例と対策を周知する。
- ・「消費生活センター」や「消費生活相談窓口」に加えて役場や警察等への相談ができることを周知する。
- ・テレビ局、ラジオ局、新聞社などに情報発信、対策指導の積極的協力を依頼する。

被害内容を適宜PRするようなシステムを構築する

困ったらここに相談する、という認識を広めるための周知活動。

その場ですぐに契約しない

どのような施策を実施しても騙される人は騙されるというのが実態ではないかと思っています。

ただ、キャッシュレスに代表されるような新しいサービスについては利用者が分かりやすいような導入手順を自治体側で公民館を利用した導入教育をサポートする等のサポートがあれば、理解が深まってトラブルが減るのかもしれないかと思っています。

また不動産トラブル等についても、事業者側に説明責任や、違法情報の場合は厳格な処分（資格停止）等の防止策を講じることはできますが元々、消費者を騙して利益を得ようとする側にはあまり効果なく、消費者側のリテラシーを高めるための宣伝・啓蒙・教育にコストをかけるしかないのではないかと考えます。

じっくり内容を理解し時間をかけて選ぶ

周囲の人に相談、また恥ずかしがらずに専門機関に相談する。その為に、相談をするのにハードルを感じないよう、気軽に出来るような組織作りをお願いしたい。

簡単に問い合わせしやすい環境

被害を防止するにあたり、自分が被害に合っているのか？被害に合いそうな状況なのかを知ることが、途中で立ち止まったり、選定の仕方のヒントにもなり、そのようなきっかけが多くあればいいかと思っています。

その例として、商品別やジャンル別での事例を目に留まりやすい場所(駅やスーパー)にポスター(QRコードを付けてサイトに飛ばせばより事例を多く閲覧できる等)、県政だよりなど(文章だけでなく漫画や)UPするなどの方法が可能であればよいと思います。

また、自分が被害に合っているのか、被害に合っていたらどの段階にいるのかなどを把握しやすいようにフローチャートのようなものがあると、簡単に目に留めやすいのではないかと思います。

購入先や商品の検索や口コミを頼りにしている

ネットの営業広告に騙されない、疑う事が大切

テレビやSNSなどで 何度も注意喚起する

小中高の学校で、長くて複雑な契約書類を読むトレーニングする。

消費生活センターに問い合わせがあった事業所、内容をもっと幅広く知ってもらえる事ができたら考えるが、購入者側の確認不足や勘違いでの訴えも多いため広報方法に注意が必要だと考える。

消費者への呼びかけや相談先の情報共有など、こまめに意識するように発信する。

高齢者の被害も多いので新聞やテレビで注意喚起を今まで以上にする。

詐欺などの悪徳な商法に対して厳しく罰する。

最近、ネットで無料で試供品をもらえたりするが、よく読むと継続購入が必要だったりする。そういった、表記のルール化も必要



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 8/9

高校の授業などで、注意喚起するとよいと思います。

県民に高額商品購入の危険性や注意点について。例をあげながらわかりやすく会報などで知らせる

広告（テレビ）やもち浜ストアなどで宣伝してもらう

どこに、どのように相談できるかを周知する。

販売者の身元が明確でないと販売できない、消費者が被害を受けたと報告をされた場合に検証を受けて、検証結果を賠償する義務を負う実効性のある法的な制度があると良いと思う。

行政が行う施策は啓蒙活動が限界だと思う。厳しい法整備と同時にネット事業者の努力しかないと思う。

巧みな言葉で契約させられてしまう事もあるので、実例をあげた冊子などを市町村窓口などで配布したらどうでしょうか。

消費者が知識をもっておくことが大切だと思うので、子どもたちへの教育も必要だと思う。

悪徳業者への罰則等の強化を期待します。

以前、消費生活センターに相談の電話をしたことがあります。話を聞くだけで何も意味なかったです。設置するだけでなくちゃんと知識のある職員を置いて欲しいと思いました。

そうゆうロココミも多数あって不満に思っているのは私だけじゃないんだと思いました。

警察に気軽に相談できる窓口が必要。高齢者は本署より地域の交番を必要としているが、交番は不在が多いし警察官と地域の交流が少ない。警察官もワークライフバランスを重視しないといけないが、自治会の行事等に参加して身近な存在になって欲しい。昔の駐在所は必要だった。

相談窓口が不鮮明なところがありどこに相談かわかりにくいとの声在ります。書く支所に窓口の設置をできませんか？ただし法にたけた専門家を常駐するなどありますが

普段から、会話できる相手が身近にいることが大切なことだと思います。

デジタル化の進展により、インターネット通販やキャッシュレス決済、SNSなどが普及し、利便性が増し、高齢者には利用が難しくなっています。高齢者でも簡単で分かりやすくしてもらったり、講習会を開催していただきたいです。

どのような詐欺やトラブルが日常で発生しているか、テレビやインターネットで可能な限りたくさん情報を流して周知してほしい。

若いうちから契約についての金融リテラシーを高めるような研修などの機会を企業や学校で実施する。

軽率な行為は、しない

詐欺の情報をもっと発信して注意喚起をして欲しい。

違法行為を行った販売業者は積極的に公表して、消費者へリスクのある業者を周知して、注意喚起をする。悪質な業者は、事業継続が難しくなる様な策を条例等で確立して廃業に追い込む。

市や県、国に登録などして認定されたショップで買い物のように

安心感を持たせる

具体的な例を記載して告知する

メディアで情報をどんどん流していくと、知人や友達づてに広まって行くかと思います。

消費生活支援センターの役割を周知する必要がある。

職場、地域、学校等所属しているコミュニティでの理解促進のための教育機会の設定。

小学生からお金の授業を行う。ネットリテラシーについて学習を行う。

高齢者については孤独死を防ぐためにも戸配の利用。移動スーパーの利用が好ましいと考える。実際、地方では車の移動手段を失うと買い物できない場合が増えている。

身寄りがいれば戸配を注文してもらえない場合があるが、自分で注文することが難しい人もいる。また、自宅に訪問することで中から反応がない場合、ポストに宅配物が溜まっている異常などにも気づきやすい。移動スーパーでも「最近みかけないな」という違和感を持って気付いてもらいやすい。

悪質商法については、コンビニや銀行、ATMで気付けるように取り組みを行っていく他ない。特定の年代以上かつ、一定額以上の振込は窓口限定にすることで、ひとまず一人一人の被害額は抑えることができるのではないかな。

最近は若い人のインターネットの被害も多い。サイバーセキュリティ対策を強化し、根本のWebサイトをつぶしていくことが急務と考える。

朝倉市の携帯ショップでのこと、仕事を辞めたので、支払いの安い契約にして欲しいと頼んだら、年寄りで騙しやすいと思われたようで、あれこれ頼んでもいない契約を付けられていた。解約するように頼みに行ったら、逆ギレされて大変な目にあった。携帯は、業者に任せないと何もわからない。そこに付け込んで、ほとんど詐欺とも言えるようなことを会社ぐるみでやっているようだった。しかし、これをどこに訴え出れば良いのか、さっぱりわからない。ネットでその携帯ショップの評価を見ると、同じような酷い目に遭った人がいるようだった。相談窓口が果たして対応してくれるのか、門前払いされそうで、何もできないままである。相談窓口を設けるだけでなく、年寄りが騙されそうなサービス業はある程度把握できると思う。積極的に指導をしてほしい。やはり、事前の注意喚起が重要。それも高齢者を想定して具体的な事例を基にした説明。さらに、もし「被害」を被った場合の相談先（できれば、ネットを介するもの以外に電話対応できるもの）を明示する必要があるかと思っています。

フィッシング詐欺などのネット被害を防止するため法改正し厳罰化する。



問6 消費者被害を防止するためには、どのような施策を実施すると効果があると思いますか。（自由記述） 9/9

過剰な宣伝広告等には厳しい取り締まりを行う

何を以て信頼してよいか分からない世の中になっている。信頼の基準が、わかりやすく設定されていて欲しいと思う

消費者もよく考えて購入するようにし、前もって検討しておく事が大事だと思う。又、返品交換が可能か認識しておくようにする。

即決はせず、必ず一旦持ち帰って検討する事が大切だと思う

大きな買い物や契約する際に相談できる人がいない時に利用できる県独自の相談窓口があればいいと思う。誰かに話すと情報が整理できたり、間違いに気づくこともあると思うので。

とにかく、悪徳業者を厳しく罰する

消費者側が注意するのはもちろんだが、企業など提供する側に対して講座を設ける、注意や警告をすることが大事だと思います。よくわからないことをする人も増えてきましたが、福岡の地方銀行の若い社員なども、いい加減な仕事をしています。アポの時間にわざと遅刻する、説明をきちんとせず、時間がないからと急かしてサインをさせるなど。以前ほど、インターネットの普及や名の知れた企業への信頼感も薄れて、注意をしなければならない場面が消費者も多く追いつかないと思います。企業への取り締まりも強化すべきだと思います。

悪徳業者の取り締まりと周知

消費者の意識を高めることが大切だと思うので、どのような被害事例があるのかをもっと広報誌やテレビ、SNS等で知らせると良いのではないかと思います。

実際の被害状況など具体的な事例をもっと紹介して周知が広まったらよいです。

十分に納得してから購入する。

一人では決めずに家族に相談してから購入する。

被害の内容を広く周知する。

《 障がいを理由とする差別の解消について 》

【調査の目的】

福岡県では、障がいのある人もない人も、分け隔てられることなく、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会、共生社会の実現を目指し、平成29年に「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を制定しました。

この条例では、全ての人に対し、障がいを理由とする差別の解消と、障がいのある人への合理的配慮の提供(※1)を行うことを求めており、県では、その実現に向けて取組を行っています。

これらの周知状況等について県民の皆さまの御意見をお聴かせいただき、今後、取組を推進する上での参考とさせていただきます。

【活用状況】

・福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例の内容を広く県民に周知するための参考資料として活用。

・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用。

(福祉労働部障がい福祉課)

※1「合理的配慮の提供」とは

障がいのある人から、社会の中にあるバリア(社会的障壁(※2))を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。

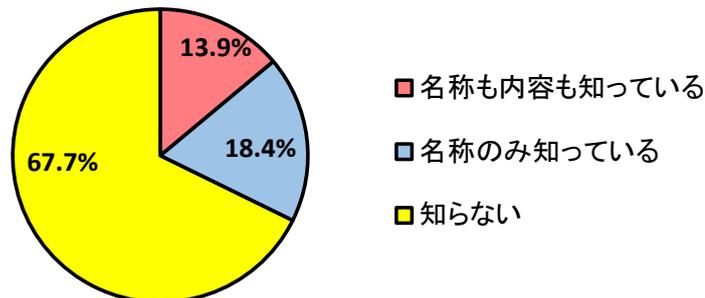
※2「社会的障壁」とは

日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念、偏見その他一切のもののこと。

問1 あなたは、「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っていますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(回答者数353人 選択は1つのみ)

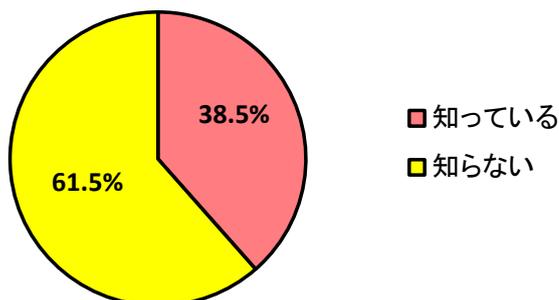
1 名称も内容も知っている	13.9%	(49人)
2 名称のみ知っている	18.4%	(65人)
3 知らない	67.7%	(239人)



問2 あなたは、条例でも規定されている「合理的配慮の提供」という考え方を知っていますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(回答者数353人 選択は1つのみ)

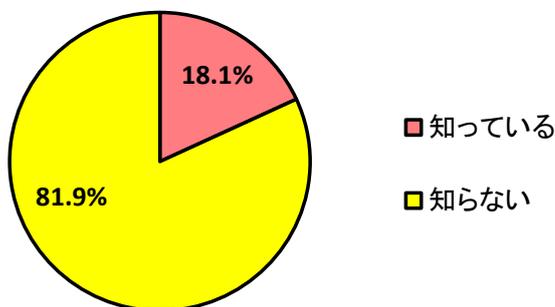
1 知っている	38.5%	(136人)
2 知らない	61.5%	(217人)



問3 あなたは、障がい者を理由とする差別や合理的配慮の提供に関する相談を受け付けている「障がい者差別解消専門相談窓口」を県が設置していることを知っていますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(回答者数353人 選択は1つのみ)

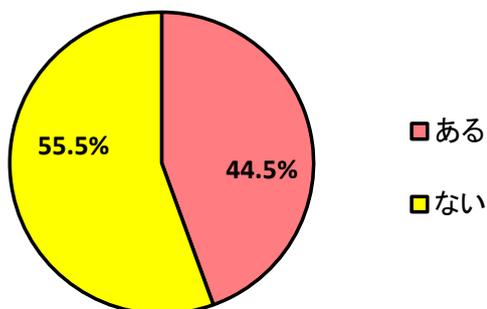
1 知っている	18.1%	(64人)
2 知らない	81.9%	(289人)



問4 あなたは、過去1年間で、障がいのある人に支援や配慮をしたことがありますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(回答者数353人 選択は1つのみ)

1 ある	44.5%	(157人)
2 ない	55.5%	(196人)



(問4で「1」を選んだ方にお尋ねします。)

問4-2 どのような支援や配慮をしたか、具体的に入力してください。

〔抜粋〕

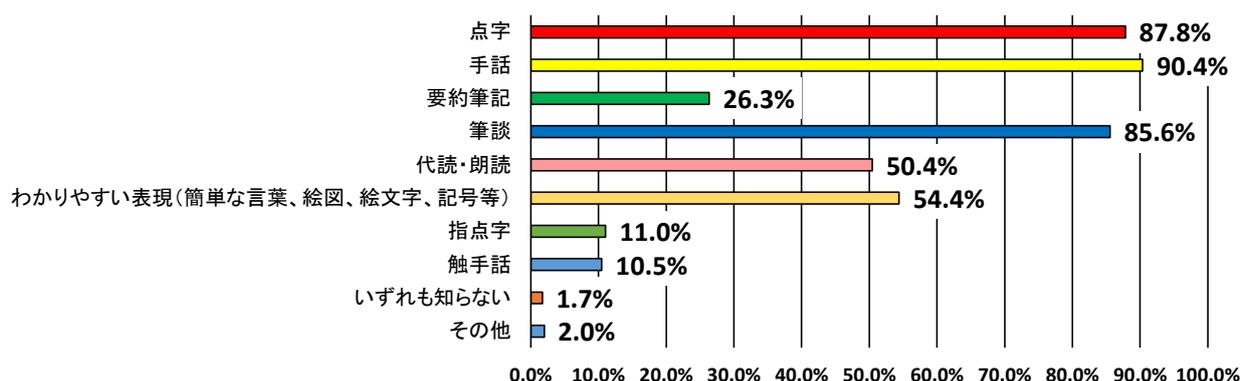
- ・ 視覚障がいのある人をバス停まで案内して、一緒にバスを待った。
- ・ 車椅子の方が通りやすいように、邪魔になっている自転車を動かして、通ってもらった。
- ・ 社内の聴覚障がいのある人に対して、わかりやすい話し方をしたり、声のボリュームを上げる、筆談をする、マスクをしないで話すなどをした。

問5 障がいのある人とコミュニケーションをとる時に使われる手段や配慮を知っていますか。
次の中から知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数353人 回答件数1,483件 複数回答可)

1	点字	87.8%	(310人)
2	手話	90.4%	(319人)
3	要約筆記	26.3%	(93人)
4	筆談	85.6%	(302人)
5	代読・朗読	50.4%	(178人)
6	わかりやすい表現(簡単な言葉、絵図、絵文字、記号等)	54.4%	(192人)
7	指点字	11.0%	(39人)
8	触手話	10.5%	(37人)
9	いずれも知らない	1.7%	(6人)
10	その他	2.0%	(7人)

※回答者353人に対する割合

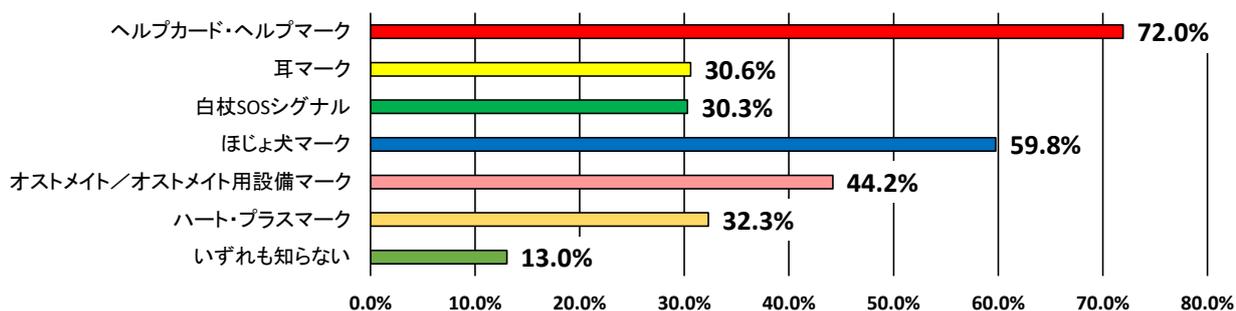


問6 あなたは、次のマーク等を知っていますか。
次の中から知っているものを【すべて】選択してください。

(回答者数353人 回答件数996件 複数回答可)

1	ヘルプカード・ヘルプマーク	72.0%	(254人)
2	耳マーク	30.6%	(108人)
3	白杖SOSシグナル	30.3%	(107人)
4	ほじょ犬マーク	59.8%	(211人)
5	オストメイト／オストメイト用設備マーク	44.2%	(156人)
6	ハート・プラスマーク	32.3%	(114人)
7	いずれも知らない	13.0%	(46人)

※回答者353人に対する割合



1 ヘルプカード・ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。



(ヘルプカード)



(ヘルプマーク)

2 耳マーク

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。



3 白杖SOSシグナル

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚障がいのある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。



4 ほじょ犬マーク

公共の施設、交通機関、民間施設での補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)の受け入れを義務付けている身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。



5 オストメイト／オストメイト用設備マーク

オストメイトとは、がんなどで人工肛門・人工膀胱を造設している人のことをいいます。このマークはオストメイトであるごとと、オストメイトのための設備(オストメイト対応のトイレ)があることを表しています。



6 ハート・プラスマーク

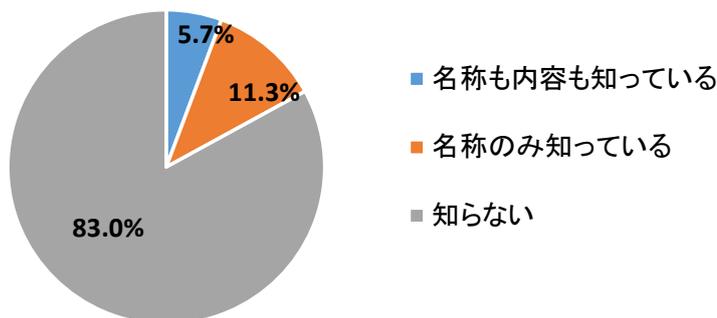
「身体内部に障がいがある人」を表しています。身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能等)に障がいがある人は外見からは分かりにくいので、様々な誤解を受けることがあります。内部障がいのある人の中には、電車などの優先席に座りたい、障がい者用駐車スペースに車を止めたい、といったことを希望していることがあります。



問7 あなたは、「福岡県手話言語条例」を知っていますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(回答者数353人 選択は1つのみ)

1 名称も内容も知っている	5.7%	(20人)
2 名称のみ知っている	11.3%	(40人)
3 知らない	83.0%	(293人)



問8 障がい理由とする差別の解消について、これまでの設問以外に意見はありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

[意見(抜粋)]

- ・ 身体障がい者への配慮はかなり進んだと思うが、障がいが見えにくい精神障がい者への理解や配慮が浸透するまでは困難を極めていると感じる。精神障がい者への理解を深めるような行政の取り組みを期待する。
- ・ 当事者家族だが、障がいも様々であり、気をつけるところや配慮して欲しいことがそれぞれ違うため、困り事の声を出しやすい、または聞いて欲しい環境を無くさないでほしい。
- ・ 障がいのある方がどんな障がいがあるか、見た目では分からないことも多い。
見た目でも配慮が必要としていることが分かるようにしたヘルプマークなどの認知を更に広げてほしい。
- ・ 障がいのある人がどんな場面でどのようなサポートを必要としているかを知りたい。ヘルプマークを付けている人はよく見かけるが、困ったときに助けてほしいという意味なのか、通常の時もサポートが必要なのか(例えば電車で席を譲るべきなのかどうか)がわからないため、自分に何ができるか学ぶ機会があるといいと思う。
- ・ 車椅子を押す機会があり、家の周りや繁華街で凹凸のある道がたくさんあると感じた。高齢化社会になっていくのは間違いないため、もっと歩行者や車椅子にも優しい街にして欲しい。
- ・ 条例の趣旨や「合理的配慮」という考え方について、言葉としては聞いたことがあっても、具体的にどのような行動が求められるのか分かりにくいと感じる人も多いと思う。日常生活の場面や職場、学校など、身近な事例を用いて分かりやすく説明する広報や啓発がさらに進むと、理解が深まりやすくなる感じる。
また、障がいのある人への配慮は特別なことではなく、互いに無理のない範囲で工夫し合うことが大切だという考え方が、県民の間に自然に広がることが重要だと感じる。
相談先や支援制度についても、当事者だけでなく周囲の人が知る機会を増やすことで、共生社会の実現に一步近づくのではないかと思う。
- ・ どのような差別があるのか、またマークの種類についても、一覧で分かりやすく表にしてもらい、広報誌や公共交通機関での掲示など、目にすることができれば、多くの方が知るきっかけになると思う。
- ・ 学生時代に障がいについて学ぶ機会があったが、どのようにコミュニケーションを取ればいいのかを体験する機会がなかった。
どのように声掛けしたり、接していいかわからないため、こちらは配慮のつもりでも差別になっているのかもしれないと考えることがある。
- ・ 小さい頃から障がいの有無に関わらず一緒に過ごせると、それが当たり前だと認識になり、差別や偏見も生まれないうと思う。
- ・ 手話で簡単な会話ができるよう、無償で手話教室があると興味を持って参加しやすくなると思う。

令和7年度
県政モニターアンケート調査結果

テーマ: 県の観光振興について

福岡県 商工部 観光局 観光政策課

1. 調査の目的

観光は、関連する産業の裾野が広く、商工業、農林水産業をはじめ幅広い分野にわたって地域経済への波及効果をもたらします。人口減少、少子高齢化が進む中、観光振興に取り組むことにより、交流人口を拡大し、地域に消費と雇用を生み出すことは、地方創生の観点から重要です。

福岡県では、「福岡県観光振興指針」を策定し、観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、「つながる”福岡観光”」の実現を目指しています。

県民皆さまの御意見をお聞かせいただき、今後の本県の観光振興施策の参考とさせていただきます。

2. 活用状況

今後の観光振興施策の基礎資料として活用します。

3. 調査時期

令和7年12月5日～令和7年12月26日

4. 回答者の構成

項目		計		北九州	福岡	筑豊	筑後
		人数	構成比				
総数	人数	353		91人	182人	28人	52人
	構成比		100.0%	25.8%	51.6%	7.9%	14.7%
性別	女性	186	52.7%	49人	99人	14人	24人
	男性	164	46.5%	40人	83人	14人	27人
	その他	3	0.8%	2人	0人	0人	1人
年代別	20代以下	48	13.6%	13人	25人	3人	7人
	30代	54	15.3%	14人	27人	5人	8人
	40代	75	21.2%	18人	40人	6人	11人
	50代	62	17.6%	17人	32人	4人	9人
	60代	76	21.5%	21人	34人	8人	13人
	70代以上	38	10.8%	8人	24人	2人	4人

5. 回答結果

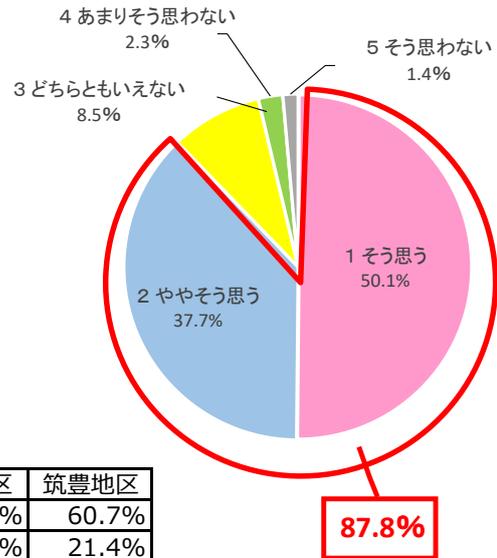
【回答結果の注意点】

- ・集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある
- ・2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある

問1 福岡県は住民にとって暮らしやすいまちであると思いますか。
(n=353、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 そう思う	177人	50.1%
2 ややそう思う	133人	37.7%
3 どちらともいえない	30人	8.5%
4 あまりそう思わない	8人	2.3%
5 そう思わない	5人	1.4%

※赤字は割合が最も多いもの。



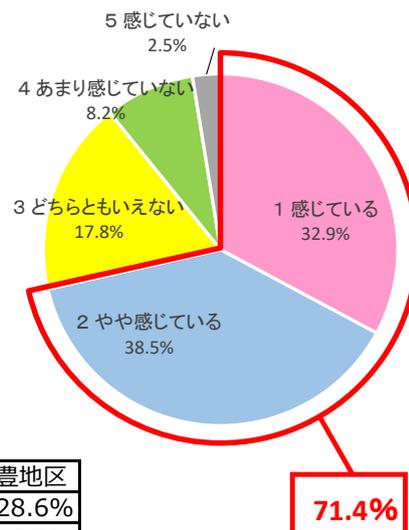
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 そう思う	52.2%	50.5%	36.5%	60.7%
2 ややそう思う	35.7%	39.6%	50.0%	21.4%
3 どちらともいえない	9.3%	6.6%	3.8%	17.9%
4 あまりそう思わない	1.1%	2.2%	7.7%	0.0%
5 そう思わない	1.6%	1.1%	1.9%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問2 観光振興による福岡県の気を実感していますか。
(n=353、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 感じている	116人	32.9%
2 やや感じている	136人	38.5%
3 どちらともいえない	63人	17.8%
4 あまり感じていない	29人	8.2%
5 感じていない	9人	2.5%

※赤字は割合が最も多いもの。



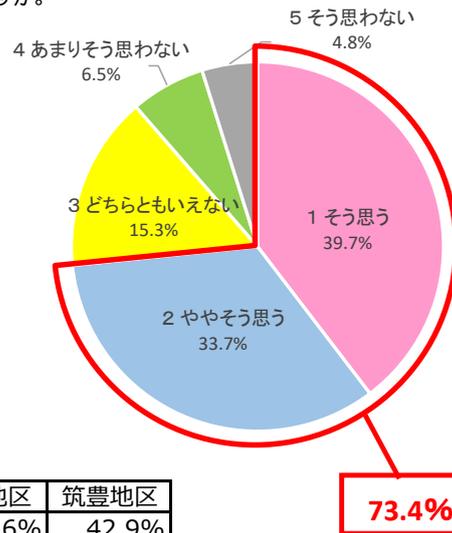
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 感じている	41.8%	25.3%	17.3%	28.6%
2 やや感じている	32.4%	47.3%	42.3%	42.9%
3 どちらともいえない	16.5%	17.6%	23.1%	17.9%
4 あまり感じていない	5.5%	9.9%	15.4%	7.1%
5 感じていない	3.8%	0.0%	1.9%	3.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問3 福岡県について、海外を含む他地域の人に紹介したいと思いますか。
(n=353、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 そう思う	140人	39.7%
2 ややそう思う	119人	33.7%
3 どちらともいえない	54人	15.3%
4 あまりそう思わない	23人	6.5%
5 そう思わない	17人	4.8%

※赤字は割合が最も多いもの。



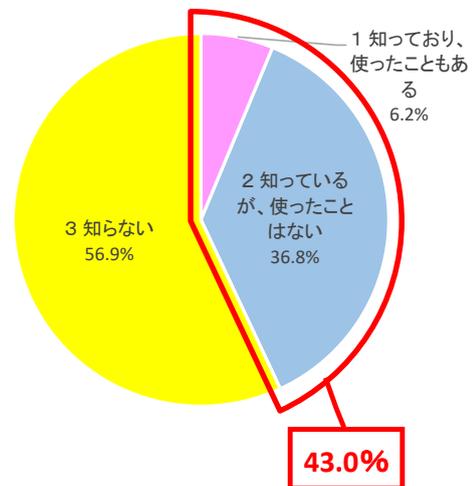
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 そう思う	40.7%	39.6%	34.6%	42.9%
2 ややそう思う	31.3%	38.5%	34.6%	32.1%
3 どちらともいえない	17.0%	12.1%	17.3%	10.7%
4 あまりそう思わない	7.1%	6.6%	3.8%	7.1%
5 そう思わない	3.8%	3.3%	9.6%	7.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問4 福岡県を楽しむバスツアー「よかバス」を知っていますか。
(n=353、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 知っており、使ったこともある	22人	6.2%
2 知っているが、使ったことはない	130人	36.8%
3 知らない	201人	56.9%

※赤字は割合が最も多いもの。



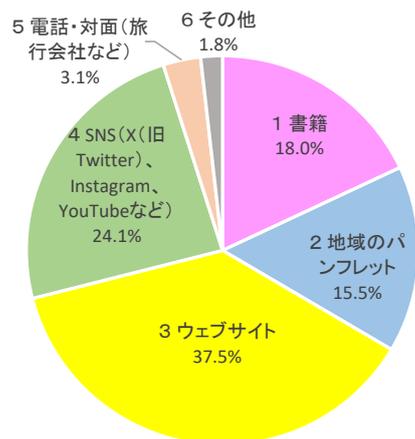
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 知っており、使ったこともある	6.0%	5.5%	7.7%	7.1%
2 知っているが、使ったことはない	36.8%	46.2%	23.1%	32.1%
3 知らない	57.1%	48.4%	69.2%	60.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問5 旅行に行くとき、どのような方法で情報を集めますか。
 (回答数=839、複数選択可)

	人数	割合
1 書籍	151人	18.0%
2 地域のパンフレット	130人	15.5%
3 ウェブサイト	315人	37.5%
4 SNS (X(旧Twitter)、 Instagram、 YouTubeなど)	202人	24.1%
5 電話・対面 (旅行会社など)	26人	3.1%
6 その他	15人	1.8%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 書籍	17.6%	19.2%	15.7%	20.0%
2 地域のパンフレット	12.6%	20.1%	16.5%	15.4%
3 ウェブサイト	39.3%	33.9%	38.3%	38.5%
4 SNS (X(旧Twitter)、 Instagram、 YouTubeなど)	25.5%	20.9%	24.3%	26.2%
5 電話・対面 (旅行会社など)	3.1%	3.3%	4.3%	0.0%
6 その他	1.9%	2.5%	0.9%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問5-2 問5で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=15)

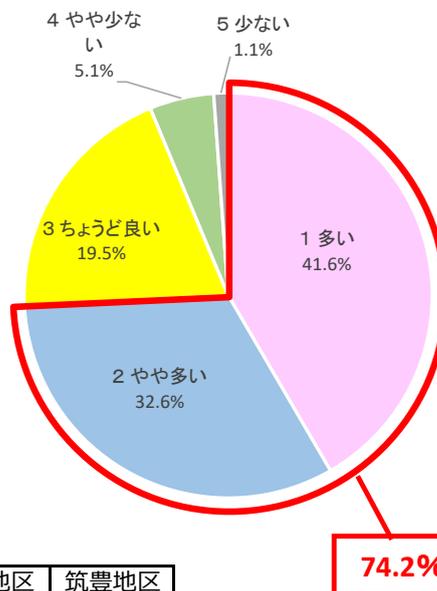
【主な意見(抜粋)】

- ・友人や親戚からの情報
- ・テレビの旅番組
- ・新聞の特集、広告、チラシ
- ・旅行会社のパンフレット
- ・AIの活用

問6 福岡県の観光客数についてどのように感じていますか。
(n=353、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 多い	147人	41.6%
2 やや多い	115人	32.6%
3 ちょうど良い	69人	19.5%
4 やや少ない	18人	5.1%
5 少ない	4人	1.1%

※赤字は割合が最も多いもの。



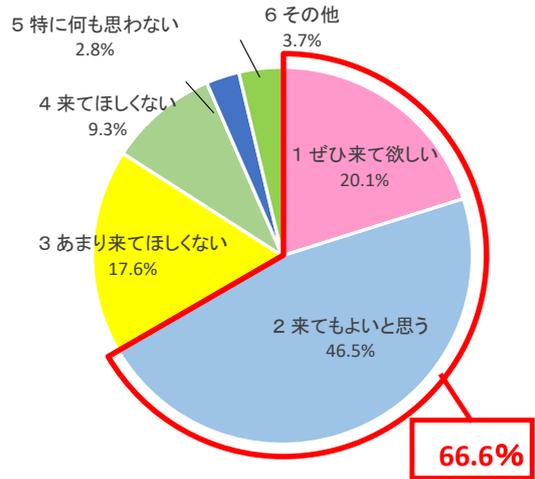
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 多い	48.9%	33.0%	30.8%	42.9%
2 やや多い	31.3%	30.8%	34.6%	42.9%
3 ちょうど良い	16.5%	25.3%	25.0%	10.7%
4 やや少ない	2.2%	9.9%	7.7%	3.6%
5 少ない	1.1%	1.1%	1.9%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問7 海外からの観光客の受入れについて、どのように思いますか。
(n=353、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 ぜひ来て欲しい	71人	20.1%
2 来てもよいと思う	164人	46.5%
3 あまり来てほしくない	62人	17.6%
4 来てほしくない	33人	9.3%
5 特に何も思わない	10人	2.8%
6 その他	13人	3.7%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 ぜひ来て欲しい	18.1%	25.3%	17.3%	21.4%
2 来てもよいと思う	46.2%	46.2%	50.0%	42.9%
3 あまり来てほしくない	18.1%	15.4%	17.3%	21.4%
4 来てほしくない	11.5%	7.7%	5.8%	7.1%
5 特に何も思わない	2.2%	3.3%	3.8%	3.6%
6 その他	3.8%	2.2%	5.8%	3.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問7-2 問7で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=13)

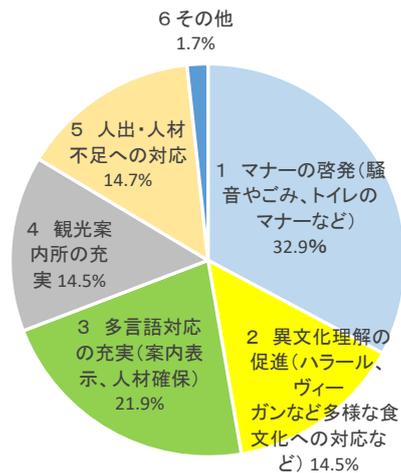
【主な意見(抜粋)】

- ・自国のルールを持ち込み配慮のない行動を行う観光客は来福を遠慮していただきたい。
- ・温泉や神社仏閣において、掛け湯せずに湯船につかるとか大声で騒ぐ、どこでも写真を撮る、ゴミや吸い殻をポイ捨てる、立ち入り禁止の場所に入るなどの迷惑行為をよく目にする。
- ・日本の文化やルールを尊重できない観光客が増えている。そこへの対処を検討せずに闇雲にインバウンドを狙うことは好ましくない。

問8 海外からの観光客を円滑に受け入れるために必要な施策は何だと思いますか。
(回答数=968、複数選択可)

	人数	割合
1 マナーの啓発 (騒音やごみ、トイレの マナーなど)	318人	32.9%
2 異文化理解の促進 (ハラール、ヴィーガンな ど様な食文化への対 応など)	140人	14.5%
3 多言語対応の充実 (案内表示、人材確 保)	212人	21.9%
4 観光案内所の充実	140人	14.5%
5 人出・人材不足 への対応	142人	14.7%
6 その他	16人	1.7%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 マナーの啓発 (騒音やごみ、トイレの マナーなど)	33.7%	30.5%	33.1%	35.6%
2 異文化理解の促進 (ハラール、ヴィーガンな ど様な食文化への対 応など)	13.3%	15.2%	15.1%	17.8%
3 多言語対応の充実 (案内表示、人材確 保)	21.4%	21.9%	23.7%	21.9%
4 観光案内所の充実	14.8%	17.1%	10.8%	9.6%
5 人出・人材不足 への対応	14.8%	14.1%	15.1%	15.1%
6 その他	2.1%	1.1%	2.2%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問8-2 問8で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=16)

【主な意見(抜粋)】

・入国時のルール説明と違反時の罰則を明確化し、悪質な行為に対しては罰金徴収や厳格な対応を行う。
あわせて、観光地等における警察・監視体制を強化し、地域住民と観光客の双方が安心できる環境を整備すべき。

・観光客が増えることで、地域にどのようなメリット(経済効果や地域サービスの向上など)があるのかを住民が実感できる仕組みがあると、受入れに対する前向きな気持ちが広がり、円滑な共存につながると感じる。

・街中ゴミ箱の設置。せめて食べ歩きが多いところに作って欲しい。

・英語が話せる人を人材を増やすこと。

問9 県の観光振興について、これまでの設問以外にご意見がある場合は、その内容を具体的に入力してください。
(回答数=146)

【主な意見(抜粋)】

<p>・福岡県は観光客が集中しているところとそうでないところに分かれているのではないかと感じる。 福岡市内や大宰府などは、それこそオーバーツーリズムによる問題が出ているのではないか。 一方で、玄海地方や京築・筑豊はまだまだ観光客の受け入れに余力を残しているのではないか。 交通的な面で福岡市が発着の起点となるので、できるだけ込み合うエリアを避けて、まだ知られていない地域へうまく誘導する方策が必要と考える。</p>
<p>・東京・大阪・京都に比べて、海外向けの情報発信量が少なく、福岡独自の魅力が十分に届いていない。 欧米人の国内西部の移動は広島で止まっている。もっと行政側からも積極的にラーメン、屋台文化、太宰府天満宮、糸島の絶景などを「Youtube動画」や「旅Vlog」で積極発信し、視覚的に魅力を訴求する必要性を感じます。 同時に、屋台文化体験、博多祇園山笠のバックヤードツアー、伝統工芸（博多人形、博多織）ワークショップなど「ここでしかできない体験」に外国人を誘い込む様々な宣伝を具体化することも考えてみてはどうでしょうか。 また、福岡空港を玄関口に、長崎・熊本・大分・鹿児島へのツアーをセット化し、「福岡に泊まるメリット」を明確化する工夫ある宣伝も大切に感じます。</p>
<p>・居住地が地方のため観光客をほとんどみかけない。地方の活性化に取り組み観光客を分散させるといいのでは。</p>
<p>・様々な世界大会（スケボーやバレー）などを福岡市・北九州市の県内大都市が中心となって更に誘致していけば、観光も更に盛り上がると思います。特にメディアにも注目されるような競技なら、なおのこといいと思います。</p>
<p>・多文化共生が叫ばれるが、矢張り日本の習慣、ルール、法律は守って観光して欲しい。私たちが海外でイスラムの寺院を見学のとき、ガイドさんが禁止事項を入室前に教えてくれた。訪問国の決まりは守るのが当たり前だと思う。</p>
<p>・海外から来る観光客に各国の言語で、福岡県でのルールなどを詳細に説明したパンフレットなどを作成したらよいと思います。</p>
<p>・福岡市に集中していると思うので、ほかの地域にも観光客が集まるように、交通の便をよくしてほしい</p>
<p>・経済効果ばかりに目が向いているが、そこで働いている人への成果の分配はあまりなされておらず、事業所有者ばかりが肥え太っているように感じる。 また、日本人自身の観光意欲が下がっているという話を聞く度にオーバーツーリズムに対する対応を急いで欲しいと感じている。</p>
<p>・よかバスのコースが少ない。出発地や日帰りなどを選んで検索すると、10コースくらいしかヒットしない。もっとコースを増やしてほしい。</p>
<p>・海外からの観光客が太宰府天満宮周辺のような特定の場所や地域に集中するとオーバーツーリズムとなり、ゴミや騒音のような問題に発展しかねないと思います。海外の人も昔のような団体ツアーで観光するというよりも海外のインフルエンサーの影響やSNSなどの情報で観光している人が多数派になりつつあるので、現地の言葉でのマナー動画をSNS上に発信したり、多くの観光客が訪れる場所ではデジタルサイネージで啓発広告を随時流すなどの対策が必要だと思います。 自治体サイドもSNS上でどんな場所がバズっているのかの情報収集をして、先回りともではいなくても人気が出そうなスポットに対しての対策ができるようになっていけばいいのかなと思います。</p>
<p>・観光地だけでなく天神など住民も普通の生活で利用するような商業施設で買い物をする外国人観光客が多く、買い物を楽しむことはいいと思うが、こちらとしては混んでいて足が遠のいてしまうので人が多すぎるのもよくないと思う。</p>

・県内の観光施設にどの国の外国人観光客が訪問しているかという件数がわかるととても興味深いと思う。アジアの人が多い施設や欧米の人が多い施設等、その違いを知ることによって、ビジネスの方向性を定める指針になるのではないかと思う。

・海外の観光旅行者に地下鉄車内の優先座席の使い方をもっとわかりやすく説明してほしい。大きなスーツケースを携えて堂々と優先座席を占領している方を多く見かけます。

・福岡県は、太宰府天満宮のような全国的に知られている観光地が限定されていることから、歴史や食といった福岡の地域に特化した内容の観光プランの充実を希望します

・観光名所はあるのに人手不足で縮小していっているお祭りや場所がある。もっと人手があれば廃れていくこともないのにもったいなく感じる。

・観光施設などについて、多言語化の費用を賄うためにも外国人からより多くの入場料を取るべきだと思う。
ルーブル美術館はじめ海外の収容施設でもローカルレジデンス価格と旅行者価格が異なることは特に特異なことではなく、一部政党がというような外国人差別との指摘は全く当たらず、インバウンド旅客受け入れのために必要となる予算の正当な徴収であり、ぜひ進めるべきと思う。

福岡県ワンヘルス認証制度について

【調査の目的】

県では、令和3年1月に「ワンヘルス推進基本条例」を制定、令和4年3月にはワンヘルス(※)の推進に関する取組を体系的に整理した「ワンヘルス推進行動計画」を策定しました。この計画に基づき、令和4年9月に、食の安全・安心や環境に配慮した取組などワンヘルスの理念に沿って生産・販売される農林水産物等を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を全国で初めて創設したところです。

制度創設当初よりワンヘルス認証の認知度向上を目標とし、大手量販店でのフェア開催やテレビCM放映など様々な取組を行っております。

このたび、皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後のワンヘルス認証推進の参考とさせていただきます。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

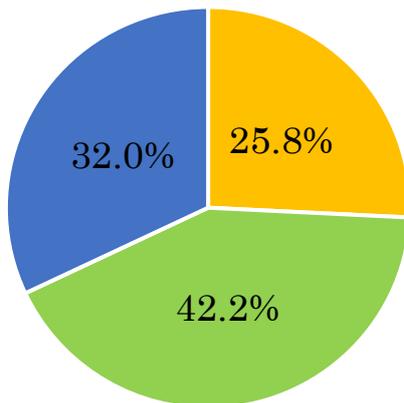
※ ワンヘルスとは

人と動物の健康と環境の健全性は相互に密接につながり、強く影響しあう1つのもので、これらの健全な状態を一体的に守っていこうという考え方。

問1 福岡県ワンヘルス認証制度について知っていますか。

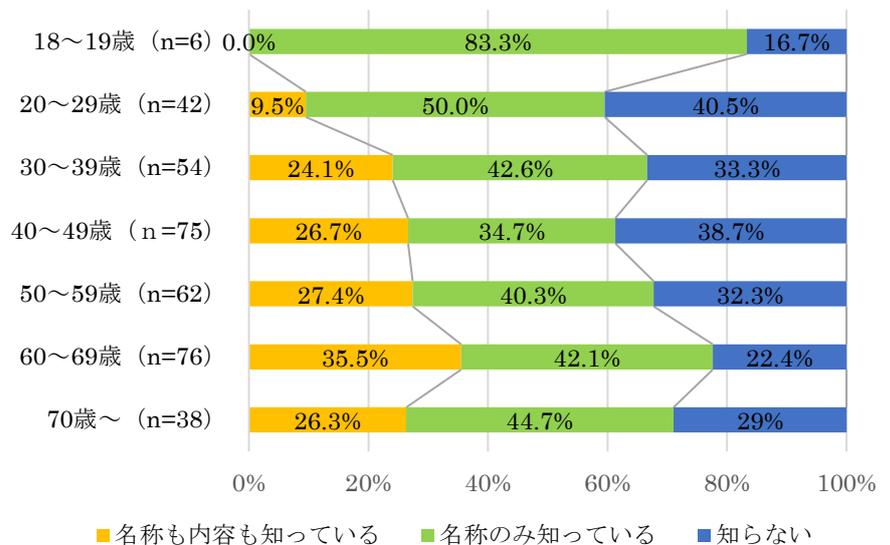
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

全体 (n=353)



- 名称も内容も知っている
- 名称のみ知っている
- 知らない

年代別

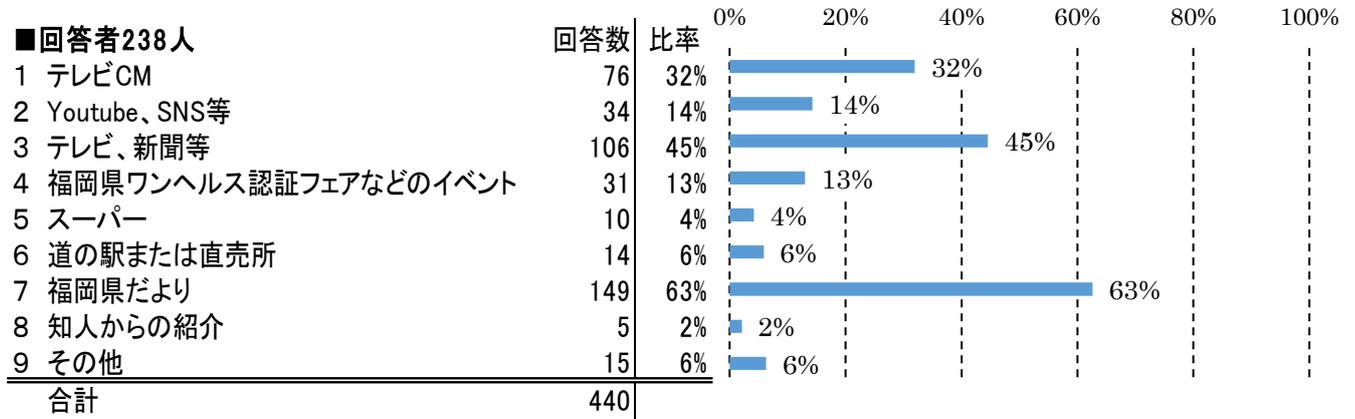


- ・福岡県ワンヘルス認証制度の認知度は、全体で68%である。
- ・18歳～19歳の認知度が最も高く、どの年代も50%を超えている。

問2 (問1で「1名称も内容も知っている」または「2名称のみ知っている」を選択された方にお尋ねします。)

ワンヘルス認証制度を知ったきっかけは何ですか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



・「福岡県だより」の割合が高いことから、ワンヘルス認証農林水産物の認知度を向上するためには広報誌等での情報発信を継続していく必要がある。

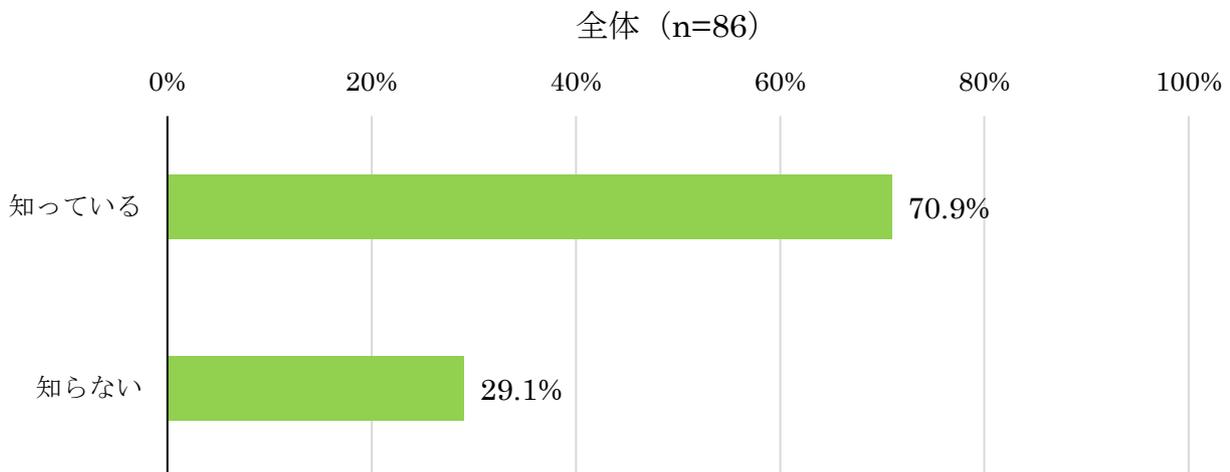
問2-2 問2で「9その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・学校での取り組みで（18～19歳、北九州地区、女性）
- ・県知事選挙（30～39歳、福岡地区、女性）
- ・会社での研修（30～39歳、福岡地区、男性）
- ・大学での講義名（18～19歳、福岡地区、女性）
- ・県政モニターに参加させて頂くことがきっかけで県の取り組みについて知る事が出来た為。（40～49歳、福岡地区、女性）
- ・市全体でワンヘルスに取り組んでいるから（40～49歳、筑後地区、女性）

問3 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)

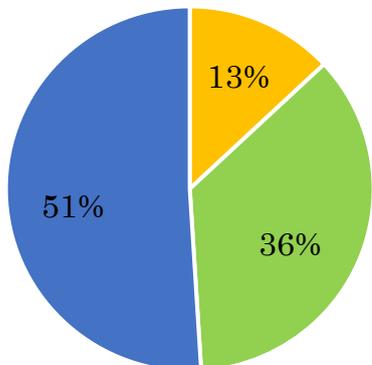
ワンヘルス認証制度により認証された農林水産物（福岡県ワンヘルス認証農林水産物）が、食の安全・安心や環境に配慮して生産された農林水産物であることを知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。



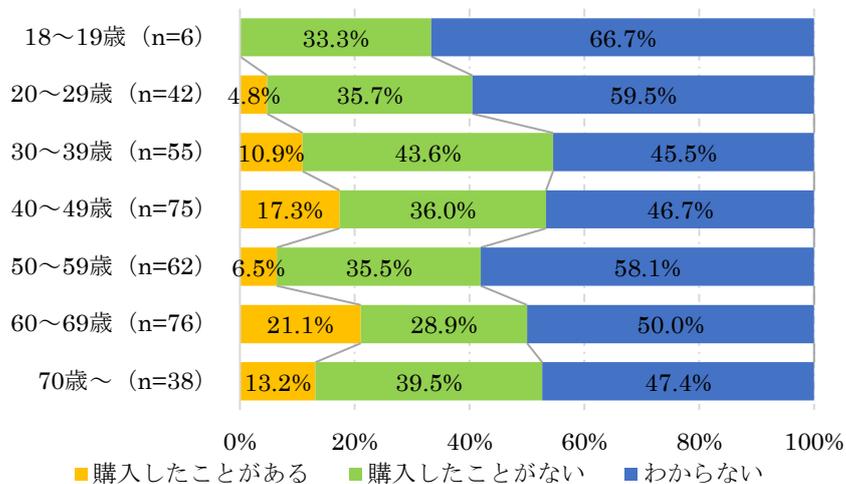
問4 これまでワンヘルス認証農林水産物を購入したことはありますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

全体 (n=353)



■ 購入したことがある ■ 購入したことがない
■ わからない

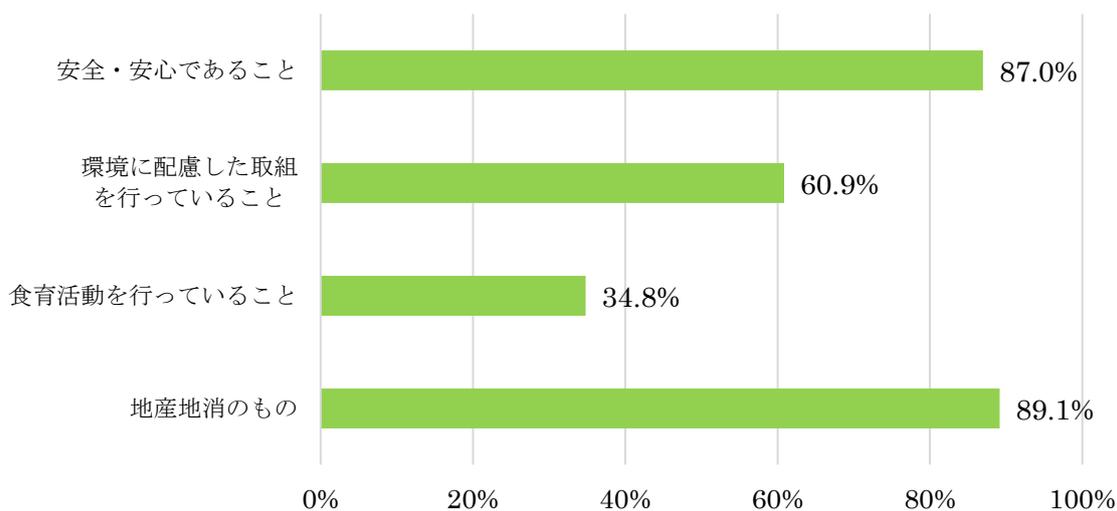
年代別



・「購入したことがある」と回答した割合は、全体で13.0%である。

問5 (問4で「1購入したことがある」を選択された方にお尋ねします。)
ワンヘルス認証農林水産物を購入する際、重視するポイントは何ですか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

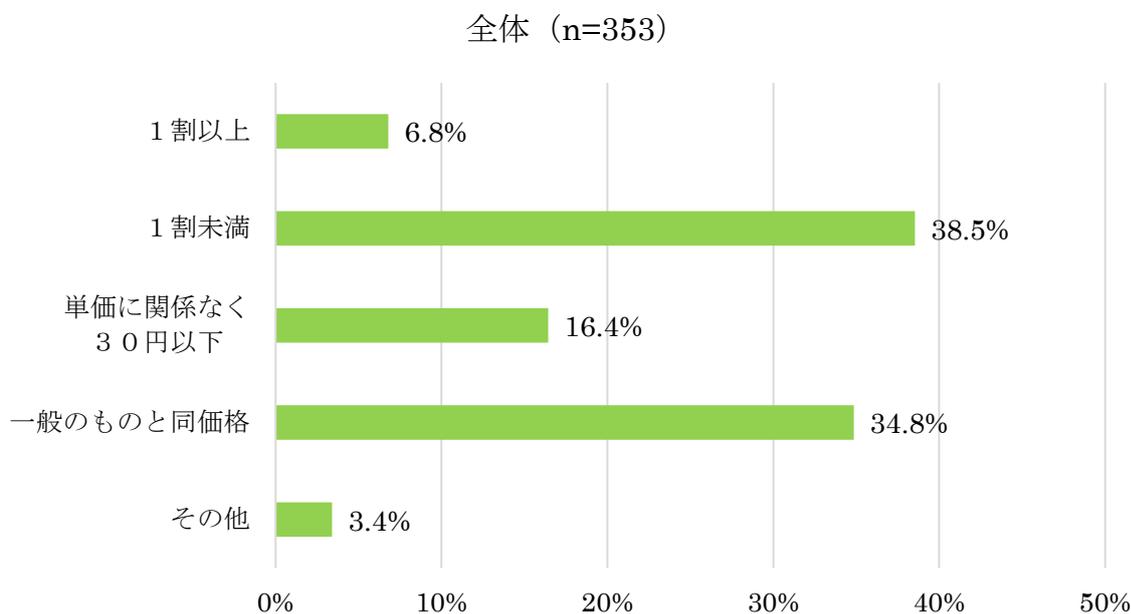
回答者(n=46)



・ワンヘルス認証農林水産物を購入する際に重視する項目は、「安全・安心であること」と「地産地消のもの」が80%以上の回答であった。新鮮で安全性の高い農林水産物は、購入する際に重要視される傾向にある。また、「環境に配慮した取組を行っていること」は、60%以上で関心が高いことが分かる。

問6 ワンヘルス認証農林水産物の購入を次世代への投資と考えた場合、いくらまで価格の上乗せを許容できますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。



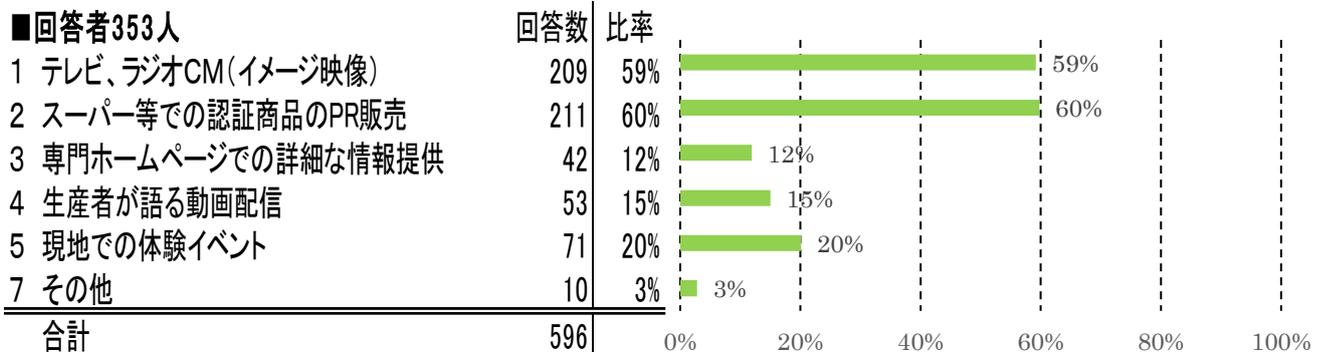
・価格上乗せができると回答した割合が61.7%と多く、次世代を見据えた際、ワンヘルス認証が付加価値を生み出す可能性を示唆している。

問6-2 問6で「5その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・ワンヘルス実施のために必要な内容や費用を理解していないため許容できる範囲を決められない。(40～49歳、福岡地区、男性)
- ・福岡ではワンヘルス認証のもの以外は販売できないくらいになることを希望します。そうすれば、認証外のものとの価格差を気にする必要がなくなります。(60～69歳、福岡地区、女性)
- ・ワンヘルス認証農林水産物に具体的にどんな付加価値があるのかがイメージできず、価格上乗せの必要性の有無もわからなかったので、回答できません。(40～49歳、筑後地区、女性)
- ・誰しもが物価高の状況で1円でも安い食材を選んでいるような状況なので、上乗せ価格をすると購買率が急落しそう。(30～39歳、筑後地区、男性)
- ・具体的にその物の価値がその値段に相応しいと納得できるならよいと思う。(30～39歳、筑後地区、その他)

問7 今後、ワンヘルス認証農林水産物のPRを通じて、福岡県の農林水産業における食の安全・安心や環境保全型農業などの取組について情報発信したいと考えております。
あなたは、どのような方法での情報発信が良いと思いますか。
次の中から当てはまるものを【2つまで】選んでください。



- ・ワンヘルス認証農林水産物の認知度向上のためには、「テレビ、ラジオCM」、「スーパー等での認証商品のPR販売」の回答は6割程度であり、今後もテレビCMの放映や福岡県ワンヘルス認証フェア開催による認知度向上対策を実施することが重要と判断できる。

問7-2 問7で「7その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・SNS等を利用した情報発信(50~59歳、北九州地区、男性)
- ・最近ではテレビよりも、TVer・YouTube・Amazonプライムなどの動画サービスを見る家庭が多いので、そこに短いCMを流すと認知が広がると思います。日常の中で自然と目に入る形で伝える方が、子育て世代にも届きやすいと感じます。(40~49歳、福岡地区、男性)
- ・わかりやすい認証マークの使用。(20~29歳、福岡地区、女性)
- ・SNS内広告(20~29歳、福岡地区、女性)
- ・テレビをみる世代が少なくなっているため、SNSをうまく活用するしかないと思う。(30~39歳、筑後地区、その他)

問8 福岡県ワンヘルス認証制度について、これまでの設問以外に意見はありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・福岡県各地で関連イベントの開催を増やすこと。(50~59歳、北九州地区、男性)
- ・ワンヘルスの言葉もスーパー等でも余り見ないので、もっと周囲に説明して下さると有り難い限りです。(40~49歳、北九州地区、女性)
- ・知らないことが多いので、身近なコンビニやスーパー等で活動を広めていくPRで啓発していく必要があると思う。(50~59歳、北九州地区、男性)
- ・健康に生きていくためには非常に良い取り組みだと思いますので、もっともっと取り組んでほしいし、作る側に伝えて欲しい。(60~69歳、北九州地区、男性)
- ・素晴らしい取り組みだと思います。(30~39歳、北九州地区、女性)
- ・ワンヘルス、名前はよく耳にするが実際に理解している人は少ないと思う。とても大事なことの

で、もっと周知させてほしい。特に主婦には関心を持ってもらいたいのでスーパー等での PR はぜひお願いしたい。(50～59歳、福岡地区、女性)

- ・スーパー等の売場に説明があるとわかりやすいと思う。(60～69歳、福岡地区、女性)
- ・正直に言うと、ワンヘルス認証制度の存在をこれまで知りませんでした。子育て中の家庭は毎日が慌ただしく、スーパーでゆっくり商品ラベルを見る余裕もあまりなく、「安全・安心」と書かれていても、その背景までは深く理解しないまま買い物をしてしまうのが実情です。だからこそ、ワンヘルス認証が“どんな良さがあるのか”を、もっと分かりやすく、生活の中に自然と届く形で伝えてもらえると、とてもありがたいです。(40～49歳、福岡地区、男性)
- ・『福岡県ワンヘルス認証制度』について初めて認識しました。
『生活の基盤』となるものです。皆様のご活動を期待します。(70歳以上、福岡地区、男性)
- ・日ごろスーパーなどで、ワンヘルス認証の商品と認識して購入してはいないので、このような制度を知るためにはやはりスーパー店内での告知やアピールがとても重要であると思います。それがマークなどで示してあればなおわかりやすいと思います。(50～59歳、福岡地区、男性)
- ・ワンヘルス認証制度がいまいちわかりにくいので、もっと簡単で分かりやすい広報を行ってほしい。(30～39歳、福岡地区、男性)
- ・もっともっとPRしていただきたいと思います。最近ではテレビの視聴時間が減少、我が家でも、昔みたいにつけっぱなしということはなくなりました。これからはテレビ、ラジオの媒体よりもスーパーなどの現地でもPR、SNSを活用した活動にシフトされるといいと思います。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・ワンヘルスを周知してもらえよう、啓発活動を積極的に行ってほしい。(30～39歳、福岡地区、女性)
- ・今日初めてワンヘルスマークの付いたほうれん草を買いました。ワンヘルスという言葉は目にするようになったがその理念実現のためにどのような取り組みがなされているか殆ど知る機会がないので、生産者のご意見をぜひお聞きしたいです。(50～59歳、福岡地区、女性)
- ・ワンヘルス認証制度は、「人・動物・環境の健康をまとめて守る」という考え方を広める取り組みとしてとても良い流れだと思えます。ただ、認証を取った施設や企業だけが盛り上がるのではなく、県民にもそのメリットがしっかり伝わる形になると、もっと認知度と効果が上がるのではないかと感じています。(40～49歳、福岡地区、女性)
- ・動物のイメージが強く、食品が対象と言うイメージが薄い。わかりやすいPRが必要。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・ワンヘルスの考え方や認証制度の趣旨は大変意義があると思いますが、「ワンヘルス」という言葉や認証マークの意味が、まだ十分に県民に浸透しているとは言えないと感じます。店頭で認証マークを見かけても、どのような取組が評価されているのか分からず、購入の決め手になりにくい場面があります。今後は、認証を受けた商品について、生産者の工夫や環境・健康への配慮内容を簡潔に伝える表示やPRを強化することで、理解と信頼が深まり、選ばれやすくなるのではないのでしょうか。また、価格面で一般商品との差を感じる場合もあるため、フェアや補助的な取組により、気軽に手に取れる機会が増えることを期待します。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・義務教育の中で、社会見学や生活の時間に福岡県を知る取り組み等を行い、その中でワンヘルスについて情報提供する機会があると、子供の時から知る機会となり家庭にも広がるきっかけとなるのではと思いました。(30～39歳、福岡地区、女性)
- ・私自身はテレビCMで紹介してほしいと思いますが、最近ではテレビを見ない人も多いので、実際に商品を目にし購入するスーパーや道の駅などで、もっと情報発信や認証商品のPR活動をするのが良いかと思っています。(60～69歳、筑後地区、女性)

令和7年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ:公金の支払方法について

福岡県 会計管理局 会計課

1. 調査の目的

県民の方が県へお支払いいただく県税以外の公金（県有施設使用料、申請手数料など）の支払方法は、現金（現金で購入した領収証紙を貼付した申請書を県の担当課へ提出、あるいは県が発行した納付書を金融機関窓口を持参し現金で納付など）が中心となっています。

一方、商品やサービスの対価の支払いにキャッシュレス決済を利用する割合が年々高まってきていること、公共料金などの納付書をコンビニエンスストア窓口で支払うことが普及してきていることを踏まえ、県民の皆さんの利便性の向上の観点から、県公金についてもこうした決済手段を利用できる仕組みを順次構築しているところです。

今回のアンケートは、商品やサービスの対価支払時における支払方法の実情や公金支払方法に関するご意見をお聴かせいただき、よりよい公金支払方法を検討する上での参考とさせていただくため調査を行いました。

※ 領収証紙とは

県が発行した領収証紙を、県指定の「売りさばき所」を通じて現金で購入し、県に提出する申請書等に貼付することによって手数料や使用料を納付するものです。

※ キャッシュレス決済とは

物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用せずに商品・サービスの料金の支払等を行うことを指します。（クレジットカード決済、コード決済（PayPay、楽天ペイ、d払い等）、電子マネー（SUGOCA・nimoca・はやかけん等の交通系、楽天Edy・WAON・nanaco等の非交通系）などが該当します。

2. 活用

県民の皆さまのキャッシュレス決済に対するニーズを把握し、今後キャッシュレス決済の対象を拡大する際の参考とさせていただきます。

3. 調査時期

令和7年12月5日～令和7年12月26日

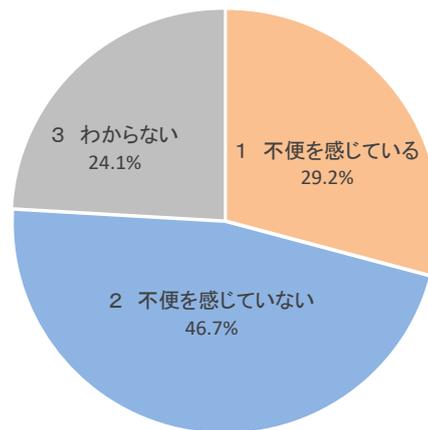
4. 回答者の構成

項目	計		北九州	福岡	筑豊	筑後
	人数（人）	構成比				
総数	人数	353	91	182	28	52
	構成比		25.8%	51.6%	7.9%	14.7%
性別	女性	186	49	99	14	24
	男性	164	40	83	14	27
	その他	3	2	0	0	1
年代別	20代以下	48	13	25	3	7
	30代	54	14	27	5	8
	40代	75	18	40	6	11
	50代	62	17	32	4	9
	60代	76	21	34	8	13
	70代以上	38	10.8%	8	24	2

5. 回答結果

問1 県公金（税金以外）を納める際に、不便を感じることがありますか。
（回答数=353、選択は1つのみ）

内容	人数	割合
1 不便を感じている	103人	29.2%
2 不便を感じていない	165人	46.7%
3 わからない	85人	24.1%



（参考：年代別内訳）

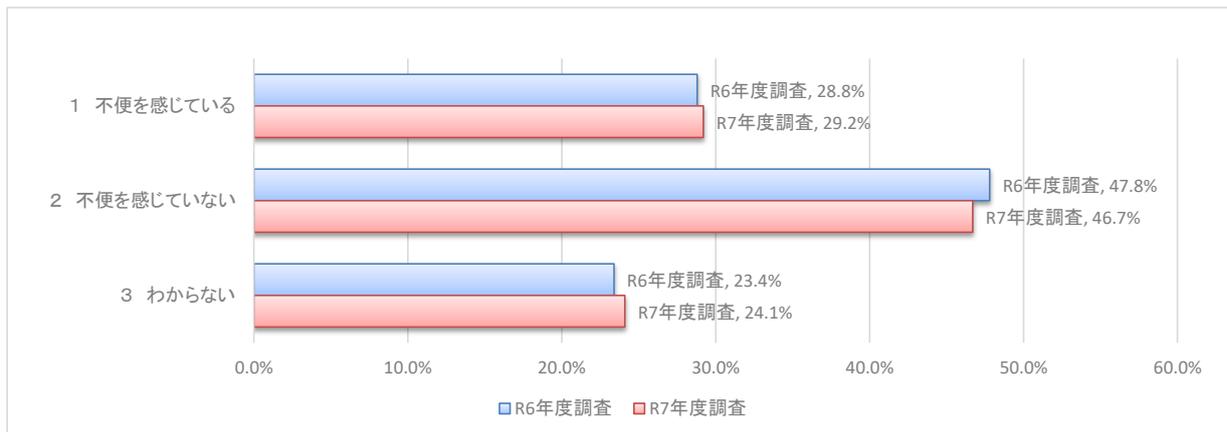
内容	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 不便を感じている	23%	30%	37%	29%	26%	26%
2 不便を感じていない	38%	44%	44%	44%	54%	58%
3 わからない	40%	26%	19%	27%	20%	16%

※赤字は不便を感じてるものの中で割合が多い世代。

（参考：地区別内訳）

内容	北九州	福岡	筑豊	筑後
1 不便を感じている	38%	25%	39%	21%
2 不便を感じていない	43%	45%	46%	62%
3 わからない	19%	30%	14%	17%

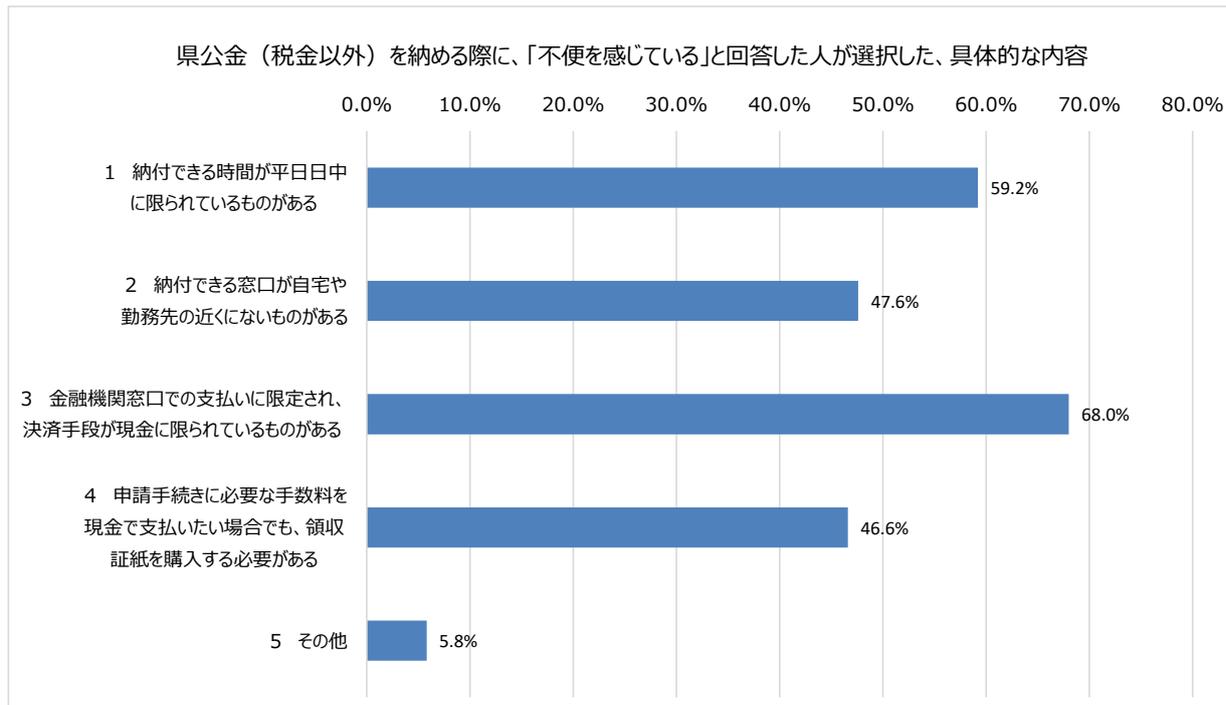
（参考：前年度調査との比較）



	1 不便を感じている	2 不便を感じていない	3 わからない
R6年度調査	28.8%	47.8%	23.4%
R7年度調査	29.2%	46.7%	24.1%

問2 (問1で「1」を選んだ方にお尋ねします。)

不便を感じている具体的な内容は何ですか。(回答人数 = 103人、回答数 = 234、複数選択可)



内容	人数	割合
1 納付できる時間が平日日中に限られているものがある	61人	59.2%
2 納付できる窓口が自宅や勤務先の近くにないものがある	49人	47.6%
3 金融機関窓口での支払いに限定され、決済手段が現金に限られているものがある	70人	68.0%
4 申請手続きに必要な手数料を現金で支払いたい場合でも、領収証紙を購入する必要がある	48人	46.6%
5 その他	6人	5.8%

※103人のうち該当項目を選択した人の割合。赤字は割合が最も多いもの。

(参考：年代別内訳)

内容	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 納付できる時間が平日日中に限られているものがある	64%	56%	64%	39%	70%	60%
2 納付できる窓口が自宅や勤務先の近くにないものがある	55%	31%	50%	50%	50%	50%
3 金融機関窓口での支払いに限定され、決済手段が現金に限られているものがある	55%	75%	75%	50%	65%	90%
4 申請手続きに必要な手数料を現金で支払いたい場合でも、領収証紙を購入する必要がある	27%	31%	36%	78%	55%	50%
5 その他	9%	6%	7%	11%	0%	0%

※赤字は割合が最も多いもの。

問3 問2で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(回答数 = 6)

【ご意見】

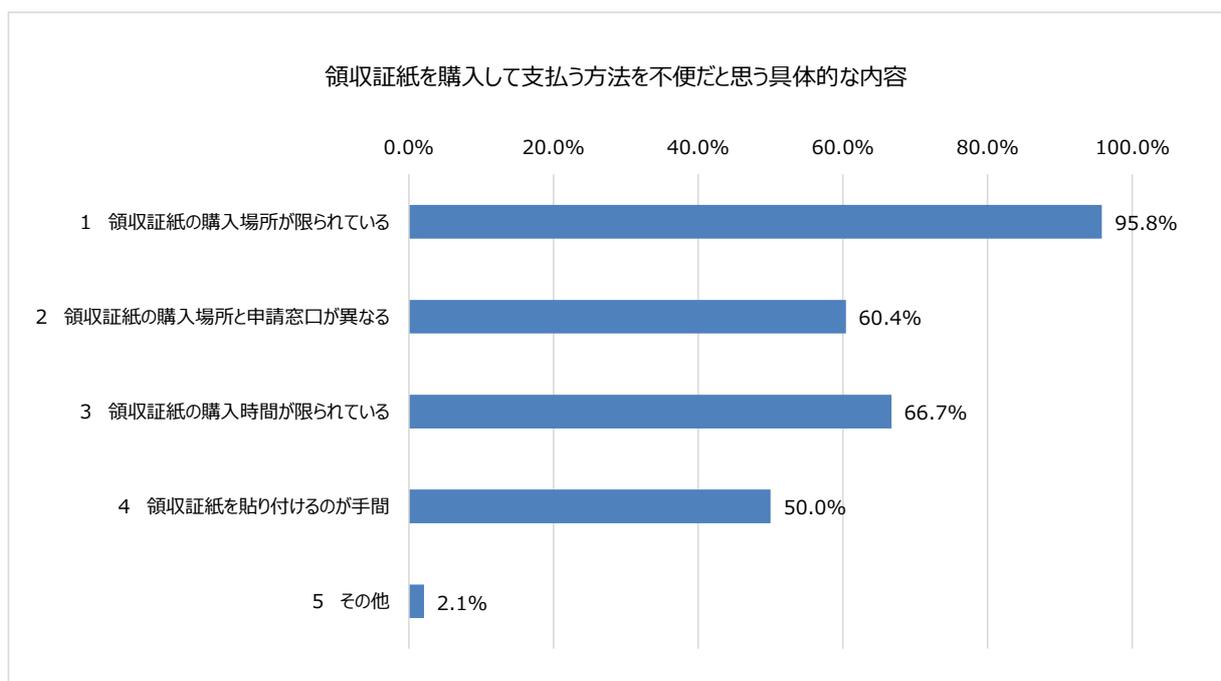
＜県公金（税金以外）を納める際に、「不便を感じている」理由＞

- ・領収証紙での支払いは、会社での精算手続きが通常の買い物と異なり面倒。(30代 女性)
- ・確定申告に利用する領収証がカードや口座振替では貰えない。(40代 男性)
- ・ポイントが付かない。(40代 男性)
- ・クレジットカード払いは手数料が高い。(50代 女性)
- ・コンビニ払いは出来るが、督促状で来られるとビックリするので役所から事前に電話が欲しい。(50代 男性)
- ・年金について、払ったのか払っていないのか、いくら払う必要があるのか、どの用紙を使えばいいのかが分かりづらい。(20代 女性)

(問2で「4」を選んだ方にお尋ねします。)

問4 領収証紙を購入して支払う方法を不便だと思う具体的な内容は何か。

(回答人数=48人、回答数=132、複数選択可)



内容	人数	割合
1 領収証紙の購入場所が限られている	46人	95.8%
2 領収証紙の購入場所と申請窓口が異なる	29人	60.4%
3 領収証紙の購入時間が限られている	32人	66.7%
4 領収証紙を貼り付けるのが手間	24人	50.0%
5 その他	1人	2.1%

※赤字は割合が最も多いもの。

(参考：年代別内訳)

内容	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 領収証紙の購入場所が限られている	67%	100%	100%	100%	91%	100%
2 領収証紙の購入場所と申請窓口が異なる	33%	40%	70%	71%	55%	60%
3 領収証紙の購入時間が限られている	33%	60%	60%	79%	73%	60%
4 領収証紙を貼り付けるのが手間	33%	20%	80%	57%	36%	40%
5 その他	0%	0%	0%	7%	0%	0%

※赤字は割合が最も多いもの。

問5 問4で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(回答数=1)

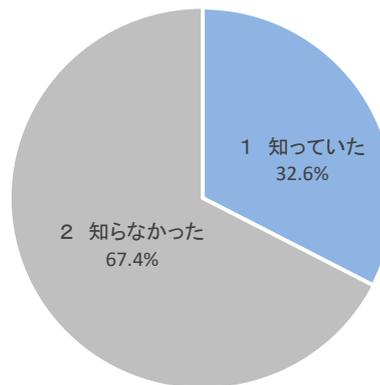
【ご意見】

<領収証紙が不便だと思う理由>

- ・ 領収証紙を貼り付けたものを郵送する場合、郵送の手間。(50代 女性)

問6 県窓口で申請する主な手続きについて、令和6年4月より領収証紙での支払いに加え、キャッシュレス決済も利用できるようになったことを知っていますか。
(回答数=353、選択は1つのみ)

内容	人数	割合
1 知っていた	115人	32.6%
2 知らなかった	238人	67.4%



(参考：年代別内訳)

内容	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っていた	35%	41%	29%	27%	32%	34%
2 知らなかった	65%	59%	71%	73%	68%	66%

(参考：地区別内訳)

内容	北九州	福岡	筑豊	筑後
1 知っていた	36%	31%	29%	35%
2 知らなかった	64%	69%	71%	65%

問7 県の公金支払方法について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(回答数=86)

番号	内容	年代・性別
1	公金の支払いはすべてキャッシュレスにしてもらいたい。公金の支払い以外にも、例えば引越した後の免許の住所変更だけでも原則平日じゃないとできない。公金支払いはもちろん、手続き関係もネットで完結できるようにしてほしい。せめて、365日24時間できる体制を構築してほしい。	30代 男性
2	これからはキャッシュレスの推進が必要であり、高齢者及び現金派の扱いをどうするか検討せねばならない！	70代以上 男性
3	そもそも「県税以外の公金」を払う機会がないので、いまいちピンときません。何か意見を述べるとすれば「全部キャッシュレス化対応」にすればいいのでは？と思いました。	40代 男性
4	窓口での各種申請手続きにおいて、領収証紙に加えてキャッシュレス決済が利用できることになること自体は利便性向上として評価できます。一方で、決済金額の一定割合が手数料として発生すると想定した場合、その累積コストを考えると、より有効な行政サービスや施策に充てられる余地があるのではないかと感じます。利便性向上とコスト負担のバランスは慎重に検討すべきであり、利用者が利便性と手数料を理解した上で選択できる仕組みが望ましいと思います。行政としても、長期的な費用対効果を踏まえた運用を検討してほしいです。	30代 男性
5	県税以外の公金（県有施設使用料、申請手数料など）支払いの機会がないので、あまり不自由を感じていませんが、基本的にはキャッシュレス決済になれば便利だと思います。キャッシュレス決済になると手数料が事業者の負担になると聞いているので、それであれば、その手数料分だけを上乘せ請求することを利用者が納得できるかどうか？についても設問してもよいのでは？と思います。	60代 女性
6	従来の方法が必要と思う人とキャッシュレス化が必要と思う人と両方の考え方の人がいる状況だと思うので、現状においては両方の支払い方法が両立するかたちでよいと思います。中長期的な考え方だと、人手や場所、事務効率など様々な観点から領収証紙からキャッシュレスへと移行していった方がよいように感じます。	30代 男性
7	個人的には、キャッシュレス決済が可能になっていくことは有難いと思っています。公金支払い方法について、項目別にキャッシュレス決済が可能なのか不可なのかを一覧表で見ることができると良いです。（既にあるのではないかと思います、私は目にしたことがないので）	60代 女性
8	公金をキャッシュレス決済でおこなったことがないため不明な点もありますが、手続きの際に現地で決済する仕組みはもちろん各種窓口業務について県のホームページに事前決済をおこなえる仕組みをつくってはどうか。領収書もPDF形式で1回のみ発行、印刷できる仕組みも可能だと思う。	50代 男性
9	県の公金決済もキャッシュレス化できれば便利になると思う。	60代 男性
10	これからはキャッシュレスに移行してほしい。そうすれば時間や場所に縛られないから。コストも削減できると思います。	40代 男性
11	キャッシュレス化の推進は是非とも進めて欲しい。	50代 男性
12	キャッシュレス決済大いに賛成です。今後もっと普及して欲しいですし、意外に簡単だということを、高齢者の方にも知っていただきたいです。	20代 女性
13	キャッシュレス決済等を増やして欲しい。	60代 男性
14	キャッシュレス決済が便利で良いと思う。	60代 女性
15	特にありません。キャッシュレス決済のさらなる浸透を望みます。	60代 男性

番号	内容	年代・性別
16	すべてキャッシュレス決済の導入を望みます。	40代 男性
17	キャッシュレス決済歓迎します。	60代 女性
18	是非キャッシュレス化をお願いします	40代 男性
19	キャッシュレス促進をお願いします！	40代 女性
20	キャッシュレス決済も利用できるようになったことは大変ありがたく、利便性が良いので大いに活用したいと思います。	60代 男性
21	キャッシュレスは促進すべき。	40代 男性
22	すべての支払いにおいてキャッシュレス決済を可能にして欲しいです。	60代 男性
23	どんどんキャッシュレスを進めたほうが良いと思う。	40代 男性
24	どんどん普及させてほしい。	40代 男性
25	身近なところで支払えるのが手間がなくて助かります。	40代 女性
26	すべてにおいてキャッシュレス化にしてほしい。手数料はかかるので、その分上乗せしても利便性が勝れば、費用の上昇に対しても不満は限定的だと感じる。収入源も運営や施策に必要なので手数料も含めた値段で収受してほしい。	30代 男性
27	銀行などに行かない人が増えているので、キャッシュレスが増えることで手続きしやすくなってよい。	40代 女性
28	現金を持ち歩かない人が多くなってきたので、キャッシュレス決済の機会が多くなると便利。	70代以上 女性
29	おさいふ携帯等、キャッシュレスでの流れになっている現状に合わせ、公金支払いもその流れになるべきと考えます。確かにその弊害もあるので難しさは感じますが、私自身も現金を持たずに、スマホだけを手に外出することが多くなりました。そうした時、現金しか使えない場所は避けるようにしていますが、慣れもあり、最近ではさほど不便を感じておりません。公金支払いはそうした流れを促進する意味でも100%キャッシュレス対応に踏み切ってほしいと思います。	70代以上 男性
30	これまで証紙を購入することが常であったものが、キャッシュレス決済になったことは画期的だと思います。スマートフォンを持っていない人がこの恩恵を享受できない状況にあるかと思いますが、大半の人が持っている中で、証紙からキャッシュレス決済に変更することをより進めてほしいと思います。	50代 男性
31	公金(税金以外)を支払う機会がそう多くはないので不便を感じていないが、もし普段から支払う機会が多いとキャッシュレス対応してほしいと感じると	30代 男性
32	自宅でできるスマホでのキャッシュレス決済はぜひ行なってほしいと思う。本人という証拠があるならマイナンバーと申請時の顔写真を照らし合わせるなどして払いやすくなればよいと思う。	20代 女性
33	デジタル化が進み、人とモノの動線がますます短縮され、効率化されることを望みます。	40代 男性
34	紙の申請そのものが、デジタル、オンラインに移行しているので、一部の利用が困難な人への配慮は残しながら、オンライン申請、キャッシュレス決済を原則としてはいかが？	60代 男性
35	デジタル化を進んできたので、活用して効率のいい方法が広まればよいです。	70代以上 男性
36	公金の支払いは少しずつ便利になってきていると思うけど、まだ「やり方が分からない」「手続きが面倒」と感じる場面が多いと感じます。特に高齢者やネットに慣れていない人にとっては、支払方法が増えるほど逆に分かりにくくなることもあるので、誰でも迷わずできる仕組みが大事だと思います。たとえば、どの支払い方法が使えるのか、一覧ですぐ見れるようにするスマホ・窓口・口座引落など”どの方法を選んでも同じくらい簡単”にするキャッシュレス決済を導入するなら、解説ページや窓口でのサポートもセットで用意する手数料やポイント還元などの差がある場合は、分かりやすく表示する実際は「支払方法の種類」よりも「自分が一番やりやすい支払い方を選ぶこと」「迷わないこと」が大切だと感じます。	40代 女性
37	キャッシュレス決済が使えると便利になると思います。が、現金払いがなくなってしまうのも困ります。	50代 女性
38	制度を進めていって逆にキャッシュレスオンリーにするのはやめてほしい。	20代 男性
39	キャッシュレス良いとは思いますが年寄りやクレカ等を作りたくない人達がかかりいる事を忘れて欲しい。	50代 男性
40	公金支払方法の選択肢が増加するのはいいと思いました。ただし、受領等が双方煩雑にならないようにする工夫が大変そうだと思います。クレジットなどの支払いは、県が手数料を支払ったりしているのでしょうか。支払い方法でばらつきがないようにしていければと思います。	50代 女性
41	カード決済など、いろいろな決済に対応してほしい。	40代 男性
42	公金支払いの方法が多様化することは、支払う側にとっては助かる。ただ、最近は支払い手段が増えすぎて、かえってどうしようかと迷ってしまう弊害も出てきているのではないかな。	60代 男性
43	支払い方法は多様になってきた時代ではありますが、現金のみでも困ることはないもので支払い方法の選択肢が増えても増えなくても、特にどっちにすべきという意見はありません。	30代 女性
44	従来なままで不都合はないがそれ以外納付希望者には柔軟性がよいのでは？	60代 女性
45	誰もが使いやすい形にすることが大事。キャッシュレスは確かに便利だけど高齢者や機器に疎いとは負担になることもある。だから、デジタルと窓口、紙の手続きが共存し、状況に合わせて選べるのが理想。利用者が迷わず、安全に支払える環境が整うほど、公金の透明性も信頼性もあがっていくと思う。	50代 女性
46	子育て家庭として感じているのは、「平日昼間に窓口へ行く」ということ自体が、かなりハードルが高いということです。仕事を抜けるか、子どもを連れて行くか、そのどちらにも負担が大きく、申請のたびに”どうスケジュール調整するか”で頭を悩ませます。また、領収証紙を買うという文化は若い世代には馴染みがなく、「どこで買えるのか」「現金が必要なのか」など、初めての手続きのたびに戸惑うことが多いです。最近はいろいろな支払いがスマホで完結するようになり、生活の大部分がキャッシュレスにシフトしています。そんな中で、公金だけが現金前提だったり窓口限定だったりすると、どうしても「手続きのための手続き」が増えてしまつて感じます。令和6年4月からキャッシュレス決済が使えるようになったことはとても良い改善だと思いますが、正直、私も今回のアンケートで初めて知りました。もっと積極的に周知していただくと助かります。特に子育て世帯は情報を取りに行く余裕がないため、LINE公式アカウントやSNS、または保育園・学校を通じた案内など、“日常の導線上で届く広報”があると便利です。さらに希望を言えば、納付書のバーコードからコンビニ・PayPay・LINE Payなどでそのまま納付できる仕組み・オンライン申請とキャッシュレス決済をセットにした「窓口へ行かない」完結型の手続き・マイナンバー連携での公金支払履歴の一元管理なども将来的に実現したら、県民としては非常に助かります。特に子育て世帯は、時間も体力も限られているため、手続きがオンラインでスムーズに進むだけで負担がぐっと減ります。県としてキャッシュレス化やデジタル化を進めていただいていることは心強く、今後さらに利用できる場面が広がればありがたいと感じています。	40代 男性
47	複数の支払方法に対応するのは結局コストがかかるので、将来的な方向性を示した上で、そちらに収斂するような周知のしかたをしていくことを期待する。	40代 男性
48	誰でもわかりやすいPR方法。	70代以上 男性

番号	内容	年代・性別
49	領収証紙での支払いに加え、キャッシュレス決済も利用できることを知らないため、例えばウェブサイトの金額表示の横などに、その旨案内してほしい。現状は「福岡県領収証紙」で納付してください。としか書かない。	50代 女性
50	キャッシュレス決済が利用できることは大変よいことですが、情報漏洩等がないようにセキュリティ強化に努めてほしい。	60代 男性
51	日々の生活ですでにキャッシュレス決済が主流なので公金等もそうなればとても便利だとは思う。ただ、セキュリティだけが気になるのでそのあたりの対策だけは万全にしてほしい。	50代 女性
52	キャッシュレス決済をした後で、のちに領収証を印刷やPDFで取得できる仕組みの構築が必要。	40代 男性
53	以前はコンビニだったけど最近はスマホキャッシュレスで家において支払うと直ぐ引き落とされて非常に便利だけど、ちゃんと払えているのか少し不安にも思う。役所が受領した事が確認できるまで簡単にわかるといい。	70代以上 女性
54	支払った証明書の取り方も合わせて教えて欲しい。	40代 女性
55	キャッシュレス決済時でも手数料なしで支払えるようにしてほしい。手数料分が余計にかかると、キャッシュレス決済は利用しない。	50代 男性
56	現金だけでなく様々な支払方法があるのはとてもありがたいです。県側が相手機関に支払う手数料がどのくらいなのか気になります。	40代 女性
57	キャッシュレスは、代理店に手数料支払いが増える為、公共のものは現金でよいと思う。	40代 男性
58	税金の支払いもカード払いが可能となっているが、あまりにも手数料が高すぎる。何とかして欲しいです。	60代 男性
59	キャッシュレス決済が利用できる場合は手数料についてあらかじめ調べられるように分かりやすくしてほしい。支払画面直前で手数料について急に説明されるような雰囲気があるので。	30代 女性
60	やはりキャッシュレス決済を増やした方がよいと思う。そうすることでポイントも付与され、支払い意欲も向上すると思う。	50代 男性
61	水道料金をキャッシュレス決済で支払いしております。もし可能であれば、キャッシュレス決済を利用した際に、県独自のポイントが付くなどしていただけたら更にキャッシュレス決済化が進むと思われれます。	30代 男性
62	ポイントがつくようにしてほしい。	30代 男性
63	ポイントバックなど恩恵が欲しい。	50代 女性
64	県への公金支払いについて、依然として現金や領収証紙による方法が中心であり、手間や時間がかかると感じる場面があります。特に平日に金融機関や売りさばき所へ行く必要がある点は、働いている人や高齢者にとって負担が大きいと思います。民間ではキャッシュレス決済やコンビニ支払い、ネットバンキングが広く普及していることから、県の公金についても、クレジットカードやコード決済、インターネットバンキングによる支払いなどをより幅広く利用できるようなことで、県民の利便性は大きく向上すると感じます。また、オンライン申請と支払いを一体化することで、手続き全体の簡素化にもつながるのではないのでしょうか。一方で、現金での支払いを希望する人への配慮も必要だと思いますので、複数の支払方法を併存させつつ、分かりやすい案内を行うことが重要だと感じます。県民の生活スタイルに合わせた柔軟な支払環境の整備を進めてほしいと思います。	60代 男性
65	領収証紙による支払いはいい印象がないです。	50代 男性
66	車でしか行けない距離にしか領収証紙が売ってなく、車を持っていない人は困る。せめて全国の郵便局で買えるといいと思う。	40代 女性
67	領収証紙の使用の継続のままでよいです。他県で感じたのは、一部の金融機関支店しか扱っていない（兵庫県）、財団法人や社団法人などでしか扱っていない（岡山県）など、販売個所が少ないことです。大阪府は各警察署で取り扱っていました。県内のすべてとは言いませんが、各地方自治体の中心部の郵便局とコンビニの各1か所取り扱えば、特に支障は生じないのではないのでしょうか。	50代 男性
68	年齢層を考えた時に、必ずしもキャッシュレス決済が便利だという風には思わない。	50代 男性
69	キャッシュレスは使ったことがない。不慣れなのでトラブルに巻き込まれないか心配だから。特に使う予定もない。	40代 女性
70	コンビニで支払えるのは便利だと思う。	60代 女性
71	コンビニ等で支払う方法は続けてほしい。	70代以上 男性
72	銀行アプリともっと連動してほしいです。	40代 女性
73	支払えるように、してほしい。	50代 男性
74	公金の内容に関心があるので、これから勉強して行きます。	40代 女性
75	何故、領収証紙での支払いだったのか、何故、キャッシュレス決済も利用できるようになったのかの説明が欲しい。	60代 男性
76	パスポートの申請もキャッシュレス決済が、可能なのでしょうか。	60代 女性
77	キャッシュレス決済には具体的にどういうものがあるか。	60代 女性
78	支払い方法は、コンビニを使えるが、督促状が来ると心配になるので事前に電話が欲しい。	50代 男性
79	仕事での支払いがあるが、会社名義の支払いでもキャッシュレス決済が出来ますか？ぜひ、出来るようにしてほしい。	60代 男性
80	福岡は、行政が一番遅れていると思います。公金支払い方法に限らず、アナログな面が本当に多いです。	20代 男性
81	インターネットで支払えるものと支払えないものがありそれを統一してほしい。	60代 女性
82	煩雑な手続きにより市民に負担をかけることは全て見直して欲しい。	60代 女性
83	法務局で登録免許税を収入印紙で払いましたが、オンライン決済もできますか？インターネットバンキングは詐欺が怖いのでハードルが高いです。	50代 女性
84	福岡県には関係ない事例ですが、他県ではクレジットカードとしてVISAとMastercardしか使えない都道府県もあります。私は、日本の行政機関として、日本のペイメントブランドであるJCBも使えるようにしてほしいと考えています。福岡県はJCBも使えるようなので良かったです。	20代 男性
85	会社で支払う物や、市民税などもコンビニ払いができるため、今の生活で不便に思うものはなかったが、キャッシュレス決済ができるようになると非常に便利になると思う。半面、やはり先の回答でもあるように、便利になると穴ができる。それを利用した詐欺もでてくる可能性があるため、正規の物とそうでない物の区別がつくような工夫が必要だと思う。	30代 その他
86	クレジットカードも使えると良い。	50代 男性

【調査の目的】

福岡県警では、「県民の安全・安心の確保」を運営の指針とし、県民の皆さんからの御理解と御協力を得ながら、地域との協働による犯罪・事故の起きにくい社会づくりに向けた警察活動を展開しています。

そこで、警察活動について皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後の参考にさせていただきます。

【活動状況】

治安に関する県民の意識及びその変化を把握し、今後の各種警察活動に反映します。

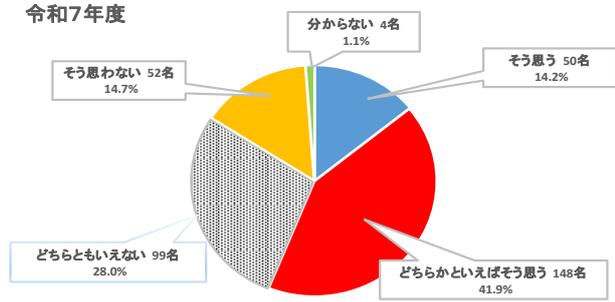
(警察本部 総務部 被害者支援・相談課)

問1 あなたは、現在の福岡県が、治安がよく、安全で安心して暮らせる県だと思いますか。

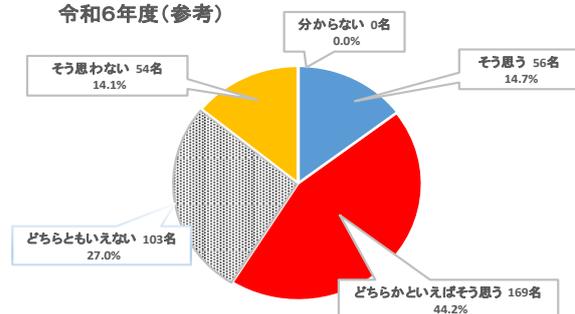
(n = 353 選択は1つのみ)

そう思う	50名	14.2%
どちらかといえばそう思う	148名	41.9%
どちらともいえない	99名	28.0%
そう思わない	52名	14.7%
分からない	4名	1.1%

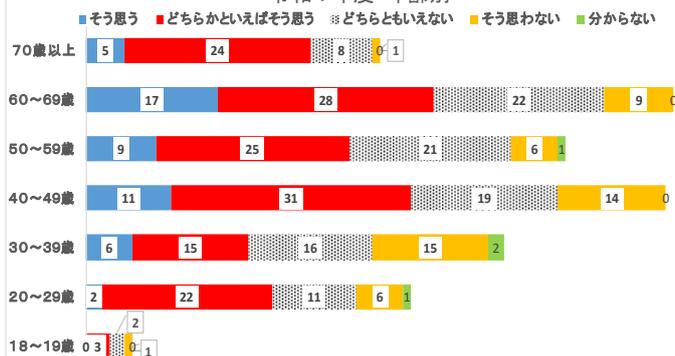
令和7年度



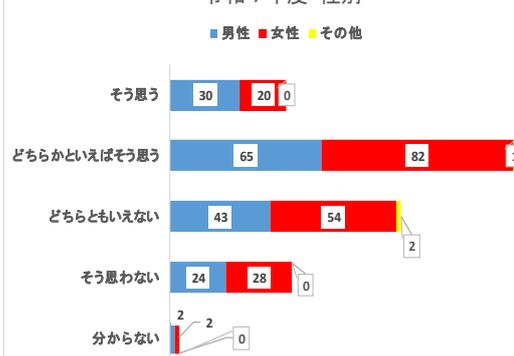
令和6年度(参考)



令和7年度・年齢別



令和7年度・性別



問2 問1で「そう思わない」と回答された方にお尋ねします。

あなたが、福岡県の治安がよく、安全で安心して暮らせる県だと思わない理由は何ですか。

(「そう思わない」と選択された方 n = 52 選択は3つまで 回答件数 = 126)

爆音で走行するバイクや車をよく見かけるから	20名	15.9%
不審な人や乱暴な言動をする人を見かけるから	17名	13.5%
自分や身近な人が犯罪被害や交通事故に遭ったり、身近な場所でそれらが発生しているから	16名	12.7%
自転車や小型の電動モビリティ（電動キックボード等）の運転マナーが悪い人を見かけるから	15名	11.9%
トクリュウ等をはじめとした犯罪組織による特殊詐欺事件等が多発しているから	15名	11.9%
パトカーが集まっているのを見かけたり、パトカーのサイレン音が聞こえるから	14名	11.1%
暴力団等による凶悪事件などが発生しているから	11名	8.7%
深夜、公共の場所（公園やコンビニエンスストアを含む）で騒いでいる人たちを見かけるから	11名	8.7%
その他	7名	5.6%

〔その他（抜粋・要約）〕

・ 警察官による不祥事が多発している（その他類似意見1件）
・ 外国人問題（その他類似意見1件）
・ 飲酒運転が多い
・ 事件等の報道を毎日見る
・ 殺傷事件が頻繁に起きている

問3 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。

(n=353 選択は3つまで 回答件数=1015)

飲酒運転	165 名	16.3%
電話やSNS等を通じてお金をだまし取る「ニセ電話詐欺」や「SNS型投資・ロマンス詐欺」	126 名	12.4%
殺人、強盗、放火、誘拐などの凶悪犯罪	88 名	8.7%
バイクや車による爆音走行	76 名	7.5%
暴力団による犯罪	76 名	7.5%
ストーカー、DV、児童・高齢者・障がい者虐待に関する犯罪	76 名	7.5%
空き巣、ひったくり、車上ねらい、自転車盗などの窃盗犯罪	71 名	7.0%
自転車や小型の電動モビリティ（電動キックボード等）の違法走行	64 名	6.3%
サイバー犯罪（フィッシング、不正アクセス、コンピュータウイルス等インターネットを利用した犯罪）	61 名	6.0%
不同意性交等（強制性交等）、不同意わいせつ（強制わいせつ）、痴漢、盗撮などの性犯罪	53 名	5.2%
ごみの不法投棄など、人の健康または生活環境に関する犯罪	36 名	3.5%
汚職など公務員による犯罪	31 名	3.1%
拳銃発砲などの銃器犯罪や、覚醒剤・大麻の密売などの薬物犯罪	23 名	2.3%
児童ポルノ事犯や児童買春などの青少年の健全育成を害する犯罪	22 名	2.2%
少年による犯罪	19 名	1.9%
悪質な訪問販売などの商取引に関する犯罪	17 名	1.7%
高金利貸付けや脅迫的な取立てをするヤミ金融犯罪	0 名	0.0%
その他	11 名	1.1%

〔その他（抜粋・要約）〕

・ 違法外国人の犯罪（その他類似意見2件）
・ 生活や命に係わる犯罪全て（その他類似意見2件）
・ 警察官による不祥事（その他類似意見1件）
・ 学生や外国人など、交通ルールを守らない車両の交通違反（その他類似意見1件）
・ ヘイトスピーチ、SNSによるデマの発信

問4 あなたは、犯罪の取締り以外に、警察が今後、特に力を入れるべき活動として、どのようなものを望みますか。

(n = 353 選択は3つまで 回答件数 = 947)

パトカーや制服警察官によるパトロール	182 名	19.2%
飲酒運転を許さない社会環境づくりの推進	118 名	12.5%
地域で発生する身近な犯罪などの情報提供	73 名	7.7%
高齢者や子ども等の交通事故の抑止	71 名	7.5%
相談、苦情、要望・意見を受ける窓口の充実	71 名	7.5%
自転車や小型の電動モビリティ（電動キックボード等）の交通ルール遵守	65 名	6.9%
サイバー空間におけるパトロール	60 名	6.3%
暴力団排除運動の支援や暴力団犯罪の被害に遭うおそれのある企業・県民等の保護	52 名	5.5%
少年の非行・被害防止	48 名	5.1%
学校や地域などの社会教育の場での防犯指導	46 名	4.9%
住民によるパトロールや自主的な防犯活動をしている団体への支援	43 名	4.5%
自治体・地域住民等と連携した繁華街・歓楽街の環境浄化	29 名	3.1%
サイバー犯罪に関する情報提供	26 名	2.7%
災害発生時の被災者の救出救助や行方不明者の捜索、避難誘導、警戒活動	21 名	2.2%
犯罪被害者に対する支援の充実	13 名	1.4%
交通に関する反則（違反）金のキャッシュレス決済の導入	11 名	1.2%
テロの未然防止と的確な対処	8 名	0.8%
その他	10 名	1.1%

〔その他（抜粋・要約）〕

・ 警察官、公務員等の犯罪の取締り（その他類似意見 3 件）
・ 全ての警察活動（その他類似意見 1 件）
・ 警察官の人材確保
・ ヘイトスピーチ、SNSによるデマの発信
・ 交通事故防止のためのパトロール

問5 警察安全相談の利用についてお尋ねします。

あなたは、これまでに事件・事故、その他の困りごとについて警察に相談した際、どのように相談をしましたか。

(n = 353 選択制限なし 回答件数 = 440)

1	警察署に電話で相談した	98 名	22.3%
2	警察本部の代表電話、または警察相談専用電話（# 9 1 1 0 警察本部相談センター）に電話で相談をした	26 名	5.9%
3	警察署に直接行って相談した	97 名	22.0%
4	警察本部に直接行って相談した	9 名	2.0%
5	福岡県警のホームページからメール相談をした	13 名	3.0%
6	警察本部や警察署に手紙、封書などの文書を出して相談した	4 名	0.9%
7	警察に相談をしたことはあるが、どのように相談をしたのか覚えていない	5 名	1.1%
8	その他	4 名	0.9%
9	警察に相談したことはない	184 名	41.8%

〔その他（抜粋・要約）〕

・ 交番に相談した
・ パトロール中のパトカーに相談した

問6 問5の1～8を選択された方にお尋ねします。あなたは、警察に相談した際の対応について、どのように感じましたか。

(n = 169 選択は1つのみ)

満足であった	39 名	23.1%
やや満足であった	33 名	19.5%
普通	44 名	26.0%
やや不満であった	24 名	14.2%
不満であった	27 名	16.0%
その他	2 名	1.2%

〔その他（要約）〕

・ 対応はしてもらったが、担当者が威圧的だった
・ 相談専用電話（# 9 1 1 0）が繋がらなかった。体制を強化してほしい

問7 警察活動について、これまでの設問以外に意見はありますか。

(回答数130)

〔その他（抜粋・要約）〕

警察官の市民応接に関する改善・要望等の意見	28
交通関係（暴走族・各種事故防止・取締りの強化・環境整備等）の意見	25
警察官の不祥事・警察組織の自浄機能等に関する意見	17
警察業務に関する感謝の意見	15
防犯情報や相談窓口の情報強化等に関する意見	8
犯罪被害防止のための警察活動の推進に関する意見	6
外国人との共生社会の実現に向けた課題等に関する意見	2
意見なし・その他の自由意見	29